

1800迄 (2827件)

1791年-08:00|インドネシア| |||<即位>チルボン・クサフ・ハン君主「Sultan Sepuh7世 Joharuddin」(~1816年)
1791年-08:00|マレーシア| |||<即位>パタニ王国国王「ドウトウク・フンラン」(~1808年)
1791年-07:00|ラオス| |||<死去>チャンパ・サク王「サヤ・クマン」
1791年-07:00|ラオス| |||<即位>チャンパ・サク王「シャンカオ」⇒「ファイ」(~1811年没)
1791年-07:00|タイ| |||<即位>パタニ王国第20代国王「ドウトウク・フンラン」(~1808年)
1791年-07:00|タイ| |||<即位>パタニ・シャム知事「ダト・ペンラン」(~1808年)
1791年-07:00|タイ| |||パタニはシャムが占領(~1816年)
1791年-07:00|ラオス| |||ヒエンチャン王国がルアン・プラバンを攻撃しサムナー地方を併合
1791年-06:00|ブータン| |||<就任>ブータン精神的支配者・国家元首「ジグミ・ドラガ・パ2世」(~1830年没)
1791年-05:30|インド| |||<就任>アフマド・カール国ラジャ「サンク・ラム・シン」建国(~1798年没)
1791年-05:30|インド| |||<就任>イタル国ラジャ「ハワン・シン」(~12日間)⇒「ガンビル・シン」(~18330812没)
1791年-05:30|インド| |||<就任>クタル国統治者(ラ)「コパール・チャント」(1回目~1803年)
1791年-05:30|インド| |||<就任>スール国ラジャ「インダル・シン」(~1833年頃死亡)
1791年-05:30|インド| |||<就任>スケト国ラジャ「ヒ・クラム・セン2世」(~1838年没)
1791年-05:30|インド| |||<就任>ハマト・国ラジャ「アミール・シン」(~1826年没)
1791年-05:30|インド| |||<就任>ホール国統治者(ハント・サフ)「ジャンクラー1世」(~1798年没)
1791年-05:30|インド| |||<就任>モラサ国ラジャ「ザリム・シン」(~1806年没)
1791年-05:30|インド| |||イタル国はイタル、アフマド・カール、モラサ、ハマト(ハヤルとも呼ばれる)、スールの5つに分裂
1791年-05:30|インド/ネール| |||ガール(ケリハヴァラ)国はネール保護領(~1804年1月)
1791年-05:00|カザフスタン| |||<就任>小シユズ・ハン「エリ」アブール=ハイルの次男(~1794年)
1791年-04:00|アゼルバイジャン| |||<就任>クバ汗国ハン「シェイク・アリー・ハン」(~1806年)
1791年-04:00|アゼルバイジャン| |||<就任>サルヤン汗国ハン「ハッサン・アカ」(~1796年)
1791年-04:00|アゼルバイジャン| |||<就任>バクー汗国ハン「ムハンマト・クルリー・ハン」(~1792年死去)
1791年-04:00|ジョージア| |||<就任>ミンゲレリア公「マヌチャル2世」(~1793年)
1791年-04:00|ロシア| |||アナハはロシアに短期間占領された
1791年-03:00|カンタタ| |||<就任>ブクアンガ・キ統治者(オムカマ)「キスハ」
1791年-03:00|カンタタ| |||<就任>ブラモキ統治者(オムカマ)「ジボント3世イハ2世」
1791年-03:00|カンタタ| |||<就任>ブナ統治者(オムカマ)「ナムデ・イコベ」(~1799年頃)
1791年-03:00|カンタタ| |||<就任>ル統治者(オムカマ)「ビソワ・ワンブジ」(~1841年頃)
1791年-03:00|スーダン| |||<即位>フジ・スルタン国スルタン「スワール」(~1792年)
1791年-02:00|ウクライナ/ロシア| |||<死去>ハリコフ、エカテリナスラフ、タウリダ 総督「Knyaz' Grigoriy Aleksandrovich Potyomkin-Tavricheskiy」
1791年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>アレク・ワリス(総督)「Suleyman Fayzi Pasha」(1期目~同年)
1791年-02:00|ウクライナ/ロシア| |||オデッサ地域はオスマン帝国によってロシアに譲渡
1791年-01:00|ドイツ| |||<称号返上>フランドン・ブルク=バ イロイト辺境伯「クリスティアン・フリードリヒ・カール・アレクサンダー」アンハルツ侯領及びバ イロイト侯領を終身年金と引き替えにプロシヤ王国に売却)
1791年-01:00|アンゴラ/コンゴ 共和国/コンゴ 民主共和国/ガボン| |||<即位>コンゴ 王国マニコ「アレクシウス1世」(~1793年)
1791年 00:00|カリヤ諸島/スペイン| |||<就任>スペイン王国カリヤ諸島総司令官「Antonio Gutierrez de Otero y Santa Ilanaj」(~1799年死去)
1791年 04:00|アルバ/フランス| |||<就任>アルバ 島司令官「Jacobus Pellicorde Porrier」(~17920924)
1791年 06:00|エルサルバドル/スペイン| |||<就任>サンサルバドル暫定管理者「ホセ・アントニオ・マリア・デ・アギラル」(~1793年)
1791年 06:00|アメリカ/スペイン| |||<就任>スペイン領ルイジアナ植民地総督「フランシスコ・ルイス・デ・エクトル・デ・カロンデレト」(~1797年)
1791年 06:00|アメリカ| |||チョロキ族とアメリカがホリトン条約を締結
1791年1月 03:00|仏領ギアナ/フランス| |||<就任>ギアナ暫定知事「Henri Benoist」(1期目~17920923)
1791年1月5日-01:00|ボスニア・ヘルツェゴビナ/トルコ| |||<就任>ボスニア総督「コ・ユースフ・パシヤ」(~3.9)
1791年1月8日-09:00|日本| ||寛政2年12月4日<死去>2代吉田文三郎(59歳)人形浄瑠璃の人形遣い
1791年1月11日-01:00|ベルギー| |||<就任>リエージュ大司教「セザール・コンスタンタン・フランソワ」(2回目~17920603)
1791年1月12日-01:00|オーストリア/ベルギー/フランス| |||オーストリア軍がリエージュを占領
1791年1月12日-01:00|ベルギー/オーストリア| |||リエージュがオーストリアに占領される(~17921128)
1791年1月13日-01:00|フランス| |||フランス「動産家屋税」設定
1791年1月22日 00:00|シエラレオネ/イギリス| |||<就任>グランビル・タウン開拓地監督官「アレクサンダー・ファルコンブリッジ」(~17920310)
1791年1月22日 00:00|シエラレオネ/イギリス| |||セント・ジョージズ・ベイ会社が特許状をえてシエラレオネ会社となる/元とは違う場所にグランド・ビル・タウン再建
1791年1月28日-09:00|日本| ||寛政2年12月24日|幕府が朝鮮人参の栽培および売買を自由化する
1791年2月3日-09:00|日本|群馬県甘楽郡甘楽町|寛政3年|上野小幡藩、藩校・小幡学校を設立
1791年2月3日-09:00|日本|福島県白河市|寛政3年|陸奥白河藩校「立教館」を設置
1791年2月3日-08:00|中国| ||清・乾隆56年|曹雪芹の「紅樓夢」(後人が手をくわえた大部版)が刊
1791年2月3日-09:00|日本| ||寛政3年1月<刊行>山東京傳,洒落本三部作「仕懸文庫」「娼妓絹籠」「錦之裏」/版元、屋重三郎
1791年2月3日-09:00|日本| ||寛政3年1月<出版>下河辺拾水「絵本千代の松」(浮世絵)
1791年2月3日-09:00|日本| ||寛政3年1月<出版>北尾重政「絵本福寿草」(浮世絵)

1800迄 (2827件)

1791年2月3日-09:00|日本| ||寛政3年1月|<出版>北尾政美「絵本纂怪興」(浮世絵)
1791年2月13日 10:00|ボリネシア| ||<就任>ツィエ諸島統治者「Vai ra'a toa Tu Pomare1世」(~18030903死去)
1791年2月15日-02:00|トルコ| ||<就任>オスマン帝国大宰相「コ・ユフ・パ・シャ」(2期目~17920504)
1791年2月25日 06:00|アメリカ| ||アメリカ、第1合衆国銀行法が成立
1791年2月27日-09:00|日本| ||寛政3年1月25日|幕府が、湯屋での男女混浴を禁止
1791年3月 06:00|ベリーズ/イギリス| ||<就任>ベリーズ 居留地管理者(ジャマイカの知事に従属) 代行「治安判事政府:トマス・ホッツ(主任治安判事)」(~1797年1月)
1791年3月1日 04:00|フォークランド/スペイン| ||<就任>スペイン領フォークランド 諸島司令官・総督「Pedro Pablo Sanguineto」(1期目~17920301)
1791年3月2日-01:00|フランス| ||フランスの通信技術者クロード・シャップ (28) が、腕木式通信機器シャップ・テレグラフを発明
1791年3月2日-01:00|フランス| ||フランス「ダルト 法」により、営業や職業の自由が承認され、「コレクシオン(同業組合、宣誓ギルド)」が禁止される/労使関係を統制する制度的手段がなくなる
1791年3月3日 06:00|アメリカ| ||アメリカで、ウイスキー税法が実施される、ウイスキーを代表とする日用品に物品税課税
1791年3月3日 06:00|アメリカ| ||アメリカでコロンビア特別区設置される
1791年3月4日 06:00|アメリカ| ||<加盟>ニューヨーク植民地(残部)とニューハンプシャー・グランツ(所有権が議論された)、バーモント共和国⇒アメリカ合衆国バーモント州(14番目)
1791年3月9日-01:00|ボスニア・ヘルツェゴビナ/トルコ| ||<就任>ボスニア総督「ハチ・サリフ・パ・シャ」(2回目~17921230)
1791年3月9日-01:00|フランス/ハイチ| ||カプ・フランソワの当局、捕らえた反乱軍兵士全員を絞首刑、オジェとシャボンヌは公共広場で撲殺
1791年3月10日 00:00|イギリス| ||<死去>2代ストラフォード 伯「ウィリアム・ウェントワース」
1791年3月10日 00:00|イギリス| ||<就任>3代ストラフォード 伯「フレデリック・トマス・ウェントワース」(~17990807死去)
1791年3月15日-01:00|フランス| ||フランス保護関税設定
1791年3月15日 04:00|マルティニーク/フランス| ||<就任>フランス領マルティニーク知事「Jean-Pierre Antoine」(~17930203)
1791年3月16日 08:00|ビトゲン諸島/イギリス| ||英国大尉によってデューシー島再発見
1791年3月23日-01:00|オランダ| ||オランダの女権論者エッパ・バムが女性団体「真実の友同盟」を結成
1791年3月23日 00:00|イギリス| ||イギリスのトマス・ペインが、「人間の権利」を出版してフランス革命を支持
1791年3月24日 00:00|シエラレオネ| ||<就任>パナ諸島首長「ウィリアム・クリーブランド」(~1797年没)
1791年4月1日-01:00|サンマリノ| ||<就任>サンマリノ共和国執政「フランチェスコ・ジヤニニ」「アンティモ・メロニ」
1791年4月1日-01:00|オーストリア| ||<初演>フアン・ヨゼフ・ハイドン《交響曲第95番ハ短調》
1791年4月2日-01:00|フランス| ||<死去>政治家ミラボーが急病死(ラファエイトとともに「人権宣言」を起草した「国民議会」の指導者、国王との裏取引で革命の急進化を阻止)
1791年4月9日-09:00|日本|千葉県成田市|寛政3年3月7日|<交替>下総高岡藩1万石「井上正国」隠居⇒甥「井上正紀」が継ぐ(⇒文化3(1806)年10月13日、死去)
1791年4月12日-08:00|マレーシア/イギリス| ||ゲダの سلطان によるペナン奪還の試みは失敗しイギリス東インド会社がペナン島を獲得
1791年4月16日-09:00|日本|愛知県田原市|寛政3年3月14日|<死去>三宅康高(82歳)前三河田原藩主
1791年4月20日-01:00|オランダ| ||<就任>ベルゲン・オブ・スーム総督「グィルヘルム・ラントグラーフ・フォン・ヘッセン＝フィリップスタール」(~17941009)
1791年5月-02:00|エジプト/トルコ| ||<就任>オスマン帝国領エジプト総督「サフランボル・イェット・メフメット・パ・シャ」(~1794年9月)
1791年5月3日-02:00|リトアニア/ポーランド| ||ポーランドで、改革派がポーランド新憲法を可決/ポーランド王国とリトアニア大公国を合併
1791年5月3日-09:00|日本| ||寛政3年4月|<刊行>林子平「海国兵談」全16巻/海国日本の国防(海辺防備)の必要性を論じた
1791年5月10日 00:00|イギリス| ||<死去>3代オーキー女伯「メアリー・オブ・ライオン」
1791年5月10日 00:00|イギリス| ||<就任>4代オーキー女伯「メアリー・フィッツモリス」(~18311230死去)
1791年5月19日-02:00|リトアニア| ||<就任>リトアニア大元帥(首相) 代行「スタニスロフ・アス・ソルタス」(~17930507)
1791年5月22日-09:00|日本| ||寛政3年4月20日|<死去>2代山本利兵衛(49歳) 蒔絵師
1791年5月24日-09:00|日本|東京都墨田区|寛政3年4月22日|<大相撲>寛政3年4月場所[江戸本所回向院](~10日間)優勝(東大関(横綱))小野川, 8勝0敗1無勝負1休
1791年5月26日-05:30|インド/イギリス| ||マラーター軍が、イギリス東インド会社とともにティブを攻撃し、バンガロールを包囲
1791年6月-02:00|ルーマニア/ロシア| ||<就任>モルダヴィア総督「セルゲイ・ウザレヴィチ・ラシュカレフ」(モルダヴィアのデイウァンのロシア大統領~1792年)
1791年6月-01:00|ベルギー| ||<就任>ベルギー合衆国総督「マリー・クリスティーヌ・ヨハン・ヨゼフ・アントニア・エルツヘルツォーギン・フォン・オステルライヒ」、「アルバート・カシミール アウグスト・プリンツ・フォン・ザクセン＝テッシェン」(2回目~17921119)
1791年6月2日-09:00|日本| ||寛政3年5月|<出版>秋里籬島(竹原春朝斎の挿画)「大和名所図会」
1791年6月4日-09:00|日本|東京都|寛政3年5月3日|悪逆非道で名をはせた盗賊葵小僧獄門
1791年6月6日-05:30|インド| ||<就任>サチン国支配者(ナワブ)「アブドゥル・カリム・モハマト・ヤクト・カーン1世」建国(イギリス保護領~18020709没)
1791年6月6日 04:00|アンティグア・バブーダ| ||<就任>リワード・カリブ 諸島総司令官・総督代行「ジョン・ニュージエント」(2回目~17920102)
1791年6月7日-09:00|日本/アメリカ|和歌山県東牟婁郡串本町|寛政3年5月6日|米国商船「レディ・ワントン号」が和歌山紀伊大島に来航。交易は拒否

1800迄 (2827件)

1791年6月10日 04:00|チリ| |||アンデロシオ・オイグス総督、インコメンダと強制労働を廃止/インデイは奴隷身分から解放される

1791年6月11日-09:00|日本|兵庫県豊岡市|寛政3年5月10日|<交替>但馬豊岡藩15000石「京極高品」隠居⇒養子「京極高有」が継ぐ(⇒天保2(1831)年5月10日、隠居)

1791年6月12日-13:00|トカラ/イギリス| |||スノンは、英国のインド・インドワーズ大尉がHMSパンドラで訪れ、クレンス公爵島と名付けられた

1791年6月13日-01:00|フランス| |||フランスで国民志願兵の創設

1791年6月13日 05:00|エカトル/スペイン| |||<就任>スペイン領北総督・総司令官・大審問院長「ルイス・アントニオ・ムニョス・デ・グスマン・モンテロ・デ・エスピノサ」(~17990210)

1791年6月14日-01:00|フランス| |||フランス「国民議会」、「ル・シャブリエ法」(「団結禁止法」)を採択・制定/ブルジョワの利益擁護にたち、営業の自由に背反するとの理由で、労働者や職人の団結・請願・賃金協定を禁止/連帯にもとづく相互扶助などあらゆる種類の結社(アソシオン)禁止

1791年6月17日-01:00|オーストリア| |||<初演>ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト《アヴェ・ヴェーリム・コルプス》

1791年6月19日 00:00|イギリス/カナダ| |||イギリスでカナダ法が正式に成立/イギリス領カナダは東西2地域に分割される

1791年6月22日 22:00|フランス| |||深夜、逃亡中のフランス国王ルイ16世とマリー・アントワネットがヴァレンヌで逮捕される

1791年6月24日-02:00|南アフリカ/オランダ| |||<就任>オランダ領ケープ植民地コミッション代行(オランダ東インド会社)「ヨハン・アイザック・クレウス」(~17920703)

1791年6月24日 04:00|バルバドス/イギリス| |||<就任>イギリス領バルバドス元帥兼総督「David Parry」(2期目~17930722)

1791年7月 04:00|ボリビア/スペイン| |||<就任>ラパス総督補佐「ファン・マヌエル・アルバレス」(~1793年7月)

1791年7月12日-01:00|アルジェリア| |||<就任>アルジェのデイ「シディ・ハッサン3世」(~1798年6月)

1791年7月12日-09:00|日本|山口県萩市|寛政3年6月12日|<死去>長州藩369000石「毛利治親」(38歳)⇒長男「毛利斉房」が継ぐ(⇒文化6(1809)年2月14日、28歳で死去)

1791年7月15日 00:00|イギリス| |||<昇格>6代トローバ伯「チャールズ・ムーア」⇒初代トローバ侯(~18221227死去)

1791年7月16日-01:00|フランス| |||フランス穏健派「立憲君主派」の連合「フイヤン・クラブ」が、「ジヤコバン・クラブ」から分裂し1区にあった「フイヤン修道院」を新しい集会場として結成/国民衛兵司令官ラ・ Fayetteやアントワヌ・ピエール・シヨブ・マリー・バルベが指導/富裕市民と自由主義貴族を代表

1791年7月16日 05:00|タークス・カイコス諸島/イギリス| |||<就任>タークス・カイコス諸島代理人「Alexander Murray」(1期目~1799.7)

1791年7月17日-01:00|フランス| |||フランス「コルドリエ・クラブ」(人間と市民の権利の友人会)閉鎖

1791年7月17日-01:00|フランス| |||フランス、シャン・ド・マルス虐殺事件/シャン・ド・マルスの国王廃位デモで、国民衛兵が共和派約50名射殺

1791年7月17日-09:00|日本| |||寛政3年6月17日|<死去>松岡青蘿(52歳)俳人

1791年7月22日-09:00|日本|青森県弘前市|寛政3年6月22日|<死去>陸奥弘前藩46000石「津軽信明」(30歳)⇒8月28日、養子「津軽寧親」が継ぐ(⇒文化2(1805)年5月15日、7万石に高直し)

1791年7月24日 06:00|ホジユラス/スペイン| |||「レクシガルバ」がコマヤグア政府と統合され、ホジユラス州設立

1791年7月25日 00:00|イギリス| |||<死去>アントリム侯「ランダル・ウィリアム・マクトネル」

1791年7月25日 00:00|イギリス| |||<就任>2代アントリム女伯「アン・キャサリン・マクトネル」(~18340630死去)

1791年7月28日-01:00|フランス| |||フランス、鉱山の国有を宣言

1791年8月-01:00|フランス/ハイチ| |||ムラトも白人と離反、「南部平等軍団」を組織し南部や西部で反乱を開始。ミハイリスではムラトが黒人奴隷と連合して決起。ポルト・フランスから派遣された白人部隊を撃破

1791年8月4日-01:00|オーストリア/ロシア/トルコ| |||オスマンとロシア、オーストリアがツィシュツで戦闘

1791年8月5日-01:00|オーストリア/セルビア/トルコ| |||第2次ロシア・トルコ戦争に参戦していたオーストリアが、オスマン帝国とシストヴァ和約を結ぶ

1791年8月6日-01:00|ドイツ| |||ベルリンのブランテンブル門が完成

1791年8月14日-01:00|フランス/ハイチ| |||カリブ海のフランス植民地サン・ドマングで、ムラトや解放奴隷がフランス・トゥサンを指導者として反乱が起きる

1791年8月22日 05:00|ハイチ/フランス| |||フランス植民地サン・ドマングでブーカンに率いられた黒人蜂起開始。北部のプランテーションで数千人が決起し、農場を次々に焼き討ち。農園主は殺され、女は犯された後殺され、子供もみな殺し

1791年8月24日-01:00|セルビア/オーストリア| |||<就任>オーストリア軍セルビア総督「ウゲスト」男爵ヨハン・ネームク・カール・ゲラーフ・コロヴァート・クラフスキー」(~10.23)

1791年8月27日-01:00|フランス| |||フランス「選挙法」改正

1791年8月27日-09:00|日本| |||寛政3年7月28日|<死去>2代杵屋六三郎(82歳)長唄三味線方

1791年8月29日-09:30|オーストリア/イギリス| |||「バウンティ」号の反乱の起きた「バウンティ」の乗組員を逮捕したイギリス海軍のフリゲート「パンドラ」がトリス海峡付近のグレート・バリア・リーフの外縁に座礁し、翌日沈没。乗組員31人と「バウンティ」の囚人4人が死亡

1791年8月29日-08:00|中国/ネパール| |||清・乾隆56年8月|ゲルカ王朝が再びチベットに侵攻

1791年9月-01:00|セルビア/トルコ| |||<就任>オスマン帝国セルビア・ワリス「アブー・ベキル・パシャ」(1回目~1792年7月)

1791年9月1日-01:00|フランス/ハイチ| |||黒人奴隷の反乱はアクール、リンベ、フラベ・ユ、ルノルマンなど北部一帯に及ぶ/白人千人以上が殺され奴隷1万人も、農園主たちとともに殺される

1791年9月3日-01:00|イタリア| |||<就任>ジェノヴァ共和国ドージェ「ミケランジェロ・カンビアリ」(~17930903)

1791年9月3日-01:00|フランス| |||フランス「国民議会」(ラ・ Fayetteら)、フランス最初の憲法「1791年憲法」を採択/「人権宣言」

1800迄 (2827件)

はその前文/特徴は、国王を行政府の長とする立憲君主政、25歳以上の制限選挙、一院制の立法議会など
1791年9月3日-09:00|日本| ||寛政3年8月6日|大風雨で江戸・相模が高波、山崩れに襲われ、大被害をだす
1791年9月4日-02:00|ルーマニア| |||<就任>ワキ7総督・領主「ミハイ・コンスタンティン・スートゥ」(2回目~17930115)
1791年9月7日-09:00|日本|大分県玖珠郡玖珠町|寛政3年8月10日|<死去>豊後森藩12500石「久留島通祐」(54歳)⇒
弟「久留島通同」が継ぐ(⇒寛政10年8月10日(17980919)、死去)
1791年9月9日 06:00|アメリカ| |||コロンビア特別行政区内の名前がワシントンに決定
1791年9月10日-09:00|日本|千葉県成田市|寛政3年8月13日|<死去>井上正国(53歳)前下総高岡藩主
1791年9月11日-01:00|フランス/ハイチ| |||奴隷制の維持を狙うリベール、ペションら南部ムラト有力者は、黒人を裏切り白人と
の宥和を選ぶ。ポルト・フランスの白人支配層は、ムラト有力者たちとダミアン休戦協定を結ぶ
1791年9月11日-09:00|日本|福島県相馬市|寛政3年8月14日|<死去>相馬怒胤(58歳)前陸奥相馬中村藩主
1791年9月13日-01:00|フランス| |||フランス国王が立憲議会の憲法を承認
1791年9月13日-01:00|フランス| |||フランス南東部のアヴァニオン合併についての法令が出されアヴァニオンがフランスに併合され
る
1791年9月15日-09:00|日本|京都府亀岡市|寛政3年8月18日|<死去>丹波亀山藩5万石「松平信道」(30歳)⇒長男「松
平信彰」が継ぐ(⇒享和2(1802)年9月21日、死去)
1791年9月17日-09:00|日本|京都府京都市|寛政3年8月20日|<就任>関白「一条輝良」(~寛政7年10月14日)
1791年9月26日-05:30|インド| |||<就任>アルム国統治者「ラオ・ラジヤ」「バクタール・シン」(~18150127没)
1791年9月28日-01:00|フランス| |||フランス「農事基本法」により、農業活動に私的所有権の自由と不可侵性が盛り込ま
れ、土地所有者による耕作と経営の自由、家畜の飼育・囲い込みの自由などが定められる
1791年9月28日-09:00|日本|大阪府大阪市|寛政3年9月|<初演>「いろは假名、四十七訓」、六段目は<弥作の鎌腹>[
作・奈河七五三助]角の芝居
1791年9月30日-01:00|オーストリア| |||ヴァーン「アウ・デア・ヴァーデン座」でモーツァルトのホーラ[魔笛]初演
1791年9月30日-01:00|フランス| |||フランス「新憲法」(「1791年憲法」)制定の目標を達成して、「国民議会」が解散
1791年10月-01:00|フランス/ハイチ| |||カプ・フランスの白人農園主、押し寄せる反乱軍を激戦の末撃退。黒人1万が死亡、白
人側にも2千の死者を出す
1791年10月1日-01:00|サマリノ| |||<就任>サマリノ共和国執政「アントニオ・オノリ」「ジ・ローモ・パ・オ・ロニ」
1791年10月1日-01:00|フランス| |||フランス「新憲法」にもとづき、「立法議会」発足(~17920920)/議員数745人/国民衛兵
司令官ラファエットやバルナヴを指導者とする右派の「フヤン派」(穏健な立憲君主派)が250人と多数を占める/左派の「
ジャコバン派」は136人(のち穏健なゾロント県出身の議員が「ジ・ロント派」として分離)
1791年10月1日-09:00|日本|東京都|寛政3年9月4日|江戸で大嵐/高潮で洲崎一帯に大被害
1791年10月10日-09:00|日本| |||寛政3年9月13日|<死去>加舎白雄(54歳)俳人
1791年10月12日-09:00|日本|石川県加賀市|寛政3年9月15日|<死去>前田利精(34歳)前加賀大聖寺藩主
1791年10月14日-01:00|フランス| |||フランス「立法議会」、「公教育委員会」を設置
1791年10月14日 00:00|アイルランド| |||アイルランドでプロテスタントの弁護士ウォルフォートン(28)らが民族運動組織「ナイツ・オブ・アイ
エツィン」結成
1791年10月31日-01:00|フランス| |||フランス亡命貴族処罰法が制定/亡命貴族の財産没収が決められる
1791年10月31日 06:00|アメリカ| |||フィラデルフィアでフィリップ・フラーがナショナル・ガゼット紙を創刊
1791年11月4日-11:30|ノーフォーク島/オーストラリア| |||<就任>ノーフォーク島副知事「Philip Gidley King」(2回目~17961022)
1791年11月4日 06:00|アメリカ| |||セント・クラア将軍、ネイティヴ・アメリカ人に敗北
1791年11月5日-07:00|日本|大阪府大阪市|寛政3年10月10日|<大坂寛政3年の大火「伏見屋火事、堀江・島の内焼」>
八つ時(午前2時ごろ)南堀江伏見屋四郎兵衛町の紺染め屋から出火、東北の方角へと延焼、東は幸橋から橋通り
まで西は横堀まで北は瓶橋まで焼失/その後、北堀江へと炎は移り御池通り四丁目も焼失/あみだ池南門前筋東
へと炎は延び同三丁目を長堀まで焼いた後、炎は四つ橋あたりを一面に包んだ。この炎はうなぎ谷堺筋へと飛
び火し、これらの火口が一緒になって東堀西浜側まで延焼、翌日朝、卯の下刻(7時ごろ)ようやく火が消えた/32
人死亡、町数で87町、家数では2010軒、世帯数にして1万3380余が焼失。そのほか土蔵277カ所、穴蔵24カ所、道場9
カ寺などが全焼
1791年11月7日-09:00|日本|滋賀県野洲市|寛政3年10月12日|<死去>遠藤胤忠(60歳)前近江三上藩主
1791年11月9日-01:00|フランス| |||フランス、亡命者処刑法が成立
1791年11月11日-09:00|日本| |||寛政3年10月16日|<死去>栗田口慶羽(69歳)画家
1791年11月17日 05:00|ジャマイカ/イギリス| |||<就任>英領サティアコ総督代行「アダム・ウリアムソン」(~17950429)
1791年11月19日 00:00|イギリス| |||<死去>3代エフィンガム伯「トマス・ハワード」
1791年11月19日 00:00|イギリス| |||<就任>4代エフィンガム伯「リチャード・ハワード」(~18161211死去)
1791年11月21日-01:00|フランス/ハイチ| |||ポルト・フランスでも下層白人が黒人反乱軍を押し返し、主導権を握る。ポルト
フランスと南部の白人勢力は、ムラトとの同盟を破棄し権力より排除
1791年11月24日-09:00|日本|大阪府大阪市|寛政3年10月29日|<死去>初代中村歌右衛門(78歳)歌舞伎役者
1791年11月26日-09:00|韓国/朝鮮| |||朝鮮・乾隆56年11月|李氏朝鮮がキリスト教を弾圧し洋書の所持を禁止
1791年11月28日-09:00|日本|滋賀県大津市|寛政3年11月3日|<死去>堀田正富(42歳)前近江堅田藩主
1791年11月29日-01:00|フランス| |||フランス宣誓忌避僧侶に「公民宣言」を要求する「法令」が成立
1791年11月29日 05:00|ハイチ/フランス| |||<就任>フランスのサント・ミンゴ 弁務官「フレデリック・ド・ミルベック」(~17920401)、「フィリップ
・ローズ・ル・ム・ド・サンローラン」(1回目~17920918)
1791年11月30日-09:00|日本|長野県伊那市|寛政3年11月5日|<死去>信濃高遠藩33000石「内藤長好」(23歳)⇒養子
「内藤頼以」が継ぐ(⇒文政3(1820)年、隠居)

1800迄 (2827件)

1791年12月-01:00|フランス/ハイチ| |||ポルト＝フランスでブティ＝ブランが有色人を大虐殺
1791年12月3日-09:00|日本|福井県敦賀市|寛政3年11月8日|<死去>酒井忠香(77歳)前越前敦賀藩主
1791年12月4日 00:00|イギリス| |||イギリスで世界初の日曜版新聞「オブザバー」創刊
1791年12月5日-01:00|オーストリア| |||<死去>オーストリアの天才作曲家ヴォルフガング＝モーツァルトがウィーンに流行していた悪性のチフスにかかって/35歳(誕生:17560127)毒殺説などもある
1791年12月5日 00:00|イギリス| |||<死去>3代オ＝フォード 伯「ジョージ・ウォルポール」
1791年12月5日 00:00|イギリス| |||<就任>4代オ＝フォード 伯「ヘレイン・ウォルポール」(~17970302死去断絶)
1791年12月12日 06:00|アメリカ| |||アメリカ、合衆国銀行(国立銀行)が開設される
1791年12月14日-01:00|フランス| |||フランスで北方軍、中央軍、ライン軍の編成
1791年12月15日 06:00|アメリカ| |||アメリカで、言論・出版・集会の自由など民権を推進する連邦憲法修正第1～第10条(権利章典)が発効
1791年12月16日-01:00|イタリア| |||ベネチアで通訳官学校創設
1791年12月17日-05:30|インド| |||<再任>サハヌール(ミヤ朝)太守「Diler Abdul Hakim Khan1世」(~17940220死去)
1791年12月21日-09:00|日本|高知県|寛政3年11月26日|<死去>山内豊彦(70歳)前土佐新田藩主
1791年12月26日 06:00|カタール| |||カタール法が発効し、ケベックがイギリス系とフランス系に分割される
1791年12月28日-09:00|日本|東京都墨田区|寛政3年12月4日|<大相撲>寛政3年11月場所[江戸本所回向院](11.15~10日間)優勝:(東大関(横綱))小野川,8勝0敗1預1休
1792年-06:00|ブータン| |||<就任>ブータン摂政「ウセーイ・チャプ・チャプ」(~同年没)⇒「タシ・ナムギヤル」(1回目~1799年)
1792年-05:30|インド| |||<建国>ウディン
1792年-05:30|インド| |||<死去>オカラサ朝(クルワイ、バソダ、モハマトガル)太守「Mohammed Hormat Khan」
1792年-05:30|インド| |||<就任>アッサム国ラジャ「ハラタ・シン・マハリ」(1回目~1793年)
1792年-05:30|インド| |||<就任>アジャガル国ラジャ「ハフト・シン」(1回目~1793年)
1792年-05:30|インド/アフガニスタン| |||<就任>アフガニスタン・カシミール総督「ミルザ・カーン」(~1793年)
1792年-05:30|インド| |||<就任>オカラサ朝(クルワイ、バソダ、モハマトガル)太守「Akbar Mohammad Khan」(~1839年死去)
1792年-05:30|インド| |||<就任>クルヌール国支配者(ナワブ)「アルフ・カーン」(~1815年)
1792年-05:30|インド| |||<就任>クルワイ国支配者(ナワブ)「アクバル・モハマト・カーン」(~1839年没)
1792年-05:30|インド| |||<就任>ゴンダル国統治者(タル・サヒブ)「ダジ・バイ・ムルジ」(~1800年没)
1792年-05:30|インド| |||<就任>スルグジャ国ラジャ「アジット・シン・デオ」(~1799年)
1792年-05:30|インド| |||<就任>パロダ国統治者(セナ・カス・ケル)「マナジ・ラオ・ケーケワール」(~17930727)
1792年-05:30|インド| |||<就任>ホール国統治者(パント・サフ)「ハジ・モレシュワール」(~1793年)
1792年-05:30|インド| |||<就任>ホンチ国ラジャ「アガル・カーン」(~同年)⇒「ハハート・ウル・カーン」(~1798年没)
1792年-05:00|パキスタン/オマーン| |||ゲワダルをマスカットとオマーンが占領
1792年-04:30|アフガニスタン| |||<即位>バクタフジャン・ハン「ミール・モハメッド・シャー」(~1822年)
1792年-04:00|アゼルバイジャン| |||<死去>バク汗国ハン「ムハンマト・クルリー・ハン」
1792年-04:00|ジョージア| |||<就任>ゲリア公「ウァフタンク」2世」(~1797年)
1792年-04:00|アゼルバイジャン| |||<就任>シャマ汗国ハン「ムスタファ・ハン」(1回目~1820年)
1792年-04:00|アゼルバイジャン| |||<就任>バク汗国ハン「フサイン・クルリー・ハン」(1回目~1797年)
1792年-03:00|スーダン| |||<即位>フンジ・スルタン国スルタン「バ＝デ 16世イブン・ターブル」(1回目~1798年)
1792年-03:00|エチオピア| |||<即位>ソスワニ・スルタン国スルタン「アブトウツラ1世」(2回目~1796年)
1792年-03:00|サウジアラビア| |||シャバール・シャマル王国がティリヤに併合(~1818年)
1792年-02:00|シリア/アラブ/トルコ| |||<就任>アレクソ・ワリス(総督)「Qilici Osman Pasha」(~同年)⇒「Osman Pasha」(~同年)⇒「Ibrahim Aga Kara Agazi」(~同年)
1792年-01:00|ポーランド| |||<就任>オレシツァ公「フリードリヒ・アウグスト」カール・クリスティアン・エルドマンの一人娘フリーデリケ・ソフィーと結婚(~1805年)
1792年-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン領セウタ総督「Jose de Urrutia y las Casas」(~1793年)
1792年-01:00|ベナン| |||<即位>アラダのフォン王国国王「カンワ」(~1842年没)
1792年-01:00|アルジェリア| |||<即位>トケルト・スルタン「イブラヒム2世」(~1804年)
1792年-01:00|カメルーン| |||<即位>ホナンジョ王国国王「ベル1世ベベ・ベル」建国(~1848年没)
1792年 00:00|ギニアビサウ/ポルトガル| |||<就任>ビサウ司令官代行「トミンゴス・デ・ベイガ・エスコシオ」(1回目~17930504)
1792年 00:00|シエラレオネ| |||<即位>カプ・ロム国王「ハ・サマ」(~1813年頃)
1792年 00:00|モロッコ| |||<即位>モロッコ(北東部で反乱)スルタン「マヌマ・イブン・ムハンマト」(~1799年)、大宰相「モハマト・ビン・ウタマン」
1792年 04:00|モントセリト/イギリス| |||<就任>イギリス植民地モントセリト大統領「Richard Iles」(~1798年)
1792年 04:00|セントルシア/イギリス| |||<就任>イギリス領セントルシア総督代行「モントノワ」ランガー⇒代行「ピエール・ジャック・フルラン・ト・ラ・ロケト・モン・エイ」(~)
1792年 04:00|トリニダード・トバゴ/フランス| |||<就任>トバゴ知事「フィリップ・マリー・ド・マルゲナ」(~1793年)
1792年 05:00|ハイチ/フランス| |||<就任>フランスのサント＝ミゴ 総督「ラ＝サール侯、オフェン伯エイドリアン・ニコラス」(~同年)
1792年 06:00|アメリカ/スペイン| |||<就任>スペイン領フロリダ 植民地総督「カルロス・ハワード」(~1793年)
1792年-02:00|エジプト| |||エジプトでペスト流行、死者約80万人
1792年1月2日 00:00|イギリス| |||<死去>サマセット公「エドワード・シーモア」
1792年1月2日 00:00|イギリス| |||<就任>サマセット公「ウェッジ・シーモア」(~17931215死去)
1792年1月2日 04:00|アンティグア・バ＝ブータン| |||<就任>リーワード・カリブー諸島総司令官・総督「ウィリアム・ウットリー」(2回目~1

1800迄 (2827件)

7930602)

1792年1月9日-04:00|ロシア/トルコ| ||ロシア暦1791年12月29日|オスマン帝国とロシアがヤシ条約を結び、第2次ロシア・トルコ戦争が
終結
1792年1月13日-09:00|日本|岡山県浅口市|寛政3年12月20日|<死去>池田政方(79歳)前備中鴨方藩主
1792年1月20日 00:00|イギリス| ||<死去>6代ノースフォーク伯爵「ジョージ・カーズ」
1792年1月20日-07:00|日本|愛媛県西条市|寛政3年12月27日|小松藩領西町より出火し、本家21軒、納屋11軒焼失
1792年1月24日-09:00|日本| ||寛政4年|<出版>喜多川歌麿「寛政の三美人」と呼ばれる浮世絵(美人大首絵)
1792年1月24日-09:00|日本|新潟県柏崎市|寛政4年|<交替>越後椎谷藩1万石「堀著朝」隠居⇒養子「堀直起」が継ぐ
(⇒文化4年12月23日(18080120)、死去)
1792年1月24日-09:00|日本|山口県岩国市|寛政4年|<交替>周防岩国藩6万石「吉川経倫」隠居⇒長男「吉川経忠」が
継ぐ(⇒享和3年5月30日(18030718)死去)
1792年1月24日-09:00|日本| ||寛政4年1月|<出版>下河辺拾水「忠孝曾我物語」(浮世絵)
1792年1月24日-09:00|日本| ||寛政4年1月|<出版>喜多川歌麿「絵本銀世界」「絵本普賢像」「絵本和歌夷」(浮世絵
)
1792年1月24日-09:00|日本| ||寛政4年1月|<出版>窪俊満・堤等琳等の画く「狂歌桑之弓」
1792年2月3日-07:00|オーストリア| ||<即位>ルンペン王「アムル」(1回目⇒タイが占領~17940602)
1792年2月7日-01:00|オーストリア/ドイツ| ||オーストリアとプロシアが第1次対仏同盟を結ぶ
1792年2月12日-09:00|日本| ||寛政4年1月20日|<死去>加藤暁台(61歳)俳人
1792年2月14日-05:30|インド/イギリス| ||(6日~)<シュリーランガパトケ包囲戦>マイソール王国はイギリス、マラーター王国、ニザーム王国
の軍にシュリーランガパトケを包囲され、マイソール王国軍は2万人の死者を出した
1792年2月15日-09:00|日本|東京都千代田区|寛政4年1月23日|幕府が多紀氏の躰寿館を官学とし医学館と改称
1792年2月22日-09:00|日本| ||寛政4年春|司馬江漢がアムステルダム版の世界地図をもとに、初の銅版世界地図「輿地
全図」を作成
1792年2月23日 00:00|イギリス| ||<死去>画家ジョシュア・レーノルス/68歳(誕生17230716)
1792年2月23日 00:00|モロッコ| ||<死去>アラウィー朝スルタン「ムレイ・ヤスィード」42歳
1792年2月23日 00:00|モロッコ| ||<即位>アラウィー朝スルタン「ムレイ・スライマン」ムハンマド3世の息子(~18221128死去62歳)
1792年2月23日-09:00|日本|金沢大学|寛政4年2月2日|金沢藩、文学校明倫堂を設立
1792年2月24日-01:00|フランス| ||フランスが羊毛、麻、皮革などの輸出を禁止
1792年2月27日-01:00|アルジェリア/スペイン| ||スペインがオランを放棄
1792年2月28日-01:00|スペイン| ||<就任>スペイン王国国家主席補佐官代理「Pedro Pablo Abarca de Bolea y Xime
nez de Urrea」(~17921115)
1792年2月28日 00:00|シエラレオネ/イギリス| ||ノアスコアからの入植者を乗せた船団の最初の船が到着/フリータウン建設
1792年2月29日-01:00|アルジェリア/スペイン/トルコ| ||スペインがマダガスカルを放棄、オスマン帝国の支配が回復
1792年3月1日-01:00|ドイツ/オーストリア/チェコ/フランス/ハンガリー/クロアチア/ベルギー/オランダ/ルクセンブルグ/イタリア| ||<死去>神聖ローマ
皇帝「トイツ」レオポルト2世」兼ハンガリー国王「リポート2世」兼クロアチア王「ボヘミア王」レオポルト2世」兼オーストリア大公・ブラント公・エ
ノー伯・フランドル伯「レオポルト1世」兼ルクセンブルク公・ブルゴニュ公・カラリア公(ホーリ王の推定相続人の称号)・アルトリ伯「レオポ
ルト」44歳(誕生17470505)
1792年3月1日-01:00|オーストリア/ハンガリー/デンマーク/オランダ/クロアチア/チェコ/ベルギー/フランス| ||<即位>オーストリア大公「フランツ2世」
兼ハンガリー国王「フェルディナンド1世」兼クロアチア王「フランシス1世」兼ボヘミア王「フランティšek1世」兼アルトリ伯・フランドル伯「フランツ2世」(~18350
302死去)兼ブラント公「フランツ1世」(~1793年)兼ブルゴニュ公「フランツ」(~1795年)リポート2世の長男
1792年3月1日 04:00|フォークランド/スペイン| ||<就任>スペイン領フォークランド諸島司令官・総督「Juan Jose de Elizalde y
Ustariz」(2期目~17930201)
1792年3月1日 06:00|アメリカ| ||アメリカで大統領継承法、成立
1792年3月3日-01:00|フランス| ||パリ南方約48kmにあるエタン市に、近郊農村から農民が押しかけ、小麦粉の価格統
制を要求して小競り合いとなり、市長シノが殺害される
1792年3月6日-01:00|アルジェリア/トルコ| ||オランがオスマン帝国に再編入
1792年3月7日 00:00|イギリス| ||イギリス王立天文学会結成
1792年3月10日 00:00|シエラレオネ/イギリス| ||<就任>イギリス領フリータウン開拓地監督官「ジョン・クレーキン」(~8月)
1792年3月11日 00:00|モロッコ| ||<即位>モロッコ・スルタン「アブ・ラヒ・スレイマン」(1795年1月までファスのみ~18221128没)
1792年3月13日-04:00|オスマン| ||<死去>アルサイト王朝イマム「ハマト・ビン・サイード」
1792年3月18日-05:30|インド/イギリス| ||コチン国はイギリス保護領(18090506条約により確認)
1792年3月18日-05:30|インド/イギリス| ||マイソール・スルタン朝(マイソール王)ティプー・スルタンティプー・スルタンは敗北を認め、マラーター
軍、東インド会社軍との間にシュリーランガパトケ条約を結んだ。トラヴァンコール王国、コチン王国などを除くケララ地方全域をは
じめとするマイル王国の約半分の領土と、多額の賠償金の支払いを約束
1792年3月18日-04:00|オスマン| ||<即位>アルサイト王朝スルタン「スルタン4世ビン・アフマト」(~18041117没)
1792年3月20日-01:00|フランス| ||(~31日)パン価格騰貴のため、フランス各地で暴動が起こる
1792年3月21日-09:00|日本|愛知県田原市|寛政4年2月29日|<死去>三河田原藩12000石「三宅康邦」(29歳)⇒4月4
日、弟「三宅康友」が継ぐ(⇒文化6年3月20日(18090504)、46歳で死去)
1792年3月23日-01:00|オーストリア| ||ハイドンの交響曲第94番「驚愕」が初演
1792年3月23日-01:00|フランス| ||フランス「左派」で「主戦派」の「ジロンド派」内閣(フランス南西部ジロンド県出身の有力議員
が中心、首班ジャック・ピエール・ブリッソー)が「フィヤン派」内閣に変わって成立(~6月13日)
1792年3月24日-08:00|インドネシア| ||<死去>ジャバジャカルタ・スルタン「Hamengkubuwono1世」

1800迄 (2827件)

1792年3月24日-01:00|フランス| ||フランス「植民地」の有色自由民に「市民権」を付与
1792年3月28日-01:00|フランス| ||アントワヌ・ジョセフ・ド・ブルニョントレカストがフランスのためにアムステルダムとサンポール諸島を領有宣言
1792年3月29日-01:00|スウェーデン| ||<死去>スウェーデン王国国王「ゲスタフ3世」16日に狙撃された傷がもとで/46歳(誕生17460114)
1792年3月29日-01:00|スウェーデン| ||<即位>スウェーデン王国国王「ゲスタフ4世アドルフ」(~18090510~18370207死去58歳)
1792年4月1日-01:00|サンマリノ| ||<就任>サンマリノ共和国執政「ジュリアーノ・ゴジ」「ジョヴァンニ・フィリッピ」
1792年4月2日-08:00|インドネシア| ||<即位>ジョグジャカルタ・スルタン「Hamengkubuwono2世」(~18101231)
1792年4月2日 06:00|アメリカ| ||アメリカ合衆国で貨幣製造法制定
1792年4月2日 06:00|アメリカ| ||アメリカ合衆国で合衆国造幣局、設立される
1792年4月13日-05:30|インド| ||<即位>ジョートプル国マハラジャ「ビーム・シン」(反乱中~17930320)
1792年4月20日-01:00|フランス/オーストリア| ||フランス、オーストリアに宣戦布告
1792年4月20日 00:00|イギリス| ||<死去>2代メイヨー伯「ジョン・ホーク」
1792年4月20日 00:00|イギリス| ||<就任>3代メイヨー伯「ジョセフ・デイン・ホーク」(~17940820死去)
1792年4月23日-09:00|日本|奈良県大和郡山市|寛政4年3月3日|<死去>柳沢信鴻(69歳)前大和郡山藩主
1792年4月25日-01:00|フランス| ||ギロチンによる初めての処刑が行われる/死刑囚はニコラ・ジャック・ペルティエという辻強盗傷害事件の犯人
1792年4月25日 22:00|フランス| ||ストラブールにて深夜、公兵大尉クロード・ジョセフ・ルジエ・ド・リールが「ライン軍の為の軍歌」を書き上げる<フランス国歌「ラ・マルセイエーズ」の誕生>
1792年4月29日-01:00|オーストリア/フランス| ||ピロン將軍の軍勢はヴァレンシエンヌから前進したがモン(ケレン)でオーストリアのボーリュール將軍に敗北/リールから前進したデイロン將軍はトゥルネーでハッポ・ンコート將軍に敗れデイロン將軍は混乱の中、味方の兵隊に殺された
1792年4月29日 00:00|イギリス| ||<死去>3代アナンデイル侯「ジョージ・ヴァンデーン・ベント」廃絶
1792年4月29日 00:00|イギリス| ||<就任>5代アナンデイル=ハートフェル伯・第3代ホフ・トン伯「ジョームズ・ホフ=ジョンストン」(~18160529死去)
1792年4月29日 22:00|フランス| ||公兵大尉クロード・ジョセフ・ルジエ・ド・リール作「ライン軍の為の軍歌」<フランス国歌「ラ・マルセイエーズ」の限局>一般に披露
1792年4月30日 00:00|イギリス| ||<死去>4代サントウィッチ伯「ジョン・モンタギュー」
1792年4月30日 00:00|イギリス| ||<就任>5代サントウィッチ伯「ジョン・モンタギュー」先代の息子(~18140606死去)
1792年5月-02:00|ルーマニア| ||<就任>モルダヴィア総督「アレクサンドル・コンスタンティン・モルジ」(1回目~17930104)
1792年5月 22:00|フランス| ||フランス革命政治家マキシミリアン・ド・ロベスピエール、週刊新聞「憲法の擁護者」を発刊
1792年5月2日 06:00|アメリカ| ||株式仲買人が、ウォール街にニューヨーク株式取引所を設立
1792年5月3日-01:00|ドイツ| ||(~5.4)<初演>J. S. バッハ《交響曲第97番ハ長調》
1792年5月4日-02:00|トルコ| ||<就任>オスマン帝国大宰相「タマト・メフメト・パシャ」(~17941019)
1792年5月4日-09:00|日本|秋田県秋田市|寛政4年3月14日|出羽久保田藩(佐竹義明)、藩校「学館」(文化8年「明德館」と命名)開講
1792年5月8日 06:00|アメリカ| ||アメリカ議会、民兵法案を可決
1792年5月14日-09:00|日本|茨城県笠間市|寛政4年3月24日|<交替>常陸笠間藩8万石「牧野貞長」隠居⇒長男「牧野貞喜」が継ぐ(⇒文化14(1817)年10月21日、隠居)
1792年5月14日-09:00|日本|東京都千代田区|寛政4年3月24日|<大相撲>寛政4年3月場所[江戸神田明神](10日間)優勝:(西大関(横綱))谷風, 8勝0敗2休
1792年5月16日-01:00|イタリア| ||ベネチアでフェニーチェ座(現存)創設
1792年5月17日 06:00|アメリカ| ||ニューヨークの「すずかけの木」の下で株取り引きが始まる/ウォール街の始まり
1792年5月19日 04:00|プエルトリコ/スペイン| ||<死去>プエルトリコ知事兼提督「Miguel Antonio de Ustariz」
1792年5月19日 04:00|プエルトリコ/スペイン| ||<就任>プエルトリコ知事兼提督代理「Francisco Torralbo Robles」(2期目~17930310)
1792年5月19日-01:00|ポーランド/ロシア| ||ロシア暦5月8日|ロシア軍がポーランドに進駐
1792年5月21日 11:00|日本|長崎県島原市|寛政4年4月1日|<四月朔地震>西の刻過ぎ(20時ごろ)強い地震が2回島原を襲い、直後眉山が大崩壊して有明海に突入、約9mの大津波を3回起こした「島原大変」. 1万139人死亡、家屋流失3347棟、土蔵流失、破損308棟、神社流失23か所、寺流失16か所、船流失、破損582隻、橋流失56か所/大津波は対岸の肥後藩領や南方の天草諸島を襲った「肥後迷惑」. 肥後では4653人死亡、家屋流失2252棟、寺社流失各1か所、船流失、破損1000隻以上となり、天草諸島では343人死亡、家屋流失725棟、土蔵流失2棟、船流失、破損67隻、橋流失11か所/肥前佐賀藩領18人死亡、家屋流失59棟、橋流失5か所などの大被害
1792年5月27日-01:00|フランス| ||フランス「近衛隊」を解散させる
1792年6月 00:00|ギニアビサウ/イギリス| ||イギリスがボマ島に入植(~11.29)
1792年6月1日 06:00|アメリカ| ||<加盟>バージニア州ケンタッキー郡(州の同意で分離)⇒アメリカ合衆国ケンタッキー州(15番目)
1792年6月3日-01:00|ベルギー| ||<就任>リエージュ大司教「コワ伯爵アレクサンドル・コンスタン・ジョセフ・ド・ナッソー」(~8.16)
1792年6月3日 04:00|BES諸島/オランダ| ||<就任>セント・ユスティウス島知事代理「Johannes Runnels」(2期目~17950712)
1792年6月11日-01:00|オーストリア/フランス| ||ラファイエットの前衛部隊(ゲーヴァン將軍の4000人)がモーズジュ近くのラケリシェールでオーストリアのクレアファイト將軍1万人の攻撃を受けて敗北、ゲーヴァン將軍は戦死
1792年6月13日-01:00|フランス| ||フランスで国王がジロント派の大臣を罷免

1800迄 (2827件)

1792年6月15日-01:00|フランス| |||フランスで内閣改造が行われ、ジロント派議員が罷免される/フィヨン派内閣が成立
1792年6月16日-09:00|日本|長崎県島原市|寛政4年4月27日|<死去>肥前島原藩65000石「松平忠恕」(53歳)⇒六男「松平忠馮」が継ぐ(⇒文政2(1819)年1月28日、死去)
1792年6月18日-04:00|モリスヤス/フランス/レユニオン/セイシェル| |||<就任>マスカリン諸島総督「マテティック伯アン・ジョセフ・イェリット・ド・ムーアス」(~18000728没)
1792年6月18日-01:00|フランス| |||フランスで土地に関する臨時的権利廃止
1792年6月19日-09:00|日本|山口県下関市|寛政4年5月|長門府中藩、藩校・校敬業館を設立
1792年6月20日-01:00|フランス| |||フランス「フォーブル・サン＝タントワス」(12区)と「フォーブル・サン＝マルソー」(5区「ムタル通り」あたり)から来た2万の愛国市民、「チュイリ＝宮殿」(1区)になだれ込み、フランス王ルイ16世に「共和国頭巾」(赤い「フリギア帽」)をかぶせ、引き上げる
1792年6月24日-01:00|フランス| |||フランスで羊毛の輸出禁止が緩和される
1792年7月-01:00|セルビア/トルコ| |||<就任>オスマン帝国セルビア・ワリス「メフメド・アリ・パシャ」(~11.26)
1792年7月 00:00|ガーナ/デนมาร์ク| |||<就任>デนมาร์ク領ゴールド＝コースト総督「アントワニス・ハー」(17930125まで代行~17930630)
1792年7月 04:00|グレタ/イギリス| |||<就任>グレタ総督代行「サミュエル・ウィリアムス」(2回目~17930128)
1792年7月3日-02:00|南アフリカ/オランダ| |||<就任>オランダ領ケープ植民地司令官(オランダ東インド会社)「セバスチャン・コルネリス・ネーダーハウ」(サイモン・ヘンドリック・フリケウス」(~17930902)
1792年7月4日-09:00|日本|大阪府大阪市|寛政4年5月16日|<大坂寛政4年中船場大火「惣嫁火事」>子の刻(午前0時ごろ)西横堀の七郎衛門町二丁目から出火、船場北脇の高麗橋からすぐの今橋筋、過書町、梶木町、北浜へと延焼して残らず焼け、大店の三井呉服店・両替店、鴻池もおしなべて半ば類焼/その後中之島へ飛び火し天満へと延焼、天神社から東天満の寺でらや組屋敷、市の側(天満浜側筋)の天神橋も半ば焼け落ちた/船場の南側は御霊社から道修町あたりまでが火の海となった/翌日申の刻(16時ごろ)鎮火/大坂の町家は町数にして89町、家数2310軒、世帯数にして1万1184軒、土蔵182か所、穴蔵62か所、納屋197軒、橋9か所、神社3か所、道場9か寺、寺29か寺が焼けた/行政関係は中之島天満の蔵屋敷(年貢米等の倉庫兼屋敷)16か所、天満の大坂奉行所与力・同心屋敷、銅座屋敷(銅銭鑄造や銅の取引管理をする役所)、北組惣会所(町人から選ばれた町役人の筆頭・惣年寄の事務所)が焼けた/近郊の川崎村では家数41軒かまど数にして191軒が類焼、北野村では家数110軒かまど数にして231軒、曽根崎村では家数41軒かまど数にして316軒が類焼し3人が死亡
1792年7月5日-01:00|ルクセンブルグ/オーストリア| |||<就任>ルクセンブルグ公「フランス(オーストリアのフランツ1世)」(1回目~17951001)
1792年7月5日-01:00|ドイツ/イタリア/オーストリア/チェコ| |||<即位>神聖ローマ皇帝・ドイツ王「フランツ2世」(~18060806退位、神聖ローマ皇帝を解体)ホーヘンツォレルン＝ゾーリンゲン王・オーストリア大公
1792年7月5日-01:00|フランス/ハイチ| |||白人革命支持派とムラートの連合軍、ホルト＝フランスを制圧
1792年7月8日-01:00|フランス/ドイツ| |||フランスがプロシヤに宣戦布告
1792年7月9日-09:00|日本|長崎県島原市|寛政4年5月21日|島原半島の温泉岳が噴火。1万5千余名死亡
1792年7月10日-01:00|フランス| |||フランス、フィヨン派内閣が辞職
1792年7月12日-05:30|イット/イギリス| |||「アム・シンク」はイギリスと軍事保護条約を結び、イギリス軍の駐留費用の負担、外交権の放棄などを定められ、実質的に保護下に置かれることとなった(タンジャーゴール藩王国)
1792年7月15日-01:00|フランス/オーストリア| |||オーストリア軍がフランス北部に侵入、オルズを占領
1792年7月17日-01:00|フランス/オーストリア| |||オーストリア軍が夜にバグエを占領
1792年7月18日-01:00|フランス/イタリア| |||フランスがサルデーニャに宣戦布告
1792年7月24日-01:00|ドイツ/フランス| |||プロシヤが正式にフランスに宣戦布告
1792年7月25日 04:00|グアドループ/フランス| |||<就任>グアドループ暫定知事「Rene Marie」(~17930105)
1792年8月-01:00|スペイン/ハイチ| |||スペイン、ハイチ内乱を好機とみてサント・ドミンゴよりハイチ領内に侵入
1792年8月 00:00|シエラレオネ/イギリス| |||<就任>イギリス領フリータウン植民地総督「ジョン・クラークソン」(~12.31)
1792年8月1日 00:00|イギリス| |||<就任>初代マンズフィールド伯「ウィリアム・マレー」(~17930320死去)
1792年8月5日 00:00|イギリス| |||<死去>2代ギルフォード伯「フレデリック・ノース」
1792年8月5日 00:00|イギリス| |||<就任>3代ギルフォード伯「ジョージ・オーガスタス・ノース」(~18020420死去)
1792年8月5日-09:00|日本|山口県下関市|寛政4年6月18日|<死去>長門長府藩5万石「毛利匡芳」(35歳)⇒長男「毛利元義」が継ぐ(⇒天保12年9月21日(18411024)、隠居)
1792年8月8日 00:00|イギリス| |||イギリスの発明家リチャード・アークライト没/59歳(誕生:17321223)/紡績機械を発明した
1792年8月9日-01:00|フランス| |||ロベスピエールの指揮する民衆蜂起が勃発し、市役所が接收される
1792年8月9日-08:00|台湾| |||清・乾隆57年6月22日|台湾、嘉義・彰化地震/M7、死者617人
1792年8月10日-01:00|フランス| |||<8月10日の革命(パリ・コムーンの蜂起)>パリの「市庁舎」を占拠した「叛乱的コムーン」、「ヴェルサイユ行進」以来国王ルイ16世一家が居住する「チュイリ＝宮殿」(1区)を襲撃/フランス王ルイ16世を裏切りの容疑で監禁し、「国王の権利を停止」/この後「聖職者民事基本法」宣誓拒否の聖職者たちが次々と逮捕され、牢獄とされ「クヴァン＝デ・カム(カメル修道院)」(6区)に送り込まれる
1792年8月11日-01:00|フランス| |||ジロント派内閣復活
1792年8月11日-01:00|フランス| |||フランス「ルイ15世広場」(現在8区の「コンコルト広場」)にある「ルイ15世像」が倒される
1792年8月12日-01:00|イタリア/スペイン| |||イタリア人、マルティがスペインで最初の気球飛行に成功
1792年8月12日-01:00|フランス| |||パリ1区の「ヴァントーム広場」の「ルイ14世の銅像」が倒され、溶解される/「ボンヌ」(1、6区)の「アンリ4世の騎馬像」が民衆の手で壊される
1792年8月13日-01:00|フランス| |||フランス国王ルイ16世一家はパリの「タンブル塔」(現在の「3区区役所」と「タンブル小公園」のあたり)に移され幽閉される

1800迄 (2827件)

1792年8月13日-09:00|日本|群馬県富岡市|寛政4年6月26日|<死去>前田利尚(61歳)前上野七日市藩主
1792年8月16日-01:00|ベルギー| ||<就任>レジュー大司教「アン・エド・ホーリュ伯爵フランソワ・アントワーヌ・マリ・コンスタン」(1回目~11.28)
1792年8月17日-01:00|フランス| ||フランス「8月10日の革命」に成功した「叛乱的コミューン」により、反革命分子を裁くため「特別重罪裁判所(特別刑事裁判所)」が設置される
1792年8月19日-01:00|オーストリア| ||<就任>オーストリア首相代行「ヨハン・フィリップ・ゲラーフ・フォン・コペンツル」(~17930330)
1792年8月19日-01:00|フランス/オーストリア| ||フランス、ラファイエットがパリ制圧に失敗し、国外逃亡しオーストリア軍の捕虜となる
1792年8月21日-01:00|フランス| ||ヴァンデー農民の反革命反乱が始まる
1792年8月23日-01:00|フランス/オーストリア/ドイツ| ||プロシエン・オーストリア・ドイツ諸邦連合軍がフランス北東部ロレーヌ地域圏のロンウイを陥落させる
1792年8月23日-09:00|日本|兵庫県豊岡市|寛政4年7月6日|<死去>京極高品(52歳)前但馬豊岡藩主
1792年8月25日-01:00|フランス| ||フランス、封建的諸権利無償廃止の法令が布告される
1792年8月30日-01:00|フランス/オーストリア| ||対仏同盟戦争でオーストリア軍がベルギーを陥落させる
1792年9月-08:00|マレーシア| ||<死去>ペラ・スルタン「アラジン・マンスール・シャー・イスカンダル・ムタ・ハリファット・ウルラフマン・スロン・イブ・ニ・アルマルフム・スルタン・ムハンマド・シャー・アミナラ」
1792年9月-08:00|マレーシア| ||<即位>ペラ・スルタン「アフマデ・イン・シャー・イブ・ニ・アルマルフム・スルタン・ムハンマド・シャー・アミナラ」(~1806年)
1792年9月-04:00|セイシェル/フランス| ||<就任>フランス領セイシェル司令官「シャルル・ジョゼフ・エヌフ」(~1793年)
1792年9月-01:00|フランス| ||医師出身の革命政治家(「山岳派」指導者の1人)ジャン・ポール・マラーの新聞「人民の友」が「フランス共和国新聞」と改題
1792年9月-01:00|フランス/イタリア| ||サルデーニャ王国、フランスと開戦
1792年9月2日-01:00|フランス| ||<9月虐殺事件>(~6日)フランスで貴族や王党派の大虐殺が起こる/多くの反革命容疑者が殺害される
1792年9月2日-01:00|フランス/ドイツ| ||プロシエン軍が、北フランスのヴェルダンを攻撃/ヴェルダンが陥落
1792年9月3日-01:00|フランス| ||フランス「国民公会」議員の選挙が行われ(普通選挙制によるヨーロッパ最初の選挙)、この日「選挙集会」が開かれる
1792年9月4日-01:00|フランス| ||<九月の虐殺>(2日~)民衆は、「ゲラン・シャトレ」の囚人が亡命貴族と結託して反乱を起こすと信じ、パリ中の「牢獄」を襲う/「反革命容疑者」や「聖職者民事基本法」宣誓拒否の聖職者ら1,395人が殺される
1792年9月6日-09:00|日本|東京都北区|寛政4年7月20日|幕府が、荒川沿いの徳丸原に砲術練習場を新設
1792年9月7日-08:00|中国| ||清・乾隆57年7月21日|中国・四川省、道孚で地震/M6.8、死者205人
1792年9月7日 01:00|日本|東京都|寛政4年7月21日|<江戸麻布寛政4年笄橋の火事>巳の上刻(午前10時ごろ)御家人の家から出火、百姓町から阿部豊後守下屋敷へと延焼、竜土町へと広がり、伊達屋敷を焼いて今井谷から赤坂、青山へ、四谷食違御門から麹町、番町、飯田町、小石川御門の内側を全焼/小川町の三崎稻荷神社まで焼いて鎮火/焼失した家屋数は明らかではないが、江戸城を北から西へと取り巻く侍屋敷街の大半を焼失
1792年9月14日-09:00|日本|香川県高松市|寛政4年7月28日|<死去>讃岐高松藩12万石「松平頼起」⇒9月18日、甥「松平頼儀」が継ぐ(⇒文政4(1821)年、隠居)
1792年9月14日-09:00|日本|群馬県安中市|寛政4年7月28日|<死去>上野安中藩3万石「板倉勝暁」(66歳)⇒9月27日、弟「板倉勝意」が継ぐ(⇒文化2(1805)年10月10日、死去)
1792年9月16日-08:00|中国/ネパール| ||清・乾隆57年8月|清軍がチベットに到達しゲルカ朝軍が降伏、清とネパール間で和平協定が締結
1792年9月16日-07:00|ベトナム| ||大越・光中5年8月1日|<死去>西山朝(大越)富春朝廷国王「太祖光中帝阮惠」
1792年9月16日-07:00|ベトナム| ||大越・光中5年8月1日|<即位>西山朝(大越)富春朝廷国王「景盛帝阮光」(~1802.7死去)
1792年9月17日 05:00|ハイチ/フランス| ||<就任>フランスのサント・ミング総督「ジャン・ジャック・デスパルベ・ド・リュザン」(~10.23)
1792年9月17日 06:00|カタール| ||アッパ・カタール議会が開会、イギリス系住民主体の現ワタリオ州
1792年9月20日-01:00|フランス/ドイツ/オーストリア| ||<ヴァルミの闘い>パリ東方の一寒村ヴァルミーで、将軍シャルル・フランソワ・ド・デュムリエー、フランソワ・クリストフ・ケルマン率いる「革命軍」(フランス軍)がパリに迫ろうとした「オーストリア・プロシエン連合軍」を破る/「革命軍」の初勝利
1792年9月20日-01:00|フランス| ||フランス「立法議会」、対外戦争と国内危機に対処できず、王権の停止(王政の廃止、「ブルボン朝」の終焉)を宣言して解散/21歳以上の男性普通選挙が行われ、国民公会成立(ヴァルミーの勝利)
1792年9月20日 01:00|日本|広島県広島市|寛政4年8月5日|広島荒神町出火、105軒(201竈)焼失
1792年9月21日-01:00|フランス| ||フランス「国民公会」が召集され、全会一致で「王制廃止」を決議
1792年9月22日-01:00|フランス| ||フランス「国民公会」が、「共和政」の成立を宣言して「第一共和政」(~18040518)成立/「フランス共和国」
1792年9月23日 03:00|仏領ギニア/フランス| ||<就任>ギニア知事「Frederic Joseph Guillaot」民政弁務官(~1793.5)、「Charles Guillaume Vial d'Alais」(2期目~1793.4)
1792年9月24日 04:00|アルバ/オランダ| ||<就任>アルバ島司令官「Borchard Specht」(~1803年)
1792年9月25日-01:00|フランス| ||フランス「大審院」解散
1792年9月27日 06:00|アメリカ| ||アメリカ、ウパシュ族およびイロコイ族と平和条約を締結
1792年9月29日-01:00|フランス| ||アンセルム麾下の部隊がニース市とニース伯領を占領しフランス軍はモンタルベーンとヴァンフランシュまで前進
1792年9月30日-05:30|インド/フランス| ||<就任>フランス領インド総督「ダニエル・レスカリエ」(~17930823)

1800迄 (2827件)

1792年9月30日-01:00|ドイッ/フランス| ||フランス軍は守備隊3600人が守るシュパールを落とす
1792年10月1日-01:00|サンマリノ| ||<就任>サンマリノ共和国執政「ジャン・バティスト・ボネリ」(マリノ・フランチェスコニ)
1792年10月1日 04:30|ベネチア/スペイン| ||<死去>スペイン領ベネチア総督兼総司令官「Juan Jose de Guillelmi y Andrada-Vanderwilde」
1792年10月1日 04:30|ベネチア/スペイン| ||<就任>スペイン領ベネチア総督兼総司令官「Pedro Carbonell Pinto Vigo y Correa」(~17990110)
1792年10月1日-09:00|日本|東京都文京区|寛政4年8月16日|湯島聖堂を昌平坂学問所とする
1792年10月2日-01:00|フランス| ||フランス「国民公会」、「公教育委員会」を設置;「保安委員会」(治安・警察を担当)を設置
1792年10月5日-01:00|ドイッ/フランス| ||フランス軍はフィリップスブルクとヴホルムスに入城
1792年10月8日 00:00|イギリス| ||<昇格>2代コンウォリス伯「チャールズ・コンウォリス」⇒初代コンウォリス侯(~18051005死去)
1792年10月12日-01:00|フランス/ハイチ| ||ソント、植民地議会を解散. サント・マンを直接統治下におく
1792年10月12日-01:00|ドイッ/フランス| ||フランス軍が、フランクフルト・アム・マインとマインツを占領
1792年10月12日-09:00|日本|京都府京都市|寛政4年8月27日|<就任>京都所司代「堀田正順」(⇒1798(寛政10年11月6日))
1792年10月12日-08:00|中国| ||清・乾隆57年8月27日|清朝でチベットで行われている活仏選定法規定
1792年10月13日-09:00|日本|大阪府大阪市|寛政4年8月28日|<就任>大坂城代「牧野備前守忠精」(~寛政10. 12. 8)
1792年10月14日-01:00|オーストリア/フランス| ||フランス軍はヴェルダンを取り返した
1792年10月16日-07:00|ベトナム| ||大越・光中5年9月|西山朝(大越)富春朝廷国王「景盛帝阮光」景盛と改元(~1801年)
1792年10月18日 04:00|ドミニカ国/イギリス| ||<就任>イギリス領ドミニカ総督代行「トマス・フルス」(2回目~17941130)
1792年10月19日-04:00|レユニオン/フランス| ||<就任>ブルボン島知事「Jean-Baptiste Vigoureux du Plessis」(~17940411)
1792年10月19日-01:00|フランス/オーストリア| ||フランス軍はロンウィを取り返した
1792年10月21日-01:00|ドイッ/フランス| ||フランス軍はマインツの守備隊5400人を包囲し降伏させた
1792年10月22日-01:00|ドイッ/フランス| ||民兵の守っていたフランクフルト・アム・マインもフランス軍の手に落ちた
1792年10月23日 05:00|ハイチ/フランス| ||<就任>フランスのサント・ミンゴ 総督「ロジャント・伯爵ド・ナティエン・マリー・ジョセフ・ド・ヴァイムール」(1回目~17930102)
1792年10月31日-09:00|日本/ロシア|北海道根室市|寛政4年9月16日|ロシア公使ラクスマンが大黒屋光太夫らを乗せ根室に來航し通商を要求
1792年11月1日 04:00|グアテマラ/イギリス| ||<就任>マリー・ガランテ委員会議長「Robert Philippe Claude Deshayes + Dominique Murat」(~17930212)
1792年11月6日-01:00|ベルギー-オーストリア/フランス| ||デュムリエのフランス軍が、ジエマッの戦いでオーストリア軍を破り、オーストリア領ネーデルラントを征服
1792年11月8日-01:00|フランス| ||フランス軍デュムリエはモンとトゥールネーを占領
1792年11月12日-09:00|日本|大阪府大阪市|寛政4年9月28日|<死去>4代芳澤あやめ(56歳)歌舞伎役者
1792年11月14日-01:00|ベルギー-フランス| ||ブリュッセルがフランスに占領される
1792年11月15日-01:00|スペイン| ||<就任>スペイン王国国家主席補佐官Manuel de Godoy y Alvarez de Faria(~17980328)
1792年11月15日-01:00|スペイン| ||スペイン国王カルロス4世が、王妃マリア・ルイザの寵臣マヌエル・デ・ゴドイを宰相に任命
1792年11月16日-09:00|日本|福井県|寛政4年10月3日|福井城下上呉服町から出火、町家312軒など焼失
1792年11月19日-01:00|ベルギー-フランス| ||<就任>フランス軍ベルギー司令官「シャルル・フランソワ・デュペリエ・デュムリエ」(1回目~17921229)
1792年11月19日-01:00|ベルギー-フランス| ||ファニョーレ、ブイヨンがフランスに占領され、ベルギーをフランスが占領(~17930326)
1792年11月19日-01:00|フランス| ||フランスの国民公会が、「自由を求める諸国民に友愛と援助を与える法令」を可決
1792年11月26日-01:00|セルビア/トルコ| ||<就任>オスマン帝国セルビア・ワリス「アフマド・トパルパシャ」(~1793年1月)
1792年11月27日-01:00|フランス| ||フランス南東部のサヴォワがフランスに併合される
1792年11月28日-01:00|ベルギー-フランス| ||リエージュがフランスに占領される(~17930304⇒17930330併合)/アントワープがフランスに占領される
1792年11月29日-01:00|フランス| ||フランス「特別重罪裁判所」が「ジロント派」によって廃止される
1792年11月29日-09:00|日本| ||寛政4年10月16日|<死去>2代山彦源四郎(不明)浄瑠璃三味線方
1792年11月30日-09:00|日本|長野県佐久市|寛政4年10月17日|<死去>信濃岩村田藩15000石「内藤正興」(37歳)⇒婿養子「内藤正国」が継ぐ(⇒享和2(1802)年12月28日、死去)
1792年12月 04:00|セントルシア/イギリス| ||<就任>イギリス領セントルシア総督「ジャン・バティスト・レイモンド・ラクロス弁務官」(グアテマラ~1793年)
1792年12月2日-01:00|フランス/スペイン/ハイチ| ||独立派白人とフランス・ムート連合軍とのあいだで戦闘が始まる. スペインもハイチ内乱を好機とみてサント・ミンゴよりハイチ領内に侵入
1792年12月2日-01:00|フランス/ドイッ| ||ヴァン＝ヘルデン将軍守るフランクフルト守備隊1800人を1万1000人の連合軍が強襲してこれを奪回
1792年12月2日-01:00|ベルギー-フランス| ||ナミュールがフランスに占領される
1792年12月3日-01:00|ベルギー- | ||<就任>ブイヨン公「ジャック・レオポルト・シャルル・ゴッドフロワ」(~17940424)
1792年12月5日 06:00|アメリカ| ||ワシントン、大統領に再選される

1800迄 (2827件)

1792年12月5日-09:00|日本|茨城県行方市|寛政4年10月22日|<死去>新庄直隆(77歳)前常陸麻生藩主
1792年12月8日-01:00|フランス| |||穀物取引規制廃止、商業自由の宣言
1792年12月10日-09:00|日本|島根県松江市|寛政4年10月27日|<交替>出雲母里藩1万石「松平直行」隠居⇒婿養子「松平直暲」が継ぐ(⇒寛政8(1796)年7月27日、死去)
1792年12月11日-09:00|日本|北海道|寛政4年10月28日|<交替>蝦夷松前藩1万石「松前道広」隠居⇒長男「松前章広」が継ぐ(⇒寛政11(1799)年1月16日、幕府は松前藩の東蝦夷地を上知)
1792年12月15日-01:00|ルクセンブルグ/オーストリア| |||<就任>オーストリア軍ルクセンブルグ総督「ホーリュウ男爵ジョーン・ピーター・マルコネ」(~17930428)
1792年12月15日-01:00|ベルギー/フランス| |||リンブルグがフランスに併合される
1792年12月17日 06:00|カタール| |||ロワール・カタール議会が開会、フランス系住民主体の現ケック州
1792年12月19日-01:00|イタリア| |||ベネチアで黒海通商会社設立
1792年12月27日-09:00|日本|東京都台東区|寛政4年11月14日|<大相撲>寛政4年11月場所[江戸浅草八幡宮](3日間悪天候のため)優勝:(西大関(横綱)谷風、3戦全勝
1792年12月29日-01:00|ベルギー/フランス| |||<就任>フランス軍ベルギー司令官代行「フランシスコ・デ・ミランダ」(~17930202)
1792年12月30日-01:00|ボスニア・ヘルツェゴビナ/トルコ| |||<就任>ボスニア総督「フサマ・イン・パシャ」(~17970528)
1792年12月31日 00:00|シエラレオネ/イギリス| |||<就任>イギリス領フリータウン植民地総督「ウィリアム・ドーズ」(1度目~17940331)
1793年-13:00|トンガ| |||<就任>トンガ摂政「タライ・トゥホウ(フィノウ・トゥケアホ)」(~17970429)
1793年-13:00|トンガ| |||<即位>トンガ主長(トゥイ・カクホ・オル)「トゥホウマホア」(2期目~同年)⇒「トゥホウ・ムムイ」(~17970429死去)
1793年-13:00|トンガ| |||<即位>トンガ大首長「ファタフエイ・フヌイヤワ」(~1810年死去)
1793年-11:00|ニューカドニア/イギリス/フランス| |||イギリスのウィリアム・レイヴン大尉が商船フリジアでロイヤリティ諸島発見、フランスのアントワーヌ・ド・ブルニ・デントラスト提督も発見
1793年-08:00|インドネシア/イギリス| |||<就任>ベンクーレン副総督(ベングアル総督に従属)「ロバート・Broff」(~1799年)
1793年-08:00|インドネシア/オランダ| |||<就任>モルッカ諸島オランダ総督「Johannes Ekenholm」(~1795年)
1793年-08:00|インドネシア/イギリス| |||<設立>イギリスによってドレリ湾に最初のヨーロッパ人の入植地、戴冠式砦(~1795. 4)
1793年-08:00|インドネシア| |||<即位>サンパス国スルタン「Abu Bakar Taj ud-din1世」(~1815年)
1793年-05:30|インド| |||<死去>シッキム王「テンジン・ナムゲル」
1793年-05:30|インド| |||<就任>アッサム国ラジャ「サルウ・アナタ・シン」(~1796年)
1793年-05:30|インド| |||<就任>アジヤガル国ラジャ「アリ・ハートウル(篡奪者)」(~1802年)
1793年-05:30|インド/アフガニスタン| |||<就任>アフガニスタン・カシミール総督「ミール・ハザール・カーン」(~1794年)
1793年-05:30|インド| |||<就任>コラハ国統治者(サルケル)「マナジ2世アングリア」(1回目~1799年)、摂政「ジェイシン・アングリア」(~1799年)
1793年-05:30|インド| |||<就任>シヴァガンガ国ラジャ「ヴァンガム・ペリヤ・ウタヤ・デヴァル」(~1801年)
1793年-05:30|インド| |||<就任>シルムル国ラジャ「カラム・プラシュ2世」(~1803年)
1793年-05:30|インド| |||<就任>タンジュール国ラジャ「アマル・シン」(~17980629)
1793年-05:30|インド| |||<就任>ハランバ国支配者(ラウト)「ヒンデイク・ビルハーマンラジ・マハトラ」(~1842年)
1793年-05:30|インド| |||<就任>ハンスタ国統治者(ラジャ・サヒブ)「ライムジ」(~1815年没)
1793年-05:30|インド| |||<就任>ハランブル国統治者(デイクン)「シャムシャー・モハマト・カーン」(1回目~1794年)
1793年-05:30|インド| |||<就任>ヒジャウル国ラジャ「ヒマト・ハートウル(篡奪者)」(~1802年)
1793年-05:30|インド| |||<就任>ラジビプラ国摂政「ナハルシンジ」(~18030115)
1793年-05:30|インド| |||<即位>シッキム王「ツゲブ・ナムゲル」(~1861年、退位)首都をラブデンツェからトゥムロンに遷都
1793年-05:30|インド/ネパール| |||シッキムはネパールに併合(~1817年)
1793年-04:30|アフガニスタン| |||<就任>カブール首相(ワズール・イ・アザム)「ラフマトゥッラー・カーン・カムラン・ケル・サドザイ」(~1801年)
1793年-04:30|アフガニスタン| |||バダフヤンはブハラ・ハン国の一部(~1873年)
1793年-04:00|UAE| |||<死去>アブ・ダヒブ統治者「Sheikh Dhiyab ibn `Isa ibn Nahayan」
1793年-04:00|ジョージア| |||<就任>ミグレリア公「タリエ」(1回目~1794年)
1793年-04:00|UAE| |||<即位>アブ・ダヒブ統治者「Sheikh Shakhbut ibn Dhiyab Al Nahayan」(~1816年死去)
1793年-03:00|イラク/トルコ| |||<就任>バスラのムテッサリフ「アブドラー・アガ」(~1803年)
1793年-03:00|サウジアラビア| |||この年、ワッハブ王国軍がジョーフを占領
1793年-03:00|カタール/サウジアラビア| |||カタールがティールイヤーに併合される(~1818年)
1793年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>アレクソ・ワリス(総督)「Suleyman Fayzi Pasha」(2期目~1794年)
1793年-02:00|ウクライナ/ロシア| |||<就任>エカテリノスラフ、タウリタと(1795年から)ボスネンスク総督「Graf Platon Aleksandrov ich Zubov」(~1796年)
1793年-01:00|オランダ/オーストリア| |||<就任>オーストリア領ネーデルラント総督「カール・フォン・エスターライヒ＝テシェン」(~1794年)
1793年-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン領セウタ総督「Juan de Basencourt」(~1794年)
1793年-01:00|アンゴラ/コンゴ共和国/コンゴ民主共和国/ガボン| |||<即位>コンゴ王国マニコ「ヨアヒム1世」(~1794年)
1793年-01:00|ニジェール| |||<即位>ソンガイ帝国皇帝「サムウ・ケイ」(~1798年)
1793年-01:00|クロアチア| |||<即位>ボルツァ大公「マティヤ・クルジチェヴィッチ」
1793年-01:00|フランス| |||ヴュルテンベルク=モンベリャルト(モンベリアル)をフランス軍が最終的に占領併合
1793年-01:00|ベルギー/フランス| |||レクハイムをフランスが占領
1793年 00:00|シエラレオネ| |||<就任>コ・フランス首長「ファリマ4世」(~1807年)
1793年 00:00|シエラレオネ| |||<就任>テムネ王国統治者(ハイス)「ファリマ4世」(~1807年)

1800迄 (2827件)

1793年 04:00|アンティグア・バーブーダ | |||<就任>アンティグア副総督「ジョン・スタンリー」(~1796年)
1793年 04:00|バルバドス/イギリス | |||<就任>イギリス領バルバドス総督代理「William Bishop」(1期目~1794年)
1793年 04:00|セントクリストファー・ネイビス | |||<就任>ネイビス大統領「ジョン・ブラウン」(~1803年没)
1793年 04:00|サン・マルタン/フランス | |||<就任>フランス領サン・マルタン司令官「暫定評議会Jean Rouvellet(議長)/John Marden brough Romney」(~1795年)
1793年 04:00|ボリネア/スペイン | |||<就任>ラパス暫定総督補佐「ペドロ・ノラスコ・クレス」
1793年 05:00|パナマ/スペイン | |||<就任>パナマ総督「アントニオ・ナルバエス・イ・ラ・トレ」(~1803年)
1793年 06:00|エルサルバドル/スペイン | |||<就任>サンサルバドル管理者「イグナシオ・サンティアゴ・ウラ」(~17980101)
1793年 10:00|ボリネア | |||<死去>アビネ統治者「Teri'i tari'a」
1793年 10:00|ボリネア | |||<就任>アビネ統治者「Te na ni'a」(~1814年死去)
1793年1月-05:30|インド/フランス | |||<就任>フランス領インド総督代行「ピエール・アドリアン・ル・ルー・ド・トゥーフルヴィル」(~2.18)
1793年1月-01:00|セルビア/トルコ | |||<就任>オスマン帝国セルビア・ワリス「アフ・ベキル・パシャ」(2度目~1795年)
1793年1月1日-01:00|フランス | |||<施行>フランス自治体の「金券発行禁止令」(17921108公布)
1793年1月1日-01:00|フランス | |||国防委員会の創設(公安委員会的前身)
1793年1月2日 05:00|ハイチ/フランス | |||<就任>フランスのサント・シモン 弁務官「レジェ・フェリシテ・ソソナクス/エティエンヌ・ホルグ・エレル」(1回目~17940614)
1793年1月2日-09:00|日本|滋賀県東近江市|寛政4年11月20日|<交替>近江山上藩13000石「稲垣定計」隠居⇒長男「稲垣定淳」が継ぐ(⇒文政6(1823)年9月5日、隠居)
1793年1月4日-02:00|ルーマニア | |||<就任>モルダヴィア総督「ミハイ・コンスタンティン・スチュ」(~17950522)
1793年1月5日 04:00|グアテマラ/フランス | |||<就任>グアテマラ 暫定知事「Jean Baptiste Raimond Lacrosse」(~3.20)
1793年1月15日-01:00|フランス | |||フランス、国民会合が国王ルイ16世を有罪と判決
1793年1月19日-01:00|モコ | |||<就任>モコ国民公会議長「ヨセフ・パリエール・アイ」(~3.4)
1793年1月19日-09:00|日本|東京都|寛政4年12月8日|<死去>勝川春章(67歳)浮世絵師/美人画・役者絵などにすぐれ、浮世絵勝川流の祖となった
1793年1月21日 10:00|フランス | |||11時ころフランス国王ルイ16世が、裁判の結果断頭台に運ばれる/38歳(誕生:17540823)、ルイ16世の子であるルイ＝シャルがルイ17世として即位(~1795年6月8日)名目のみ、実際にはこの期間幽閉されており、権力は共和国の指導者たちにあった
1793年1月23日-01:00|ドイツ/ポーランド/ロシア | |||ロシアとポーランドが第2次ポーランド 分割
1793年1月26日-08:00|マレーシア | |||<死去>トレンガヌ・スルタン「トゥアンク・マンスール・シャー1世・イブン・アル＝マルフム・スルタン・ザイナル・アビディン」
1793年1月26日-08:00|マレーシア | |||<即位>トレンガヌ・スルタン「トゥアンク・ザイナル・アビディン2世・イブン・アル＝マルフム・スルタン・マンスール・シャー」(~18081023没)
1793年1月28日 04:00|グレタ/イギリス | |||<就任>グレタ 副総督「ニア・ホーム」(17950302からフェトンの囚人~17950508)
1793年1月31日-01:00|フランス | |||フランス南東部のニース伯領がフランスに併合される
1793年2月 05:00|ハイチ/フランス | |||本国軍とムートの連合軍、黒人反乱をほぼ平定
1793年2月1日-01:00|フランス/オランダ/イギリス | |||フランスが、イギリス、オランダに宣戦布告
1793年2月1日 04:00|フォークランド/スペイン | |||<就任>スペイン領フォークランド 諸島司令官・総督「Pedro Pablo Sanguineto」(2期目~1794.4)
1793年2月1日-09:00|日本|岐阜県中津川市|寛政4年12月21日|<交替>美濃苗木藩10021石「遠山友随」隠居⇒養子「遠山友寿」が継ぐ(⇒天保9(1838)年11月21日、死去)
1793年2月2日-01:00|ベルギー/フランス | |||<就任>フランス軍ベルギー司令官「シャル・フランソワ・デュペリエ・デュムリエ」(2回目~3.9)
1793年2月3日 04:00|セントルシア/イギリス | |||<就任>イギリス領セントルシア総督「ニコラ・ザビエル・ド・リカル」(~4月)
1793年2月3日 04:00|マルティニーク/フランス | |||<就任>フランス領マルティニーク知事「Donatien Marie Joseph de Vimeur」(~17940322)
1793年2月3日 04:00|トリニダード・トバゴ/フランス | |||フランス<就任>トバゴ 知事「ピエール・ジャック・フルラン・デ・ラ・ロケ・ド・モンテル」(~4.15)
1793年2月7日-09:00|日本|東京都|寛政4年12月27日|<太枳騒動>田安家領63か村のうち山梨・八代両郡54か村から選出された惣代が江戸へ出府しさらに21人の出願実行者が選出され寺社奉行の立花種周に収奪強化など田安家の支配を糾弾し従来仕法への回帰を求める10か条の訴状を提出
1793年2月8日-09:00|日本|青森県|寛政4年12月28日|寛政西津軽地震M6.9~7.1/死者12
1793年2月8日-09:00|日本|東京都|寛政4年12月28日|<太枳騒動>出願実行者21名は捕縛され吟味中入牢となり田安家に引き渡される
1793年2月11日-09:00|日本 | |||寛政5年|沼田町出身の儒者関赤城「蝦夷風土記」を著す
1793年2月11日-08:00|中国 | |||清・乾隆58年|洪亮吉が「治平論」「生計論」を著し人口増を憂慮
1793年2月11日-08:00|中国/台湾 | |||清朝が台湾最後の漢人反抗運動を制圧
1793年2月11日-07:00|ベトナム | |||大越・景盛1年|<即位>パントラング王「Po Ladhunpaghuh」(~1799年死去)
1793年2月11日-07:00|ベトナム | |||大越・景盛1年|西山朝(大越)富春朝廷国王「景盛帝阮光」景盛と改元(~1801年)
1793年2月11日-07:00|ベトナム | |||ベトナムの阮福映が西山の本拠地の帰仁(ケニョン)攻略を開始
1793年2月11日-09:00|日本 | |||寛政5年1月|<刊行>司馬江漢「地球全図略説」(前年刊行した「輿地全図」の解説本

1800迄 (2827件)

)天動説や地動説などを紹介する

1793年2月11日-09:00|日本| ||寛政5年1月|<出版>岡田玉山「絵本黄昏草」「絵本太閤伝記」(浮世絵)
1793年2月11日-09:00|日本| ||寛政5年1月|<出版>竹原春朝斎「絵賛常の山」「鳥羽画あくびとめ」(浮世絵)
1793年2月11日-09:00|日本| ||寛政5年1月|<出版>北尾重政「唐詩選画本」七言絶句続編、「絵本将門一代記」(浮世絵)
1793年2月11日-08:00|中国| ||清・乾隆58年1月|清が「欽定西藏章呈」により駐西藏大臣によるチベット統治を規定
1793年2月12日 06:00|アメリカ| ||アメリカ連邦議会で、奴隷主に他州への逃亡奴隷の逮捕を認める「逃亡奴隷取締法」が成立
1793年2月13日 00:00|イギリス/オーストリア/ドイツ/フランス/スペイン/ロシア/ポルトガル| ||イギリス、ロシア、スペイン、プロシヤ、フランス、オーストリア、ポルトガル、サルデーニャなどが第1次対仏大同盟を結成
1793年2月14日 00:00|マン島/イギリス| ||<就任>マン島知事「John Murray」(~18280602)
1793年2月16日-01:00|フランス| ||デュムリエー指揮のフランスの革命軍がフランスへ進撃
1793年2月17日 03:00|日本| ||寛政5年1月7日|<寛政5年三陸地震津波>昼九つ過ぎ(12時過ぎごろ)、三陸はるか沖でマグニチュード7.9クラスの地震/盛岡、花巻から大槌の間で強い揺れがあり、仙台藩内では倒壊家屋1060余棟、12人が死亡/直後、三陸から磐城沿岸部、銚子にかけて津波があり、大槌、両石で倒壊及び流失家屋71棟、9人死亡、船舶19隻が損壊及び流失。綾里で流失家屋70~80棟、気仙沼では同じく300余棟、牡鹿半島の鮫浦で同じく10棟/全体で家屋の倒壊及び流失1730余棟、44人以上死亡、船舶の損壊及び流失33隻
1793年2月18日-05:30|インド/フランス| ||<就任>フランス領インド総督「シモン伯爵ドミニク・フロバール」「ジョゼフ・ピエール・ルノー＝デュムリエー(民事委員)」(~8.23)
1793年2月24日-01:00|フランス| ||<就任>イタリアにおけるフランス共和国軍最高司令官「ラウスン公アルマン・ルイ・ド・ゴンタリ」(~3.1没)
1793年2月24日-01:00|フランス| ||<就任>フランス市長「ジャン・ミッシェル・アレクサンダー・ド・ミロ」(1回目~3.31)
1793年2月24日-01:00|フランス| ||デュムリエーはフランスのフランスを奪取
1793年2月24日-01:00|フランス| ||フランスはフランスに併合(アルプ・マルティム県の一部~18140530)
1793年2月25日 00:00|イギリス/インド| ||イギリス東インド会社特許状法が公布される
1793年3月-02:00|ルーマニア| ||<就任>ワキア総督・領主「アレクサンダー・コンスタンティン・モルジ」(1回目~17960821)
1793年3月1日-01:00|フランス| ||<就任>フランス国民公会フランス弁務官「バティスト＝アンリ・グレゴワール + グレゴワール・マリ＝ジョーギット」(~4日)
1793年3月1日-01:00|オーストリア/フランス| ||アルテンホーフェンに配置させられていたフランス軍は、オーストリアの2個騎兵連隊の攻撃を受け、2300人の損害を出して壊走
1793年3月1日-01:00|フランス/イギリス| ||フランスが、1786年の英仏通商条約の破棄を宣言し、保護貿易に転換/イギリス商品の輸入を禁止
1793年3月2日-01:00|ベルギー/フランス| ||スタヴ・ロ・マルメーディをフランスが占領(~17930302併合)
1793年3月2日-01:00|ベルギー/フランス| ||フランス伯領はフランスに併合される(統合はされなかった)
1793年3月3日-01:00|ドイツ| ||<死去>アンハルト＝ツェルプスト侯「Friedrich August」
1793年3月3日-01:00|ドイツ| ||<就任>アンハルト＝ツェルプスト侯「Sophie Auguste Fredericke」ロシア女帝エカテリーナ2世(~17961117死去、アンハルト＝ツェルプスト侯に統合)
1793年3月3日-01:00|フランス| ||ブルターニュ、リヨンで反革命運動が起こる
1793年3月4日-01:00|フランス| ||<就任>フランス暫定行政庁長官「ポール＝インベリ」(~5月)
1793年3月5日-01:00|ベルギー/オーストリア| ||リエージュがオーストリアに再占領される(~17940727)
1793年3月6日-01:00|フランス| ||過激派主導の三月蜂起(食糧危機)
1793年3月7日-01:00|フランス/スペイン| ||フランスがスペインに宣戦布告
1793年3月9日-01:00|ベルギー/オーストリア| ||<就任>オーストリア・ベルギー総督代行「メッテルニヒ・ス・グ・インフェル伯爵フランツ＝カール・ヨハン・ネーポムク」(~26日)
1793年3月10日-01:00|フランス| ||<施行>フランス「国民公会」革命の防衛を目的に「徴兵法」(0224発布)/18~35歳の独身男性30万人の動員令
1793年3月10日-01:00|フランス| ||カトリック教会・「王党派」の勢力が強いフランス西部のヴァンデー県で、「王党派」貴族や宣誓拒否司祭などの反革命勢力と結び、「対仏大同盟」諸国軍の攻撃や「徴兵制」に反対する反革命反乱「ヴァンデの農民反乱」が起こる/指導者はジャック＝カトリノ/1793年末までに政府軍が鎮圧する
1793年3月10日-01:00|フランス| ||フランス「国民公会」、政治犯審理のため「パレ」(パリ1区「コンセルジュリ」)の大部屋に「革命裁判所」を設置
1793年3月10日 04:00|ポルトガル/スペイン| ||<就任>ポルトガル知事兼提督代理「Enrique Grimarest」(~17950321)
1793年3月11日 00:00|イギリス| ||<死去>2代ヘスバウ伯「ウィリアム・ボンソンベール」
1793年3月11日 00:00|イギリス| ||<就任>3代ヘスバウ伯「フレデリック・ボンソンベール」(~18440203死去)
1793年3月12日 00:00|フランス諸島/イギリス| ||<死去>イギリス王領ルダニー島知事「John Le Mesurier2世」
1793年3月16日-01:00|フランス| ||フランス「サン＝シル学校」廃止
1793年3月16日 00:00|フランス諸島/イギリス| ||<就任>イギリス王領ルダニー島知事「Peter Le Mesurier」(~18030109)
1793年3月18日-01:00|フランス| ||フランスで、国民公会が、土地均分法の提案者に対する死刑規定を決議
1793年3月18日-01:00|ベルギー/フランス/オーストリア| ||フランス北部軍司令官シャルル＝フランソワ・デュムリエー、「ネールグインデンの戦い」(ベルギー)でオーストリア軍に敗北
1793年3月19日-04:00|レニオン/フランス| ||ブルボン島はレニオン島に名前変更
1793年3月19日-02:00|モザンベーク/ポルトガル| ||<就任>ポルトガル領モザンベーク総督・総司令官「デ・イゴ・デ・ソウザ・コウチニ

1800迄 (2827件)

ヨ」 (~17970827)

1793年3月19日-01:00|ベルギー/フランス| |||フランスがフランスを失う
1793年3月20日 00:00|イギリス| |||<死去>初代マンスフィールド伯「ウィリアム・マレー」
1793年3月20日 00:00|イギリス| |||<就任>2代マンスフィールド女伯「ルイーザ・マレー」 (~18430711死去)、2代マンスフィールド伯「デヴィッド・マレー」 (~17960901死去)
1793年3月20日 04:00|グアドループ/フランス| |||<就任>グアドループ知事「Georges Henri Victor Collot」 (~17940424)
1793年3月21日-01:00|フランス| |||フランス「営業免許税」廃止
1793年3月21日-09:00|日本|愛媛県宇和島市|寛政5年2月10日|<武左衛門一揆>南予(伊予南部)の伊予吉田藩で発生した百姓一揆/武左衛門率いる山奥筋(広見川上流域)が立ち上がると、ただちに吉田藩全村が呼応/宇和島城下の八幡河原に、吉田藩全領83か村の旗が立ち並び、7500人を越える農民がそろい、八幡河原に出向いた吉田藩家老安藤儀太夫は、藩政の非をわび、速やかに願書を提出するようにと申し渡して切腹/宇和島藩は、提出された願書をすべて認め、しかも一揆の指導者を処罰しないと裁決
1793年3月22日-01:00|フランス| |||ポランドリユ地区のフランスへの併合議決
1793年3月23日-01:00|ベルギー| |||ジエマッペがトゥルネーのベリウイック(ド・アニコ)を併合
1793年3月23日-01:00|フランス/ドイツ| |||フランスが、バーゼル司教領を併合
1793年3月26日-01:00|ベルギー/オーストリア| |||<就任>オーストリア・ベルギー総督「カール・ルートヴィヒ・エルツベルグ・フォン・オステルライヒ」 (~17940802)
1793年3月26日-01:00|ベルギー/オーストリア| |||ベルギーへのオーストリアの支配が復活 (~17940727)
1793年3月27日-09:00|日本|愛媛県宇和島市|寛政5年2月29日|(13日~)伊予吉田藩で農民が強訴。家老安藤継明、一揆勢の面前で切腹。農民たちは11か条の願書を提出して退去
1793年3月28日-01:00|フランス| |||フランス亡命者に関する「法令」を強化/亡命者は死者とみなされ、財産没収
1793年3月30日-01:00|オーストリア| |||<就任>オーストリア首相「ヨハン・アマデウス・フランツ・デ・パウル・フライヘル・フォン・トクゲート」 (~18000928)
1793年3月31日-01:00|モナコ| |||<就任>モナコ市長代行「ジャン・ルイ・ランシアス」(1回目~4.8)
1793年4月 05:00|ハイチ/スペイン| |||スペイン軍がドミニカから国境を越え侵入。主体はトゥーサンを指揮官とする黒人反乱軍
1793年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ジュリアーノ・ペルッツィ」「マリノ・タッシーニ」
1793年4月2日-01:00|ベルギー/オーストリア| |||オーストリアがジエマッペの地域を占領
1793年4月2日 04:00|セントルシア/イギリス| |||<就任>イギリス領セントルシア総督「ヒュエル・ジャック・フルラン・ド・ラ・ロケ・ド・モンティル」(2回目~1794年)
1793年4月6日-01:00|フランス| |||フランス国民公会に公安委員会が創設される
1793年4月8日-01:00|モナコ| |||<就任>モナコ市長「ジャン・ミッシェルアレクサンドル・デ・ミロ」(2回目~5月)
1793年4月9日-01:00|オーストリア/フランス| |||オーストリア軍が、フランス領エーニに侵攻
1793年4月9日-09:00|日本|東京都千代田区|寛政5年2月29日|<解任>老中「鳥居忠意」
1793年4月11日 03:00|仏領ギアナ/フランス| |||<就任>ギアナ知事「Nicolas Georges Jeannet-Oudin」民政弁務官(1回目~1794.11)
1793年4月11日-09:00|日本| |||寛政5年3月|<出版>勝山琢眼「楊扇志」(浮世絵)
1793年4月11日-09:00|日本|東京都千代田区|寛政5年3月1日|<就任>老中「太田資愛」(~享和1年6月7日)
1793年4月13日-01:00|ドイツ| |||<死去>シュヴァルツブルク＝ルードルシュタット侯「フリードリヒ・カール」
1793年4月13日-01:00|ドイツ| |||<就任>シュヴァルツブルク＝ルードルシュタット侯「ルートヴィヒ・フリードリヒ2世」(~18070428死去)
1793年4月15日 04:00|トリニダード・トバゴ/イギリス| |||<就任>トバゴ総司令官。総督「コーネリアス・カイラ」(~同月)⇒代行「ウィリアム・マイヤーズ」(~17940106)
1793年4月15日 04:00|トリニダード・トバゴ/イギリス/フランス| |||イギリスがトバゴを占領
1793年4月20日-01:00|フランス/スペイン| |||スペインのリカルド将軍がセレでフランス軍を破った
1793年4月21日-01:00|ベルギー| |||<就任>レジュー司教「メアン・エド・ボーリュエ伯爵フランソワ・アントワヌ・マリー・コンスタンタン」(2回目~17940720)
1793年4月22日-01:00|フランス/イギリス| |||イギリスがフランス革命に干渉。ナポレオン政府は英国に宣戦布告
1793年4月24日-01:00|フランス| |||フランスで農民の集団的国有地買い取りが禁止
1793年4月28日-01:00|ルクセンブルグ/オーストリア| |||<就任>オーストリア軍ルクセンブルグ総督「ブラジウス・コロンバン・フライヘル・フォン・ベンツェン」(~17950610)
1793年4月28日-01:00|ベルギー/オーストリア| |||リンブルフへのオーストリアの支配が回復(~17951001)
1793年4月30日-09:00|日本|東京都台東区|寛政5年3月20日|<大相撲>寛政5年3月場所[江戸浅草八幡宮](9日間)優勝:(西大関(横綱))谷風(雷電)、7勝0敗2休
1793年5月-04:30|アフガニスタン| |||<即位>アフガニスタン対立大王(カンダハール)「フマーユーン・シャー」(1回目~1793年9月)
1793年5月-03:00|ベラルーシ/ロシア| |||<就任>シンスク、イジャスラフ(1795年から、ヴォルヒニア)とブラツラフ(1795年から、ポドリア)のロシア総督「ミハイル・キキイチ・クレチニコフ伯爵」(~同年没)⇒「ティモフェイ・イワノビッチ・トウトミン」(~1796年12月)
1793年5月 00:00|ギニアビサウ/ポルトガル| |||<就任>カチー司令官「フランシスコ・ジョアキン・デ・アルメイダ・エンリクス」(~1797年5月)
1793年5月 03:00|仏領ギアナ/フランス| |||<就任>ギアナ知事「Henri Benoist」(2回目~1794年)
1793年5月2日-09:00|日本|大阪府和泉市|寛政5年3月22日|<死去>和泉国伯太藩13500石「渡辺豪綱」(35歳)⇒5月16日、長男「渡辺春綱」が継ぐ(⇒文化7(1810)年3月26日、死去)
1793年5月3日-01:00|モナコ| |||<就任>モナコ市長「ジャン・ルイ・ランシアス」(2回目~1795年1月)
1793年5月4日-01:00|フランス| |||フランスで、穀物と小麦粉の最高価格法が制定され価格統制が始まる
1793年5月4日 00:00|ギニアビサウ/ポルトガル| |||<就任>ビサウ司令官「セル・アントニオ・ピント」(1回目~6月)

1800迄 (2827件)

1793年5月5日-01:00|フランス| |||カトリック王党軍と名乗るヴァンデ反乱軍はトゥールを占領
1793年5月7日-02:00|リトアニア| |||<就任>リトアニア大元帥(首相)「ケラファス・リウド・ウイカス・ティシュケ・イチウス」(~17940424)
1793年5月7日-01:00|ドイツ/ポーランド/ロシア| |||第2次ポーランド分割が行われ、ロシアはポーランド東半部と西ウクライナを獲得し、プロシヤはポーゼン・ダンツィヒなどを獲得
1793年5月7日-01:00|フランス| |||フランスで陳情書、農業、通商、監視、軍事、および立法の6つの「委員会」からそれぞれ2名ずつ出る委員によって構成される「十二人委員会」が組織される
1793年5月10日-09:00|日本| ||寛政5年4月|<出版>狩野正栄「芭蕉翁詞伝」(浮世絵)
1793年5月12日-01:00|ベルギー/フランス| |||フニョーレをフランスに併合(アルデンヌ県に編入)
1793年5月14日 03:00|サンピエール島/ミクロン島/イギリス| |||<就任>サンピエール島・ミクロン島イギリス司令官「James Ogilvie」(~1793.6)
1793年5月14日 03:00|サンピエール島/ミクロン島/イギリス| |||イギリスがサンピエール島・ミクロン島占領、1794年9月14日に残りの島民が強制送還(島はニューファンドランドによって管理~18020820)
1793年5月15日-01:00|スペイン| |||スペインの農夫デ・エコ・マリン・アギレラがケラライターで滑空
1793年5月15日-08:00|中国| ||清・乾隆58年4月6日|中国・四川省道孚で地震M6、死者200
1793年5月18日-04:30|アフガニスタン| |||<死去>トウターニー帝国シャー「ティムール・シャー・トウターニー」
1793年5月18日-04:30|アフガニスタン| |||<即位>トウターニー帝国シャー「ザマーン・シャー・トウターニー」(~18010724退位)
1793年5月18日 04:00|セント・マルテン/サン・マルタン/オランダ| |||オランダがサン・マルタン全島を占領(~17950428)
1793年5月19日 00:00|イギリス| |||<死去>タルボット伯「ジョン・チェットウインド=タルボット」
1793年5月19日 00:00|イギリス| |||<就任>タルボット伯「チャールズ・チェットウインド=チェットウインド=タルボット」先代の子(~18490110死去)
1793年5月25日-01:00|フランス| |||フォントネール=コントでカトリック王党軍が共和国軍を破り4000人もの損害を与えた
1793年5月30日-01:00|フランス| |||フランス「小学校」設置に関する法令「初等学校設置法」が採択される
1793年5月31日-01:00|フランス| |||フランス、パリ民衆が蜂起し、公会に対しジロント派議員追放を要求
1793年6月-05:30|インド/フランス/イギリス| |||イギリスがフランス領ヤナンを占領
1793年6月 00:00|ギニアビサウ/ポルトガル| |||<就任>ビサウ司令官代行「トミンゴ・ステ・ベイク・エスコリョ」(2回目~11月)
1793年6月2日-01:00|フランス| |||ジロント派31名逮捕、山岳派(ジャコバン派最左派)の独裁始まる
1793年6月2日-01:00|フランス| |||フランス南部のポルトー、フランス南部のニーム(ガール県)・マルセイユ、フランス南東部のトゥロン・リヨン「反革命派」の手中に落ちる
1793年6月2日 04:00|アンティグア・バブーダ| |||<就任>リーワード・カビエ諸島総司令官・総督代行「ジョン・スタンリー」(~17950723)
1793年6月3日-01:00|フランス| |||フランスで亡命貴族の財産売却法が成立/亡命者の土地が没収され、この亡命貴族財産の分割売却が許可される
1793年6月6日-01:00|フランス/スペイン| |||スペイン軍ラ・モナがシャトー=ピニオンを占領
1793年6月7日-01:00|フランス| |||(or9日)カトリック王党軍がソーミュールを占領、共和国軍はカトリック王党軍が引き揚げた後ですぐにソーミュールを奪回
1793年6月9日-09:00|日本|長野県松本市|寛政5年5月|松本藩、文武学校崇敬館を設立
1793年6月10日-01:00|フランス| |||世界初の公共動物園がパリに開園「ジャルダン・デ・プラント」
1793年6月10日-01:00|フランス| |||フランスで、共有地の分割令が承認される
1793年6月10日-01:00|フランス| |||フランス「王室植物園」(5区)が「博物館」となる
1793年6月11日-05:30|インド/フランス/イギリス| |||イギリスがフランス領フェンジャナゴールを占領
1793年6月14日-09:00|日本|千葉県安房郡鋸南町|寛政5年5月6日|<交替>安房勝山藩12000石「酒井忠鄰」隠居⇒長男「酒井忠和」が継ぐ(⇒文化7(1810)年10月12日、死去)
1793年6月17日-01:00|フランス/ハイチ| |||リゴ=軍をプランター部隊はDesrivaux農場で迎撃/リゴ=軍は3次にわたる総攻撃をかけるが敗退、甚大な被害を受け引き返す
1793年6月19日-05:30|インド/フランス/イギリス| |||イギリスがフランス領カリカルを占領
1793年6月19日 05:00|ハイチ/フランス| |||<就任>フランスのサント・ミゴ総督「フランソワ・ガルブ=デュ・フォート」(~10月)
1793年6月20日 00:00|イギリス| |||<死去>初代モイラ伯「ジョン・ロートン」
1793年6月20日 00:00|イギリス| |||<就任>2代モイラ伯「フランシス・ロートン=ヘイステイニングス」先代の息子(⇒18161206兼ヘイステイニングス侯・初代ロートン伯~18261128死去)
1793年6月23日-01:00|フランス/ハイチ| |||ソント軍、ガルブ軍を撃破
1793年6月24日-01:00|フランス/スペイン| |||1500人のベレアルデ要塞守備隊はスペイン軍に降伏
1793年6月24日-01:00|フランス| |||フランス公会が1793年憲法を採択(ジャコバン憲法)/しかし結局は施行されず
1793年6月30日-01:00|フランス| |||(29日~)フランス共和軍、フランス西部のナントで「反革命軍」を破る
1793年6月30日 00:00|ガーナ/デンマーク| |||<就任>デンマーク領ゴールド=コースト総督「ベント・オリック」(~8.3)
1793年7月-01:00|フランス/イタリア/イギリス| |||ナポリ、シチリア王国はイギリスと同盟を組みフランスと開戦
1793年7月 04:00|ポルティオ/スペイン| |||<就任>ラパス総督補佐「フランシスコ・アントニオ・デ・イオニョ・デ・ケラ・アルタチョ・カリロ・デ・ロス・リオス・ロンソ・イ・ヴァルデス」(~1795年7月)
1793年7月3日 00:00|イギリス| |||<就任>初代カーナヴァン伯「ヘンリー・ハーバート」(~18110603死去)
1793年7月5日-01:00|フランス| |||ロシュヤラン麾下のカトリック王党軍がウェステルマンの共和国軍をシャティヨン=シュール=セーヴルで打ち破った
1793年7月5日-09:00|日本| ||寛政5年5月27日|<死去>初代芝全交(44歳)戯作者
1793年7月8日-09:00|日本| ||寛政5年6月|<刊行開始>宇田川玄随訳「西説内科撰要」

1800迄 (2827件)

1793年7月8日-09:00|日本|大阪府大阪市|寛政5年6月|<初演>「傾城阿波乃鳴門」大阪竹本座
1793年7月12日-01:00|フランス| || トゥーロンで王党派の反乱発生
1793年7月12日-01:00|フランス| || フランスのグロト・シャップが視覚による通信機「腕木通信機」の公開実験成功
1793年7月13日-01:00|フランス| || 医師出身の革命政治家ジャン=ポール・マラー、フランス北西部ノルマンディーのカンから来た「シロンド派」支持者の女性シャルロット・コルデーに、入浴中に刺殺される(1743-、50歳)
1793年7月13日-01:00|フランス| || フランス北西部ノルマンディーの暴徒が鎮圧される
1793年7月14日-01:00|フランス| || フランス「ヴァンデ」の農民反乱(反革命反乱)の指導者ジャック・カトリノ、戦傷死
1793年7月15日-09:00|日本/ロシア|北海道函館市|寛政5年6月8日|ロシア大使ラスクマン初めて箱館に入港
1793年7月16日-05:30|インド/フランス/イギリス| || イギリスがフランス領マヘを占領
1793年7月17日-05:30|インド| || <死去>ジョージ・ブルグマハジヤ「ヒュージュン」
1793年7月17日-05:30|インド| || <即位>ジョージ・ブルグマハジヤ「ヒュージュン」(~18031017)
1793年7月17日-01:00|フランス| || フランス「国民公会」で「封建地代の無条件廃止」が確定し、一切の封建的諸権利の無償廃棄が決まる/農民は自主的な土地所有者となり、独立自営農民が誕生
1793年7月17日-01:00|フランス| || リヨン、マルセイユ、トゥーロンが反共和国派の手に落ちた
1793年7月17日 17:00|フランス| || 18時ごろ、マラー殺害犯シャルロット・コルデー処刑(1768-1793)
1793年7月20日 05:00|ハイチ/フランス| || トゥーサン軍、西部につながる要衝Dondonを制圧。マルレーットの包囲に入る。ムラートのヴェルネを司令官とする守備隊は、浮き足立つ
1793年7月20日 06:00|カナダ/イギリス| || カナダで、スコットランドの探検家アレクサンダー・マッケンジーが太平洋に到達(カナダ横断した初の欧米人)
1793年7月21日-01:00|フランス| || (下旬)共和国軍が反乱の中心都市だったカンを占領、フランス西部における穏健派の反乱は鎮圧された
1793年7月22日 04:00|バルバドス/イギリス| || <就任>イギリス領バルバドス元帥兼総督代理「ウィリアム・Bishop」(1期目~1794.6)
1793年7月23日-01:00|ドイツ/フランス| || プロシヤ軍がフランス衛星国マインツ共和国を奪回
1793年7月25日-01:00|フランス| || カトー將軍率いる共和国軍は反乱軍からアグニオンを奪う
1793年7月26日-01:00|フランス| || フランス国民公会が買い占め取り締まり法を可決
1793年7月26日-09:00|日本|群馬県高崎市|寛政5年6月19日|<死去>松平信有(63歳)前上野吉井藩主
1793年7月27日-05:30|インド| || <就任>ヴァトーダー太守「ゴウ・グインド・ラオ」(~18000919死去)
1793年7月27日-05:30|インド| || <就任>パロウ 国統治者(セ・カス・ケル)「コビント・ラウ・ゲークワル・マ・サヒブ」(~18000919没)
1793年7月27日 05:00|ハイチ/フランス| || トゥーサンは、Marmeladeへの総攻撃。夕方までに陥落。その後ヴェルネはトゥーサンの部隊に加わり幹部に昇進
1793年7月28日-09:00|日本|宮城県仙台市|寛政5年6月21日|<死去>林子平。獄死(56歳)経世論家。寛政の三奇人の一人
1793年7月29日-09:00|韓国/朝鮮| || <就任>朝鮮国領議政「洪崇性」(~17970616)
1793年7月30日-01:00|ロシア/トルコ| || <就任>オスマン帝国トリポリタニア・ベイルベグ・イレリ「セディ・アリ2市パシャ・アル・タラブリン」(~1794年11月)
1793年7月31日 05:00|ハイチ/フランス| || ポルト・フランスの共和主義者Desfournaux中佐、部隊を組織しSaint Michelまで前進。トゥーサン軍に完敗/ゴナイウのプランターは反乱を企てるが敗北
1793年8月 05:00|ハイチ/フランス| || Marmeladeでトゥーサンは待ち伏せ作戦により政府軍部隊を撃滅
1793年8月1日-01:00|フランス| || フランスが度量衡を統一し、メートル法を正式に採用/パリを通る子午線の4,000万分の1を1メートルとする
1793年8月3日 00:00|イギリス| || <死去>2代バッキンガムシャー伯「ジョン・ホバート」
1793年8月3日 00:00|イギリス| || <就任>3代バッキンガムシャー伯「ジョージ・ホバート」(~18041114死去)
1793年8月3日 00:00|カナダ/デンマーク| || <就任>デンマーク領ゴールド=コースト総督代行「クリスチャン・フリート・リ・バルン・フォン・ハガー」(~17950817)
1793年8月4日-09:00|日本|福岡県久留米市|寛政5年6月28日|<死去>高山彦九郎。幕吏に追われ筑後国久留米にて自刃(47歳)尊王思想家。寛政の三奇人の一人
1793年8月6日-01:00|フランス| || フランス、サン・ドニ教会で民衆による王族の墓の破壊が始まる
1793年8月9日-01:00|フランス| || 反乱都市となったリヨンへの攻撃が開始される
1793年8月10日-01:00|フランス| || フランス王のコレクションを集めた「ルーヴル宮殿」(1区)を「諸芸術の中央美術館」とされ「ルーヴル美術館」が開館/「王室コレクション」を、ひと月に10日ほど一般公開
1793年8月10日-01:00|フランス| || フランス「人民投票」の結果(賛成約180万票、反対約1万2千票)を受け、「1793年(ジャコバン)憲法」(「共和暦第一年の憲法」)布告(結局実施はされず)
1793年8月11日-05:30|インド| || <就任>ランプール国統治者(ナワブ)「ゴラム・モハメド・カン」(~17941027)
1793年8月20日-01:00|フランス| || フランス「アカデミー(学士院)」廃止
1793年8月22日-01:00|フランス| || <就任>国民公会議長「ロベスピエール」
1793年8月22日-01:00|アンドラ/フランス| || フランス共和国がアンドラ共同大公の地位を放棄(~1806年3月27日)
1793年8月23日-05:30|インド/フランス/イギリス| || イギリスがフランス領ポントディエリを占領(~18030711)
1793年8月23日-01:00|フランス| || フランスの国民公会が国民総動員令を可決/18~25歳の全男性が対象となる「強制徴兵制」が始まる
1793年8月24日-01:00|フランス| || フランス国民公会が株式会社禁止法令発布/「生命保険会社」、「株式会社」禁止

1800迄 (2827件)

1793年8月24日-09:00|日本|東京都|寛政5年7月18日|<太枳騒動>首謀者のうち綿塚村の重右衛門、金田村の重右衛門は獄門、熊野村の勘兵衛は死罪となり首は日川で晒された/以下4名は遠島となっているが一部は裁許をまたずに牢内で病死/国元や江戸に残る惣代らも召還されて処罰された

1793年8月25日-01:00|フランス| |||カト-将軍率いる共和国軍はフランス南部のマルセイユの「反革命軍」を撃破

1793年8月27日-01:00|フランス| |||フランス南東部のトゥロンで「王党派」が蜂起

1793年8月28日-01:00|フランス/イギリス| |||イギリス海軍と、フランス政府に反旗を翻した「王党派」、フランス南東部のトゥロン軍港を占拠

1793年8月29日-09:00|日本|東京都千代田区|寛政5年7月23日|<解任>老中・将軍補佐役「松平定信」

1793年8月29日-09:00|日本|東京都千代田区|寛政5年7月23日|国学者・塙保己一が江戸麹町に和学講談所を創立

1793年8月30日-01:00|フランス/スペイン| |||フランス軍はピダリア河からスペイン軍を追い払うためにピリアに攻撃をしかけたが、あっさり敗北

1793年9月1日-08:00|フィリピン/スペイン| |||<就任>スペイン領フィリピン総督「ラファエル・マリア・デ・アギラル」(~18060807死去)

1793年9月2日-02:00|南アフリカ/オランダ| |||<就任>オランダ領ケープ植民地司令官(オランダ東インド会社)「アブラハム・ジョサイア・スミス」(~17950916)

1793年9月5日-01:00|フランス| |||カンクーはカトリック王党軍によるサント攻撃を撃退

1793年9月5日-01:00|フランス| |||フランス「革命裁判所」改革/本格的に活動を開始し、簡単な審理で「反革命派」を処刑

1793年9月5日 00:00|イギリス/中国| |||清・乾隆58年8月|イギリスが中国へマカートニーを派遣し、貿易条件の改善を交渉(旧10月7日、乾隆帝が通商条約締結の要請を拒絶)

1793年9月6日-05:30|インド| |||<死去>ベンガル太守「ムバーラク・アリー・ハーン」

1793年9月6日-05:30|インド| |||<就任>ベンガル太守「バーバル・アリー・ハーン」(~18100428死去)

1793年9月6日-01:00|フランス/イギリス| |||オンスートの戦い/フランス軍が、ランドルのイギリス軍を撃破

1793年9月9日-04:00|セイシェル/フランス| |||<就任>フランス領セイシェル総督「ジャン＝バティスト・ケート・クインシー」(⇒18100517、長官~18110602)

1793年9月9日-09:00|日本|千葉県館山市|寛政5年8月5日|<死去>稲葉正明(71歳)前安房館山藩主

1793年9月10日-01:00|フランス| |||フランス「革命裁判所」改革/本格的に活動を開始し、簡単な審理で「反革命派」を処刑

1793年9月11日-01:00|オーストリア/フランス| |||クレアファイト率いるケワ包囲軍はケワ守備隊を降伏に追い込んだ/モブージュから救援に赴いたフランス軍部隊が撃退され、同日カンブレーから前進した部隊も敗北

1793年9月11日-01:00|フランス| |||フランス「革命軍」が創設される

1793年9月13日-01:00|オランダ/フランス| |||ウーシャルの北方軍はメタンでオリエ公のオランダ軍を攻撃しメタンを占領

1793年9月13日-01:00|フランス| |||フランス「逃亡貴族の所有地売却に関する法令」が出される

1793年9月15日-01:00|フランス| |||フランス「大学」が廃止されより専門的な学校を設けた

1793年9月16日-01:00|イタリア| |||<就任>ジェノヴァ共和国ドージェ「ジョセフ・マリア・ドリア」(~17950916)

1793年9月16日-01:00|フランス| |||ケルマンはまず南方のアルク川沿いに展開していたコルトン侯の部隊を叩き追い返した

1793年9月17日-01:00|フランス/スペイン| |||ピダストルの戦いではスペイン軍はフランス軍に前衛部隊を叩かれて退却、損害はフランス軍200人、スペイン軍1700人

1793年9月17日-01:00|フランス| |||フランスの国民公会が、反革命容疑者取締に関する法案を可決

1793年9月18日-03:00|ベラルーシ/ロシア| |||ベラルーシ(ミンスク地域)は、第二次ポーランド分割(ロシア・ポーランド条約)でポーランド・リトアニアからロシアに併合された

1793年9月19日-01:00|フランス| |||クレベール麾下のマイツ軍2000人がトゥールでカトリック王党軍4万人と衝突しカトリック王党軍が勝利

1793年9月19日 05:00|ハイチ/イギリス| |||<就任>イギリスのセント・ビンゴ軍事総督「ジョン・ホワイトロック」(~1795年5月)

1793年9月21日-01:00|フランス| |||フランス「航海条令」が出される/同じ国の同じ政治的地域にある港の間の旅客・貨物の輸送をフランス籍船のみに許可

1793年9月22日-01:00|フランス/スペイン| |||(or21日)ダゴベルト将軍の率いるフランス軍部隊がトゥリュイスにいるスペイン軍を攻撃/フランス軍は退却に追い込まれた/スペイン軍の損害は1500人、フランス軍はその4倍の損害を蒙った

1793年9月22日 05:00|ハイチ/イギリス| |||イギリス艦隊がモ・サンコラス港を占領下に置く。その後サマル、Leogane, Le Grand Goave, が英国の支配下に入り、イギリス軍は西南部の大半を制圧

1793年9月23日-09:00|日本|愛知県西尾市|寛政5年8月19日|<死去>三河国西尾藩6万石(老中)「松平乗完」(42歳)元寺社奉行・京都所司代・老中⇒10月4日、長男「松平乗寛」が継ぐ(⇒天保10年(1839年)11月11日、死去)

1793年9月25日-01:00|フランス| |||フランス、国民公会、公安委員会に独裁権を付与(公安委員会独裁始まる~1794年7月27日)

1793年9月28日-09:00|日本|岐阜県岐阜市|寛政5年8月24日|<加増>陸奥磐城平藩6万石「安藤信成」⇒67000石(⇒文化7年5月14日(18100615)、死去)

1793年9月28日-09:00|日本|東京都千代田区|寛政5年8月24日|<就任>老中「安藤信成」(~文化7年5月24日)

1793年9月29日-02:00|リトアニア/ポーランド| |||タロゲンとセラはポーランド=リトアニアに復元(17940803発効)

1793年9月29日-01:00|フランス| |||フランスの国民公会が、一般最高価格法を施行して生活必需品と賃金の上限を定める

1793年10月-01:00|フランス/イタリア| |||イギリス艦隊がリガールに入港、その圧力でトスカナ大公国はフランスと開戦

1793年10月 05:00|ハイチ/フランス| |||<就任>フランスのセント・ビンゴ総督「ラファエル・マリア・デ・アギラル」(~17960511)

1793年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「マリノ・ジャンギ」「フェリーチェ・カティ」

1793年10月3日-01:00|フランス| |||ケルマンは北方で攻勢に転じ、モンフェラート公の部隊をプティ＝サン＝ペルナル峠の向こうに追

1800迄 (2827件)

い落とした

1793年10月3日-01:00|フランス/スペイン| |||ブーリュの戦いでフランス軍は2700人の損害を出してスペイン軍に敗北
1793年10月3日 08:00|ビトケアン諸島/イギリス| |||<死去>イギリス領ビトケアン諸島指導者「Fletcher Christian」
1793年10月3日 08:00|ビトケアン諸島/イギリス| |||<就任>イギリス領ビトケアン諸島指導者「Edward Young」(~18001225死去)
1793年10月4日-09:00|日本|岐阜県海津市|寛政5年8月30日|<死去>徳川治行(松平義柄)(34歳)元美濃高須藩主
1793年10月5日-09:00|日本|長崎県島原市|寛政5年9月|肥前島原藩、藩校稽古館を設立
1793年10月7日-02:00|トルコ| |||オスマン朝が帝国海軍技術学校を創設
1793年10月7日 00:00|イギリス| |||<死去>初代ダウンシャー侯「ウィルズ・ヒル」
1793年10月7日 00:00|イギリス| |||<就任>2代ダウンシャー侯「アーサー・ヒル」(~18010907死去)
1793年10月9日-01:00|フランス| |||フランス政府軍、2ヶ月にわたる攻囲戦の末、「王党派」が指揮するフランス南東部のリオンを奪還
1793年10月10日-01:00|フランス| |||フランス国民公会が革命的政府樹立を宣言(恐怖政治の始まり)
1793年10月12日-01:00|フランス| |||サントニ教会でブルボン王家の王族の墓の破壊が始まる
1793年10月15日-01:00|モロッコ| |||モロッコはエルケール要塞に改名
1793年10月16日-01:00|オーストリア/フランス| |||ジュルダンのフランス軍が、ワッティニーの戦いでオーストリア軍を破る
1793年10月16日-01:00|フランス| |||フランス王妃マリー・アントワネット(38歳)が「革命広場」(現8区「コンコルド広場」)で処刑される/37歳(誕生:17551102)フランスのルイ16世の王妃
1793年10月17日-01:00|フランス| |||ショレ北方に前線を敷いた共和国軍に対してカトリック王党軍が攻撃/反乱軍は北のロワール河へと退却/損害は共和国軍4000人、カトリック王党軍8000人
1793年10月18日-01:00|フランス| |||フランス西部のヴァンデ県の暴動が鎮圧される
1793年10月22日-01:00|オーストリア/フランス/ドイツ| |||フランス軍のスーアン部隊はマンで連合軍を破る/アリュアン(トゥールコラン近く)でも連合軍相手に勝利を得た
1793年10月22日-01:00|フランス| |||フランス「食糧委員会」を創設
1793年10月23日-09:00|日本|秋田県秋田市|寛政5年9月19日|<死去>久保田新田藩(2)2万石「佐竹義祇」(35歳)⇒1月14日、長男「佐竹義知」が継ぐ(⇒文政4(1821)年7月11日、35歳で死去)
1793年10月24日-01:00|ドイツ/フランス| |||<死去>グェルテンベルグ公・グェルテンベルグ＝メンペル公「カール・オイゲン」フランス軍が最終的に占領
1793年10月24日-01:00|ドイツ| |||<即位>グェルテンベルグ公「ルートヴィヒ・オイゲン」(~17950520死去)
1793年10月27日-01:00|フランス| |||フランス軍はマンを捨てて退却
1793年10月28日-05:30|インド/イギリス| |||<就任>イギリス領ベンガル総督(イギリス東インド会社)「ジョン・ショア卿」(~17980318)
1793年10月28日 06:00|アメリカ| |||アメリカの発明家イーライ・ホイットニー(28)が綿織機を発明し、特許を得る
1793年10月31日-01:00|フランス| |||フランスで、ジロント派の指導者21人がギロチンで処刑される
1793年11月 00:00|ギニアビサウ/ポルトガル| |||<就任>ビサウ司令官「ホルヘ・アントニオ・ピント」(2回目~1799年)
1793年11月 03:00|ウルグアイ/スペイン| |||<就任>サラメント新植民地スペイン軍司令官「Mateo Ballesteros」(~1798年)
1793年11月4日-07:00|ベトナム| |||大越・景盛1年10月|<死去>西山朝(大越)歸仁朝廷国王「泰徳帝阮岳」
1793年11月4日-09:00|日本|山形県酒田市|寛政5年10月1日|<酒田寛政5年の大火、幻の大火>染屋小路から出火して945戸を焼く
1793年11月6日-01:00|フランス| |||<死去>ヴァロア公・オルアン公・モンパンス公・ヌール公「ルイ・フィリップ 2世ジョゼフ」反逆罪で死刑/46歳
1793年11月6日-01:00|フランス| |||<就任>ヴァロア公「ルイ・フィリップ」兼オルアン公・ヌール公「ルイ・フィリップ 3世」(~18300809フランス王即位)兼モンパンス公「ルイ・フィリップ」(~18500826死去76歳)
1793年11月12日-01:00|フランス| |||パリ・コミューン初代市長ジャン＝シルヴァン・バイを処刑
1793年11月14日-01:00|フランス/ドイツ| |||ブラウンシュヴァイク公はヴォーバン要塞(ルイ要塞)を包囲陥落させた
1793年11月19日 03:00|サンピエール島/ミクロン島/イギリス| |||<就任>サンピエール島・ミクロン島イギリス司令官「Peregrine "Percy" Francis Thorne」(~17940915)
1793年11月24日-01:00|フランス| |||フランスの国民公会が、グレゴリウス暦を廃止してジュリアン・ロムが作成した共和暦を施行(~1805年12月31日廃止)/17920922を共和暦元年葡萄月(ヴァンデミエール)1日とする/1年12ヶ月/1ヶ月30日/残りの5~6日を祝日、10日ごとに休日/日曜日はない
1793年11月24日-01:00|フランス| |||フランス全土でミサの禁止と教会の閉鎖
1793年11月26日-01:00|フランス/スペイン| |||スペイン軍がセビリアの拠点の砦を奪った
1793年11月28日-09:00|日本|東京都|寛政5年10月25日|湯島松平雲州侯御別館より出火、神田辺本町、石町、堺町、葺屋町芝居、日本橋辺迄類焼、都座(中村座控櫓)、桐座(市村座控櫓)も類焼
1793年11月29日-09:00|日本|東京都墨田区|寛政5年10月26日|<大相撲>寛政5年11月場所[江戸本所回向院](10日間)優勝:(西関脇)雷電, 8勝0敗1預1休/前場所千秋楽から9連勝、43連勝のはじまり
1793年11月30日-01:00|フランス/ドイツ| |||(28日~)カイザースラウテルンの戦い/連合軍がフランス側に3100人の損害を与えて勝利
1793年12月-09:30|オーストリア| |||解放囚人により、シドニーとパラムattaの間に連絡船が運行されるようになる
1793年12月-01:00|スペイン/ハイチ| |||スペイン軍と手を結んだトゥーサン、ジャン・フランソワ、ビュッスらの黒人奴隷軍が、カプ・フランソワを除く北部と中部高原全域を制圧
1793年12月3日 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| |||<死去>アゾレス諸島総司令官「Dinis Gregorio de Melo Castro e

1800迄 (2827件)

Mendonca]

- 1793年12月3日 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| |||<就任>アゾレス諸島総司令官「Jose d'Ave Maria Leite da Costa e Silva」(~17991030死去)
- 1793年12月3日-09:00|日本|京都府京都市東山区|寛政5年11月1日|京都三十三間堂通矢「半堂百射」で、力丸大吉郎が41(総矢数100)を記録
- 1793年12月4日-01:00|フランス| |||派遣議員ジョゼフ・フーシェ、コロ・デル・ボワのもと、リヨンの大虐殺が始まる/3ヶ月にわたり反革命容疑で約2600人の大量処刑
- 1793年12月4日-01:00|フランス| |||フランス「リベール14日法」可決、国家による政治警察の統制が始まる/「公安委員会」独裁樹立
- 1793年12月5日-01:00|フランス| |||<創刊>フランス、デムーラン、「ヴイエユ・コルトリエ」紙(恐怖政治批判)
- 1793年12月5日-01:00|フランス| |||<創刊>フランス、ルソー・サン・リス・ガミューブ・ノワ・デムーラン、雑誌「ヴイエユ・コルトリエ」
- 1793年12月7日-01:00|フランス/スペイン| |||フランス軍はヴァルロンギューでスペイン軍8000人の逆襲を受け650人の損害を出してペルピニャンへ後退
- 1793年12月12日-09:00|日本|兵庫県佐用郡佐用町|寛政5年11月10日|<交替>播磨三日月藩15000石「森俊韶」隠居⇒婿養子「森快温」が継ぐ(⇒享和元(1801)年9月27日、33歳で死去)
- 1793年12月13日-01:00|フランス| |||(12日~)マルソーの西方軍にルマンで攻撃を受け、カトリック王党軍2万5000人の部隊のうち1万5000人を失うという大敗を喫した
- 1793年12月15日 00:00|イギリス| |||<死去>サマセット公「ウェッジ・シーモア」
- 1793年12月15日 00:00|イギリス| |||<就任>サマセット公「エドワード・アドルファス・サンモール」(~18550815死去)
- 1793年12月17日-01:00|フランス| |||フランス軍はエキェット岬など重要な拠点を奪取
- 1793年12月19日-01:00|フランス/スペイン| |||(or 20日)5000人のフランス軍がコリウールで8000人のスペイン軍に敗北して4000人もの損害を出した
- 1793年12月19日-01:00|フランス/イギリス| |||トゥーロン港内に停泊している反革命軍を支援するイギリス艦隊をナポレオン・ボナパルト(24)が指揮するフランス軍が攻撃し、大きな損害を与える
- 1793年12月22日-09:00|日本|千葉県富津市|寛政5年11月20日|<交替>上総佐貫藩16000石「阿部正実」隠居⇒養子「阿部正簡」が継ぐ(⇒文政8(1825)年2月29日、死去)
- 1793年12月23日-01:00|フランス| |||マルソーとクレール率いる共和国軍2万人の攻撃を受けたカトリック王党軍ヴァンデ軍の残骸7000人はザネーで全滅
- 1793年12月26日-01:00|ドイツ/フランス| |||フランス「議会」の全権代表ルイ・アントワヌ・レオン・ド・サン＝ジュースト、ドイツ西部の「ラングウの戦い」で勝利しラングウを解放
- 1793年12月26日-01:00|ドイツ/フランス| |||ルイ・オシュのフランス軍がヴァイセンブルクで対仏大同盟軍を破る
- 1793年12月26日 00:00|イギリス| |||<死去>エグゼター伯「フランロー・セシル」
- 1793年12月26日 00:00|イギリス| |||<就任>エグゼター伯「ヘンリー・セシル」(⇒18010204エグゼター侯~18040501死去)
- 1793年12月30日-09:00|日本|三重県桑名市|寛政5年11月28日|<交替>伊勢桑名藩10万石「松平忠功」隠居⇒弟「松平忠和」が継ぐ(⇒享和2(1802)年5月10日、死去)
- 1794年-08:00|インドネシア/オランダ| |||<就任>アンボン島オランダ総督代理「Balthasar Smislaerd」(~同年)⇒総督「アレクサンダー・コーナベ」(~1796年)
- 1794年-07:00|タイ| |||<即位>ランハーン国主(チャオ)「トウアンティップ」(~1825年)
- 1794年-07:00|カンボジア| |||<復位>カンボジア王国国王「アンエン」(~1796年)
- 1794年-06:30|ミャンマー| |||アラカン地方でアラカン族がビルマ族の支配に対して反乱(~1815)
- 1794年-05:30|インド/アフガニスタン| |||<就任>アフガニスタン・カシミール総督「ラマトウッラー・カーン」(~同年)⇒「キファヤット・カーン」(~1795年)
- 1794年-05:30|インド| |||<就任>カターナ国統治者(タークル)「ヒムシンジ」(~1838年没)
- 1794年-05:30|インド| |||<就任>カンパラ国ラジャ「ナラシンハ・シン・マルドラージ・フアラマル・ルライ」(~1815年)
- 1794年-05:30|インド| |||<就任>キラス国統治者(タークル)「ランマルジ・サンガジ」
- 1794年-05:30|インド| |||<就任>ケオンジャル国ラジャ「ジャナルダン・パニ」(~1825年)
- 1794年-05:30|インド| |||<就任>ジャファラバード国タナダル兼ジャンシラ国ワジル「ジユムルト・カーン」(~1803年没)
- 1794年-05:30|インド| |||<就任>セイラ国統治者(タークル)「ウァカツインジ1世シェシュマルジ」(~1813年没)
- 1794年-05:30|インド| |||<就任>チャンハ国ラジャ「ジット・シン」(~1808年没)
- 1794年-05:30|インド| |||<就任>パドワラ国ラジャ「ブップ・チャント」(~不明)⇒「ダヤ・ハル」(2回目~1810年)
- 1794年-05:30|インド| |||<就任>ハルニ国統治者(ラナ)「モハン・シン2世」(~1839年没)
- 1794年-05:30|インド| |||<就任>ハトリ国支配者(ナワブ)「ハイダル・モハマト・カーン」建国(~1859年)
- 1794年-05:30|インド| |||<就任>ハランブル国統治者(デイワン)「フィルス・カーン3世」(~1812年没)
- 1794年-05:30|インド| |||<就任>ラージコット国統治者(タークル・サーヒブ)「ラクハジ1世ランマルジ」(2回目~1796年)
- 1794年-05:00|パキスタン| |||<死去>カラット国ワリ「ホサイン・ナスル・カーン1世」
- 1794年-05:00|パキスタン| |||<就任>カラット国ワリ「マフムド・カーン1世」(~18391113没)
- 1794年-04:00|アゼルバイジャン| |||<就任>ジャワト汗国ハーン「サフィ・ハーン」(~1796年)
- 1794年-04:00|ジョージア| |||<就任>ミングレリア公「ゲリゴル」(2回目~1802年3月)
- 1794年-04:00|セイシェル/フランス/イギリス| |||フランスがセイシェル諸島をイギリスに割譲
- 1794年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>アレクサ・ワリス(総督)「Abdullah Pasha al-Azm」(~1795年)
- 1794年-02:00|ラトヴィア| |||<就任>ケルラントとゼムガレのリヴォニア公国政府議長「カール・フェルディナント・フォン・オルギース将軍」(首相兼議長代行~17960128)

1800迄 (2827件)

1794年-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン領セウタ暫定総督「Miguel Alvarez de Sotomayor y Soto-Flores」(~同年)
⇒暫定総督「Diego de la Pena」(~同年)⇒総督「Jose Vasallo」(~1798年死去)
1794年-01:00|ベナン| |||<即位>アジヤチエ・休のフォン王国国王「ワフォン」(~1807年没)
1794年-01:00|カメルーン| |||<即位>ホンベラ王国国王「エブル・エレ」建国(~1804年)
1794年 00:00|カリヤ諸島/スペイン| |||<死去>ラ・コメロ伯「Florenzia Pizarro Piccolomini y Herrera」
1794年 00:00|シエラレオネ| |||<就任>ワンカフォン統治者「フェンダ・モ・ユ」
1794年 00:00|カリヤ諸島/スペイン| |||<就任>スペイン王国ラ・コメロ及びエル・ヒロ総支配人「Francisco Saenz Esquerria」(~1806年)
1794年 00:00|カリヤ諸島/スペイン| |||<就任>ラ・コメロ伯「Juan de la Cruz Belvis de Moncada y Pizarro」(~1835年死去)
1794年 04:00|バルバドス/イギリス| |||<就任>イギリス領バルバドス総督「George Poyntz Ricketts」(~1800年)
1794年 06:00|アメリカ/スペイン| |||<就任>スペイン領西フロリダ植民地総督「エンリケ・ホワイト」(~1796年)
1794年 06:00|アメリカ/スペイン| |||<就任>スペイン領ニューメキシコ総督「Fernando Chacon」(~1804年)
1794年 10:00|ハワイ| |||<死去>カウアイ島女王「Kamakahalei」
1794年 10:00|ハワイ| |||<死去>マウイ島国王「Kahekili 2世」
1794年 10:00|ハワイ| |||<即位>カウアイ島国王「(George) Kaumualii」(~18240526死去)
1794年 10:00|ハワイ| |||<即位>マウイ島国王「Kaeokulani」(~7月死去)
1794年1月-08:00|インドネシア/東ティモール/ポルトガル| |||<就任>ティモール知事「ジョアン・パティスタ・ベスキム」(~1800年)
1794年1月-03:00|エチオピア| |||<即位>エチオピア帝国(後期ソモン朝) 皇帝「テレギヨルギス1世ヨハネス」(3回目~17950415)
1794年1月 05:00|ハイチ/イギリス/マルティニーク| |||イギリス艦隊、マルティニーク、グアテマラ、サンリュシアなどを制圧
1794年1月6日 04:00|トリニダード・トバゴ/イギリス| |||<就任>トバゴ総司令官、総督「ジョージ・ホインツ・リッツ」(~5. 20)
1794年1月10日-01:00|アンゴラ/コンゴ共和国/コンゴ民主共和国/ガボン| |||<即位>コンゴ王国マニコンゴ「ヘンリー2世」(~1803年)
1794年1月16日-01:00|フランス/イギリス| |||<死去>イギリスの歴史家キボン/56歳(誕生:17370508)
1794年1月17日-01:00|フランス| |||テュローが地獄部隊を編成し、6縦隊に分かれた共和国軍がヴァンデ地域の住人を根こそぎ殺していった
1794年1月26日 00:00|イギリス| |||<死去>ペンブルク伯・モンゴメリー伯「ヘンリー・ハーバート」
1794年1月26日 00:00|イギリス| |||<就任>ペンブルク伯・モンゴメリー伯「ジョージ・オーガスト・ハーバート」(~18271026死去)
1794年1月27日-01:00|フランス| |||フランス公文書を「フランス語」に統一
1794年1月31日-09:00|日本|香川県仲多度郡琴平町|寛政6年|円山応挙、金刀比羅宮表書院の襖に竹林七賢図を描く
1794年1月31日-09:00|日本|香川県丸亀市|寛政6年|丸亀藩、藩学正明館を設置
1794年1月31日-09:00|日本| ||寛政6年1月|<出版>山東京伝(北尾政演)「絵兄弟」(浮世絵)
1794年1月31日-09:00|日本| ||寛政6年1月|<出版>清線館主人「絵本世吉の物競」(浮世絵)
1794年1月31日-09:00|日本| ||寛政6年1月|<出版>大阪の浮世絵師流光斎の「絵本花菖蒲」(浮世絵)
1794年1月31日-09:00|日本| ||寛政6年1月|<出版>北尾政美「絵本武勇一の筆」(女今川小倉文庫)(浮世絵)
1794年1月31日-09:00|日本| ||寛政6年1月|<出版>柳々居辰斎「狂歌三十六歌仙」(浮世絵)
1794年1月31日-09:00|日本|栃木県芳賀郡茂木町|寛政6年1月|茂木藩、弘道館および演武場を開く
1794年2月 00:00|イギリス/ハイチ| |||仏領サン・ドミングに対しては英領バルバドスのイギリス軍が襲撃、南西部のティアドロン岬を奪った
1794年2月 05:00|ハイチ| |||トウサン・ルベール・ルチールの指導でサン・ドミングの黒人が反乱
1794年2月4日-01:00|フランス| |||フランスの国民公会が、プリグ・イオース16日法可決/全植民地での奴隷制度廃止を宣言
1794年2月9日 06:00|日本|東京都|寛政6年1月10日|<江戸麹町の大火「桜田火事」をはじめ各町から一斉に出火>
未の中刻(15時ごろ)、麹町五丁目の油屋秋田屋庄兵衛(酒屋とも)方から出火、炎は山王社、永田の馬場から霞ヶ関、虎ノ門、外桜田のあたりをひとなめにし、諸侯の藩邸も次々と類焼、幸橋御門も焼け、愛宕下から日陰町、新橋、芝新銭座まで炎は延び、仙台藩や会津藩邸など一円が焼け野原となった/ほぼ同じ時刻の八時半時、小川町と麻布筋からも出火、小川町は程なく鎮火したが、麻布筋は夜四つ時(22時ごろ)まで燃えた/七つ時過ぎ(16時ごろ)には半蔵門御門外、牛込御門通でも出火、半蔵門御門外は夜の九つ時(午前0時)前に、牛込御門通の方は、神楽坂あたりから市ヶ谷、三番町に飛び火したが、夜五つ時(20時ごろ)過ぎには鎮火/同じころ、芝筋からも出火し大火となったが、翌日朝六つ時ごろ(午前6時ごろ)には鎮火/日暮れ前に市ヶ谷通りで、暮れ六つ時(18時ごろ)に根津裏門通でも出火/最後は夜四つ時(22時ごろ)の木挽町からの出火で、程なく鎮火/麹町も含め15時ごろから22時ごろまでの7時間に、江戸の主要な町々計9か所で火事が起きる/麹町から芝新銭座まで燃えた火災では、大名屋敷65家、旗本衆129家、永田馬場の御厩、真言宗真行院が焼失、町家は麹町一丁目から三丁目までの片側と平川町、早房町など幅2丁(約220m)長さ5丁(約550m)、虎の御門外では幅2丁(約220m)長さ8丁(約870m)、柴(芝)ロー一丁目から横町塩留橋までは片側2丁(約220m)ほどが焦土と化した
1794年2月12日-05:30|インド| |||<即位>ケワイル国統治者(マラジャ・スベタル)「ダウラト・シンデヤ」(~18270320没)
1794年2月12日-09:00|日本| ||寛政6年1月13日|<死去>3代中島勘左衛門(57歳) 歌舞伎役者
1794年2月15日-01:00|フランス| |||フランス国旗制定、各色は青=矢車草、白=マーガレット、赤=ヒナゲシの花で表現
1794年2月19日-09:00|日本|福井県勝山市|寛政6年1月20日|<死去>小笠原信房(62歳) 前越前勝山藩主
1794年2月20日-05:30|インド| |||<就任>サハヤール国支配者(ナワブ)「アブドゥル・フサイン・カーン」(~17961125)
1794年2月22日 00:00|イギリス| |||<死去>2代ニューカッスル=アンダーライン公・9代リンカン伯「ヘンリー・ペラム=クリントン」
1794年2月22日 00:00|イギリス| |||<就任>3代ニューカッスル=アンダーライン公・10代リンカン伯「トマス・ペラム=クリントン」2代公の三男(

1800迄 (2827件)

~17950517死去)

1794年2月22日-09:00|日本|東京都|寛政6年1月23日|<死去>初代瀬川如臯(56歳) 歌舞伎作者/女形から狂言・歌舞伎作者に転じた

1794年2月23日-02:00|ラトヴィア/ポーランド| ||<就任>ポーランド・リトアニア軍司令官「クシエンジェ・ミハウ・クレオファス・ギンスキ」

1794年2月26日-01:00|フランス| ||フランスの国民公会が、反革命容疑者の財産を没収するヴァントーズ法を可決

1794年2月28日-01:00|フランス| ||100人以上の子供を含む458人の虐殺もあった

1794年3月5日 06:00|アメリカ| ||アメリカ議会、憲法修正第11条可決

1794年3月11日-01:00|フランス| ||フランス「理工科学学校」が設立/高級技術将校の養成

1794年3月14日 06:00|アメリカ| ||アメリカで、ホイットニーが綿操機の特許を得る

1794年3月22日 04:00|マルティニーク/イギリス| ||<就任>フランス領マルティニーク知事「Charles Grey」司令官(~30日)

1794年3月22日 04:00|マルティニーク/イギリス| ||マルティニークをイギリスが占領(~18020913)

1794年3月22日 06:00|アメリカ| ||アメリカが外国との奴隷貿易を禁止

1794年3月23日-01:00|フランス/イギリス/マルティニーク| ||イギリス軍は仏領マルティニークを降伏させた

1794年3月24日-01:00|ポーランド| ||タデウシュ・コシチュシコ(コシュシコ)率いる蜂起軍が決起

1794年3月24日-01:00|フランス| ||フランスで、ジャック・エペール(1757-1794)ら「エペール派」(反キリスト教運動の中心的グループ)処刑

1794年3月27日-01:00|フランス| ||フランス、サン・キュロットからなる革命軍を解散

1794年3月28日-01:00|フランス| ||フランス恐怖政治に反対した最後の「百科全書」派の学者ニコラ・ド・コンドルセ、この日獄中で自殺(1743-、51歳)

1794年3月29日-01:00|フランス| ||<創刊>ジャン・ネ「哲学旬報」

1794年3月29日-01:00|オーストリア/フランス| ||ピエール・クレマンソーはルンペンとカンブレイ方面の連合軍に対する攻撃をしかけたが失敗/フランス軍は1200人の損害を出し、オーストリア軍は300人を失った刑

1794年3月30日 04:00|マルティニーク/イギリス| ||<就任>フランス領マルティニーク知事「Robert Prescott」(~同年)

1794年4月-02:00|ウクライナ/ロシア| ||<就任>ガリツァ総督代理「Joseph Siegmund Graf von Gallenberg」(~10月)

1794年4月 04:00|フォーランド/スペイン| ||<就任>スペイン領フォーランド諸島司令官・総督「Jose de Aldana y Ortega」(1期目~17950615)

1794年4月1日-01:00|サンマリノ| ||<就任>サンマリノ共和国執政「マリノ・ベッガニ」「アントニオ・ガッティオーニ」

1794年4月1日 00:00|シエラレオネ/イギリス| ||<就任>イギリス領フリータウン植民地総督代行「ザカリー・マコーレー」(1度目~17950506)

1794年4月4日 04:00|セントルシア/イギリス| ||<就任>イギリス領セントルシア総督「チャールズ・ゴードン卿」(~1795年)

1794年4月4日 04:00|セントルシア/イギリス| ||セントルシアをイギリスが占領(~17950618)

1794年4月5日-01:00|フランス| ||ジャコバン派の内部抗争でダントン、デムーランらジャコバン右派、汚職容疑で処刑

1794年4月7日-09:00|日本|岡山県岡山市|寛政6年3月8日|<交替>備前岡山藩31万5千石「池田治政」隠居⇒長男「池田斉政」が継ぐ(⇒文政12(1829)年2月7日、隠居)

1794年4月12日-04:00|レユニオン/フランス| ||<就任>ブルボン島知事「Pierre Alexandre Roubaud」(~17951101)

1794年4月12日-09:00|日本|愛知県刈谷市|寛政6年3月13日|<死去>三河刈谷藩23000石「土井利制」(27歳)⇒養子「土井利謙」が継ぐ(⇒文化10(1813)年5月20日、死去)

1794年4月13日-01:00|フランス| ||ルシー・サン・ピエール・ガミューブ/ノ・デ・ムーランの妻アンヌ・リュシール・フィリップ・デ・ムーラン、反革命容疑で逮捕処刑される

1794年4月16日-01:00|フランス| ||フランス、陰謀容疑者の裁判に関する法令が定められる

1794年4月16日-01:00|フランス| ||フランス、公安委員会に治安局設置(シエラレオネ27日法)

1794年4月17日-09:00|日本| ||寛政6年3月18日|<死去>立花玉蘭(不明) 漢詩人

1794年4月18日-09:00|日本|東京都江東区|寛政6年3月19日|<大相撲>寛政6年3月場所[江戸深川八幡宮](10日間) 優勝:(西小結) 雷電、6勝0敗1分1預2休/15連勝

1794年4月19日-01:00|ドイツ/オランダ/イギリス| ||ハーグ条約が結ばれ、イギリスが対仏大同盟のプロイセンとオランダ軍に対する援助金の支払を約束

1794年4月20日-01:00|フランス/イギリス/グアドループ| ||グレイ将軍は仏領グアドループを奪取

1794年4月21日 04:00|グアドループ/イギリス| ||<就任>グアドループ知事「Thomas Dundas」(~6.2死去)

1794年4月21日 04:00|グアドループ/イギリス| ||グアドループをイギリスが占領(~6.2)

1794年4月22日-01:00|フランス| ||フランス、ルイ16世の弁護人、ラモignon・ド・マルセユール 処刑

1794年4月24日-02:00|リトアニア| ||<就任>リトアニア最高評議会議長「ヨハネス・ヤンスキス」(~6.12没)

1794年4月24日-01:00|フランス/イタリア| ||プティエ・サン・ペルナル守備隊は第二陣2万1000人を率いて前進してきたデューバールの前で降伏/損害はフランス軍1500人、連合軍2800人

1794年4月30日-01:00|フランス| ||フランス軍ランドレーの守備隊7000人は降伏

1794年4月30日-09:00|日本| ||寛政6年4月|<出版>葛飾北斎、叢春朗と号して画き「狂歌連合女品定」

1794年4月30日-09:00|日本|佐賀県小城市|寛政6年4月|<交替>肥前小城藩73000石「鍋島直愈」隠居⇒長男「鍋島直知」が継ぐ(⇒文化元(1804)年3月12日、死去)

1794年5月1日 06:00|アメリカ| ||フィラデルフィアで連邦靴職人協会が結成、世界初の労働組合

1794年5月1日 14:00|日本|東京都中央区|寛政6年4月2日|亥半刻、吉原三十六江戸町二丁目より出火、一廓焼亡

1794年5月5日 00:00|ガーナ/オランダ| ||<就任>オランダ領ゴールド・コースト大統領「リッパ・ファン・ベルゲン・ファン・デル・グリーフ」(2回目~17950110)

1794年5月7日 14:00|日本|沖縄県|寛政6年4月8日|<死去>琉球国王「尚穆」

1794年5月7日 14:00|日本|沖縄県|寛政6年4月8日|<即位>琉球国王「尚温」(~18020808死去)

1800迄 (2827件)

1794年5月8日-01:00|フランス| |||化学者アントワーヌ=ローラン・ド・ラヴオワジエが前歴を問われてギロチンで処刑される/50歳 (誕生:17430826) 有機化学の創始者

1794年5月8日-01:00|フランス| |||フランス「パリ裁判所」の権限を全国に拡張する法令が出される

1794年5月10日-01:00|フランス| |||故ルイ16世の妹エリザベート=フィリップ=ヌーヴ=フランス、国王の脱走を手助けした罪、王族・貴族の国外亡命に資金援助した罪で処刑される (1764-、30歳)

1794年5月12日-04:00|モリスヤス/フランス| |||<就任>マリヤン島代理市民「フィリパート=マラゴン」(1回目~18090808)

1794年5月13日-01:00|ジブラルタル/イギリス| |||<就任>イギリス領ジブラルタル知事「チャールズ=レインズ=フォード」(~17951128)

1794年5月17日-04:00|セイシェル/フランス/イギリス| |||セイシェルがイギリスに占領される (~18020313) フランス統治は継続

1794年5月17日 14:00|日本| ||寛政6年4月18日|<死去>荒木元融 (67歳) 画家

1794年5月18日-01:00|フランス| |||シャル=ビュグリュのフランス軍が、トルコワで大同盟軍を破る

1794年5月19日-01:00|フランス/スペイン| |||スペイン軍デ=ラ=ユニオンは5個縦隊でオージュローを、2個縦隊でペリニオンを攻撃したが、フランス軍に打ち破られた

1794年5月20日-01:00|フランス| |||アルプス方面軍がモン=スニを奪回し、全サヴォワ地方を制圧

1794年5月20日 04:00|トリニダード=トバゴ/イギリス| |||<就任>トバゴ 総司令官、総督代行「ジョセフ=ロブリー」(1期目~17950402)

1794年5月22日-05:30|インド/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領インド 総督「フランシスコ=アントニオ=ダ=ウエイガ=カブラル=ダ=カマラ=ヒメンテル、ウイスコンデ=デ=ミランダ」(~18070530)

1794年5月23日-01:00|フランス/ドイツ| |||プロシヤ軍はカイザースラウテルを奪取

1794年5月24日 05:00|ハイチ| |||リゴ、レガヌ攻略に成功

1794年5月25日 06:00|グアテマラ/スペイン| |||<就任>スペイン領グアテマラ総督・総司令官・大統領「ホセ=トマス=イ=ヴァッレ」(~18010728)

1794年5月25日-09:00|日本|東京都江東区|寛政6年4月26日|江戸深川三十三間堂通矢「半堂大矢数」で、井上三之助 (14歳) が11,745本 (総矢数11,996中) を記録

1794年5月28日-07:00|カンボジア| |||<即位>カンボジア王国国王「アン=エン」(2回目~17961128)

1794年5月29日-01:00|ベルギー=フランス| |||ジュルダンはデ=イナンを占領

1794年5月29日-01:00|フランス/スペイン| |||フランス軍はスペインからコリウを奪った

1794年5月29日-09:00|日本| ||寛政6年5月|東州斎写楽の役者絵が売り出される

1794年5月30日-09:00|日本|東京都江東区|寛政6年5月2日|江戸深川三十三間堂通矢「四十間堂百射」で、森川弁次郎 (14歳) が93本 (総矢数100中) を記録

1794年6月 04:00|バルバドス/イギリス| |||<就任>イギリス領バルバドス元帥兼総督「ジョージ=Poyntz Ricketts」(~1800.2死去)

1794年6月 05:00|ハイチ/フランス| |||フランス軍准将となったトゥーサン、ジャン=フランソワからすべての権限を剥奪し北部山地に放逐し北部を制圧

1794年6月1日-01:00|フランス/イギリス| |||リチャード=ハウ提督のイギリス海軍が、ブレスト沖でフランス艦隊を破る

1794年6月2日-07:00|ラオス| |||<即位>ルアンパバーン王「アヌム」(2回目~18191231)

1794年6月2日-01:00|ドイツ| |||<死去>メクレンブルク=シュトレリッツ公「アドルフ=フリードリヒ4世」

1794年6月2日-01:00|ドイツ| |||<即位>メクレンブルク=シュトレリッツ公「カール2世」アドルフ=フリードリヒ4世の弟 (⇒18150628大公~18161106死去)

1794年6月2日-01:00|フランス| |||フランス革命軍にフランス航空部隊が編成され、気球、L'Entreprenantを装備してオーストリア軍との戦いで砲撃の偵察のために使用が始められた

1794年6月2日 04:00|グアドループ/イギリス| |||<死去>グアドループ 知事「Thomas Dundas」

1794年6月4日-01:00|フランス| |||マクミリアン=ド=ロベスピエール、「国民公会」の議長となる

1794年6月4日 05:00|ハイチ/イギリス| |||イギリス軍、ポルト=フランスを制圧、セントニコラスからジェミーまでの海岸線が英国の支配下にはいる

1794年6月5日 06:00|アメリカ| |||アメリカで中立法が可決される

1794年6月7日 04:00|グアドループ/イギリス| |||<就任>グアドループ 国民公会委任委員「Jean Baptiste Victor Hugues」(~17950106)

1794年6月10日-01:00|フランス| |||フランスで、革命の敵を根絶するためのプレリアル22日法制定/容疑者を「国民公会」にはかることなく「公安委員会」の決定だけで「革命裁判所」に送られる

1794年6月12日-02:00|リトアニア| |||<就任>リトアニア最高評議会議長「中央代議員 (持ち回り): ユザハス=ニシオロフスキ/アンタナス=ティゼンハウザス/ユルギス=ビャロベトロウイチュス/スタニスロウ=アス=ミルスキス/グラフ=アス=ベネディクト=モリコニス/ダウイダス=ヒルチャウスカス」(~10.11)

1794年6月17日-01:00|ベルギー=フランス| |||イーブルの連合軍守備隊はビュグリュに降伏

1794年6月25日-01:00|フランス| |||逃亡中のジロント派議員シャル=ジャン=マリー=バルバル逮捕処刑 (1767-1794)

1794年6月25日-01:00|ベルギー=フランス| |||フランス軍がシャルロワを占領

1794年6月25日 05:00|ハイチ/フランス/イギリス| |||トゥーサン=ルヴェルトユルが連合軍に対して反撃、フランス軍を解放

1794年6月26日-01:00|ベルギー=オーストリア/フランス| |||ジャンダル將軍のフランス軍が、ベルギー国境のリュールの戦いでオーストリア軍を破る

1794年6月26日-01:00|ベルギー=フランス| |||フランスがエノーとトゥルネーを奪還

1794年6月27日-09:00|日本| ||寛政6年6月|<出版>岡田玉山「住吉名勝図会」

1794年6月29日 00:00|イギリス| |||<死去>5代ウォルト=グレイ伯爵「ジョージ=ウォルト=グレイ」

1794年6月29日 00:00|イギリス| |||<就任>6代ウォルト=グレイ伯爵「ジョン=ジェイムズ=ウォルト=グレイ」先代の弟 (~18350731死去)

1800迄 (2827件)

去)

1794年7月 10:00|ハワイ| |||<死去>マウイ島国王「Kaeokulani」
1794年7月 10:00|ハワイ| |||<即位>マウイ島国王「Kaeokulani」(~12.6死去)、「Kalanikupule」(~17950501死去)
1794年7月1日 06:00|日本|京都府京都市|寛政6年6月5日|四条火災、芝居小屋3座全焼
1794年7月6日-09:00|日本|愛知県豊田市|寛政6年6月10日|<死去>三河拳母藩2万石「内藤学文」(44歳)⇒養子「内藤政峻」が継ぐ(⇒文化10(1813)年2月27日、隠居)
1794年7月10日-01:00|ベルギー/フランス| |||フランスがブリュッセルを奪還
1794年7月12日 07:00|メキシコ/スペイン| |||<就任>ヌエバ・イスパニア副王「フランシスコ侯爵ミゲル・デ・ラ・グエル・アラマンカ・デ・カリーニ・イ・ブランソアルテ」(~17980531)
1794年7月15日-05:30|スリランカ/オランダ| |||<就任>オランダ領セイロン総督「ヨハン・ヘラルト・ファン・アンゲルビーク」(~17960216)
1794年7月16日-01:00|オランダ/フランス| |||フランス軍シェレルがランドレーを落とす
1794年7月17日-01:00|フランス/ドイツ| |||フランス軍はカイザースラウテルンを奪回
1794年7月18日-01:00|オランダ/フランス| |||フランス軍モローがニューボールを落とす
1794年7月19日-01:00|フランス| |||音楽家ヨハン・フリードリッヒ・エーデルマン処刑(1749-1794)
1794年7月23日-01:00|フランス| |||フランスで賃金法が制定される/サン・キュロット運動の反発が激化
1794年7月23日-01:00|フランス| |||マインツ戦敗戦の不手際を罪としてボナパルト子爵処刑(1760-1794)
1794年7月24日-01:00|フランス| |||ルイ・シャルルの教育係だった靴屋アントワヌ・シモン処刑(1736-1794)
1794年7月24日-09:00|日本| ||寛政6年6月28日|<死去>3代古満休伯(不明) 蒔絵師
1794年7月25日-01:00|フランス| |||フランスの詩人アントレ・マリ・シェニエが「国家反逆罪」に問われ処刑される(1762-、32歳)
1794年7月25日 04:00|米領ガージン諸島/デンマーク| |||<就任>セントクロア総督「Wilhelm Anton Lindemann」(1期目~17960508)
1794年7月27日-01:00|ベルギー/フランス| |||<就任>フランス軍ベルギー司令官「ジャン・シャルル・ピチエグル」(~10.15)
1794年7月27日-01:00|フランス| |||<テルミノー9日のクーデター>恐怖政治の激化を恐れた「反ロベスピエール派」が、中間派ブルジョワ(「平原派」)を抱き込んでクーデターをおこす/「国民公会」(公安委員会)が、マキシミリアン・ド・ロベスピエール、ルイ・アントワヌ・レオン・ド・サン＝ジユスト、ジョルジュ・オーギュスト・ケートン、ルバの5名の逮捕を命ず/「山岳派」が失脚し、ジャコバン独裁の「恐怖政治」が終わる/パリ市の全機能が失われ、その行政は「穏健共和派」のブルジョワの手に帰す
1794年7月27日-01:00|ベルギー/フランス| |||ベルギーをフランスが再占領
1794年7月28日 12:00|フランス| |||午後、マキシミリアン・ド・ロベスピエール(1755-、36歳)、ルイ・アントワヌ・レオン・ド・サン＝ジユスト(1767-、27歳)やジョルジュ・オーギュスト・ケートン(1755-、39歳)ら「ジャコバン派」22名が処刑される
1794年7月29日-01:00|フランス| |||フランス諸委員会の選挙制が改正される
1794年7月29日-01:00|フランス| |||フランス、コミューン代議員70名が処刑される
1794年7月30日-01:00|フランス| |||コミューン代議員12名が処刑される
1794年8月 06:00|アメリカ| |||ペンシルベニア州西部の開拓者が蒸留酒に対する連邦の課税を不満として「ウイスキー税反乱」発生(11月、連邦軍隊に鎮圧される)
1794年8月1日-09:00|日本| ||寛政6年7月6日|<死去>閑院宮典仁親王(62歳) 皇族
1794年8月4日-01:00|スペイン/フランス| ||| (or2日) フランス軍はスペインのサン＝セバスチャンを奪った
1794年8月6日-01:00|フランス| |||フランス、元革命裁判所裁判長ジャン＝バティスト・コフィタル処刑
1794年8月6日 00:00|イギリス| |||<死去>2代バースト伯「ヘンリー・バースト」
1794年8月6日 00:00|イギリス| |||<就任>3代バースト伯「ヘンリー・バースト」先代の息子(~18340727死去)
1794年8月9日-01:00|スペイン/フランス| |||フランス軍はスペインのトリヤを占領
1794年8月9日-01:00|フランス/ドイツ| |||モローのモゼル軍は連合軍の最前線となったトリールを攻撃、守備隊のプロシヤ兵5000人は街を放棄
1794年8月12日-02:00|ロシア/ロシア| |||ロシアがロシアに占領される
1794年8月12日-09:00|日本|長崎県長崎市|寛政6年7月17日|<死去>訳書「天地二球用法」などで地動説を紹介した長崎通詞本木良永(60)
1794年8月13日-01:00|フランス/スペイン| |||スペイン軍はオージョロ麾下のフランス軍右翼1万人がいるサン＝ローランに兵力を集中して攻撃したが撃退された/損害はフランス軍800人に対しスペイン軍1400人
1794年8月13日-09:00|日本|栃木県下都賀郡壬生町|寛政6年7月18日|<死去>下野壬生藩3万石「鳥居忠意」(78歳)⇒孫「鳥居忠燾」が継ぐ(⇒文政4(1821)年7月27日、死去)
1794年8月16日-01:00|オランダ/フランス| |||フランス軍シェレルがケノワを落とす
1794年8月16日-09:00|日本| ||寛政6年7月21日|<死去>白子昌平(不明) 国学者、歌人
1794年8月20日 00:00|イギリス| |||<死去>3代メイヨ伯「ジョン・フ・テイン・ボーク」
1794年8月20日 00:00|イギリス| |||<就任>4代メイヨ伯「ジョン・ボーク」(~18490523死去)
1794年8月20日 06:00|アメリカ| |||フォールン・ティンバーズの戦いで、アメリカ軍がインディアン諸部族連合軍を破る
1794年8月21日-01:00|フランス| |||フランスがコルシカ島を放棄(アングロ・コルス王国成立)
1794年8月24日-01:00|オランダ/フランス| |||フランス軍モローがスリュウを落とす
1794年8月24日-01:00|フランス| |||フランス「革命政府」が改組され、16の「委員会」が創設される
1794年8月25日-09:00|日本| ||寛政6年8月|桂川甫周が、大黒屋光太夫の体験を聞いて「北瑳聞略」を著す
1794年8月25日-09:00|日本|東京都中央区|寛政6年8月|「神霊矢口渡」歌舞伎初演、新田特寿丸・初代市川新之助(後の七代目、市川團十郎)、八代目守田勘彌、江戸桐座
1794年8月27日-01:00|オランダ/フランス| |||フランス軍シェレルがヴァレンシエンヌを落とす
1794年8月30日-01:00|オランダ/フランス| |||フランス軍シェレルがコンデを落とす(or29日)

1800迄(2827件)

1794年8月31日-09:00|日本|群馬県渋川市|寛政6年8月7日|渋川村元宿の吉田芝溪「養蚕須知」を著す
1794年9月-04:30|アフガニスタン| ||<即位>アフガニスタン対立大王(カンダハール)「フマユーン・シャー」(2回目~17950106)
1794年9月2日-10:00|グアム/北マリアナ諸島/スペイン| ||<就任>マリアナ諸島知事「Manuel Muro」(~18020112)
1794年9月7日-01:00|フランス| ||フランス, 最高価格令を停止
1794年9月10日-09:00|日本|茨城県つくば市|寛政6年8月17日|<死去>細川興晴(59歳)前常陸谷田部藩主
1794年9月12日-09:00|日本|岡山県津山市|寛政6年8月19日|<死去>美作津山藩5万石「松平康哉」(43歳)⇒次男「松平康又」が継ぐ(⇒文化2(1805)年7月13日、20歳で死去)
1794年9月14日-01:00|オランダ/フランス| ||ピシグ・リュの部隊は連合軍ヘッセン部隊とエミグレ部隊1100人からホクステルを奪取/アパクロン配下の4個連隊が反撃のために派遣されたがフランス軍相手に敗北
1794年9月14日-09:00|日本|福井県福井市|寛政6年8月21日|福井城下で火事, 町家210軒・寺10など焼失
1794年9月15日-09:00|日本|富山県富山市|寛政6年8月22日|<死去>前田利興(58歳)前越中富山藩主
1794年9月16日-01:00|ベルギー/フランス| ||スタヴ・ロ・マルメイがフランスに占領される
1794年9月17日-01:00|フランス/スペイン| ||2度目の解放作戦を試みたスペイン軍がすぐ近くまでやって来たときにベルギーの守備隊は降伏
1794年9月18日-01:00|フランス| ||フランス国家と教会を分離
1794年9月22日-01:00|オランダ/フランス| ||フランス軍はエクス＝ラ＝シャペルを占領
1794年9月28日 00:00|シエラレオネ/フランス/イギリス| ||フリータウンがフランスに拿捕された7隻の軍艦からの攻撃を受ける/フランス人がフリータウンを略奪・破壊し始める
1794年9月28日-01:00|オーストリア/イギリス/ロシア| ||ロシア暦9月17日|イギリス, ロシア, オーストリアの3国が対仏同盟を結ぶ(ヘンブルク同盟)
1794年10月-02:00|ウクライナ/ロシア| ||<就任>カザン総督「Joseph Graf von Mailath」(~1795.8)
1794年10月-01:00|ポーランド| ||タデウシュ・コシチュシコ(コシュシコ)率いる蜂起が失敗
1794年10月 04:30|ベネチア| ||セル・コルテス・デ・マダリアーガ, ミランダの指導を受けカラカスで蜂起
1794年10月1日-01:00|サンマリノ| ||<就任>サンマリノ共和国執政「フィリッポ・ベルツィ」|「ピエール・ウインチェンツォ・ジ・ヤンニニ」
1794年10月2日-01:00|オランダ/フランス| ||ジャン・バプティスト・エルクマンの3万人はアルデンホーフェンを奪取し、ついでルフェーブルと合流してリニッチへの攻撃を成功させた
1794年10月2日-01:00|ドイツ/フランス| ||フランスのラインラント侵攻が始まる
1794年10月6日-01:00|ドイツ/フランス| ||フランスがアーヘン占領
1794年10月6日 04:00|グアデルプ/フランス/イギリス| ||ユースはグアデルプのイギリス軍ゲラム連隊を降伏させた
1794年10月7日-09:00|日本|愛媛県宇和島市|寛政6年9月14日|<死去>伊予宇和島藩10万石「伊達村候」(70歳)⇒四男「伊達村寿」が継ぐ(⇒文政7(1824)年9月12日、隠居)
1794年10月9日-01:00|オランダ/フランス| ||ベルゲン・オブ・ゾームがフランスに占領される
1794年10月9日 05:00|ハイチ/フランス| ||トゥーサン, 5千の兵を率いサンミゲル攻略に成功
1794年10月10日-01:00|フランス| ||パリのアンリ・クレール神父、科学者・技術者の発明品の保管庫として、「国立工芸学校」を創設(現在の「工芸技術博物館」, 3区「レミュー通り」60番地)/12世紀に創建されたロマネスク建築の「サン＝マルタン＝ド＝ジャン教会」の「小修道院」の建物を用いて設置
1794年10月14日-01:00|ドイツ| ||<死去>シュヴァルツブルク＝ゾンダーースハウゼン侯「クリスティアン・ギューター3世」
1794年10月14日-01:00|ドイツ| ||<就任>シュヴァルツブルク＝ゾンダーースハウゼン侯「ギューター・フリートリヒ・カール1世」(~18350819死去)
1794年10月15日-02:00|エジプト/トルコ| ||<就任>オスマン帝国領エジプト総督「カイシリ・ハチ・サリフ・パシャ」(~17960607)
1794年10月19日-02:00|トルコ| ||<就任>オスマン帝国大宰相「サランホルル・イェット・メフメト・パシャ」(~17980830)
1794年10月21日-01:00|オランダ/フランス| ||ゲルトはフランスに併合(⇒17980123, 77県の一部~18000308);メーゲンはフランスに併合(⇒17980123, 77県の一部)
1794年10月24日-09:00|日本| ||寛政6年10月|<初演>歌舞伎「石川五右衛門」<竹中砦、壬生村、つづらぬけ>角の芝居
1794年10月25日-01:00|ドイツ/フランス| ||ジュルタンはコブレンツを占領
1794年10月25日-01:00|オランダ/ドイツ/イギリス| ||プロセンがイギリスとのハーグ条約を破棄してオランダから軍隊を撤退させる
1794年10月26日-01:00|オランダ/フランス| ||(or27日)にモロの部隊によってオランダのヴェンローは陥落
1794年10月26日-01:00|ドイツ/フランス| ||フランスがケルン占領
1794年10月27日-05:30|インド| ||<就任>ラングール国統治者(ナワブ)「アフマト・アリ・カーン」(~18400705没)、摂政「ナスル＝ラ＝カーン」(~1811年没)
1794年10月29日-09:00|日本|千葉県香取郡多古町|寛政6年10月6日|<交替>下総多古藩12000石「松平勝全」隠居⇒次男「松平勝升」が継ぐ(⇒文政元(1818)年9月5日、死去)
1794年10月30日-03:30|イラン| ||<死去>ザンド朝シャー「ロフ・アリ・カーン・ザンド」がジャール朝によって滅亡
1794年10月30日-02:00|リトアニア/ロシア| ||<即位>リトアニア大公「クニャージ・ニコライ・グアシリエグイ・イチ・レブニン」(~17981126)
1794年10月30日-01:00|フランス| ||フランス「エコール・ノルマル(師範学校)」に関する法律が出される
1794年11月-03:30|イラン| ||<就任>サファヴィー朝大宰相「ハジ・イブラヒム・カランタル・シラジ」(~18010414没)
1794年11月-01:00|リビア/トルコ| ||<就任>オスマン帝国トリポリ・リビア・ベイルベイル「アフマト2世・ベイ」(~17960124)
1794年11月-01:00|フランス| ||パリで技術者養育を目的とした工業事業中央学校(1795年9月エコール・ポリテクニクと改称)が創設
1794年11月 05:00|ハイチ/フランス/イギリス| ||ブリス・ベーン司令官の率いるイギリス軍, サンマリノからアルティボネート流域に進出. トリ

1800迄 (2827件)

-オ軍の拠点Les Verettesを制圧

1794年11月4日-01:00|オランダ/フランス| ||マストリヒト陥落

1794年11月6日 04:00|バミューダ/イギリス| ||<就任>イギリス直轄植民地バミューダ総督「ジェームズ・クロウフォード」(~17961027)

1794年11月7日-09:00|日本| ||寛政6年10月15日|幕府が1789年からの倭約令の年限終了につき、引きつづき10か年の倭約を命じる

1794年11月8日-01:00|ドイツ/フランス| ||フランスがボン占領

1794年11月9日-01:00|ポーランド/ロシア| ||ロシア軍がワルシャワを陥落させる

1794年11月9日 06:00|アメリカ| ||(~13)アメリカ、ウィスキー暴動の暴徒を一斉検挙

1794年11月12日-01:00|フランス| ||フランス国民公会、パリの「ジャコバン・クラブ」(1区にあった)を閉鎖

1794年11月17日-01:00|フランス/スペイン| ||朝、スペイン軍5万人に対しデューゴミエ将軍のフランス軍3万5000人が攻撃を始め、オージュロはスペイン軍左翼を壊走に追い込んだ

1794年11月17日-01:00|フランス| ||フランス「小学校」に関する法律が出される

1794年11月18日-03:00|エチオピア| ||<死去>ハル首長国エミール「アフマド・アル＝シャクル・イブン・ユスフ」

1794年11月18日-03:00|エチオピア| ||<就任>ハル首長国エミール「アフマド 2世・イブン・ムハンマド」(~18200115没)

1794年11月19日 06:00|アメリカ/イギリス| ||アメリカ、英国とのあいだにジェイ通商条約締結/北西部の英軍基地返還。またミシシッピ＝オハイオ地帯の領有権獲得。フランス革命に対して中立認める

1794年11月20日-01:00|フランス/スペイン| ||フランス軍右翼を強化したうえでに三度目の攻撃/スペイン軍左翼は再び崩壊

1794年11月21日-01:00|ルクセンブルグ/オーストリア| ||ルクセンブルグ要塞をフランスが包囲(~17950610)

1794年11月22日 04:00|マルティニーク/イギリス| ||<就任>フランス領マルティニーク知事「John Vaughan」(~1795年死去)

1794年11月22日-09:00|日本| ||寛政6年10月30日|<死去>伊藤松軒(86歳)歌人

1794年11月23日-09:00|日本|大阪府大阪市|寛政6年11月|<初演>「植木屋」[作・並木五瓶]中の芝居

1794年11月23日-09:00|日本|広島県廿日市市|寛政6年冬|長沢蘆雪、「宮島八景図」を描く

1794年11月23日-09:00|日本|群馬県渋川市|寛政6年11月1日|高崎藩士大石久敬「地方凡例録」を著す

1794年11月26日-01:00|スペイン/フランス| ||(or28日)フィゲレス近くのサ＝フェルナンド要塞に残されたスペイン軍の生き残り9000人が降伏

1794年11月26日-09:00|日本|東京都|寛政6年11月4日|<死去>初代浜村蔵六(60歳)篆刻家

1794年11月30日 04:00|トミニカ国/イギリス| ||<就任>イギリス領トミニカ総督「ヘンリー ハミルトン」(~1796年没)

1794年12月 05:00|ハイチ/イギリス| ||トウサン＝ル＝ヴェルトユールがイギリス軍からティグロン岬を奪回

1794年12月3日-09:00|日本|三重県鳥羽市|寛政6年11月11日|<交替>志摩鳥羽藩3万石「稲垣長以」隠居⇒養子「稲垣長統」が継ぐ(⇒文政元(1818)年12月29日、死去)

1794年12月6日 10:00|ハワイ| ||<死去>マウイ島国王「Kaeokulani」

1794年12月8日-09:00|日本|東京都墨田区|寛政6年11月16日|<大相撲>寛政6年11月場所[江戸本所回向院](10日間)優勝:(西関脇)雷電、8勝0敗1預1休/23連勝

1794年12月8日-09:00|日本|長野県小諸市|寛政6年11月16日|<死去>信濃小諸藩15000石「牧野康隆」(45歳)⇒長男「牧野康儔」が継ぐ(⇒寛政12(1800)年6月26日、28歳で死去)

1794年12月13日-05:30|インド/イギリス| ||ランプール国はイギリスの保護領(条約により)

1794年12月16日-01:00|フランス| ||フランス、大量虐殺で告発されたジャン＝バティスト・カリエの処刑

1794年12月19日-09:00|日本|愛媛県宇和島市|寛政6年11月27日|<開校>伊予吉田藩、文武学校「時観堂」

1794年12月24日-01:00|フランス| ||フランス国民公会が一般最高価格法を撤廃し、商業自由化へ

1794年12月25日-01:00|ドイツ/フランス| ||ライン軍のシヨアはマンハイムのライン西岸部分を落とした

1794年12月25日 00:00|イギリス| ||<死去>ボルトン公・ウィンチェスター侯「ハリー・ポレット」ボルトン公爵位廃絶

1794年12月25日 00:00|イギリス| ||<就任>ウィンチェスター侯「ジョージ・ポレット」(~18000422死去)

1794年12月27日-01:00|オランダ/フランス| ||ピシュグリュ将軍のフランス軍が、オランダに侵攻開始

1794年12月28日 00:00|イギリス| ||<死去>アボイン伯「チャールズ・ゴードン」

1794年12月28日 00:00|イギリス| ||<就任>アボイン伯「ジョージ・ゴードン」(~18530617死去)

1795年-08:00|マレーシア| ||<就任>スグリ＝スンビラン統治者(ヤン＝デ・イ・ヘルウアン＝ベサル)「ラジャ・ヒタム」(~1808年没)

1795年-08:00|インドネシア/オランダ| ||<就任>モルッカ諸島オランダ総督「Johan Godfried Budach」(~1799年)

1795年-08:00|マレーシア| ||<就任>レンバウ統治者(ウンダン・ルアク＝レンバウ)「タトゥク＝レラ＝マハラジャ・クシル＝ビン＝ウバン」(~1812年)

1795年-08:00|インドネシア| ||<即位>アチ王国スルタン「アラディン・ヤハ＝ウル＝アラム」(1期目~1815年)

1795年-08:00|インドネシア| ||<即位>マンクガラン君主「Mangkunegara2世」(~1835年)

1795年-08:00|マレーシア| ||クランタンはトレンガヌ統治下(~1812年)

1795年-07:00|ラオス/ベトナム| ||ルアンパバーン(ランサン)はベトナムの家臣(~1828年)

1795年-05:30|インド/アフガニスタン| ||<就任>アフガニスタン＝カシミール総督「ムハンマド・カーン＝ジャウンシェル」(~同年)

1795年-05:30|インド| ||<就任>ウタカ国ラジャ「ムクンダ＝デーヴァ2世」(~1808年)

1795年-05:30|インド| ||<就任>キルチール国統治者(デュワン)「トウルジヤン＝サル」(~1819年没)

1795年-05:30|インド| ||<就任>ケニール国統治者(ターケル)「ムンダリ＝ダス」(1回目~1803年)

1795年-05:30|インド| ||<就任>コリヤ国ラジャ「カリブ＝シン＝デオ」(~1828年6月没)

1795年-05:30|インド| ||<就任>ダスラ国ラジャ「ケリ＝チャラン＝デオ＝ハニ」(~1805年)

1795年-05:30|インド| ||<就任>タンタ国統治者(マハラ)「マンシムジ 2世アハイムジ」(~1800年没)

1795年-05:30|インド| ||<就任>ナルシガル国支配者(ラワット)「ソバ＝グ＝シン」(~1827年没)

1795年-05:30|インド| ||<就任>ニルギリ国ラジャ「コヒナート＝マルドラージ＝ハリチャندان」(1回目~同年)

1800迄 (2827件)

1795年-05:30|インド| |||<就任>モハムドール国統治者(タークール)「ヒンドゥーシンジール・フ・ラフ・シンジール」(~1801年)
 1795年-05:30|インド| |||<就任>ラムナド国ラジャ「ラニ・マンガレスワリ・ナヤル」(~1803年)
 1795年-05:30|インド/イギリス| |||第3次マイソール戦争終結後、トラヴァンコール王国はイギリスと軍事保護条約を結ばされ、イギリスに従属する藩王国の地位に落とされた
 1795年-05:30|インド/イギリス| |||イギリスがサトラス再占領(~18180331)
 1795年-05:30|インド/オランダ/イギリス| |||オランダ領インドをイギリスが占領(~1818年)
 1795年-05:30|インド/イギリス| |||ラムナド国をイギリスが占領(~1803年)
 1795年-05:00|ガブスタン| |||<就任>小ジユス・ハン「イシム」ヌリの長男(~1797年)
 1795年-03:00|サウジアラビア| |||アルハサガティリヤに併合(~1818年)
 1795年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>アレクソ・ワリス(総督)「Mirialem Ebu Bekir Pasha」(~1797年)
 1795年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>ダマスカス・ワリス(総督)「Abdallah Pasha al-Azm」(1期目~1798年)
 1795年-02:00|モザンビーク| |||<即位>アンコシェ・スルタン国スルタン「アラウィー・イブン・ムフシニ」(~1817年)
 1795年-01:00|ベナン| |||<就任>ケトゥ国支配者「アジボル」(~1816年没)
 1795年-01:00|ベナン| |||<就任>サバルの王国統治者「クバギティ4世ジエイゾ・ボナグロ」
 1795年-01:00|ベナン| |||<就任>サバ統治者「オウ・モネン」⇒「アケンジュ」(~1825年)
 1795年-01:00|ルクセンブルグ| |||<就任>ルクセンブルグ・コミッショナー「バーナード・ステイノット」(行政長官)⇒「ニコラス・ヴァンサン・レジェ」(国家代理人、10月から行政府長官、1796年から、コミッショナー~1798年5月)
 1795年 00:00|モリタニア| |||<就任>トラルザ連邦エミール「ウマル・ウルト・ムフタル・ウルト・クンバ」(~1800年没)
 1795年 00:00|セネガル| |||<就任>ワロ統治者(フラク)「ンジャク・クンバ・ジュリ・ヤイ・ムボシ」(~1805年)
 1795年 00:00|イギリス/ジャマイカ| |||ジャマイカで第2次マルーン戦争が勃発
 1795年 02:00|グリーンランド/デンマーク| |||<就任>南グリーンランド検査官「Claus Bendeke」(~1797年)
 1795年 04:00|マルティニーク/イギリス| |||<死去>フランス領マルティニーク知事「John Vaughan」
 1795年 04:00|セントルシア/イギリス| |||<就任>イギリス領セントルシア総督「ジェームズ・スチュワート」(~6. 18)
 1795年 04:00|サン・バルテルミー/スウェーデン| |||<就任>スウェーデン領セント・バーツロミュー島知事「Georg Henrik Johan af Trolle」(~1800年)
 1795年1月-07:00|ラオス| |||<死去>ヴァンチャン王「ナンセン」
 1795年1月-01:00|モサコ| |||<就任>エルキュール要塞マイール(市長)「レイ」(~1796年)
 1795年1月2日-01:00|オランダ/フランス| |||オランダ軍が守っていたゴルカムが陥落
 1795年1月2日-01:00|フランス| |||フランス、生活必需品に限り、正貨輸出を許可
 1795年1月3日 00:00|イギリス| |||イギリスの製陶業者ジョージ・ウェッジウッド没/64歳(誕生:17300712)
 1795年1月4日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド副卿「フィッツウィリアム伯爵ウィリアム・ウェントワース・フィッツウィリアム」(~3. 31)
 1795年1月6日 04:00|ガブール・フランス| |||<就任>ガブール・国民公会委任委員「Jean Baptiste Victor Hugues + Gaspard Goyrand(~1795. 4) + Alexandre Lebas」(~17960126))
 1795年1月7日-02:00|リトアニア/ロシア| |||リトアニア大公国はロシアに組み込まれる
 1795年1月7日 05:00|ハイチ/フランス| |||トゥーサン、フランス軍掃討作戦を完了、ドントンを新たな本拠とする
 1795年1月10日 00:00|カナダ/オランダ| |||<就任>オランダ領ゴールド・コースト総督「オットー・アールダス・サム」(~17960602在任中死去)
 1795年1月17日-01:00|ドイツ/フランス/イギリス| |||イギリス軍とノーヴァー軍はミュンスターへと退却したが、厳しい気候とフランス軍の追撃によって6000人が殺された
 1795年1月18日-01:00|オランダ/ドイツ| |||<就任>オランダ総督・総司令官・提督「フランソワ・ピエール・ギヨーム・ヴァン・スカレンバラ」(~25日)
 1795年1月19日-01:00|オランダ/フランス| |||フランス軍がアムステルダムを無血占領「バタヴィア共和国宣言」/オランダ総督ウィレム5世はイギリスへ亡命
 1795年1月20日-01:00|リビア| |||<即位>カマニリー朝君主「Ahmed2世」(~6. 11)
 1795年1月20日-01:00|フランス| |||フランス「エコール・ノルマル(師範学校)」開校
 1795年1月20日-01:00|オランダ/フランス| |||ブレダをフランスが占領(ブレダ暫定区/ブレダとシュターツラハント州の中西部から形成)
 1795年1月20日-09:00|日本|兵庫県宍粟市|寛政6年閏11月30日|<死去>本多忠可(54歳)前播磨山崎藩主、元側用人
 1795年1月21日-09:00|日本| |||寛政6年12月|<出版>北尾政美「諸職画鑑」
 1795年1月21日-08:00|中国| |||清・乾隆60年1月|湖南と貴州で少数民族の反乱が始まる(~1798)
 1795年1月29日 06:00|アメリカ| |||アメリカで、5年間の滞在を市民権獲得条件とする帰化法が成立
 1795年1月30日-01:00|オランダ/フランス| |||王党派の追撃に当たったフランス竜騎兵隊は凍った海水の上を突撃し、オランダの全艦隊を捕獲するのに成功
 1795年1月30日-01:00|オランダ/フランス| |||ベルゲン・オブ・ゾームはフランスに併合
 1795年1月31日-01:00|フランス| |||フランス、外国貿易禁止撤廃
 1795年2月-01:00|イタリア| |||ベネチアで酷寒、死者多数
 1795年2月2日-07:00|ラオス| |||<即位>ヴァンチャン王「インタラウ・オン・セタティート3世」(17950723戴冠~18050207没)
 1795年2月6日-02:00|南アフリカ/オランダ| |||<就任>グラーフ・ライネット臨時政府・戦争評議会議長「アドリアン・ヴァン・ヤールスフェルトラン・トレスト」(~8. 22)
 1795年2月6日-02:00|南アフリカ/オランダ| |||グラーフ・ライネットのケープ地区がオランダ東インド会社の支配に反乱を起こす
 1795年2月7日 06:00|アメリカ| |||アメリカ合衆国憲法修正第11条批准

1800迄 (2827件)

1795年2月8日-01:00|オランダ/ドイツ| |||<就任>オランダ 総督・総司令官・提督「コルネリス・ターイ」(~15日)
1795年2月9日-01:00|フランス/イタリア| |||フランスとトスカ大公国が平和条約を結ぶ/トスカの中立が確認される
1795年2月9日 00:00|イギリス| |||<死去>3代マクス・フィールド 伯「トマス・パーカー」
1795年2月9日 00:00|イギリス| |||<就任>4代マクス・フィールド 伯「ジョージ・パーカー」(~18420320死去)
1795年2月15日-01:00|オランダ/ドイツ| |||<就任>オランダ 総督・総司令官・提督「ジェイコブ・ジョージ・ヒエロニムス・ハーン・ユニ」(1回目~22日)
1795年2月19日-09:00|日本|新潟県五泉市|寛政7年|<交替>越後村松藩3万石「堀直教」隠居⇒養子「堀直方」が継ぐ
(⇒享和2(1802)年、隠居)
1795年2月19日-09:00|日本|兵庫県佐用郡佐用町|寛政7年|三日月藩文武学校広業館を設立
1795年2月19日-09:00|日本| ||寛政7年1月|<出版>歌川豊広「狂歌三十六歌仙」
1795年2月19日-09:00|日本| ||寛政7年1月|<出版>勝川春章の遺作「絵本松のしらべ」
1795年2月19日-09:00|日本| ||寛政7年1月|<出版>勝川春常「百体百人一首吾妻鑑」
1795年2月19日-09:00|日本| ||寛政7年1月|<出版>北尾重政「絵本たとへ草」
1795年2月21日-01:00|フランス| |||フランスの国民公会が、礼拝の自由を回復する法令を承認
1795年2月22日-01:00|オランダ/ドイツ| |||<就任>オランダ 総督・総司令官・提督「ジェイコブ・ウエルハイジエ・ヴァン・シッターズ」(~3.1)
1795年2月24日-01:00|フランス/イギリス| |||フランス軍はヴァルミーの追撃を再開、イギリス軍の生き残りをリンクンとエムデンに追い払った
1795年2月27日-09:00|日本|東京都|寛政7年1月9日|<死去>2代谷風梶之助、インフルエンザのため(46歳、寛延3(1750)0808生)第4代横綱
1795年3月1日-01:00|オランダ/ドイツ| |||<就任>オランダ 総督・総司令官・提督「ハウルス・ヒューバート アドリアーン・ヤン・ストリック ファン・リンスホーテン」(~8日)
1795年3月1日-01:00|フランス| |||パリに「エコール・サントラル」(工学・技術系エリート養成のための国立の高等教育機関)を5校設置
1795年3月2日 04:00|ケレタ/イギリス| |||<就任>ケレタ 副総督「ジュリアン・フェドン(最高司令官)」(反乱~17960610)、代行「ケネス・フランス・マッケンジー」(~12.12)
1795年3月8日-01:00|オランダ/ドイツ| |||<就任>オランダ 総督・総司令官・提督「ヨハネス・ランベルトウス・フーバー」(1回目~15日)
1795年3月11日-05:30|イット| |||ニザーム王国はマラーター王国にカルターで大敗を喫した(カルターの戦い)⇒その後に結ばれた講和条約により、ダウターバード、アウランガーバード、アフマドナガル、ショラプールなどの地を割譲し、3000万ルピーという多額の賠償金を支払う
1795年3月15日-01:00|オランダ/ドイツ| |||<就任>オランダ 総督・総司令官・提督「ゲリット・デ・イグイット・ジョーデンス」(1回目~22日)
1795年3月16日 03:00|アルゼンチン/ボリビア/パラグアイ/ウルグアイ/スペイン| |||<就任>リオ・デ・ラ・プラタ総督「ペドロ・デ・メロ・イ・ホルタガール・イ・グリエラ」(~17970415、在任中にブエノスアイレスで死去)
1795年3月21日 04:00|プエルトリコ/スペイン| |||<就任>プエルトリコ知事兼提督「Ramon de Castro y Gutierrez」(~18041112)
1795年3月22日-01:00|オランダ/ドイツ| |||<就任>オランダ 総督・総司令官・提督「アルバート・ヨハン・デ・シッター」(1回目~29日)
1795年3月25日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド 副卿代行判事「アーサー大司教ウィリアム・ニューカム/コネラのフィッツギボン男爵ジョン・フィッツギボン」(~31日)
1795年3月28日-02:00|ラトビア| |||<就任>ケルラント摂政「カール・フェルディナント・フォン・オルキース・ルテンベルク」(~17950426)
1795年3月28日-02:00|ラトビア/ロシア| |||<退任>ケルラント・セムガレン公「ペーター・フォン・ヒロン」領土をロシアへ譲渡
1795年3月29日-01:00|オランダ/ドイツ| |||<就任>オランダ 総督・総司令官・提督「ヘリット・ウィレム・リダール・ファン・ス・イレン・パット・ヴァン・ニベルト」(~4.5)
1795年3月30日-01:00|フランス| |||フランス「東洋語学校」(現在5区の「パリ第3大学、東洋言語文明研究所」)設立
1795年3月31日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド 副卿「カムデン伯爵ジョン・ジェフリーズ・プラット」(~17980620)
1795年3月31日-09:00|日本| ||寛政7年2月11日|<死去>神沢杜口(86歳)俳人、随筆家
1795年4月-01:00|セルビア/トルコ| |||<就任>オスマン帝国セルビア・ワリス「サット・パシャ」(~7月)
1795年4月 04:00|BES諸島/フランス| |||サハ島はフランスが占領(~18010416)
1795年4月1日-01:00|ドイツ| |||<死去>プファルツ=ツヴァイブリュッケン公「カール3世アウグスト・クリスティアン」48歳
1795年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ジュゼッペ・メルクリ」「アンジェロ・オルターニ」
1795年4月1日-01:00|ドイツ| |||<即位>プファルツ=ツヴァイブリュッケン公「マクシミリアン・ヨーゼフ」(後にバイエルン王~18251013死去)
1795年4月1日-01:00|フランス| |||<ジェルミナル12の蜂起>(~2日)インフルと物資の欠乏に困窮するパリの住民(ジャコバン派)が「パンと1793年憲法を」というスローガンを掲げて蜂起/「国民公会」(テルミナル派)が反撃し、ピュージュリュとルジャントルの軍が徹底的に弾圧
1795年4月2日 04:00|トリニダード・トバゴ/イギリス| |||<就任>トバゴ 総司令官、総督「ウィリアム・リンジー」(1期目~17960322)
1795年4月5日-01:00|オランダ/ドイツ| |||<就任>オランダ 総督・総司令官・提督「ジェイコブ・ジョージ・ヒエロニムス・ハーン・ユニ」(2回目~12日)
1795年4月5日-01:00|フランス/ドイツ| |||プロシアとフランスの間にバザール条約が結ばれフランスとプロシヤが講和/プロシヤはフランスのライプツィヒ併合を認め、引き換えにライン川以東のフランス軍占領地域はプロシヤへ返還された
1795年4月7日-01:00|フランス| |||タンケルクとバルセロンの間の距離を計ってそれを基に子午線の長さを計算し、北極から赤道までの距離の1千万分の1を1メートルと名付け、これを長さの単位と決める
1795年4月7日-01:00|フランス| |||フランス、地方に「エコール・サントラル」(工学・技術系エリート養成のための国立の高等教育機関)

1800迄 (2827件)

を96校設置

1795年4月8日 00:00|イギリス| |||(英)ジョージ4世、従姉キャロリンと結婚
1795年4月12日-01:00|オランダ/ドイツ| |||<就任>オランダ 総督・総司令官・提督「ボニファナス・マティウス・ホウス」(1回目~19日)
1795年4月12日-09:00|日本| ||寛政7年2月23日|<死去>2代伊佐幸琢(90歳)茶人
1795年4月13日-01:00|ドイツ| |||<初演>J. S. バッハ《交響曲第104番=長調「ロンドン」》
1795年4月14日 04:00|BES諸島/フランス| |||<就任>セント・ユスティウス島知事「Cotten」フランス共和国弁務官
1795年4月14日 04:00|BES諸島/フランス| |||セント・ユスティウス島をフランスが占領(~18010421)
1795年4月15日-03:00|エチオピア| |||<即位>エチオピア帝国(後期ソロモン朝) 皇帝「ハエタ・マリヤム3世ソロモン」(~12月)
1795年4月19日-01:00|オランダ/ドイツ| |||<就任>オランダ 総督・総司令官・提督「ピーテル・ヒン・ハッス・パット」(1回目~26日)
1795年4月19日-09:00|日本| ||寛政7年3月|<刊行開始>医師橋南谿が諸国遊覧体験を記した「西遊記」
1795年4月26日-02:00|ラトビア/ロシア| |||<就任>クールラントとヒルテンの総督「デア・ハレン伯爵ヒョートル・アレクセイウイ・イ・グラーフ」(~17960128)
1795年4月26日-02:00|ラトビア/ロシア| |||ドン・アングンはヒルテンとクールラント 沿いのロシアに併合;ヒルテンはクールラント と共にロシアに併合され、自治が保証される
1795年4月26日-01:00|オランダ/ドイツ| |||<就任>オランダ 総督・総司令官・提督「ヨハネス・ランベルトウス・フーバー」(2回目~5. 3)
1795年4月28日 04:00|サン・マルタン/フランス| |||<就任>フランス領サン・マルタン司令官「共和国弁務官La Bruyere/Jean Rouvell et/Pierre Charles Dormoy」(~1798年)
1795年4月28日 04:00|セント・マルテン/サン・マルタン/フランス| |||フランスがサン・マルタン全島を占領(~18010324)
1795年4月29日 05:00|ジャマイカ/イギリス| |||<就任>英領ジャマイカ 総督「バルカリス伯アレクサンダー・リンゼー」(~18010729)
1795年5月 05:00|ハイチ/イギリス| |||<就任>ハイチのセント・ドミング 軍事総督「アダム・ウィリアムソン」(~1796年3月)
1795年5月1日 10:00|ハワイ| |||<死去>ワイ島国王「Kalanikupule」
1795年5月1日 10:00|ハワイ| |||<即位>ハワイ諸島王国国王「カメハメハ1世大王」(~18190508死去)
1795年5月1日 10:00|ハワイ| |||オアフ島、ワイ島はハワイ諸島王国の一部
1795年5月2日-09:00|日本|東京都|寛政7年3月14日|<死去>初代河竹新七(50歳)歌舞伎・狂言作者
1795年5月3日-01:00|オランダ/ドイツ| |||<就任>オランダ 総督・総司令官・提督「ゲリット・デ・ヘット・ジョーデンス」(2回目~10日)
1795年5月6日 00:00|シエラレオネ/イギリス| |||<就任>イギリス領フリータウン植民地総督「ウィリアム・トーズ」(2回目~1796年3月)
1795年5月7日-01:00|フランス| |||フランス、元革命裁判所の検事アントワヌ・フーキエタンヴィル処刑
1795年5月8日 00:00|イギリス| |||<死去>7代ケー伯「アーチボルド・アースキン」
1795年5月8日 00:00|イギリス| |||<就任>8代ケー伯「チャールズ・アースキン」(~17991028死去)
1795年5月8日-09:00|日本|東京都墨田区|寛政7年3月20日|<大相撲>寛政7年3月場所[江戸本所回向院](5日間、悪天候のため)優勝:(西大関)雷電、5戦全勝/28連勝
1795年5月8日-09:00|日本|奈良県葛城市|寛政7年3月20日|<死去>大和新庄藩1万石「永井直温」(49歳)⇒長男「永井直方」が継ぐ(⇒文政8(1825)年4月10日、隠居)
1795年5月10日-01:00|オランダ/ドイツ| |||<就任>オランダ 総督・総司令官・提督「アルベルト・ヨハン・デ・シッター」(2回目~17日)
1795年5月11日-09:00|日本| ||寛政7年3月23日|<死去>韓天寿(69歳)書家、篆刻家
1795年5月16日-01:00|オランダ| |||カイクをバタヴィア共和国(オランダ)に編入/ブレダはバタヴィア共和国(後のオランダ)に編入(北ブラバント州の一部)
1795年5月16日-01:00|ベルギー/オーストリア/フランス/オランダ| |||フランスがバタヴィアとハーグの和約を結び和平を実現/オーストリア領ベルギーに侵入し、バタヴィア共和国を建設
1795年5月17日-01:00|オランダ/ドイツ| |||<就任>オランダ 総督・総司令官・提督「カレル・ジェラルド・ハルトマン」(~24日)
1795年5月17日 00:00|イギリス| |||<死去>3代ニューカッスル=アンダーライン公・10代リンカン伯「トマス・ペラム=クリントン」
1795年5月17日 00:00|イギリス| |||<就任>4代ニューカッスル=アンダーライン公・11代リンカン伯「ヘンリー・ペラム=ファインズ・ペラム=クリントン」3代公の長男(~18510112死去)
1795年5月20日-01:00|ドイツ| |||<死去>グェルテンベルク公「ルートヴィヒ・オイゲン」
1795年5月20日-01:00|ドイツ| |||<即位>グェルテンベルク公「フリートリヒ・オイゲン」(~17971223死去)
1795年5月20日-01:00|フランス| |||<プーリアル蜂起>インフレと物資の欠乏に困窮するパリの住民(ジャコバン派)がパリの価格引き下げを求め「サン・タントワース街」(11, 12区)で暴動
1795年5月22日-02:00|ルーマニア| |||<就任>モルダヴィア総督「アレクサンドル・イオン・カチ」(~17990318)
1795年5月23日-01:00|フランス| |||<プーリアル蜂起>「サン・タントワース街」(11, 12区)の武装が解除され、「山岳派」のジャコバン主義が敗北
1795年5月24日-01:00|オランダ/ドイツ| |||<就任>オランダ 総督・総司令官・提督「ジェイコブ・ジョージ・ヒエロニムス・ハーン・ユニ」(3回目~31日)
1795年5月30日-01:00|オランダ/ドイツ| |||<就任>オランダ 総督・総司令官・提督「ボニファナス・マティウス・ホウス」(2回目~6. 7)
1795年5月31日-01:00|フランス| |||フランスの革命裁判所が廃止
1795年5月31日-01:00|フランス| |||フランス「教会」が再開
1795年6月 05:00|キューバ| |||バヤモの自由黒人ニコラス・モリス、黒人と白人農民が団結して反乱/運動は白人をも巻き込み、キューバの東半分まで拡大するが、当局の弾圧により敗北
1795年6月7日-01:00|オランダ/ドイツ| |||<就任>オランダ 総督・総司令官・提督「ピーター・ハイン・ス・パット」(2回目~14日)
1795年6月8日-01:00|フランス| |||<死去>故ルイ16世の子ルイ・シャルル王太子「タンブル塔」(3区)で(1785-、10歳)/「王党派」は「ルイ17世」と見なしていた
1795年6月10日-01:00|ルクセンブルク/フランス| |||ルクセンブルク公国をフランスが占領

1800迄 (2827件)

1795年6月11日-02:00|南アフリカ/イギリス| |||イギリスがオランダの植民地ケープタウンを占領(第1次ケープ占領)
1795年6月11日-01:00|リビア| |||即位>カマラン朝君主「Yusuf Karamanli」(~18320820)
1795年6月13日-09:00|日本|奈良県桜井市|寛政7年4月26日|<交替>大和芝村藩1万石「織田長教」隠居⇒長男「織田長宇」が継ぐ(⇒文政9(1826)年3月27日、隠居)
1795年6月14日-01:00|オランダ/ドイツ| |||<就任>オランダ総督・総司令官・提督「ヨハネス・ランベルトゥス・フーバー」(3回目~21日)
1795年6月15日 04:00|フォーランド/スペイン| |||<就任>スペイン領フォーランド諸島司令官・総督「Pedro Pablo Sanguineto」(3期目~17960315)
1795年6月18日-02:00|南アフリカ/オランダ| |||<就任>スウェンダム国家司令官「ペトルス・ヤコブ・ステルボート・ナショナル・ランドロスト」(~7月)
1795年6月18日-02:00|南アフリカ/オランダ| |||スウェンダムのケープ地区がオランダ東インド会社の支配に反抗
1795年6月18日 04:00|セントルシア/イギリス| |||<就任>イギリス領セントルシア総督「ガスパー・ル・ゴラン・弁務官」(~17960525)
1795年6月21日-01:00|オランダ/ドイツ| |||<就任>オランダ総督・総司令官・提督「ヘンドリック・クニッパ・クラマー」(~28日)
1795年6月21日-01:00|フランス| |||フランス、アッシニア紙幣のデノミネーション(25分の2に切り下げ)
1795年6月23日-01:00|フランス/イギリス| |||イギリス海峡艦隊の指揮官フット提督はフランス艦隊に攻撃をしかけ、フランス軍は3隻の主力艦が降伏したが残りは叫喚にたどり着いた
1795年6月24日 01:00|カーボベルデ/ポルトガル| |||<就任>カーボベルデ総督「ホセ・ダ・シルバ・マルドナド・デ・サ」(~9.10)
1795年6月24日 06:00|アメリカ| |||アメリカ上院、シェイ条約批准
1795年6月26日-09:00|日本| ||寛政7年5月10日|<死去>望月玉仙(52歳)画家
1795年6月28日-01:00|オランダ/ドイツ| |||<就任>オランダ総督・総司令官・提督「ヤコブ・ファン・デル・スティーグ」(1回目~7.5)
1795年6月30日-01:00|フランス| |||エミグレ軍の指揮官であるダウーイ伯爵はケロン半島唯一の要塞であるペンティエールを奪取
1795年7月-02:00|モザンビーク| |||<死去>マニカ統治者(マンボ)「チンガ」
1795年7月-02:00|南アフリカ/オランダ| |||<就任>スウェンダム国家司令官「ヘルマヌス・ステイン」(~11月)
1795年7月-02:00|モザンビーク| |||<就任>マニカ統治者(マンボ)「チンガ・インハコンゴ・ンザ」(~1796年3月)
1795年7月-01:00|セルビア/トルコ| |||<就任>オスマン帝国セルビア・ワリス「ハチムスタファ・パシャ」(1回目~1797年3月)
1795年7月5日-01:00|オランダ/ドイツ| |||<就任>オランダ総督・総司令官・提督「ハーモン・ジェイコブ・ダイクミスター」(1回目~12日)
1795年7月5日-09:00|日本|東京都|寛政7年5月19日|<死去>長谷川平蔵(50)元火付盗賊改
1795年7月6日 04:00|マルティニーク/イギリス| |||<就任>フランス領マルティニーク知事「Sir Robert Shore Milnes」(~1796年)
1795年7月12日-01:00|オランダ/ドイツ| |||<就任>オランダ総督・総司令官・提督「ルト・ヴァイス・ティモン・デ・ケンペナル」(1回目~19日)
1795年7月12日-01:00|ハンガリー| |||<就任>ハンガリー政府評議会議長代行「ペテル・ヴェーク・ヴェレビ」(~20日)
1795年7月12日 04:00|BES諸島/フランス| |||<就任>セント・ユースティウス島総司令官「Daniel Rhoda」(~18010421)
1795年7月14日-01:00|フランス| |||世界で初めて公式に国歌としてフランス国歌「ラ・マルセイエーズ」が認められる(作曲は1792年4月25日)
1795年7月14日-01:00|フランス| |||フランス「革命広場」が「コンコルド広場」(8区、<融和>)とその名称を変える
1795年7月15日-08:00|マレーシア| |||<死去>クランタン・ラジャ「スルタン・ロン・ユヌ・イフニアル=マルフム・ラジャ・ロンク・スライマン」
1795年7月15日-08:00|マレーシア| |||即位>クランタン・ラジャ「テンク・ムハンマド・イフニアル=マルフム・スルタン・マンスール」(~1800年)
1795年7月15日-01:00|フランス/スペイン| |||フランス軍はグイットリア占領
1795年7月15日-01:00|フランス/イギリス| |||ルイ・ザール・オッシュ将軍が、ケロン半島に上陸したイギリス軍と反革命軍を破る
1795年7月16日-09:00|日本| ||寛政7年6月|<刊行開始>本居宣長が没年まで書きつづけた随筆「玉勝間」
1795年7月18日-03:00|バレーン| |||<死去>バレーン支配者(ハキム)「シェイク・アフマド・ヒン・ムハンマド・アル・ハリファ」
1795年7月19日-01:00|オランダ/ドイツ| |||<就任>オランダ総督・総司令官・提督「ボニファウス・マティアス・ポウス」(3回目~26日)
1795年7月20日-01:00|フランス/イギリス| |||ケロンの戦いでフランス軍が王党派とイギリス軍を撃破
1795年7月20日-01:00|フランス| |||フランス北西部ケロン半島(ブルターニュ地域圏)の「王党派」が鎮圧される
1795年7月22日-01:00|スイス/フランス/スペイン| |||バーゼルで、スペインがフランスと和平条約を結ぶ
1795年7月22日-01:00|フランス/スペイン/ドミニカ共和国| |||バーゼル条約でスペインがサント・ドミンゴをフランスに譲渡
1795年7月22日-01:00|フランス| |||フランスで「営業免許税」復活
1795年7月23日 04:00|アンティグア・ババープータ| |||<就任>リーワード・カリブ諸島総司令官・総督「チャールズ・リー」(~17960703)
1795年7月24日-01:00|フランス| |||フィリップ・ド・ノワイ伯爵(1715-1794)とその夫人処刑
1795年7月26日-01:00|オランダ/ドイツ| |||<就任>オランダ総督・総司令官・提督「ピーター・ハイン・ス・ハット」(3回目~8.2)
1795年7月27日-05:30|インド/オランダ/イギリス| |||オランダ領ベンガルをイギリスが占領(~18170915)
1795年7月29日 00:00|チャネル諸島/イギリス| |||<死去>イギリス王領ジャージー島知事「Henry Seymour Conway」
1795年7月30日-01:00|ハンガリー| |||<就任>ハンガリー政府評議会議長「ヨーゼフ・アントン・ヨハン・エルツヘルツォーク・フォン・エステルライヒ」(11.12まで王室総督~18470113)
1795年8月-02:00|ウクライナ/ロシア| |||<就任>ガリシア総督代理「Joseph Siegmund Graf von Gallenberg」(~11月)
1795年8月 05:00|ハイチ/フランス| |||トゥサン、東部進撃を開始。サント・ドミンゴ領内に入り、反政府軍を制圧
1795年8月2日-05:30|スリランカ/イギリス| |||イギリス東インド会社がオランダ領セイロンの占領を開始
1795年8月2日-01:00|オランダ/ドイツ| |||<就任>オランダ総督・総司令官・提督「ヨハネス・ランベルトゥス・フーバー」(4回目~9日)
1795年8月3日-01:00|フランス| |||フランス「国民公会」によって、「テアトル・デ・ザール」(8代目「オペラ座」)の「王立歌唱学校」と増設された「演劇学校」が、「コンセルヴァトワール(音楽院)」に発展/19区「パリ音楽院」の創設
1795年8月3日 06:00|アメリカ| |||アメリカとインディアンがグリーンウィル条約で境界を確定

1800迄 (2827件)

1795年8月7日-09:00|日本|福岡県福岡市|寛政7年6月23日|<死去>筑前福岡藩473100石「黒田斉隆」(19歳)⇒10月6日、嫡男「黒田斉清」が継ぐ(⇒天保5(1834)年11月6日、隠居)

1795年8月9日-01:00|オランダ/ドイツ| ||<就任>オランダ 総督・総司令官・提督「ヨハン・アントニー・ツッ・イア・ファン・イッセルマイデン・トット・ハ・エロ」(1回目~16日)

1795年8月11日 04:00|BES諸島/フランス| ||<就任>ボネール副司令官代理「Barent Dirkszoon Kock」(1期目~17960604)

1795年8月13日-05:30|インド| ||<就任>インド 英国統治者(スペタル)「トウゴジ・ラオ1世・ルカ4世」(~17970129)

1795年8月15日-01:00|フランス| ||フランスの国民公会が、新貨幣単位のフランを制定

1795年8月16日-01:00|オランダ/ドイツ| ||<就任>オランダ 総督・総司令官・提督「アルバート・ヨハン・デ・シッター」(3回目~23日)

1795年8月17日-08:00|マレーシア/イギリス| ||イギリス東インド会社がマラッカを占領(~18180921)

1795年8月22日-02:00|南アフリカ/オランダ| ||<就任>グラーフライネット臨時政府・戦争評議会議長代行「フリート・リヒ・カール・ダウ・イット・ゲ・ロツ」(~17960822)

1795年8月22日-09:00|日本|東京都千代田区|寛政7年7月8日|<死去>清水徳川家10万石「徳川重好」(51歳)一時的に幕府に収公

1795年8月23日-01:00|オランダ/ドイツ| ||<就任>オランダ 総督・総司令官・提督「ヤン・ウィルム・ヘンドリック・コンテ・イ」(~30日)

1795年8月23日-01:00|フランス| ||フランス「法令」により、まだ残っていた「政治クラブ」と「民衆クラブ」が閉鎖される

1795年8月26日-01:00|フランス| ||<死去>稀代の詐欺師カオスト伯爵(1743-1795)サン・レオ牢獄で

1795年8月26日-09:00|日本|茨城県筑西市|寛政7年7月12日|<死去>常陸下館藩2万石「石川総弾」(41歳)⇒9月5日、弟「石川総般」が継ぐ(⇒享和2年11月17日(18021211)、死去)

1795年8月28日-01:00|ドイツ/フランス| ||ヘッセン＝カッセル方伯がフランス共和国との間に講和条約を締結

1795年8月30日-01:00|オランダ/ドイツ| ||<就任>オランダ 総督・総司令官・提督「ルト・ウ・イカス・ティモン・デ・ケンペナル」(2回目~9.6)

1795年8月30日-01:00|フランス| ||フランスの国民公会が、左翼勢力の進出を防ぐために「3分の2法令」を可決/3分の2は国民公会議員の再選でなければならないというもの

1795年8月31日-05:30|スリランカ/イギリス| ||<就任>イギリス軍統治セイロン初代総督「パトリック・アレクサンダー・アグニュー」(~17960301)

1795年8月31日-05:30|スリランカ/イギリス| ||トリコマリがイギリス東インド会社に占領される

1795年8月31日-09:00|日本|京都府京都市|寛政7年7月17日|<死去>円山応挙(63歳、享保18(1733)0501生)絵師

1795年9月 04:00|ポリアニア/スペイン| ||<就任>ラパス暫定総督補佐「フェルナント・デ・ラ・ソサ・アグエロ」(~1796年9月)

1795年9月2日-09:00|日本| ||寛政7年7月19日|<寛政大水害>前日からの豪雨で彦山、烽火山などから泥水噴出した未曾有の大水害。死者5人(男3、女2)満潮時でなく昼間のため少人数/家屋の流失166、全壊39、半壊194。流家は町人16人、借家161かまど/土蔵1、川辺小屋8が流失。石垣は大川筋長725間半、武具庫石垣長13間崩れ。破船1

1795年9月3日-09:00|日本|三重県三重郡菰野町|寛政7年7月20日|<死去>土方雄年(45歳)前伊勢菰野藩主

1795年9月5日-01:00|アルジェリア/リビア/モロッコ/チュニジア/アメリカ| ||アメリカが北アフリカのバーバリ国家(アルジェ、トリポリ、チュニス、モロッコ)と平和友好条約締結

1795年9月5日-01:00|ドイツ/フランス| ||ジュールダンの左翼部隊はデュッセルドルフを占領

1795年9月6日-01:00|オランダ/ドイツ| ||<就任>オランダ 総督・総司令官・提督「ボニファス・マティアス・ホウス」(4回目~13日)

1795年9月10日 01:00|カーボベルデ/ポルトガル| ||<就任>カーボベルデ 総督「フランシスコ・ダ・シルバ・ペレイラ」(~1796年6月)

1795年9月11日-09:30|オーストラリア/イギリス| ||<就任>ニューサウスウェールズ 植民地総督「ジョン・ハンター」(~18000927)

1795年9月12日-05:30|インド| ||<就任>バーナール国ラジャ「ウディット・ナヤン・シン」(~18350404没)

1795年9月13日-01:00|オランダ/ドイツ| ||<就任>オランダ 総督・総司令官・提督「ピーター・バイン・ス・ハット」(4回目~20日)

1795年9月13日-09:00|日本| ||寛政7年8月|<刊行開始>医師橘南谿が諸国遊覧体験を記した「東遊記」

1795年9月16日-02:00|南アフリカ/イギリス| ||<就任>イギリス軍ケープ 植民地司令官「ジョージ・キース・エルフィンストーン卿」「アルレット・クラーク」「ジェームス・ヘンリー・クレイク」(~11.15)

1795年9月16日-02:00|南アフリカ/オランダ/イギリス| ||イギリスは南アフリカのオランダ 領ケープ 植民地を占領

1795年9月18日-05:30|スリランカ/イギリス| ||パッティカマがイギリス東インド会社に占領される

1795年9月18日-01:00|フランス| ||フランス「聖職者基本法」が事実上廃止

1795年9月19日-09:00|日本|愛媛県西条市|寛政7年8月7日|<交替>伊予西条藩33000石「松平頼謙」隠居⇒長男「松平頼看」が継ぐ(⇒寛政9(1797)年正月20日、死去)

1795年9月20日-01:00|オランダ/ドイツ| ||<就任>オランダ 総督・総司令官・提督「トマス・フリック・ス・ヨハ」(1回目~27日)

1795年9月20日-01:00|オーストラリア/フランス| ||ピシユグリュのフランス軍が、マンハイムを占領

1795年9月22日 00:00|チャンド諸島/イギリス| ||<就任>イギリス王領ジャージー島知事「Sir George Howard」(~17960716 死去)

1795年9月23日-01:00|フランス| ||<施行>フランス、共和暦3年憲法(1795年憲法)(8.22制定)/直接税を払っている21歳以上の男子に選挙権が認めらる

1795年9月24日-09:00|日本| ||寛政7年8月12日|<刊行>心学者中沢道二「道二翁道話」初編(1824完結)

1795年9月27日-01:00|オランダ/ドイツ| ||<就任>オランダ 総督・総司令官・提督「ランバート・クリスチャン・ヘンドリック・ストラバーク」(~10.4)

1795年9月28日-05:30|スリランカ/イギリス| ||ジャナガがイギリス東インド会社に占領される

1795年9月29日-05:30|インド/アフガニスタン| ||<就任>アフガニスタン・カミール総督「シェール・モハメド・カーン」(~12月)

1795年10月 00:00|ガーナ/デンマーク| ||<就任>デンマーク領ゴールドコースト総督「ヨハン・ピーター・デ・ビッット・リスバーク」(1回目~17991231)

1800迄 (2827件)

1795年10月 00:00|モロッコ| |||<即位>モロッコ(マラケシュのレバリオン)スルタン「ヒシャム」(2回目~17971129)
1795年10月 04:00|ドミニカ共和国/フランス| |||フランスによりサント・ドミンゴ(サント・マンガとして)占領(~18010126)
1795年10月 05:00|ジャマイカ/フランス| |||第二次マーン戦争開始。トレローニーのマーン自治体とジャマイカ当局が戦い。数ヶ月後にマーンの全面敗北
1795年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「フランチェスコ・ジヤンニニ」「リビオ・ガザーリ」
1795年10月1日-01:00|ルクセンブルク/フランス| |||<就任>ルクセンブルクはフランスに併合(~18140201)
1795年10月1日-01:00|ベルギー/フランス| |||スタヴ・ロ・マルメーティをフランスに併合(スタヴ・ロはフランスと合併し、ウルト県となった)
;ニベルをフランスに併合(ダイル県の一部);フランスのエスコ県は、フランダース伯領とオランダ領フランダースの一部から結成;フランスのデ
イル県は、ブラバント地方の一部、ハイノー郡、ナミュル郡、フランダース郡、リ・エー・ゲ司教区から形成;フランスのトゥーネー地域はブラ
バント南部とマリヌの領主(メレン)から結成;フランス領リスは西オーストリア(ベルギー)とフランダースから形成;ムーズ・インフェリール、ユーペン
とマルメーティをフランスに併合;リエージュをフランスへ正式併合、ウルトとムーズ・インフェリールの県の一部;リンブルフをフランスに併合(ウルト県
の一部);レクハイムをフランス(ムーズ・インフェリール県の一部)に併合
1795年10月1日-01:00|オランダ/フランス| |||ソーンはフランスに併合(~18140215)/ベルゲン・オブ・ゾームはフランスのトゥーネー支部の一
部
1795年10月1日 00:00|イギリス| |||<就任>初代ルーカン伯「チャールズ・ヘンガム」(~17990329死去)
1795年10月4日-01:00|オランダ/ドイツ| |||<就任>オランダ総督・総司令官・提督「アルバート・ヨハン・デ・シッター」(4回目~11日)
1795年10月5日-01:00|フランス| |||<葡萄月(ヴァンデミエール)の反乱>フランス(葡萄月13日)、「テルミドル派(熱月派)」に対し、
8月30日制定の「三分の二法令」に反対するパリの「王党派」が反乱を起こす/「テュイルリ宮殿」(1区)にある議会「国民
公会」を襲撃/軍人のナポレオン・ボナパルト指揮の軍隊が鎮圧(首都に秩序が確立し、ナポレオンが一躍有名になる)/敗走
した「王党派」は、パリの「サン・ロック教会」(1区)に逃げ込むが鎮圧される
1795年10月5日-09:00|日本| ||寛政7年8月23日|<死去>羽鳥一紅(72歳)俳人
1795年10月11日-01:00|フランス| |||1790年に48の「セクション(自治区)」に再編されていたパリが、それぞれ4つの「セクション
(自治区)」からなる、12の「アロントイスマン(現在の区)」に再編
1795年10月11日-01:00|オランダ/ドイツ| |||<就任>オランダ総督・総司令官・提督「ハマン・ジエイコフ・ヴァイクミスター」(2回目~18
日)
1795年10月13日-05:30|インド| |||<就任>アークト国支配者「ウムタット・ウル・ウマ・アリ・カーン」(~18010715没)
1795年10月18日-01:00|オランダ/ドイツ| |||<就任>オランダ総督・総司令官・提督「ルトヴィカス・ティモン・デ・ケンペナル」(3回目~
25日)
1795年10月18日-01:00|オーストリア/フランス| |||ヴァルムゼルのオーストリア軍が、マンハイム郊外でビュルクリュのフランス軍を破る
1795年10月20日-05:30|インド/オランダ/イギリス| |||イギリスがオランダ領インド人入植地を占領(~18180331);オランダ領マバール
海岸(コーチン砦)をイギリス軍が占領(~18140813)
1795年10月22日-01:00|オーストリア/フランス| |||オーストリア軍に包囲されていたマンハイムのフランス軍守備隊6000人は降伏
1795年10月22日-09:00|日本| ||寛政7年9月10日|<死去>2代荻江露友(不明)荻江節唄方
1795年10月22日-09:00|日本|茨城県石岡市|寛政7年9月10日|<交替>常陸府中藩2万石「松平頼前」隠居⇒養子「松
平頼説」が継ぐ(⇒天保4(1833)年9月13日、56歳で死去)
1795年10月24日-01:00|オーストリア/ドイツ/ポーランド/ロシア| |||ロシア暦10月13日|ベテルブルクで、プロイセン、オーストリア、ロシアの第3次ホ
ーランド分割協定が結ばれる/ポーランドが消滅
1795年10月25日-02:00|リトアニア/ロシア| |||サモギティアはポーランド・リトアニア連邦の第3次分割でロシアに併合された
1795年10月25日-01:00|オランダ/ドイツ| |||<就任>オランダ総督・総司令官・提督「ジョアン・ヴァン・カッフェー」(~11. 1)
1795年10月25日-01:00|フランス| |||フランス、平時の死刑廃止
1795年10月25日-01:00|フランス| |||フランス「アカデミー・フランセーズ(フランス学士院)」設立
1795年10月25日-01:00|ベルギー/フランス| |||ブイオンをフランスが併合(アルデヌ県に編入)
1795年10月26日-01:00|フランス| |||フランスで、国民公会が解散
1795年10月27日-05:30|インド| |||<死去>マラーター王国宰相「Madhav-Rao2世」
1795年10月27日 06:00|アメリカ/スペイン| |||スペインとアメリカが、サン・ロレンソ条約を締結/国境の画定、ミシシッピ川の航行権を
認めることが主な内容
1795年10月28日-01:00|オーストリア/フランス| |||夜からマインツを通じてライン西岸に部隊を送り込んだクレアファイトの2万7000人
がフランス軍4個師団を破った/損害はフランス軍4800人、オーストリア軍1600人
1795年10月30日-05:30|インド/イギリス| |||イギリスがトタティコリン占領(~1818年)
1795年11月-04:00|アゼルバイジャン| |||<就任>シャッキ汗国ハーン「ムスタファ・サリム・ハーン」(1回目~17970509解任)
1795年11月-02:00|ウクライナ/ロシア| |||<就任>ガリツァ総督「Johann Jakob Graf von Gaisruck」(~18010121死去)
1795年11月-02:00|南アフリカ/オランダ/イギリス| |||スウェンダムをイギリス統治、ケープ植民地に再編入
1795年11月1日-01:00|オランダ/ドイツ| |||<就任>オランダ総督・総司令官・提督「ピーター・ハイン・ス・ハット」(5回目~7日)
1795年11月2日-04:00|レユニオン/フランス| |||<就任>ブルボン島知事「Philippe Antoine Jacob de Cordemoy」(~1803100
7)
1795年11月2日-01:00|フランス| |||フランスで、パラスら5総裁を行政の長とする総裁政府が成立
1795年11月2日-01:00|フランス| |||フランス権力の分散を図る「二院制」の立法府「元老院」(250人、上院)と「五百人会議
」(毎年3分の1ずつ改選、下院)が開会
1795年11月3日-09:00|日本|岐阜県海津市|寛政7年9月22日|<死去>美濃高須藩3万石「松平義裕」(34歳)⇒28日、養
子「松平義当」が継ぐ(⇒享和元(1801)年10月16日、65歳で死去)
1795年11月4日-01:00|フランス| |||フランス、公安委員会解散
1795年11月4日-09:00|日本|東京都江東区|寛政7年9月23日|江戸深川三十三間堂通矢「四十間堂千射」、三好斧吉(

1800迄 (2827件)

15歳)が991本(総矢数1000中)を記録

1795年11月4日 03:00|日本|長崎県長崎市|寛政7年9月23日|正午、長崎茂木村本郷より出火、245戸が焼失
1795年11月8日-01:00|オランダ/ドイツ| |||<就任>オランダ 総督・総司令官・提督「ヨハネス・ランベルト・ス・ファン・デル・グーゼン」(5回目~14日)
1795年11月11日-01:00|フランス| |||フランス「政令」により、パリを「総裁執行政府」の監視下に置く/パリは12区に分割され、それぞれが4街区(カルテ)に区分される
1795年11月14日-09:00|日本| ||寛政7年10月3日|女髪結が贅沢を理由に禁止
1795年11月15日-02:00|南アフリカ/イギリス| |||<就任>イギリス軍艦 植民地指揮官「ジェームズ・ヘンリー・クレイク」(~17970505)
1795年11月15日-01:00|オランダ/ドイツ| |||<就任>オランダ 総督・総司令官・提督「ゲリット・デ・ビッット・ジョーデンス」(3回目~21日)
1795年11月17日-05:30|インド/イギリス| |||ティルウ・イ・ムコト・ウ国はイギリス保護領(18050703条約により確認)
1795年11月17日-01:00|イタリア| |||<就任>ジェノヴァ共和国「ジョセフ・マリア・フリニョーレ」(~17971117)
1795年11月20日-01:00|フランス| |||フランス革命家フランソワ・ノエル・バブーフにより、秘密結社「パンテオン・クラブ」(「共和派」の結集、啓蒙を目的)創設
1795年11月22日-01:00|オランダ/ドイツ| |||<就任>オランダ 総督・総司令官・提督「アルバート・ヨハン・デ・シッター」(5回目~28日)
1795年11月23日-01:00|イタリア/フランス| |||ヴァリスはアノをオージュローに明け渡しフィナーレへと退却/フランス軍が3000人、連合軍が7000人の損害
1795年11月24日-01:00|ポーランド/ロシア| |||<退位>ポーランド 王・ロシア大公「スタニスワフ・ア2世」ロシア軍がワルシャワに侵攻したため/第3次ポーランド 分割によりポーランド は領土をすべて奪われ消滅/ロシアに亡命中に死去
1795年11月25日-09:00|日本|京都府京都市|寛政7年10月14日|<死去>一条輝良(40歳)元関白、左大臣
1795年11月28日-01:00|ジブラルタル/イギリス| |||<就任>イギリス領ジブラルタル知事「Charles O'Hara」(~18020225)
1795年11月29日-01:00|オランダ/ドイツ| |||<就任>オランダ 総督・総司令官・提督「ハーマン・ジョエゴ・タイクミスター」(3回目~12.5)
1795年12月-05:30|インド/アフガニスタン| |||<就任>アフガニスタン・カシミール総督「アブドゥラ・カーン・アロクザイ」(1回目~1801年)
1795年12月-03:00|エチオピア| |||<即位>エチオピア帝国(後期ヨロモン朝) 皇帝「テケレ・ギヨルギス1世ヨハネス」(4回目~17960520)
1795年12月 04:00|マルティニーク/フランス/イギリス| |||ダルーシーのイギリス軍はマルティニークからフランス軍を追い払った
1795年12月1日-09:00|日本| ||寛政7年10月20日|<死去>遅塚久則(71歳)装剣金工
1795年12月6日-01:00|オランダ/ドイツ| |||<就任>オランダ 総督・総司令官・提督「ルト・ヴァン・カス・ティモン・デ・ケンペナル」(4回目~12日)
1795年12月6日 06:00|日本|静岡県沼津市|寛政7年10月25日|<沼津寛政7年の大火>沼津城下、上土町の堺屋源左衛門方から出火、火元の上土町から起横町、大門町、志多町へと進み、浅間町から宮町、仲町、魚町、本光寺の前通りを灰じんとした/その外、浅間神社の並神主宅、乗運寺、真楽寺を焼くなど、町家一帯を焼失させた/956軒全焼/更に1か月後には平町の万屋吉兵衛方から出火して焼け残った20軒を灰にしている
1795年12月12日 04:00|ケレタ/イギリス| |||<就任>ケレタ 副総督「サミュエル・ミッチェル」(~17960405)
1795年12月13日-01:00|オランダ/ドイツ| |||<就任>オランダ 総督・総司令官・提督「ニコラス・ヨルネリス・ランプレヒトセン」(~19日)
1795年12月20日-01:00|オランダ/ドイツ| |||<就任>オランダ 総督・総司令官・提督「ピーター・ハイン・ス・ハット」(6回目~26日)
1795年12月23日-01:00|フランス| |||フランス「アシニ紙幣」の発行が禁止
1795年12月26日-09:00|日本|京都府京都市|寛政7年11月16日|<就任>関白「鷹司政熙」(~文化11年9月16日)
1795年12月27日-01:00|オランダ/ドイツ| |||<就任>オランダ 総督・総司令官・提督「トマス・フィリップ・ス・ヨハ」(2回目~17960102)
1795年12月30日-01:00|ジブラルタル/イギリス| |||<就任>イギリス領ジブラルタル総督「チャールズ・オハラ」(~18020225)
1795年12月30日-09:00|日本|東京都台東区|寛政7年11月20日|<大相撲>寛政7年11月場所[江戸浅草八幡宮](10日間)優勝:(西前2) 柏戸, 8勝1敗1休
1796年-08:00|インドネシア| |||<即位>テルナテ・スルタン「Muhammad Yasin」(~1801年)
1796年-07:00|タイ| |||チャオ・カイーラがバンソクに朝貢し、チェンマイ王として承認
1796年-05:30|インド| |||<就任>アッサム国ラジャ「バラタ・シン・マハマリ」(2回目~同年)⇒「スヒット・パンファ・ガウリナシン・ハ・ジユバ・ラジャ」(2回目~1808年)
1796年-05:30|インド| |||<就任>アンバリア国統治者(タル・サーヒブ)「ハティジ」(~1814年没)
1796年-05:30|インド| |||<就任>カラハンディ国ラジャ「ジュガサイ・デオ4世」(~1831年)
1796年-05:30|インド| |||<就任>サントウル国統治者(ヒンドゥー・ラオ、マリック・マタル)「シヴァ・ラオ2世」(1回目~18171027)
1796年-05:30|インド| |||<就任>ジャンシー国統治者(ラオ)「シェオ・ラオ・ホー」(~1814年没)
1796年-05:30|インド| |||<就任>デソカル国ラジャ「ラムチャンドラ・マヘントラ」(~1807年)
1796年-05:30|インド| |||<就任>ニルギリ国ラジャ「ラムチャンドラ・マヘントラ・ラジ・ハリチャンドン」(1回目~15日間)⇒「ダシラティ・マヘントラ・ラジ・ハリチャンドン」(~1799年)
1796年-05:30|インド| |||<就任>パティ国統治者(デサイ・シュリ)「ヴァハツィムジ・ナトゥバイ」(~1809年)
1796年-05:30|インド| |||<就任>ファルカバート国支配者(ナワブ)「イムタット・フセイン・カーン・ナシル・ジヤン」(~18020604)
1796年-05:30|インド| |||<就任>マニハニ国摂政「ラニ・スミトラ・デヴァイ」(~1810年没)
1796年-05:30|インド| |||<就任>マルポール国統治者(ラオ)「ジャマルシンジ」(~同年没)⇒「タツインジ・ジャマルシンジ」(~1816年)
1796年-05:30|インド| |||<就任>ラージコット国統治者(タル・サーヒブ)「ランマルジ-2世マフラムジ」(~1825年没)
1796年-05:00|パキスタン| |||<就任>カン統治者(ミール)「ジャハーンギル・カーン」(~1804年)
1796年-04:00|アゼルバイジャン| |||<即位>イリス・スルタン「アリ・スルタン3世ハーン・ババ」(~1805年)
1796年-04:00|アゼルバイジャン/ロシア| |||カフカズ、シャッキ、シャマカ、ナフチバンはロシアに占領される(~1797年)
1796年-04:00|アゼルバイジャン| |||サルヤン、ジャワトはシャマハ汗国に併合される
1796年-04:00|ロシア| |||デルベントはロシアに占領される(~1797年)

1800迄 (2827件)

1796年-03:00|ウガンダ| |||<死去>ブガンダ王国国王「Jjunju Ssendegeya」
1796年-03:00|バーレーン| |||<就任>バーレーン支配者(ハキム)「シェイク・サルマン・ビン・アフマド・アル・ハリファ」(~1825年/1810年~1811年
テイルーヤに拘留)、「シェイク・アフド・ラ・ビン・アフマド・アル・ハリファ」(~1843年4月/1801年~1810年テイルーヤに拘留)
1796年-03:00|ウガンダ| |||<即位>ブガンダ王国国王「Ssemakookiro Wasajja Nabbunga」(~1814年死去)
1796年-03:00|エモロ| |||<即位>ンスワニ・スルタン国スルタン「アラウィ・ビン・フサイン「ムウニエ・ファニ」(~1816年)
1796年-02:00|ブルンジ| |||<死去>ブルンジ王国国王「ムワンツァ3世シャルシャンボ・フタマ」
1796年-02:00|ウクライナ/ロシア| |||<就任>カメネツィ・ポドルスキ軍総督兼ポドリア、ウァルイーニ、ミンスク行政区域民事首席管理者「A
leksandr Alekseyevich Bekleshov」(~1798年)
1796年-02:00|ウクライナ/ロシア| |||<就任>ハリコフ、ウァルネジ 総督「Andrey Yakovlevich Levanidov」(~1802年死去)
1796年-02:00|モザンビーク| |||<就任>マニカ統治者(マンボ)「チカンゴ・ニヤルムウェ2世インハルゴ」(1回目~1807年)
1796年-02:00|コンゴ民主共和国| |||<即位>バシンバ王国ムワミ「ムウェンダ・ンガ」バニヤルワンダから分離建国⇒「カベゴ」(~1896
年)
1796年-02:00|コンゴ民主共和国| |||<即位>バニヤルワンダ王国ムワミ「マツ・ルガ・ンバ1世(ツチ族)」ルワンダ難民が建国、王権はツ
チ族とツチ族の間で交代(~1850年)
1796年-02:00|ブルンジ| |||<即位>ブルンジ王国国王「ンタレ4世ルカ・ンズワ・ルガ・ンバ」(~1850年頃没)
1796年-01:00|モザンビーク| |||<就任>エルクール要塞マイル(市長)「ジョセフ・ハリエル・アイネ」(1回目~1799年)
1796年-01:00|ナジエリア| |||<即位>オヨ王国アラフィン「アデボ」(~1797年)
1796年 00:00|セネガル| |||<就任>サアリ統治者(ファンカマ)「ウリ・ジ・ヤシエ・ジ・ヤロ」(~?)⇒「サフ・レー・ジ・ヤロ」(~1803年)
1796年 00:00|シエラレオネ| |||<就任>パサ諸島首長「ステイブン・カーカー」(~1810年没)
1796年 00:00|セネガル| |||<就任>フタ・ト・ロ統治者統治者(アルマミ)「ハマト・ラミン・バール」(1回目~数か月)
1796年 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| |||<就任>アゾレス諸島総司令官代理「Matheus Homem Borges da Costa」(~179
91030)
1796年 04:00|アンティグア・バ・ブータ| |||<就任>アンティグア大統領「ジョン・J・トマス」(~1797年没)
1796年 04:00|トミニカ共和国/フランス| |||<就任>フランス領サント・ミンス 暫定代理人「フィリップ・ローズ・ルム・デ・サンローラン」(~1798
年)
1796年 06:00|カタール/イギリス| |||<就任>イギリス領両カタール 総督「ロバート・フレスコット」(~1799年)
1796年 06:00|アメリカ/スペイン| |||<就任>スペイン領西フロリダ 植民地総督「フランシスコ・デ・パウラ・ゲラート」⇒「ヒセンテ・フォルチ・イ・
ファン」(~1809年)
1796年1月3日-01:00|オランダ/ドイツ| |||<就任>オランダ 総督・総司令官・提督「ヨハン・アントニー・ツヴァー・ファン・イッセルマイテン・トット
・ハース」(2回目~9日)
1796年1月3日-09:00|日本|岡山県新見市|寛政7年11月24日|<交替>備中新見藩18000石「関長誠」隠居⇒長男「関長
輝」が継ぐ(⇒文政2(1819)年11月21日、隠居)
1796年1月4日-09:00|日本|大阪府岸和田市|寛政7年11月25日|<死去>岡部長修(50歳)前和泉岸和田藩主
1796年1月5日-09:00|日本| |寛政7年11月26日|屋台引き商人に積銭令が出される
1796年1月6日-09:00|日本|愛媛県宇和島市|寛政7年11月27日|<開校>吉田藩校「時観堂」
1796年1月10日-01:00|オランダ/ドイツ| |||<就任>オランダ 総督・総司令官・提督「ヤコブ・ファン・デル・ステイジ」(2回目~16日)
1796年1月10日-09:00|日本|山梨大学|寛政7年12月|甲府学問所徴典館設立(江戸昌平黉の分校)
1796年1月17日-01:00|オランダ/ドイツ| |||<就任>オランダ 総督・総司令官・提督「アウグスティヌス・ゲウカマ」(~23日)
1796年1月24日-01:00|リビア/トルコ| |||<就任>オスマン帝国トリポリニア・ベイルベ・イレリ「ユスフ・バシヤ」(~18320805)
1796年1月24日-01:00|オランダ/ドイツ| |||<就任>オランダ 総督・総司令官・提督「ルト・ヴァイス・ティモン・デ・ケンペナル」(5回目~2
.2)
1796年1月26日 04:00|グアドループ/フランス| |||<就任>グアドループ 特別事務局長代理人「Jean Baptiste Victor Hugue
s + Alexandre Lebas」(~17981122)
1796年1月28日-02:00|ラトヴィア/ロシア| |||<就任>ケルラント総督「ラムストルフ将軍ゲスタフ・マティアス・ヤコブ・フォン・デア・ヴェンゲ」(~17
981109)
1796年2月1日-01:00|フランス| |||パリ市、12の「自治区」を制定
1796年2月2日-09:00|日本| |寛政7年12月24日|<死去>蝶夢(64歳)時宗の僧、俳人
1796年2月3日-01:00|オランダ/ドイツ| |||<就任>オランダ 総督・総司令官・提督「アドリアーン・ファン・ワラメン」(~6日)
1796年2月7日-08:00|インドネシア/イギリス| |||バタ 諸島をイギリスが占領(~1800年)
1796年2月7日-01:00|オランダ/ドイツ| |||<就任>オランダ 総督・総司令官・提督「ピーター・ハイン・ス・パット」(~13日)
1796年2月9日-09:00|日本|佐賀県佐賀市|寛政8年|佐賀藩、文武学校誠道館を設立
1796年2月9日-09:00|日本|三重県四日市市|寛政8年|<加増>伊勢東阿倉川1万石「加納久周」+3000石⇒13000石(⇒
文化5(1808)年6月20日、隠居)
1796年2月9日-09:00|日本|宮城県仙台市青葉区|寛政8年|作並温泉(古湯)開湯
1796年2月9日-07:00|ベトナム| ||大越・景盛4年|<即位>パンドン・ウランガ王「Po Chongchan」(2期目~1799年)
1796年2月9日-09:00|日本| |寛政8年1月|<出版>岡田玉山「絵本頼光一代記」
1796年2月9日-09:00|日本| |寛政8年1月|<出版>喜多川歌麿「絵本百千鳥」
1796年2月9日-09:00|日本| |寛政8年1月|<出版>慶遊斎歌政の画ける俳句集「常棣」
1796年2月9日-09:00|日本| |寛政8年1月|<出版>森島中良(北尾政美の挿画)「教訓鄙都言種」
1796年2月9日-09:00|日本| |寛政8年1月|<出版>竹原春朝斎「和泉名所図絵」
1796年2月9日-09:00|日本| |寛政8年1月|<出版>等琳・雲峰山夏部(窪俊満の挿画)「狂歌百さへずり」
1796年2月9日-08:00|中国| |清・嘉慶1年1月1日|<譲位>清国皇帝「乾隆帝」85歳

1800迄(2827件)

1796年2月9日-08:00|中国| ||清・嘉慶1年1月1日|<即位>清国7代皇帝「仁宗嘉慶帝」(~1820年)嘉慶と改元
1796年2月12日-05:30|スリランカ/イギリス| ||<就任>イギリス軍統治セイロン居住者・監督官「ロバート・アント・リュース」(~17981012)
1796年2月14日-01:00|オランダ/ドイツ| ||<就任>オランダ 総督・総司令官・提督「ヨハネス・ランベルトウス・フーバー」(6回目~20日)
1796年2月16日-05:30|スリランカ/オランダ/イギリス| ||イギリス軍がコロンボを占領、セイロンを完全占領(イギリス東インド会社支配)
1796年2月17日-08:00|インドネシア/イギリス| ||<就任>アンボン島イギリス居住者代表「ピーター・Rainier」(~12月)
1796年2月17日-08:00|インドネシア/イギリス| ||イギリスがアンボンを占領(~18030304)
1796年2月17日 00:00|イギリス| ||<死去>ジェームズ・マクファーソン/59歳(誕生17361027)スコットランドの前ロマン主義の詩人
1796年2月19日-08:00|中国| ||清・嘉慶1年1月11日|湖北で王聰児らの白蓮教の乱がおこる
1796年2月21日-01:00|オランダ/ドイツ| ||<就任>オランダ 総督・総司令官・提督「ジェラルド・ウィルム・ヴァン・マル」(~27日)
1796年2月24日-01:00|クロアチア| ||<即位>ホーセ・ルシア大公「フランコ・イェリッチ」
1796年2月25日-01:00|フランス| ||ヴァンデの乱の首謀者ストフルが、アンジェで銃殺刑に処せられる
1796年2月28日-01:00|オランダ/ドイツ| ||<就任>オランダ 総督・総司令官・提督「ヤコブス・ファン・デル・ステーグ」(3回目~29日)
1796年2月28日-01:00|フランス| ||フランス秘密結社「パンテオン・クラブ」(「共和派」の結集、啓蒙を目的)が、反体制の温床だとして、警察により閉鎖される
1796年3月-01:00|バチカン| ||<就任>バチカン枢機卿国務長官「イグナチオ・ブスカ」(~17970318)
1796年3月 00:00|シエラレオネ/イギリス| ||<就任>イギリス領フリータウン植民地総督「ザカリー・マコーレー」(2回目~1799年4月)
1796年3月 05:00|ハイチ/イギリス| ||<就任>イギリスのセント・ドミニゴ 軍事総督「ゴードン・フォブス」(~1797年3月)
1796年3月 06:00|アメリカ/スペイン| ||<就任>スペイン領フロリダ 植民地総督代理「バルトロメ・モレス」(~1796. 6)
1796年3月1日-05:30|スリランカ/イギリス| ||<就任>イギリス軍統治セイロン第2代総督「ジェームズ・ステュアート」(~17970101)
1796年3月1日-01:00|オランダ| ||<就任>バタヴィア共和国国民議会議長「ピーター・ハールス」建国(~17日)
1796年3月5日-01:00|フランス| ||フランス西部のヴァンデ地方(「ペイト・ラ・ワール地域圏」)の反乱が平定される
1796年3月7日-01:00|オランダ| ||<就任>バタヴィア共和国国民議会議長「ピーター・レオ・ファン・デ・カステール」(1回目、18日まで代行~4. 2)
1796年3月10日-01:00|フランス| ||フランス蔵相ラルが、アシニア紙幣の発行停止を決定
1796年3月11日-01:00|フランス/イタリア| ||ナポレオン・ボナパルト、イタリア遠征軍総司令官として、オーストリア包囲のための「第1次イタリア遠征」に出発
1796年3月11日-09:00|日本|千葉県香取郡多古町|寛政8年2月3日|<死去>松平勝全(47歳)前下総多胡藩主
1796年3月13日-09:00|日本|山形県鶴岡市|寛政8年2月5日|羽黒山の大堂が炎上
1796年3月14日-09:00|日本|兵庫県加東市|寛政8年2月6日|<交替>播磨三草藩1万石「丹羽氏福」隠居⇒長男「丹羽氏昭」が継ぐ(⇒文政10(1827)年9月2日、死去)
1796年3月15日 04:00|フォーランド/スペイン| ||<就任>スペイン領フォーランド 諸島司令官・総督「Jose de Aldana y Ortega」(2期目~17970220)
1796年3月18日-01:00|フランス| ||フランスで新しい紙幣のマンガ・テトリが発行される
1796年3月21日-09:00|日本|青森県八戸市|寛政8年2月13日|<交替>陸奥八戸藩2万石「南部信房」隠居⇒弟「南部信真」が継ぐ(⇒天保13(1842)年5月11日、隠居)
1796年3月22日 04:00|トリニダード・トバゴ/イギリス| ||<就任>トバゴ 総司令官・総督代行「ジェームス・キャンベル」(1期目~4. 5)
1796年3月22日 05:00|ハイチ| ||ルパのビヤットはバルケールに降伏
1796年3月26日-09:00|日本| ||寛政8年2月18日|<刊行>最初の蘭日辞書「波留麻和解」(稲村三伯訳)
1796年3月29日-09:00|日本|埼玉県行田市|寛政8年2月21日|<交替>武蔵忍藩10万石「阿部正識」33歳で隠居⇒養子「阿部正由」が継ぐ(⇒文化5(1808)年10月11日、死去)
1796年3月30日-01:00|ドイツ| ||ドイツのガウスがコンパスと定規だけで正17边形が描けることを証明
1796年3月31日 06:00|アメリカ| ||アメリカ合衆国が6部族連合との条約締結
1796年4月 03:00|仏領ギアナ/フランス| ||<就任>ギアナ暫定知事「Francois Maurice Cointet de Fillain」(~同年)⇒知事「Pierre Francois Lambert Lamoureux de la Gennetiere」(~6. 28死去)
1796年4月 03:00|仏領ギアナ/フランス| ||<就任>ギアナ知事特別代理人「Nicolas Georges Jeannet-Oudin」(2期目~17981105)
1796年4月 05:00|バハマ/イギリス| ||<就任>イギリス王室植民地バハマ総督代行「ロバート・ハント」(2回目~17961113)
1796年4月1日-01:00|サンマリノ| ||<就任>サンマリノ共和国執政「ジュリアーノ・ゴジ」「マッテオ・マルテリ」
1796年4月2日-01:00|オランダ| ||<就任>バタヴィア共和国国民議会議長「アルバート・ヨハン・テ・シッター」(~16日)
1796年4月3日 10:00|クック諸島/アメリカ| ||アメリカのエベニース・アードール大尉がブカカを訪れ、カウワの島と名付けた
1796年4月4日-01:00|フランス| ||フランス「アカデミー・フランセーズ」(国立学士院)開院
1796年4月5日 04:00|グレナダ/イギリス| ||<就任>グレナダ 副総督「アレクサンダー・ヒューストン」(~17970309)
1796年4月5日 04:00|トリニダード・トバゴ/イギリス| ||<就任>トバゴ 総司令官・総督「ウィリアム・リンジー」(2期目~5. 22)
1796年4月7日 00:00|イギリス| ||<死去>ノーサンプトン伯「スペンサー・コンプトン」
1796年4月7日 00:00|イギリス| ||<就任>ノーサンプトン伯「チャールズ・コンプトン」(⇒18120907ノーサンプトン侯~18280524死去)
1796年4月9日-01:00|ドイツ| ||<死去>アンハルト＝ベルンブルク侯「Frederick Albert」
1796年4月9日-01:00|ドイツ| ||<就任>アンハルト＝ベルンブルク侯「Alexius Frederick Christian」(⇒1803年、アンハルト＝ベルンブルク公に昇格~18340324死去)
1796年4月10日-09:00|日本|東京都墨田区|寛政8年3月3日|<大相撲>寛政8年3月場所[江戸本所回向院](10日間)優勝:(西小結)花頂山(柏戸), 5勝0敗1分4休(のちの大関市野上)
1796年4月11日-08:00|中国| ||清・嘉慶1年3月4日|白蓮教徒の乱。清で農民による弥勒信仰結社・白蓮教徒が叛

1800迄 (2827件)

乱

1796年4月12日-01:00|イタリア/フランス| |||ナポレオンがヒュンテ攻撃を開始し、イタリア戦争が始まる
1796年4月14日-01:00|イタリア/オーストリア/フランス| |||ナポレオンがミッレジモでオーストリア軍を破る
1796年4月16日 04:00|マルティニーク/イギリス| |||<就任>フランス領マルティニーク知事「William Keppel」(~1802年)
1796年4月17日-05:30|インド| |||<死去>マイソール王国(ティヤ朝) 国王「チャーマ・ラジャ9世」天然痘に罹患しシュリーランガパトケで
1796年4月17日-01:00|オランダ| |||<就任>パタゴニア共和国国民議会議長「ジャン・ベルト・ビッカー」(1回目~30日)
1796年4月21日 06:00|コスタリカ/スペイン| |||<就任>コスタリカ暫定総督代行「ファン・フランシスコ・デ・ボネージャ・イ・モラレス」(~17970403)
1796年4月22日-01:00|イタリア/フランス| |||ナポレオンのフランス軍が、オーストリア・サルデーニャ連合軍を破る
1796年4月22日 04:00|ガイアナ/イギリス| |||デメラエセボをイギリスが占領(~18020327)
1796年4月25日-01:00|イタリア/フランス| |||ナポレオンのフランス軍がケラスコとアルバを占領
1796年4月26日-02:00|シリア・アラブ| |||シリア北西部で地震(M6.6) 死者1500人
1796年4月28日-01:00|イタリア/フランス| |||ケラスコで、サルデーニャ王国、ケラスコの休戦でナポレオンのフランスに降伏/サヴォイア、ニッツァ、ク
-オ、テンダ、ブレリオを割譲
1796年5月 00:00|シエラレオネ| |||<就任>コ・フランス首長「トム2世」(~1807年)
1796年5月 05:00|ハイチ/イギリス| |||南部ではリゴールがルイを確保。ポルトフランス奪還に向け行動開始。Markham大佐の率いる千名の英軍部隊を撃破
1796年5月 05:00|ハイチ/イギリス| |||ブリスベン大佐の率いるイギリス軍をトゥーサンはGuildiveで迎撃。騎兵隊の奇襲により英軍は混乱、ブリスベンは戦死
1796年5月1日-01:00|オランダ| |||<就任>パタゴニア共和国国民議会議長「ダニエル・コルネリス・デ・レーウ」(~14日)
1796年5月4日-09:00|日本|福島県二本松市|寛政8年3月27日|<死去>陸奥二本松藩100700石「丹羽長貴」(41歳)⇒5月13日、長男「丹羽長祥」が継ぐ(⇒文化10年8月25日(18130919)、死去)
1796年5月6日-09:00|日本|大阪府大阪市|寛政8年3月29日|<死去>嵐雛助(歌舞伎役者、二代目嵐小六)
1796年5月7日-01:00|イタリア| |||<退位>モデナ・レッジョ公「エルコレ3世」ナポレオン・ボナパルトに征服されサルディニア共和国に編入(~18031014死去)
1796年5月8日 04:00|米領ヴァージン諸島/デンマーク| |||<就任>セントクロア総督「Thomas de Malleville」(~17981026)
1796年5月9日-01:00|イタリア/フランス| |||ナポレオンがパルマ大公領に進軍し、休戦協定を締結
1796年5月10日-01:00|フランス| |||<パプーアの陰謀>秘密結社「平等者」を組織し、共産主義的思想(私有権の廃止)を主張したフランスの思想家・革命家ランソワ・ノエル・パプーアが、「ジャコバノン派」残党と組んで「総裁政府」打倒の陰謀を企てるが、反乱計画が前夜に露見し失敗、逮捕(翌年5月処刑される)
1796年5月10日-01:00|イタリア/オーストリア/フランス| |||北イタリアのロディ(ミラノの南東)において、ナポレオン・ボナパルト指揮のフランス軍と、ヨハン・ビエルク・ホーリュ元帥指揮のオーストリア(神聖ローマ帝国)軍の後衛との間で「ロディの戦い」が行われ、オーストリア軍後衛を破る
1796年5月11日 05:00|ハイチ/フランス| |||<就任>フランスのサント・ミシゴ 弁務官「レジエ・フェリシテ・ソソナクス」(2回目~17970824)
1796年5月13日 04:00|トリニダード・トバゴ/イギリス| |||<就任>トバゴ 総司令官、総督代行「ジェームス・キャンベル」(2期目~17970617)
1796年5月14日-01:00|イタリア/フランス| |||ナポレオン・ボナパルト指揮のフランス軍、ミラノに入城し、イタリア北西部のロンバルディアを平定
1796年5月14日 00:00|イギリス| |||ジェンナーが自分の子供に種痘を接種する(実際には自分の子ではなく、8歳のジェームス・フィリップスという少年)
1796年5月15日-03:30|イラン| |||<即位>ホーサン・シャー「ナディール・ミルザ」(~1803年4月没)
1796年5月15日-01:00|オランダ| |||<就任>パタゴニア共和国国民議会議長「ルガー・ヤン・シンメルペンク」(1回目~28日)
1796年5月15日-01:00|イタリア/フランス| |||フランスとサルデーニャ王国との間に和平条約が結ばれ、サヴォアとニースがフランス領となる
1796年5月16日-01:00|イタリア/フランス| |||ナポレオンが旧オーストリア領ロンバルディアを独立させ、トランスパダナ(ロンバルディア)共和国を建設
1796年5月16日 04:00|チリ/スペイン| |||<就任>チリ総督・司令官代行「セ・デ・レザバル・カルテ」(~9.18)
1796年5月17日-01:00|イタリア/フランス/パチカン| |||フランス軍が、モデナと教皇領を占領
1796年5月18日 06:00|アメリカ| |||アメリカで、1796年公有地条例制定
1796年5月18日-09:00|日本|東京都|寛政8年4月12日|<死去>一筆斎文調/70歳(石川幸元に絵を学び、後石川豊信・鈴木春信等を私淑し、勝川春章と共に俳優の似顔えを画くに妙を得、春章合作の「絵本舞台扇」を画く)
1796年5月18日-09:00|日本|東京都|寛政8年4月12日|<死去>桑楊庵光(頭光)(43歳)狂歌師
1796年5月19日-05:30|インド| |||<就任>シャープラ国統治者(ラジャデ・イラージ)「アマル・シン」(~18270707没)
1796年5月20日-03:00|エチオピア| |||<即位>エチオピア帝国(後期ソモン朝) 皇帝「ソモン3世テクレ・ヘイマット」(1回目~17970715)
1796年5月20日-01:00|フランス| |||<開校>パリの「エコール・サントラル」(工学・技術系エリート養成のための国立の高等教育機関)
1796年5月25日 04:00|セントルシア/イギリス| |||<就任>イギリス領セントルシア総督「ラルフ・アバー・クロンビー卿」(~同月)⇒副総督「ジョン・ムーア」(~1797年)
1796年5月25日 04:00|セントルシア/イギリス| |||セントルシアをイギリスが占領(~18020929)
1796年5月26日-01:00|フランス/イタリア| |||イタリアのパタゴニアで、フランス軍の略奪に対する市民の反乱が始まる
1796年5月27日-09:00|日本|宮城県仙台市|寛政8年4月21日|<死去>伊達重村(55歳)前陸奥仙台藩主

1800迄 (2827件)

1796年5月28日-09:00|日本|長野県飯田市|寛政8年4月22日|<死去>信濃飯田藩2万石「堀親民」(20歳)⇒弟「堀親しげ」が継ぐ(⇒天保14(1843)年12月26日、7000石加増され17000石)

1796年5月29日-01:00|オランダ| |||<就任>パタゴニア共和国国民議会議長「ジョアン・アレント・デ・フォス・ファン・ステーンウェイク」(~6.11)

1796年6月-09:30|オーストラリア| |||ポート・スティーヴンズ近くで石炭が発見される

1796年6月-03:30|イラン| |||カージャール朝アーガーがホラサンを制圧

1796年6月 01:00|カーボベルデ/ポルトガル| |||<就任>カーボベルデ 総督「統治委員会(セ・ト・ス・レイス・ホルヘス/ジョアン・フレイル・テ・アントラーデ/クリストヴァン・デ・サン・ホセ・アベントウラ)」(~11.3)

1796年6月 04:00|セントビンセント/イギリス| |||アバクロンビーはセント・ヴィンセント、グレナダも奪回

1796年6月 06:00|アメリカ/スペイン| |||<就任>スペイン領フロリダ 植民地総督「エンリケ・ホワイト」(~1811.3)

1796年6月 06:00|アメリカ/スペイン| |||<就任>スペイン領ルイジアナ植民地総督「マヌエル・デ・レモス・ガヨ」(~1799年)

1796年6月 06:00|ホンジュラス/スペイン| |||<就任>ホンジュラス州総督補佐「ラモン・デ・アンギアーノ」(~1808年)

1796年6月1日 00:00|イギリス| |||<就任>初代ウエール伯「チャールズ・ジェンキンソン」(~1808.12.17死去)

1796年6月1日 06:00|アメリカ| |||<加盟>ノースカロライナ州によって連邦政府に寄贈された西部から構成⇒アメリカ合衆国テネシー州(16番目)

1796年6月2日-01:00|オーストリア/フランス| |||クレールはジーク川に到達し、前衛と伴に交戦した後で川を渡りウケットの陣地を攻略

1796年6月2日 00:00|カナ/オランダ| |||<死去>オランダ 領ゴールド・コースト総督「オットー・アーノルド・ス・サム」

1796年6月2日 00:00|カナ/オランダ| |||<就任>オランダ 領ゴールド・コースト総督「リーフ・ファン・ベルゲン・ファン・デル・グリーフ」(3回目~8.10)

1796年6月4日-01:00|オーストリア/フランス| |||クレールはアルテンキルヒェンの丘に布陣したヴュルテンベルク公を打ち破った

1796年6月4日 04:00|BES諸島/フランス| |||<就任>ホーネル暫定副司令官「Michiel de Groot」(~1797.09.30)

1796年6月6日 05:00|ペルー/スペイン| |||<就任>ペルー副王「ホルヘ・アントニオ・ロドリゴ・オ・オヤン」(~1801.03.19)

1796年6月6日-09:00|日本|東京都中央区|寛政8年5月|<初演>歌舞伎「阿古屋」桐座

1796年6月7日-02:00|エジプト/トルコ| |||<就任>オスマン帝国領エジプト総督「ロマチ・ハチ・エフ・ベキル・パシャ」(~1798年)

1796年6月9日-01:00|スペイン| |||<死去>15代メティネ・シニア公「セ・アルバ・レス・デ・トレド・オリオ・イ・ゴンサガ」

1796年6月9日-01:00|スペイン| |||<就任>16代メティネ・シニア公「フランシスコ・デ・ホセ・アルバ・レス・デ・トレド・オリオ・イ・ゴンサガ」(~1821.02.12死去) 先代の弟

1796年6月11日-09:00|日本|三重県亀山市|寛政8年5月6日|<交替>伊勢亀山藩6万石「石川総博」隠居⇒長男「石川総師」が継ぐ(⇒享和3(1803)年6月13日、死去)

1796年6月12日-01:00|オランダ| |||<就任>パタゴニア共和国国民議会議長「ジョエル・ジョージ・ヒーロムス・ハーン」(~25日)

1796年6月15日-01:00|オーストリア/フランス| |||カル公はヴェッツラーでルフェーブル師団を破った

1796年6月15日-01:00|イタリア/フランス| |||ナポレオン・ボナパルト、イタリア南部のナポリを占領

1796年6月23日-01:00|イタリア/フランス/パチカン| |||教皇ピウス6世がナポリでナポレオンと休戦協定

1796年6月26日-01:00|オランダ| |||<就任>パタゴニア共和国国民議会議長「バウルス・ハルトグ」(~7.9)

1796年6月28日 03:00|仏領ギアナ/フランス| |||<死去>ギアナ知事「Pierre Francois Lambert Lamoureux de la Genette」

1796年6月29日-01:00|イタリア| |||トランスパダナ共和国成立

1796年6月29日-01:00|フランス| |||パリに「当座取引銀行」が設立される

1796年7月-04:00|アゼルバイジャン/ロシア| |||バクーはロシアに占領される(~1797年3月)

1796年7月3日 04:00|アンティグア・バブーター| |||<就任>リワード・カビエ諸島総司令官・総督代行「アーチボルド・エステイル」(~9.26没)

1796年7月10日-01:00|オランダ| |||<就任>パタゴニア共和国国民議会議長「ウィルム・アエルサウト・デ・ベフェレン」(~23日)

1796年7月10日-09:00|日本|広島県|寛政8年6月5日|<寛政8年安芸国大洪水>明け方より大雨、広島城下を流れる諸河川が氾濫、城下の猫屋橋、元安橋、小屋橋、神田橋、己斐橋などが落ち、城下の東の方では松原堤防が決壊して居大な松を6、7本なぎ倒し、猿猴橋より東は濁水満々とたたえ町家をひたした/城下の西の方は猫屋川(旧太田川:本川)が満水となり、洪水は中島慈仙寺鼻を乗り越えて、材木町、天神町、元柳町、中島新町などを襲い、民家の床上に達し、住民の多くは近くの寺院に避難/天満町の北裏にある堤防も決壊、御茶所を始め民家数軒を押し流した/太田川の上流からは、壊れた家や木材、家具、人、馬などがおびただしく流れ、民家の屋根の上に老若男女を載せて流れてきたものもあった/また東西町及び新開など近郊からの避難民もはなはだ多くその惨状は見るに忍びないものがあった/広島藩内の被害は、169人死亡、家屋流失566軒、同倒潰1204軒、堤防の決潰4万3700余間(約80km)、橋梁損壊658か所、田畑の損亡高13万1433石余

1796年7月13日-01:00|フランス| |||フランス、オッシュ将軍、ヴァンデの反乱を鎮圧

1796年7月15日-01:00|オーストリア/フランス| |||モローがブフォルツハイムを占領

1796年7月16日 00:00|チャル諸島/イギリス| |||<死去>イギリス王領ジャージー-島知事「Sir George Howard」

1796年7月17日-01:00|フランス/ドイツ| |||フランスが、ヴェルデンベルクと和平

1796年7月19日-09:00|日本|東京都|寛政8年6月15日|<死去>沢田東江(65歳)書道家、儒学者、漢学者、戯作者

1796年7月20日 00:00|マリ/イギリス| |||スコットランドの探検家パークが、バンバウ王国の首都セーでニジェール川を発見

1796年7月21日 00:00|イギリス| |||<死去>ロバート・バーンスがダンフリーズで/37歳(誕生:1759.01.25)スコットランドの国民詩人

1796年7月22日 04:00|セントクリストファー・ネイビス/イギリス| |||<就任>ネイビス副総督「ウィリアム・ブーズビー」(~1831年)

1796年7月25日-01:00|オランダ| |||<就任>パタゴニア共和国国民議会議長「ルドヴィカス・ティモン・デ・ケンペナル」(~8.6)

1796年7月26日-01:00|フランス/ドイツ| |||フランスが、バーデンと休戦協定を結ぶ

1800迄 (2827件)

1796年7月27日 00:00|チヤン礼諸島/イギリス| |||<就任>イギリス王領ジャージー-島知事「George Townshend」(~18070914死去)

1796年7月29日-01:00|イタリア/フランス| |||コスタ・ノヴィッチは和を奪う

1796年7月30日-01:00|イタリア/フランス| |||コスタ・ノヴィッチはブルシアを奪う

1796年8月1日-01:00|イタリア/フランス| |||オージュロ-師団がブルシアを奪い返した

1796年8月1日-09:00|日本|青森県弘前市|寛政8年6月28日|弘前藩、文武学校稽古館を設立

1796年8月3日-01:00|イタリア/オーストリア/フランス| |||<第二次ナポレオン戦争>ナポレオンがガッラ湖西岸を進軍していたガスタヴィッチ将軍の軍勢を撃破することに成功

1796年8月3日-01:00|ドイツ/フランス| |||ヴュルツブルクとその要塞は降伏、ヴァルテンスレーベンは、全く抵抗することなくバンヘルヘ退却

1796年8月5日-01:00|イタリア/オーストリア/フランス| |||ナポレオンが、カステリョーネの戦いでオーストリア軍を破る

1796年8月5日-01:00|ドイツ| |||プロシエンが、対仏同盟戦争から離脱し、ライン左岸の領土をフランスに割譲

1796年8月6日-01:00|ドイツ/フランス| |||サンプル=エムズ軍はフォルハイム[フォルヒハイム]の戦闘でヴァルテンスレーベンを打ち破った

1796年8月6日-09:00|日本|岡山県岡山市|寛政8年7月4日|<死去>板倉勝興(75歳)前備中庭瀬藩主

1796年8月7日-01:00|オランダ| |||<就任>パタギア共和国国民議会議長「ヤン・ピーター・バン・ウィックワート・ユニ・クロンメルン」(~20日)

1796年8月7日-01:00|オーストリア/フランス| |||クレールはフォルハイムのオーストリア軍を攻撃、その前衛部隊が町を取った

1796年8月7日-09:00|日本|香川県丸亀市|寛政8年7月5日|<交替>讃岐多度津藩1万石「京極高文」隠居⇒長男「京極高賢」が継ぐ(⇒天保4(1833)年3月8日、隠居)

1796年8月8日-09:00|日本| |寛政8年7月6日|<死去>森繁子(79歳)歌人

1796年8月10日 00:00|カナダ/オランダ| |||<就任>オランダ領ゴールド=コースト総裁「ゲラルド・ス・フベルトウス・ヴァン・ハーメル」(~17980501在任中死去)

1796年8月11日-01:00|ドイツ/フランス| |||バイルトとアンベルクをつなぐ大街道上にあるローテンベルク要塞は降伏

1796年8月11日-09:00|日本|神奈川県厚木市|寛政8年7月9日|<死去>相模荻野山中藩13000石「大久保教翹」(32歳)⇒長男「大久保教孝」が継ぐ(⇒弘化2(1845)年12月7日、隠居)

1796年8月16日-08:00|インドネシア/オランダ| |||<就任>オランダ領東インド総督「ピーター・Gerhardus van Overstraten」(~18010822死去)

1796年8月16日-01:00|ドイツ/フランス| |||ヴュルテンベルク、フランスに領土割譲

1796年8月19日-01:00|フランス/スペイン| |||スペインがフランスとサン・イルデフォンソで条約を結ぶ

1796年8月21日-01:00|オランダ| |||<就任>パタギア共和国国民議会議長「ハールス・エマニエル・アンソニー・デ・ラ・ユニコート」(~9.3)

1796年8月22日-02:00|南アフリカ/オランダ/イギリス| |||グラーフ=ライネットをイギリス統治、ケープ植民地に再編入

1796年8月24日-01:00|オーストリア/フランス| |||カル大公のオーストリア軍が、アンベルクでジュルダンのフランス軍を破る

1796年8月27日-09:00|日本|大阪府大阪市|寛政8年7月25日|<初演>「伊勢音頭恋寝刃」[作・近松徳三]大坂角の芝居

1796年8月29日-09:00|日本|島根県安来市|寛政8年7月27日|<死去>出雲母里藩1万石「松平直嵩」(21歳)⇒弟「松平直方」が継ぐ(⇒文化14(1817)年3月25日、隠居)

1796年8月29日-09:00|日本|宮城県仙台市|寛政8年7月27日|<死去>陸奥仙台藩62万石「伊達斉村」(23歳)⇒10月29日、長男「伊達周宗」が継ぐ(⇒文化9(1812)年2月7日、隠居)

1796年9月-02:00|ルーマニア| |||<就任>ワキア総督・領主「アレクサンダー・ジョーン・オブ・シラントイス」(2回目~17971124)

1796年9月 04:00|ポルトガル/スペイン| |||<就任>ラバス総督補佐「アントニオ・デ・ブルグンニョ・イ・ジュアン」(~18071028)

1796年9月1日 00:00|イギリス| |||<死去>2代マンスフィールド伯「デヴィッド・マレー」

1796年9月1日 00:00|イギリス| |||<就任>3代マンスフィールド伯「デヴィッド・ウィリアム・マレー」(~18400218死去)

1796年9月2日 04:00|ドミニカ国/イギリス| |||<就任>イギリス領ドミニカ総督代行「ジョン・マトソン」(1回目~17970908)

1796年9月2日-09:00|日本|滋賀県蒲生郡日野町|寛政8年8月|仁正寺藩、文武学校日新館を設立

1796年9月2日-09:00|日本|福島県会津若松市|寛政8年8月1日|栄螺堂完成

1796年9月4日-01:00|オランダ| |||<就任>パタギア共和国国民議会議長「ジェイコブ・ヤン・キャンベア」(~17日)

1796年9月4日-01:00|フランス| |||フランスで、リュクテール18日のクーデタ/フランスの総裁政府が当時力をつけていた王党派からの権力奪取

1796年9月5日-01:00|イタリア/フランス| |||仏軍、トレントを占領

1796年9月7日-01:00|ドイツ/フランス| |||バリエル選帝侯カール・テオドールがフランスと休戦協定を結ぶ

1796年9月7日 04:00|米領ヴァージン諸島/デンマーク| |||<就任>セント・マス島・セントジョン島総督「Balthazar Frederik Muhlensfeldt」(~18000104)

1796年9月9日-01:00|クロアチア| |||<即位>ポルツァ大公「フランソワ・ノヴィッチ」

1796年9月9日-01:00|フランス| |||フランスで、ゲルル兵營の蜂起が起こる

1796年9月16日-09:00|日本|愛媛県西条市|寛政8年8月15日|<死去>伊予小松藩1万石「一柳頼欽」(44歳)⇒長男「一柳頼親」が継ぐ(⇒天保3(1832)年4月7日、死去)

1796年9月18日-01:00|オランダ| |||<就任>パタギア共和国国民議会議長「ヤコブ・カンテール」(~10.1)

1796年9月18日 04:00|チリ/スペイン| |||<就任>チリ総督・司令官「アビレス侯爵がフリエル・デ・アビレス・イ・デル・フィロ」(~17990121)

1796年9月21日-01:00|ドイツ/フランス| |||オーストリアとの戦いで活躍したマルソー将軍、ドイツのアルテンキルンで戦死

1796年9月22日-01:00|アルバニア/トルコ| |||<死去>イシュコラのワリス「カラ・マフムト・ハシヤ・ブシヤティ」

1796年9月22日-01:00|アルバニア/トルコ| |||<就任>イシュコラのワリス「イブラヒム・ハシヤ」(~1808年)

1800迄 (2827件)

1796年9月25日-09:00|日本| ||寛政8年8月24日|幕府が遊郭などで遊んだ僧侶70人余りを遠島に処す
1796年9月26日 04:00|アンティグア・バ・ブー・ダ | ||<就任>リーワード・カリブー諸島総司令官・総督代行「ジョン・S・トマス」(~17970415没)
1796年10月1日-01:00|サンマリノ | ||<就任>サンマリノ共和国執政「アントニオ・オノフリ」
1796年10月1日-09:00|日本| ||寛政8年9月|<出版>竹原春朝斎・竹原春泉斎・丹羽桃溪・石田友汀・西村中和等「撰津名所図会」前編四冊
1796年10月1日-08:00|中国| ||清・嘉慶1年9月|白蓮教指導者の徐天徳が四川達州で反乱を開始、河南、陝西にも乱が広がる
1796年10月2日-01:00|オランダ | ||<就任>パタゴニア共和国国民議会議長「タン・アドリアン・テン・ベルグ」(~15日)
1796年10月3日-09:00|日本|東京都墨田区|寛政8年9月2日|幕府古銅鑄解所を江戸本所に置く
1796年10月5日-01:00|フランス/スペイン/イギリス | ||フランス、スペインがイギリスへ宣戦布告
1796年10月7日 00:00|イギリス | ||<死去>トマス・リット/86歳(誕生17100426)哲学者でスコットランド学派の創始者
1796年10月10日-09:00|韓国 | ||朝鮮・嘉慶1年9月10日|朝鮮の水原城、完成(1794~)
1796年10月12日-09:00|日本|山形県上山市|寛政8年9月12日|<死去>松平信亨(51歳)前出羽上山藩主
1796年10月16日-01:00|イタリア/フランス | ||<死去>サルデーニャ国王・サヴォイア公「ヴィットーリオ・アメデーオ3世」70歳(誕生17260626)
1796年10月16日-01:00|オランダ | ||<就任>パタゴニア共和国国民議会議長「ベルナルド・ウス・ブロック」(~29日)
1796年10月16日-01:00|イタリア/フランス | ||<即位>サルデーニャ国王・サヴォイア公「カルロ・エマヌエーレ4世」ヴィットーリオ・アメデーオ3世とマリ・ア・アントニア・デ・イ・スパニャの息子(~18020604~18191006死去68歳)
1796年10月16日-01:00|イタリア | ||ナポレオンによりモデーナ、レッジョ、フェッラーラ、ボローニャを統合。チサパターナ共和国発足
1796年10月21日-09:00|日本|山形県新庄市|寛政8年9月21日|<死去>出羽新庄藩68200石「戸沢正親」(40歳)⇒11月19日、長男「戸沢正胤」が継ぐ(⇒天保11(1840)年3月18日、隠居)
1796年10月22日-11:30|ノーフォーク島/オーストラリア | ||<就任>ノーフォーク島副知事代理「John Townson」(~17991112)
1796年10月22日-09:00|日本|福島県福島市|寛政8年9月22日|<死去>陸奥下村藩1万石「田沼意明」(24歳)⇒11月19日、養子「田沼意壺」が継ぐ(⇒寛政12(1800)年9月17日、死去)
1796年10月24日-09:00|日本|山口県周南市|寛政8年9月24日|<交替>周防徳山藩3万石「毛利就馴」隠居⇒次男「毛利広鎮」が継ぐ(⇒天保8(1837)年12月7日、隠居)
1796年10月27日 04:00|バミューダ/イギリス | ||<就任>イギリス直轄植民地バミューダ 総督代理「ヘンリー・タッカー」(1期目~11.22)
1796年10月30日-01:00|オランダ | ||<就任>パタゴニア共和国国民議会議長「ゲリット・デ・イグ・イット・シヨデンス」(~11.12)
1796年10月30日-09:00|日本|茨城県笠間市|寛政8年9月30日|<死去>牧野貞長(64歳)常陸笠間藩主、元寺社奉行・大坂城代・京都所司代⇒長男・貞喜が跡を継いだ
1796年10月31日-01:00|フランス/イギリス | ||フランスがイギリス商品の輸入を禁止
1796年11月1日-01:00|スウェーデン | ||スウェーデン王ゲスタ4世が直接統治
1796年11月3日 01:00|カーボベルデ/ポルトガル | ||<就任>カーボベルデ 総督「マルセリノ・アントニオ・バスター」(~18021129没)
1796年11月3日-09:00|日本| ||寛政8年10月4日|<死去>2代豊竹此太夫(71歳)浄瑠璃太夫
1796年11月3日-09:00|日本|山形県上山市|寛政8年10月4日|<死去>出羽上山藩3万石「松平信古」(27歳)⇒弟「松平信愛」が継ぐ(⇒文化2(1805)年3月27日、死去)
1796年11月4日-01:00|ヒスパニア | ||アメリカがトリポリと平和友好航海条約締結
1796年11月7日-09:00|日本|神奈川県小田原市|寛政8年10月8日|<交替>相模小田原藩11万3000石「大久保忠顕」隠居⇒長男「大久保忠真」が継ぐ(⇒天保8(1837)年3月19日、死去)
1796年11月13日-01:00|オランダ | ||<就任>パタゴニア共和国国民議会議長「アラハム・ギスベルト・バスター」(~26日)
1796年11月13日 05:00|バハマ/イギリス | ||<就任>イギリス王室植民地バハマ総督代行「ジョン・フォーブス」(~17970603没)
1796年11月13日-09:00|日本|香川県仲多度郡多度津町|寛政8年10月14日|<死去>京極高文(44歳)前讃岐多度津藩主
1796年11月15日-09:00|日本|東京都墨田区|寛政8年10月16日|<大相撲>寛政8年10月場所[江戸本所回向院](10日間)優勝:(西大関)雷電,9勝0敗1休/前2場所は番付に出ず、37連勝
1796年11月17日-01:00|イタリア/オーストリア/フランス | ||<アルコレの戦い>(15日~)ナポレオン・ボナパルト、イタリアのヴェローナ近くのアルコレで、ヨーゼフ・アルブイン率いるオーストリア(神聖ローマ帝国)軍を破る
1796年11月17日-04:00|ロシア/ドイツ | ||ロシア暦11月6日|<死去>ロシア女帝「エカテリーナ2世」兼アンハルト=ツェルプスト侯「Sophie Auguste Fredericke」脳溢血のためサント・ペテルブルク冬宮で/67歳(誕生17290502)
1796年11月17日-04:00|ロシア | ||ロシア暦11月6日|<即位>ロシア皇帝「パーヴェル1世」エカテリーナ2世の長男(~1801年)
1796年11月17日-01:00|ドイツ | ||ロシア暦11月6日|<統合>アンハルト=ツェルプスト⇒アンハルト=デッサウ侯領
1796年11月19日 00:00|イギリス | ||<死去>初代バーース侯「トマス・シン」
1796年11月19日 00:00|イギリス | ||<就任>2代バーース侯「トマス・シン」先代の息子(~18370327死去)
1796年11月23日 04:00|バミューダ/イギリス | ||<就任>イギリス直轄植民地バミューダ 総督「ウィリアム・キャンベル大佐」(~12.1死去)
1796年11月25日-05:30|インド | ||<就任>サハール国支配者(ナワブ)「アブル・ハーン・カーン1世」(~18271102没)
1796年11月27日-07:00|カボジニア | ||<死去>カボジニア王国国王「アン・エン王」
1796年11月27日-01:00|オランダ | ||<就任>パタゴニア共和国国民議会議長「アイズラント・ファン・ハルスフェルト」(~12.10)
1796年11月28日-07:00|カボジニア | ||<就任>カボジニア王国摂政「アンチャン」(~18060713没)
1796年11月29日-02:00|ウクライナ/ロシア | ||<就任>キエフ軍総督兼キエフ、マロウシヤ行政区域民事主席管理者「Graf Ivan Pet

1800迄 (2827件)

rovich Saltykov」(~12.11)
1796年12月-08:00|インドネシア/イギリス| |||<就任>アンボン島イギリス居住者代表「ウィリアム・ジョーンズ」(~17990201)
1796年12月-01:00|イタリア| |||ベネチアで寒気のため老人、子供ら死亡
1796年12月1日 04:00|バミューダ/イギリス| |||<死去>イギリス直轄植民地バミューダ 総督「ウィリアム・キャンベル大佐」
1796年12月1日 04:00|バミューダ/イギリス| |||<就任>イギリス直轄植民地バミューダ 総督代理「ヘンリー・タッカー」(2期目~17980324)
1796年12月5日-09:00|日本|東京都|寛政8年11月7日|<死去>2代中村仲蔵(38歳) 歌舞伎役者
1796年12月6日-05:30|インド| |||<就任>マラーター王国宰相「バージール・ラオ2世」ナナー・ファドナヴィースの支持により(~1802年)
1796年12月6日 05:00|キューバ/スペイン| |||<就任>スペイン植民地キューバ 総督・総司令官「サンタ・クララ伯フアン・フロロ・オ・バスコ・ト・イ・ブリアス」(~17990513)
1796年12月7日 06:00|アメリカ| |||副大統領のジョン・アダムズがトマス・ジェファソンを僅差で破り、第2代大統領に選ばれる
1796年12月11日-02:00|ウクライナ/ロシア| |||<就任>キエフ軍総督兼キエフ、モロシヤ行政区域民事主席管理者「Andrey Grigoryevich Rozenberg」(~17980323)
1796年12月11日-01:00|オランダ| |||<就任>パタゴニア共和国国民議会議長「コネルリス・ヴァン・レネッ」(~24日)
1796年12月15日-09:00|日本|京都府宮津市|寛政8年11月17日|<交替>丹後宮津藩7万石「松平資承」隠居⇒次男「松平宗允」が継ぐ(⇒文化5(1808)年8月6日、隠居)
1796年12月25日-01:00|オランダ| |||<就任>パタゴニア共和国国民議会議長「ヘントリック・ストッフェンベルク」(~17970107)
1796年12月31日-01:00|イタリア| |||イタリア北部モデナ、ボローニャ、フェラーラ、レッジョ・エミリア4つの地方が結集、チサパターナ共和国成立
1797年-08:00|インドネシア| |||<即位>ジャバロ・スルタン「Muhammad Arif Bila」(~1806年)
1797年-08:00|インドネシア| |||<即位>チルボン・ガマン君主「Sultan Anom5世 Imanuddin」(~1807年)
1797年-08:00|インドネシア| |||<即位>ティトール・スルタン「Nuku, Muhammad al-Mabus Amiruddin Syah」(~1805年)
1797年-08:00|インドネシア| |||<即位>パカン・スルタン「Kamarullah」(~1826年)
1797年-05:45|ネパール| |||<死去>マスタング王「ダバンギャル・ルンギヤル・ラト・ラジエ」
1797年-05:45|ネパール| |||<即位>マスタング王「フクラ=シス=コンボ」(~1815年)
1797年-05:30|インド| |||<就任>シャイナ国ラジヤ「ラクシュマン・シン」(~1826年没)
1797年-05:30|インド| |||<就任>ティグリア国ラジヤ「ジャガンナート・チャムパティ・シン」(~1844年)
1797年-05:00|ガブラスタン| |||<就任>小ジューズ・ハン「アイチュク」アブルハイルの四男(~1805年)
1797年-04:00|ジョージア| |||<就任>グルジア公「マミヤ5世」(~1826年没)、摂政「カリスロ・グリエリ」(~1809年)
1797年-04:00|アゼルバイジャン| |||<就任>ナフチヴァン汗国ハン「アッバス・クル・ハン」(2度目~1801年)
1797年-04:00|アゼルバイジャン| |||<就任>バクー汗国ハン「ミルザ・ムハンマド・ハン2世」(2度目~1801年)
1797年-03:30|イラン| |||<就任>タブリーズ汗国カン「ジャファル・コリ・カン・ドンボリ」(~1802年)
1797年-03:30|イラン| |||<就任>トンボリ汗国カン「サイン・コイル・カン・ドンボリ」(~1813年)
1797年-03:30|イラン| |||サラブ・ガベルシャに再編入
1797年-03:00|カンタラ| |||<就任>ブガング王国首相「Nabbunga」⇒「Ssekayiba」⇒「Nabembezi」
1797年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>アレクサ・ワリス(総督)「Elluki Hasan Pasha」(~同年)
1797年-02:00|ギリシャ| |||<就任>イオニア諸島大統領「カロ・アウレリオ・ウイットマン」(~1798年)
1797年-02:00|モザンビーク| |||<就任>サンクル首長「ムケティム・ハンマド・ラジヤ」(~1800年)
1797年-02:00|ギリシャ/フランス| |||イオニア諸島がカンピオフォルミ条約によりフランスに割譲される/コルサア(コルフ島)、イサ(イカ)、メルエジエ(エゲ海)の県として組織
1797年-01:00|ナポリ/イタリア| |||<即位>ナポリ王国アラフィ「マリア」(~同年、空位~1802年)
1797年 00:00|シエラレオネ| |||<死去>バナ諸島首長「ウィリアム・クリーブランド」
1797年 00:00|セカール| |||<就任>ブントウ統治者(アルマミ)「アマティ・パテ・ゲイシ」(~1799年)
1797年 02:00|グリーンランド/デンマーク| |||<就任>南グリーンランド 検査官「Niels Rosing Bull」(~1802年)
1797年 02:00|グリーンランド/デンマーク| |||<就任>北グリーンランド 検査官「Claus Bendekke」(~1803年)
1797年 04:00|セントルシア/イギリス| |||<就任>イギリス領セントルシア副総督「ジェームズ・トラモンド」(~1798年7月)
1797年 04:00|ボリビア/スペイン| |||<就任>コルドバ 総督補佐「ニコラス・ペレス・デル・ウイゾ」(~1803年)
1797年 04:00|ボリビア/スペイン| |||<就任>ラ・フンタ・デ・ロス・チャルカス聴問庁長官「ラモン・ガルシア・デ・レオン・イ・ビサロ」(~1805年)
1797年1月-04:30|アフガニスタン| |||<即位>アフガニスタン大王(ヘラートの反体制派)「マフムード・シャー」(1回目~1797年9月)
1797年1月-01:00|ポーランド| |||トンプロフスキがフランス軍傘下でポーランド軍を創設
1797年1月1日-05:30|スリランカ/イギリス| |||<就任>イギリス軍統治セイロン第3代総督「ウェルボア・エリス・ストイル」(~6.30)
1797年1月1日 06:00|ベリーズ/イギリス| |||<就任>ベリーズ 居留地管理者(ジャマカの知事に従属)「トマス・ハロウ」(1回目~1800年10月)
1797年1月2日 05:00|コンヒア/スペイン| |||<就任>ヌエバ・グラナダ 副王「ペドロ・メンデイス・エタ・イ・ムズキス」(~18030916)
1797年1月7日-01:00|イタリア| |||レッジョでチサパターナ国民会議が開かれ白赤緑の三色旗が制定される
1797年1月7日 00:00|サントメ・プリンシペ/ポルトガル| |||<就任>サントメ・プリンシペ 総督「Ignacio Francisco da Nobrega Sousa Coutinho」(~17970207死去)
1797年1月8日-01:00|オランダ| |||<就任>パタゴニア共和国国民議会議長「ランバート・エンゲルベルト・ヴァン・エック」(~21日)
1797年1月10日-01:00|オーストリア/フランス| |||オーストリア軍に包囲されていたケルが降伏
1797年1月10日 00:00|イギリス| |||<死去>2代グレイ女侯「ジェマ・マ・ヨーク」
1797年1月14日-01:00|イタリア/オーストリア/フランス| |||ホレオン軍が、リヴォリの戦いでオーストリア軍を破る

1800迄 (2827件)

1797年1月22日-01:00|オランダ| |||<就任>パタギア共和国国民議会議長「ウィルム・クイゼン」(~2.4)
1797年1月25日-02:00|エストニア/ロシア| |||<就任>エストニア総督「アントン・フォン・ランゲル」(~18080614)
1797年1月28日-09:00|日本| ||寛政9年1月|<刊行>武内確斎(岡田玉山挿絵)「絵本太閤記」初編/圧倒の人気をえて、現在にまでつづく豊臣秀吉像が形成される(1802年完結)
1797年1月28日-09:00|日本| ||寛政9年1月|<出版>烏亭焉馬(鳥居清長・勝川春潮・同春好・同春英・歌川豊国等の挿画)「美満寿組入」
1797年1月28日-09:00|日本| ||寛政9年1月|<出版>喜多川歌麿「絵本天の川」「絵本譬喩節」
1797年1月28日-09:00|日本| ||寛政9年1月|<出版>二柳斎吉信「ころばぬ先の図会」
1797年1月28日-09:00|日本| ||寛政9年1月|<出版>北斎・重政・堤等琳「狂歌柳の糸」
1797年1月28日-09:00|日本| ||寛政9年1月|<出版>梨本祐為「職人尽発句合」
1797年1月28日-09:00|日本| ||寛政9年1月|<出版>緑毛斎栄保「集外三十六歌仙」
1797年1月29日-05:30|インド| |||<就任>インダール国統治者(スプタール)「ガシ・ヲ・ルカ-5世」(~1799年1月)
1797年2月 00:00|イギリス/ハイチ| |||イギリス軍ミレバリスを奪還
1797年2月 05:00|ハイチ| |||グラン・ビエールで白人王党派の反乱。アンリ・クリストフ大佐の率いる「La Vendee of Saint Dominge」部隊が制圧
1797年2月 05:00|ハイチ| |||トゥーサン、サンマルクを攻撃。三度の総攻撃に失敗し撤退/この後スペイン人の確保するMirebalais, St. Louisを攻略
1797年2月2日-01:00|イタリア/オーストリア/フランス| |||ナポレオン軍が北イタリアのマントヴァを占領
1797年2月4日-01:00|フランス| |||フランス「マンダ」以外の紙幣が廃止
1797年2月4日 05:00|エカトル| |||エカトル沖で地震(M8.3)死者4万人
1797年2月5日-01:00|オランダ| |||<就任>パタギア共和国国民議会議長「カル・デ・フォス・ファン・ステーンウェイク」(~18日)
1797年2月5日-01:00|フランス/パチカン| |||セオ川(カステル・ボ・ローゼ)の戦いでフランス軍に教皇軍は敗北/損害はフランス100人、教皇軍2000人
1797年2月5日-01:00|オーストリア/フランス| |||フニンゲンもオーストリア軍の手に落ちた
1797年2月7日-01:00|フランス| |||フランス「マンダ」・テリトリア(土地証券)」廃止
1797年2月7日 00:00|サントメ・プリンシペ/ポルトガル| |||<死去>サントメ・プリンシペ 総督「Ignacio Francisco da Nobrega Sousa Coutinho」
1797年2月7日 00:00|サントメ・プリンシペ/ポルトガル| |||<就任>サントメ・プリンシペ 総督代理「Manuel Monteiro de Carvalho」(~同年)⇒代理「Antonio Pereira Bastos Lima VarelaBarca + Manuel Francisco Joaquim da Mota」(~10.13)
1797年2月11日 03:00|ウルグアイ/スペイン| |||<就任>モンテビデオ総督「Jose de Bustamante y Guerra」(~1804年)
1797年2月12日-01:00|オーストリア| |||ハイドンが、神聖ローマ皇帝フランツ2世の29歳の誕生日を記念して皇帝賛歌「神よ、皇帝フランツを護りたまえ」をブダペスト劇場で初演
1797年2月14日 00:00|ポルトガル/スペイン/イギリス| |||ジャーク・イス提督とネルソン提督のイギリス艦隊が、セント・ヴィンセント岬沖の戦いでスペイン艦隊を破る
1797年2月16日 04:00|トリニダード・トバゴ/スペイン/イギリス| |||アパクロンビーはスペイン領トリニダードに到着/イギリス兵が上陸するとスペイン守備隊はすぐに降伏
1797年2月16日-09:00|日本|愛媛県西条市|寛政9年1月20日|<死去>伊予西条藩33000石「松平頼看」(25歳)⇒弟「松平頼啓」が継ぐ(⇒天保3(1832)年閏11月25日、隠居)
1797年2月18日 04:00|トリニダード・トバゴ/イギリス| |||<就任>トリニダード 知事「ラルフ・アパクロンビー卿」(~3月)
1797年2月18日 04:00|トリニダード・トバゴ/イギリス| |||イギリス、ベネズエラ領トリニダードを占領
1797年2月19日-01:00|オランダ| |||<就任>パタギア共和国国民議会議長「ヘンドリック・ヴァン・カストロップ」(~3.4)
1797年2月19日-01:00|フランス/パチカン/イタリア| |||ナポレオンが教皇ピウス6世とトレントの和約を結ぶ/ローマ、ボローニャ、フェラーラをフランスに割譲させる
1797年2月20日 04:00|フォークランド/スペイン| |||<就任>スペイン領フォークランド 諸島司令官・総督「Luis de Medina y Torres」(1期目~17980317)
1797年2月22日-01:00|ドイツ| |||<死去>「ほら吹き男爵」のドイツの作家ミヒハルト・男爵/76歳(誕生17200511)
1797年3月-01:00|セルビア/トルコ| |||<就任>オスマン帝国セルビア・ワラ代行「オスマン・パシャ」(~17980608)
1797年3月 04:00|トリニダード・トバゴ/イギリス| |||<就任>トリニダード 知事「トマス・ピクトン」(~1803.1)
1797年3月 05:00|ハイチ/イギリス| |||<就任>イギリスのセント・ドミング軍事総督「ジョン・グレイト・ス・シムコ」(~7月)
1797年3月1日-01:00|フランス/オーストリア| |||オーストリア軍の前衛部隊からプリマローノを奪取
1797年3月2日 00:00|イギリス| |||<死去>4代オーフォード 伯「ヘレシヨ・ウォルポール」断絶
1797年3月2日 00:00|イギリス| |||<死去>「オランダ城」のイギリスの作家「ヘレシヨ・ウォルポール」79歳(誕生17170924)
1797年3月2日-09:00|日本|兵庫県佐用郡佐用町|寛政9年2月4日|<死去>森俊韶(48歳)前播磨三日月藩主
1797年3月3日-01:00|イタリア/オーストリア| |||オソッパとパルマノヴァをオーストリア軍占領
1797年3月4日 06:00|アメリカ| |||<就任>アメリカ第2代大統領「ジョン・アダムズ」フェデリスト党(~18010303)
1797年3月5日-02:00|南アフリカ/イギリス| |||<制定>イギリス領ケープ 植民地
1797年3月5日-01:00|オランダ| |||<就任>パタギア共和国国民議会議長「マルト・ウス・シデリス」(~18日)
1797年3月9日 04:00|グレタ/イギリス| |||<就任>グレタ 副総督「チャールズ・グリーン」(1回目~1798年)
1797年3月13日-01:00|オーストリア/フランス| |||マセの別働隊はフォルトニャに陣地を敷いていたルナン將軍の部隊を攻撃し打ち破った
1797年3月14日-01:00|イタリア| |||ベネチア、ベルガモに臨時市政府

1800迄 (2827件)

1797年3月15日-01:00|イタリア/フランス| |||ホーナルトはザールを奪った
1797年3月16日-01:00|イタリア/オーストリア/フランス| |||ヴァルヴァッソーネではフランス軍、オーストリア軍が戦闘し、損害はフランス軍500人、オーストリア軍700人/オーストリア軍はすぐにケッフェへ退却
1797年3月18日-01:00|バチカン| |||<就任>バチカン枢機卿國務長官「ジュゼッペ・ドリア・パソフィーリ」(~17990829)
1797年3月18日-01:00|イタリア/フランス| |||ベルナドットがパルマを占領
1797年3月19日-01:00|オランダ| |||<就任>パタヴィア共和国国民議会議長「コルネリス・ウィルヘルムス・デ・ローア」(~4. 1)
1797年3月20日-05:30|インド/イギリス| |||アト国はイギリス保護領(18160501条約により確認)
1797年3月21日-01:00|オーストリア/フランス| |||マセは前面にいたオースカイのオーストリア軍を攻撃して重要なタルガイ峡谷を確保
1797年3月22日-01:00|オーストリア/フランス| |||カル大公はオースカイらの部隊に反撃を命じたが、マセはこれを撃退
1797年3月23日-01:00|イタリア/フランス| |||トリエステをフランスが占領(~5. 24)
1797年3月24日 05:00|ハイチ| |||トゥーサン軍副官Morney, ミレバレイスに向かうMontalembertの部隊を襲撃殲滅
1797年3月27日-01:00|イタリア| |||ホーローニャで、チスパターナ共和国憲法が公布される
1797年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ジュリアーノ・ベルツツィ」「シローモ・パオロニ」
1797年4月1日 05:00|ハイチ/フランス| |||<就任>フランスのサント・シモン 総督「ピエール・フランソワ・ド・ミニク・トゥーサン=ル・エルチュール」(~1802 0505)
1797年4月2日-01:00|オランダ| |||<就任>パタヴィア共和国国民議会議長「ケーヘルス」(~15日)
1797年4月3日 06:00|コスタリカ/スペイン| |||<就任>コスタリカ暫定総督「トマス・デ・アコスタ・イ・ウルタド・デ・メントーサ」(~18101204)
1797年4月4日-01:00|フランス| |||フランスで選挙が行われ、王党派が総裁政府支持派を上回る
1797年4月5日-01:00|クロアチア| |||フィウメをフランスが占領(~10日)
1797年4月9日 05:00|ハイチ/フランス/イギリス| |||トゥーサン軍、英国軍とフランス民兵を一掃し、ミレバレイスを解放
1797年4月15日 03:00|アルゼンチン/ホーリビア/パラグアイ/ウルグアイ| |||<就任>リオ・デ・ラ・プラタ副王「ブエノスアイレスのアウグスティン」(~5. 2) [本国からの副王到着までの暫定政府]
1797年4月15日 04:00|アンティガ・ア・バグーター| |||<就任>リーワード・カビネ諸島総司令官・総督代行「ロバート・トムソン」(~1801 0214)
1797年4月16日-01:00|オランダ| |||<就任>パタヴィア共和国国民議会議長「ジェイコブ・アブラハム・デ・ミスト」(~29日)
1797年4月16日 00:00|イギリス| |||ホーツマス近くのスピットヘッドに停泊中の海軍に海峡艦隊で水兵が反乱を起こし、待遇改善を要求
1797年4月17日-01:00|イタリア/フランス| |||ヴェネチア領ヴェローナの民衆がフランスに反抗して蜂起
1797年4月18日-01:00|オーストリア/フランス| |||ナポレオンが、オーストリアとローベンの仮条約を締結
1797年4月19日-09:00|日本|新潟県胎内市|寛政9年3月23日|<死去>越後黒川藩1万石「柳沢信有」(46歳)⇒長男「柳沢光被」が継ぐ(⇒天保7(1836)年9月24日、死去)
1797年4月22日-01:00|フランス/イタリア| |||パラスとパリで協定。70万リでヴェネツィアの独立を尊重することを約束させる
1797年4月24日-09:00|日本|東京都台東区|寛政9年3月28日|<大相撲>寛政9年3月場所[江戸浅草八幡宮](10日間) 優勝:(西大関)雷電(磐石), 8勝1敗1休/7日目で43連勝止まる、翌日から44連勝開始
1797年4月25日-09:00|日本|埼玉県さいたま市岩槻区|寛政9年3月29日|<交替>武蔵岩槻藩2万石「大岡忠烈」隠居⇒三男「大岡忠正」が継ぐ(⇒文化13(1816)年間8月28日、死去)
1797年4月27日-01:00|イタリア/フランス| |||フランスに反抗したヴェネチア領ヴェローナの民衆の反乱が鎮圧される
1797年4月28日-01:00|イタリア/フランス| |||仏軍、パドヴァを占領
1797年4月29日-13:00|トンガ| |||<死去>トンガ主長(トイ・カノク・オル)「トホウ・ムイ」
1797年4月29日-13:00|トンガ| |||<即位>トンガ主長(トイ・カノク・オル)「タリ・トホウ(フィナウ・トゥクアホ)」(~17990421死去)
1797年4月30日-01:00|オランダ| |||<就任>パタヴィア共和国国民議会議長「ヤン・ベルント・ヒッカー」(2回目~5. 13)
1797年5月1日-01:00|ベナン| |||<死去>ダホメ王国国王「アゴロ・シント・ザン」
1797年5月1日-01:00|ベナン| |||<即位>ダホメ王国国王「アダント・ザン・マト・ゲゲ」(1804年まで摂政~1818年)
1797年5月2日 03:00|アルゼンチン/ホーリビア/パラグアイ/ウルグアイ/スペイン| |||<就任>リオ・デ・ラ・プラタ総督「アントニオ・オラゲール・イ・フェリウ・エレディア・ロペス・イ・ド・ネウ」(~17990314)
1797年5月2日-04:00|ロシア| |||ロシア暦11月6日|<就任>全ロシア首相「クニャースのアレクサンドル・アントレーエヴィチ・ベズボロトコ」(~17990417)
1797年5月5日-02:00|南アフリカ/イギリス| |||<就任>イギリス領ケープ植民地知事「ジョージ・マートニー」(~17981120)
1797年5月8日-01:00|イタリア/フランス| |||フランス軍、マルゲラ付近のサン・ジュリアーノの鐘楼を占領し、海側よりヴェネツィアに近づく
1797年5月9日-04:00|アゼルバイジャン| |||<解任>シャッキ汗国ハン「ムスタファ・サリム・ハン」
1797年5月9日-04:00|アゼルバイジャン| |||<就任>シャッキ汗国ハン「ムハンマド・ハサン・ハン」(2度目~1805年)
1797年5月11日-09:00|日本|東京都江東区|寛政9年4月15日|江戸深川三十三間堂通矢「五十間千射」で、力丸五市郎(14歳)が887本(総矢数1000本)を記録
1797年5月12日-01:00|イタリア| |||<解任>ヴェネツィア共和国ドージェ(元首)「ルドヴィーコ・マニ」フランスに占領され国家消滅
1797年5月12日 00:00|イギリス| |||ノアの反乱>4月15日に起こったスピットヘッドの水兵の反乱が北海艦隊に広がる
1797年5月14日-01:00|オランダ| |||<就任>パタヴィア共和国国民議会議長「ルトガー・ヤン・シンメル・ニク」(2回目~27日)
1797年5月15日-05:30|インド| |||セリガパタムでフランスとマドラスの間の同盟協定が結ばれる
1797年5月15日-01:00|イタリア/フランス| |||タ刻ト・ヴィーゴ・マニ、パラッツォ・トウカレを去る一方、フランス軍、ヴェネツィアに入る
1797年5月16日-01:00|イタリア| |||ベネツィアで民主的市当局成立
1797年5月19日-01:00|イタリア/フランス| |||チスパターナ共和国解体
1797年5月19日-01:00|フランス| |||フランスで、王党派のバルテルミ(50)が総裁に選出される

1800迄 (2827件)

1797年5月23日-09:00|日本|東京都|寛政9年4月27日|<死去>画人三輪花信斎(名は在栄、猿を写す事殊に上手なり)

1797年5月26日-09:00|日本| ||寛政9年5月|<出版>蓼閑月「伊勢参宮名所図会」

1797年5月26日-09:00|日本| ||寛政9年5月|武家屋敷、寺社、辻などでの、博打禁止、幕府(再令)

1797年5月27日-01:00|フランス| ||フランスの思想家・革命家ランソワ・エルク・バブーフをはじめ、「バブーフ派」が処刑される(バブーフ1760-、37歳)

1797年5月28日-01:00|オランダ| ||<就任>バタヴィア共和国国民議会議長「ジェラルド・ウィレム・バン・マル」(~6. 10)

1797年5月28日-01:00|ボスニア・ヘルツェゴビナ/トルコ| ||<就任>ボスニア総督「ペリサン・ムスタファ・パシャ」(~17990214)

1797年5月31日-01:00|フランス| ||フランス「五百人会議」(法案の提出を行う)の改選が行われ、「王党派」が330人の当選者を出す

1797年5月31日-09:00|日本|東京都|寛政9年5月6日|<死去>鳶屋重三郎。脚気のため(48歳)出版人、狂歌師

1797年6月-05:30|インド| ||<就任>ジャム-国ラジャ「ジッ・シン」(~1816年)

1797年6月6日-01:00|イタリア/フランス| ||仏軍によりジェノヴァ共和国滅亡

1797年6月6日 05:00|バハマ/イギリス| ||<就任>イギリス王室植民地バハマ総督代行「ロバート・ハント」(3回目~17980313)

1797年6月13日-09:00|日本| ||寛政9年5月19日|幕府、駿河国駿東・富士両郡に牧場を設置

1797年6月14日-01:00|オランダ| ||<就任>バタヴィア共和国国民議会議長「ハマン・ヘンドリクス・ヴァー・トリンカ」(~27日)

1797年6月14日-01:00|マルタ| ||<就任>フランス領マルタ政府委員会委員長「Jean-Baptiste de Bosredon de Ransijat」(~18000908)無所属、行政長官「Michel Louis Etienne Regnaud de Saint-Jean d'Angely」(~17981109)

1797年6月14日-01:00|イタリア/フランス| ||ナポレオンが、ジェノヴァで「二十二人政府」を任命してリグリア共和国が成立

1797年6月14日 06:00|アメリカ| ||アメリカで武器輸出が禁止される

1797年6月17日-03:30|イラン| ||<死去>カジャール朝シャー「アガ・モハンマド・カジャール」カファス遠征の途次に暗殺される/55歳(誕生1720年)

1797年6月17日-03:30|イラン| ||<即位>カジャール朝シャー「ファト・アリ・カジャール」(7. 29まで摂政~18341024没)

1797年6月17日 04:00|トリニダード・トバゴ/イギリス| ||<就任>トバゴ総司令官。総督代行「トマス・ウィルソン」(~7. 13)

1797年6月21日-01:00|デンマーク| ||<就任>デンマーク王国枢密院議長「シメルマン伯爵エルスト・ハイリッヒ」(~18131207)

1797年6月25日-01:00|オランダ| ||<就任>バタヴィア共和国国民議会議長「ヨハン・ヘルマン・デ・ラング」(~7. 8)

1797年6月27日-01:00|フランス| ||フランス亡命者に対する処置を廃止

1797年6月28日-02:00|ギリシャ/フランス| ||フランス軍が、イオニア諸島を占領

1797年6月28日-01:00|アルバニア/フランス| ||ブトリントがフランスに占領される(~17981026)

1797年6月29日-01:00|イタリア/フランス| ||ナポレオンはロンバルディア、モデナ、レッジョ、フェッラーラ、ペルガモ、ブレッシアとチサパダーナ共和国を統合、チザルピーナ共和国発足。ジョアッキーノ・ミウラ、チザルピーナ大統領に

1797年6月30日-05:30|スリランカ/イギリス| ||<就任>イギリス軍統治セイロン第4代総督「ピーター・ボンガオー」(~7. 12)

1797年6月30日-01:00|クロアチア/オーストリア| ||<就任>オーストリアのダルマチア総督「マティアス・フライヘル・ルカヴィナ・フォン・ホーイゲンラート」(~1803年)

1797年6月30日-01:00|クロアチア/オーストリア| ||ザラ/ザダルがオーストリアに占領される

1797年7月 05:00|ハイチ/イギリス| ||<就任>イギリスのセント・トミョー軍事総督「ジョン・ホワイト」(~1798年4月)

1797年7月9日-01:00|オランダ| ||<就任>バタヴィア共和国国民議会議長「アンブロウズ・ユストゥス・スプリー」(~22日)

1797年7月10日-09:00|日本| ||寛政9年6月16日|<死去>金井三笑(67歳)歌舞伎・狂言作者

1797年7月11日 06:00|アメリカ| ||<就役>アメリカ海軍ユナイテッド・ステーツ級フリゲイト「ユナイテッド・ステーツ」(2200t, Joshua Humphreys & Capt. Thomas Truxtunで建造)

1797年7月12日-05:30|スリランカ/イギリス| ||<就任>イギリス軍統治セイロン第5代総督「ヒュエル・フレデリック・ド・ムロン」(~17981012)

1797年7月13日-01:00|マルタ| ||<死去>マルタ騎士団総長「エマニエル・デ・ロアン・ホルデック」

1797年7月13日 04:00|トリニダード・トバゴ/イギリス| ||<就任>トバゴ総司令官。総督「ステファン・デ・ランシー」(~17981016)

1797年7月13日-09:00|日本|福井県福井市|寛政9年6月19日|福井城下で大火、町家848軒・寺14焼失

1797年7月16日-01:00|フランス| ||フランス忌避聖職者に対する処置を廃止

1797年7月17日-01:00|マルタ| ||<就任>マルタ騎士団総長「フェルディナント・フォン・ホーネッ・ツュー・ホルハイム」(~17980826)

1797年7月23日-01:00|オランダ| ||<就任>バタヴィア共和国国民議会議長「ウィレム・ヘンドリック・デ・イック・ファン・ベルクハルト」(~8. 5)

1797年7月24日-01:00|アントワープ| ||<就任>アントワープ公国共同大公「ウルヘル司教フランチェスク・アントニー・ド・ラ・デュエナ・イ・シスネロス」(1回目~18120126)

1797年7月26日-01:00|フランス| ||フランス「諸クラブ」の閉鎖命令が出される

1797年8月-09:30|オーストラリア| ||ジョージ・バース、現在のコール・クリフの辺りで石炭の鉱床を発見

1797年8月1日-09:30|オーストラリア| ||レディ・ジョア号で囚人と兵士の反乱が起こる。反乱は成功し、南アメリカへ向かう。これが唯一の囚人船における反乱の成功の例

1797年8月1日-01:00|アンゴラ/ポルトガル| ||<就任>ポルトガル領西アフリカ総督「ミゲル・アントニオ・デ・メロ」(~18020824)

1797年8月6日-01:00|オランダ| ||<就任>バタヴィア共和国国民議会議長「スルト・トリップ」(~19日)

1797年8月8日-01:00|クロアチア/オーストリア| ||<就任>オーストリアのダルマチア総督(市民総督)「ライムント・ライヒスグラフ・フォン・トゥルン・ヴァルサッシーナ・ウント・ホーファー」(~1799年7月)

1797年8月10日-01:00|フランス/ポルトガル| ||フランスとポルトガルが和平条約を締結

1797年8月12日-09:00|日本|福島県田村郡三春町|寛政9年7月20日|<交替>陸奥三春藩5万石「秋田千季」隠居⇒次男「秋田謐季(長季)」が継ぐ(⇒享和3(1803)年11月、隠居)

1800迄 (2827件)

1797年8月18日-03:00|エチオピア| |||<即位>エチオピア帝国(後期ソモン朝) 皇帝「ヨナス・レズム」(~17980104)
1797年8月18日-01:00|ベルギー/フランス/オーストリア| |||ベルギーがオーストリアから正式にフランスに割譲される
1797年8月18日-09:00|日本|新潟県新発田市|寛政9年7月26日|<死去>溝口直養(62歳) 前越後新発田藩主
1797年8月20日-01:00|オランダ| |||<就任>パタゴニア共和国国民議会議長「ピーター・レオナルド・ファン・デ・カステール」(2回目~31日)
1797年8月27日-02:00|モザンビーク/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領モザンビーク総督・総司令官「フランシスコ・ゲデス・デ・カルヴァリョ・エ・メネセス・ダ・コスタ」(~18010910)
1797年9月1日-08:00|マレーシア| |||<死去>カタ・スルタン国スルタン「アブドゥッラー・ムカラム・シャー3世」イブニ・アル=マルフム・スルタン・ムハンマド・ジワザイナル・アジリン・ムアッザム・シャー
1797年9月1日-08:00|マレーシア| |||<即位>カタ・スルタン国スルタン「ジヤウデ・イン・ムカラム・シャー2世」イブニ・アル=マルフム・スルタン・ムハンマド・ジワザイナル・アジリン・ムアッザム・シャー」(~18030919)
1797年9月1日-01:00|オランダ| |||<就任>パタゴニア共和国国民議会議長「ヤン・デ・イグイット・ハースタール」(~9.16)
1797年9月4日-01:00|フランス| |||<フリュクティドール18日のクーデター>フランス議会の反動化を恐れた総裁のボール・パラス、ジャン=フランソワ・ル・ペル、ラ・フルーリエールらの「共和派」(テルミノール派)、「王党派」を政府から追い出すことをねらい、軍の支援下クーデターを起こし勝利、「王党派」議員の当選を無効とし、53名の議員を国外追放
1797年9月8日 04:00|ドミニカ国/イギリス| |||<就任>イギリス領ドミニカ総督「アンドリュー・ジェームズ・コラン・ジョンストン」(1回目~17990518)
1797年9月9日-09:30|オーストラリア| |||ジョン・ショートランド、ハンター川を命名。石炭を発見
1797年9月12日-09:00|日本|福岡県柳川市|寛政9年閏7月22日|<交替>筑後柳河藩104200石「立花鑑通」隠居⇒五男「立花鑑壽」が継ぐ(⇒文政3年4月29日(18200609)、死去)
1797年9月17日-01:00|オランダ| |||<就任>パタゴニア共和国国民議会議長「アドリアス・フロス・バン・アムステル」(~30日)
1797年9月20日-09:00|日本| ||寛政9年8月|<出版>北尾政美「鳥獣略画式」
1797年9月21日-05:30|インド| |||<就任>アフド国統治者(ナワブ、ワシール・アル=マリカ)「ミルザ・ワジド・アリ・カーン」(~17980121イギリスにより廃位)
1797年9月27日-09:00|日本| ||寛政9年8月8日|<死去>駒井琦(51歳) 画家
1797年9月30日 04:00|BES諸島/フランス| |||<就任>ボネール副司令官「Barent Dirkszoon Kock」(2期目~18051029)
1797年10月-04:30|アファニスタン| |||<即位>アファニスタン大王(ヘラートの反体制派)「カプール」(~1818年)
1797年10月1日-01:00|サマリノ| |||<就任>サマリノ共和国執政「アンニハ・レ・ゴジ」「アントニオ・カッパネーニ」
1797年10月1日-01:00|オランダ| |||<就任>パタゴニア共和国国民議会議長「ヨハム・ヌアト・ファン・デル・グーテン」(~14日)
1797年10月4日-01:00|モンテネグロ/オーストリア| |||<就任>モンテネグロ司教公摂政「アルセニエ・ブラマツク」(~17840515死去)
1797年10月10日-09:00|日本| ||寛政9年8月21日|<死去>板谷桂舟(69歳) 画家
1797年10月11日-01:00|オランダ/イギリス| |||ダンカン提督のイギリス海軍が、カンパータウン沖の戦いで、パタゴニア共和国(オランダ)海軍を破る
1797年10月13日 00:00|サントメ・プリンシペ/ポルトガル| |||<就任>サントメ・プリンシペ 総督「Francisco de Paula Leite + Jose Joaquim Borges da Silva」(~1798年)
1797年10月15日-01:00|オランダ| |||<就任>パタゴニア共和国国民議会議長「ヒュゴ・ゲーバース」(~28日)
1797年10月17日-01:00|クロアチア/オーストリア| |||ダルマチア(イストリア半島とカワロを含む)がオーストリアに併合されてダルマチア王国(ケニヒライヒ・ダルマチエン)となる
1797年10月17日-01:00|アルバニア/フランス| |||ブトリントはカンピオフォルミオ条約によりフランスに割譲される(コルザイ県の一部~1798年10月)
1797年10月17日-09:00|日本|東京都|寛政9年8月28日|幕府が、日雇い稼ぎの者の賃金引き上げ要求などを押さえるため、日雇座へ差し出す 役銭を免除し、日雇座を廃止
1797年10月18日-01:00|ドイツ/フランス| |||カンポフォルミオ条約で事実上、ラインラントをフランスへ譲渡
1797年10月18日-01:00|オーストリア/フランス/イタリア| |||ホーレオンが、オーストリアと和約する(カンポ・フォルミオ条約)/第1次対仏大同盟戦争が終結/条約はフランスにオーストリア領譲渡:オーストリア領ネーデルラント(ベルギー-諸州)、地中海のコルシカ島・アドリア海の島々とロマンバルディア/ヴェネツィアの領土は2つの国家の間で分配され、ヴェネツィア・イストリアおよびダルマチアはオーストリアに譲られた/オーストリアはサバールナ共和国とジェノヴァ人が居住する新しく形成されたリグリア共和国の独立を認めた
1797年10月22日-01:00|フランス| |||フランスの発明家、アンドレ=ジャック・ガムランがパリ近郊で高度900mの気球からパラシュートで降下
1797年10月25日 04:00|グアドループ/フランス| |||フランスの県としてグアドループ組織(~18010419)
1797年10月29日-01:00|オランダ| |||<就任>パタゴニア共和国国民議会議長「ジェイコブ・ヴァン・マッテン」(~11.11)
1797年10月29日-09:00|日本|秋田県由利本荘市|寛政9年9月10日|<死去>六郷政林(61歳) 前出羽本荘藩主
1797年10月30日-09:00|日本| ||寛政9年9月11日|幕府が金銀貸借などの金公事につき、相対済し令を発令
1797年11月8日 00:00|イギリス| |||<死去>初代キングストン伯「エドワード・キング」
1797年11月8日 00:00|イギリス| |||<就任>2代キングストン伯「ロバート・キング」先代の息子(~17990417死去)
1797年11月12日-01:00|オランダ| |||<就任>パタゴニア共和国国民議会議長「ピーター・ガリーテ」(~25日)
1797年11月16日-01:00|ドイツ/ポーランド| |||<死去>プロシヤ王・フランクフルク選帝侯・マルク伯・ラウエンスベルク伯「フリードリヒ・ヴィルヘルム2世」53歳(誕生17440925)
1797年11月16日-01:00|ドイツ/ポーランド| |||<就任>フランクフルク選帝侯「フリードリヒ・ヴィルヘルム3世」フリードリヒ・ヴィルヘルム3世の息子(~18060806退任プロシヤに統合)兼マルク伯・ラウエンスベルク伯「フリードリヒ・ヴィルヘルム3世」(~18060806)
1797年11月18日-01:00|クロアチア| |||<即位>ボルツァ大公「マルコ・ジュリエウ・イチ」(~17980325)
1797年11月18日-01:00|クロアチア/オーストリア| |||オーストリアがダルマチアとボルツァを占領(~1806年)

1800迄 (2827件)

1797年11月18日-01:00|スペイン| |||スペインが戦時緊急措置として植民地に中立国との貿易を許可
1797年11月18日-09:00|日本|東京都|寛政9年10月|江戸の落語興行禁じられる
1797年11月24日-01:00|フランス| |||パリに「商業割引銀行」が設立される
1797年11月26日-02:00|ブルガリア/トルコ| |||オスマン朝に対しブルガリアのヴイティンでパシオン・オールの反乱
1797年11月26日-01:00|オランダ| |||<就任>パタニア共和国国民議会議長「ステファヌス・ヤコブ・ファン・ランゲン」(~12.9)
1797年12月-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>アレクソ・ワリス(総督)「Tashrali Mustafa Pasha」(~1798年)
1797年12月-02:00|ルーマニア| |||<就任>ワキフ総督・領主「コンスタンティン・ハンゲリ」(~17990218没)
1797年12月 00:00|ギニアビサウ/ポルトガル| |||<就任>カチュ・司令官「マヌエル・ピント・デ・グーベア」(~1801年3月)
1797年12月4日 04:30|ベネズエラ| |||ベネズエラで地震、死者1万
1797年12月7日-09:00|日本|大阪府大阪市|寛政9年10月20日|<死去>大阪の浮世絵師、部関月/51歳
1797年12月9日-09:00|日本|東京都港区|寛政9年10月22日|<大相撲>寛政9年10月場所[江戸芝神明](10日間)優勝
:(西大関)雷電、10戦全勝、12連勝
1797年12月10日-01:00|オランダ| |||<就任>パタニア共和国国民議会議長「ヤコブ・ス・ブラウ」(~23日)
1797年12月18日-09:00|日本| |||寛政9年11月|<出版>北尾政美・竹原春泉斎・石田友汀・西村中和・原在正・山口素
絢・田中訥言・円山応挙・同応受・月溪・奥文鳴・土佐光貞・佐久間艸偃・下河辺維恵・狩野永俊・大雅堂余夙夜の挿
画「東海道名所図会」
1797年12月23日-01:00|ドイツ| |||<死去>グェルテンベルク公「フリート・リヒ・オイゲン」
1797年12月23日-01:00|ドイツ| |||<即位>グェルテンベルク公「フリート・リヒ3世」(⇒18030225グェルテンベルク選帝侯に昇格⇒180
60101、グェルテンベルク国王「フリート・リヒ1世」~18161030死去)
1797年12月24日-01:00|オランダ| |||<就任>パタニア共和国国民議会議長「ジョアン・バーナード・オフモス」(~17980106)
1797年12月29日-01:00|ドイツ/フランス| |||フランス軍がマインツを占領
1798年-08:00|マレーシア| |||<就任>レバウ統治者(ヤン・デ・イ・ペルトアン・ムタ・レンバウ)「ラジヤ・アシル」(~1813年)
1798年-05:30|インド| |||<就任>アフマド・カール国ラジャ「カラン・シン」(~18350206没)、摂政「モサのザリム・シン」(~1806年没)
1798年-05:30|インド| |||<就任>ウアラ国統治者(タクル・サヒブ)「マハ・イ・ナトゥバ・イ」(~1814年没)没)
1798年-05:30|インド| |||<就任>クレハール国支配者(ライ・サハブ・シュリ)「アムラト・ハル」(~1825年)
1798年-05:30|インド| |||<就任>ジャウハル国ラジャ「ウイラム・シャー3世」(~1821年5月没)
1798年-05:30|インド| |||<就任>ナルシンプル国ラジャ「ジャガンナート・ハリチャンド・ン・モハト」(~1826年)
1798年-05:30|インド| |||<就任>パンナ国ラジャ「キショール・シン」(~1834年没)
1798年-05:30|インド| |||<就任>ファリド・コット国統治者(サルターール)「キヤラット・シン」(~1804年没)
1798年-05:30|インド| |||<就任>ホール国統治者(パント・サフ)「チムナジ・ラオ2世」(~1827年没)、摂政「シュリマント・タイサハブ」(~18
13年)
1798年-05:30|インド| |||<就任>ボンチ国ラジャ「アミール・カーン」(1回目~1804年)
1798年-05:30|インド| |||<就任>ラクナウ国統治者(タクル・サヒブ)「サングラムジ・ライタ・ンジ」(~同年)⇒「チャンド・ランジ・ライタ・ン
ジ」(~1803年)
1798年-05:00|ウズベキスタン| |||<死去>コーカンド(フェルガナ)ベク「Narbuta Biy」
1798年-05:00|ウズベキスタン| |||<就任>チラル国統治者(ミフタル)「シャー・ハイルラ・クシュク」(~1817年)
1798年-05:00|ウズベキスタン| |||<即位>コーカンド(フェルガナ)ベク「Muhammad `Alim Biy」(~1806年)
1798年-03:00|エチオピア| |||<即位>カファ帝国カフィ・アティオ「ホティ・ガ・オチヨ」(~1821年)
1798年-03:00|マリア| |||<即位>ケレティ・スルタン「Yusuf Mahamud Ibrahim」(~1848年)
1798年-03:00|スーダン| |||<即位>フンジ・スルタン国スルタン「ランフィ」(~1805年)、摂政「イトリス・ワラト・アブ・リカリ」(~1804年)
1798年-03:00|クウェート/サウジアラビア| |||この年、ワハブ派がクウェート占領
1798年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>アレクソ・ワリス(総督)「Sherif Mehmed Pasha」(~同年)
1798年-02:00|ウクライナ/ロシア| |||<就任>カメネツィ・ポドルスキ軍総督兼ポドリア、ヴォルィニ、ミンスク行政区域民事主席管理者「I
van Vasilyevich Gudovich」(~1799年)
1798年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>ダマスカス・ワリス(総督)「Ahmed Pasha al-Djazzar」(3期目~1799年)
1798年-01:00|スペイン| |||<死去>スペイン領セウタ総督「Jose Vasallo」
1798年-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン領セウタ暫定総督「Ramon de Navas」(1期目~同年)⇒総督「Juan Bautista de
Castro」(~1801年)
1798年-01:00|ニジェール| |||<即位>ソンガイ帝国皇帝「フォティ・マイルムファ」(~1805年)
1798年 03:00|ウグアイタ/スペイン| |||<就任>サラメント新植民地スペイン軍司令官「Agustin Pinedo」(~1802.7)
1798年 04:00|モントセロ/イギリス| |||<就任>イギリス植民地モントセロ大統領「Joseph Herbert」(1期目~1818年)
1798年 04:00|グレナダ/イギリス| |||<就任>グレナダ 副総督代行「サミュエル・ミッチェル」(2回目~同年)⇒「チャールズ・グリーン」(2回
目~18010608)
1798年 04:00|サン・マルタン/フランス| |||<就任>フランス領サン・マルタン司令官「Pierre Charles Dormoy」(1期目~1799年)
1798年 06:00|アメリカ/スペイン| |||<就任>スペイン領テキサス植民地総督「ホセ・イリゴイエン」(~1800年)
1798年 06:00|ニカラガ/コスタリカ/スペイン| |||<就任>レオン総督・代官「ホセ・デ・サルバトール・イ・アントリ」(~18111213)
1798年1月1日 06:00|エルサルバドル/スペイン| |||<就任>サンサルバドル管理者「アントニオ・イシドロ・パロ」(~1805年)
1798年1月4日-03:00|エチオピア| |||<即位>エチオピア帝国(後期ソロモン朝) 皇帝「テレ・ギヨルギス1世ヨハネス」(5回目~17990520)
1798年1月7日-01:00|オランダ| |||<就任>パタニア共和国国民議会議長「ジョアンネス・フランスクス・ルト・ルファス・ヴァン・フ」(~20
日)
1798年1月8日 06:00|アメリカ| |||アメリカ憲法修正第11条の発効が宣言される
1798年1月8日 01:00|日本|東京都|寛政9年11月22日|<江戸寛政9年の大火>朝の四つ時(午前10時ごろ) 神田佐久

1800迄 (2827件)

間町の干しうどん屋から出火、燃え盛る炎は浜町から山伏井戸、薬研堀のあたりから新大橋を焼きながら大川(隅田川)を超え、深川六間堀から八名川町へ飛び、海辺新田、木場、須崎浜まで延焼し翌日夜鎮火/3000人が死亡
1798年1月11日 01:00|日本|福井県敦賀市|寛政9年11月25日|<交替>若狭敦賀藩1万石「酒井忠言」隠居⇒長男「酒井忠え」が継ぐ(⇒天保4(1833)年5月21日、53歳で死去)
1798年1月17日-09:00|日本|東京大学|寛政9年12月1日|幕府、湯島聖堂学問所を昌平坂学問所と改め、官学とする
1798年1月18日-01:00|フランス| ||フランスの総裁政府が、イギリス商品を積載する全ての中立国の船を拿捕することを許可する法律を成立させる
1798年1月19日-01:00|イタリア/オーストリア| ||オーストリア軍、ヴェネツィアに侵攻
1798年1月21日-05:30|インド| ||<就任>アフド 国統治者(ナワブ、ワズィル・アル・マリカ)「ヤミン・アド・ダウラ・ザム・アル・モルク・サダト・アリ・カン2世バハドゥル」(~18140711没)
1798年1月21日-01:00|オランダ| ||<就任>パタニア共和国国民議会議長「ヨハネス・ヘンリクス・ミテリグ」(⇒22日、制憲議会議長~25日)
1798年1月21日-09:00|日本|岡山県真庭市|寛政9年12月5日|<死去>三浦明次(72歳)前美作勝山藩主
1798年1月22日-04:00|ジョージア| ||<死去>カトリカティ王「エレレ2世」
1798年1月22日-04:00|ジョージア| ||<即位>カトリカティ王「ギオルギ12世」(~18010109没)
1798年1月24日-01:00|スイス| ||ジュネーブにレマン共和国がフランス軍の力で成立
1798年1月25日-01:00|オランダ| ||<就任>パタニア共和国行政長官「ピーター・ヴァリーデ」(~2.28)
1798年1月25日 00:00|イギリス| ||イギリスの物理学者ラフフォードは、この日「熱の運動説」についてロンドン王立協会で発表
1798年1月25日-09:00|日本|福岡県柳川市|寛政9年12月9日|<死去>立花鑑通(69歳)前筑後柳河藩主
1798年1月26日-09:00|日本|千葉県富津市|寛政9年12月10日|<死去>保科正富(66歳)前上総飯野藩主
1798年1月28日-01:00|フランス| ||フランスが、アルプスのミュールーズを併合
1798年2月-09:30|オーストリア| ||マシュー・フリンダース、バスの主張する海峡の存在を確認
1798年2月5日-05:30|インド| ||<就任>マニポール国ラジャ「ハルシヤチャントラ・シン」(~1801年没)
1798年2月6日 00:00|イギリス| ||<死去>2代クランラル伯「ジェームズ・ハミルトン」
1798年2月11日-01:00|イタリア/フランス| ||フランス軍がローマ市に侵入
1798年2月15日-01:00|パチカン/フランス/イタリア| ||フランス軍が教皇領を占領/教皇領は消滅/教皇ピウス6世はシエナへ移る/ローマ市民は教皇国家の一時的な権力崩壊とローマ共和国成立の宣言
1798年2月16日-09:00|日本| ||寛政10年|本居宣長「古事記伝」を著す
1798年2月16日 01:00|日本|東京都千代田区|寛政10年2月6日|<再興>清水徳川家10万石「徳川敦之助」(⇒翌年5月7日、死去)
1798年2月16日-09:00|日本| ||寛政10年1月|<出版>下河辺拾水と速水春暁斎「絵本諸人道しるべ」
1798年2月16日-09:00|日本| ||寛政10年1月|<出版>仙台の蟻齋社中「優遊一奇」
1798年2月16日-09:00|日本| ||寛政10年1月|<出版>北尾重政「四季交加」
1798年2月16日-09:00|日本| ||寛政10年1月|<出版>北尾政美「絵本大江山」
1798年2月16日-09:00|日本| ||寛政10年1月|<出版>恋川春町(石燕門人)「画本賛猷録禽」
1798年2月16日-09:00|日本| ||寛政10年1月1日|<寛政暦>幕府は西洋天文学を取り入れた太陰太陽暦の暦法に改暦
1798年2月17日-05:30|インド| ||<就任>ティルヴァムコト国ラジャ「バラ・ラーマ・ヴァルマ1世」(~18101107没)
1798年2月24日-01:00|フランス/イタリア| ||ローマのフランス軍の兵が、新任のルイ・ベルティエ長官に対して暴動を起こす/これを機にローマ市民が反乱を起こす
1798年2月25日-01:00|フランス| ||<死去>ヌヴェール公「Louis-Jules Mancini」
1798年3月1日-01:00|オランダ| ||<就任>パタニア共和国行政長官「ウィボ・フィンニ」(~31日)
1798年3月2日 04:00|セントビンセント/イギリス| ||<就任>イギリス領セントビンセント総督「ウィリアム・ベンティンク」(~17990427)
1798年3月4日-09:00|日本|東京都文京区|寛政10年1月17日|<改称>湯島聖堂⇒昌平坂学問所(幕府の直轄とする)
1798年3月5日-05:30|インド| ||<死去>キヤンガール国マハラジャ「プラタップ・シン」
1798年3月5日-05:30|インド| ||<即位>キヤンガール国マハラジャ「カリヤン・シン」(~18390522没)
1798年3月5日-01:00|スイス/フランス| ||フランス軍がスイスのベルンに進駐/ヘルヴァティア共和国の樹立が宣言される
1798年3月9日-09:30|オーストラリア| ||ハンター総督、バス海峡命名
1798年3月11日-09:00|日本|岩手県奥州市|寛政10年1月24日|高田藩領奥州浅川で農民騒動が起こる
1798年3月11日-09:00|日本|群馬県高崎市|寛政10年1月24日|<高崎大火>本町より出火、城内380軒、町家1080軒焼失
1798年3月13日 05:00|バハマ/イギリス| ||<就任>イギリス王室植民地バハマ総督「ウィリアム・ダウズウェル」(~18010402)
1798年3月14日-09:00|日本|愛知県田原市|寛政10年1月27日|<死去>大垣新田藩1万石「戸田氏興」(20歳)⇒3月19日、養子「戸田氏宥」が継ぐ(⇒文政9(1826)年6月21日、隠居)
1798年3月17日 04:00|フォーケント/スペイン| ||<就任>スペイン領フォーケント諸島司令官・総督「Francisco Xavier de Viana y Alzaibar」(1期目~1799.4)
1798年3月18日-05:30|インド/イギリス| ||<就任>イギリス領ベంగాール臨時総督(イギリス東インド会社)「アルレット・クラーク卿」(~5.18)
1798年3月19日-09:00|日本| ||寛政10年2月3日|幕府は、唄・浄瑠璃・三味線などの女師匠が男子を弟子にとることを戒め、とくに武士の女師匠への入門を禁じる
1798年3月22日 01:00|日本|兵庫県三田市|寛政10年2月6日|<交替>摂津三田藩36000石「九鬼隆張」隠居⇒長男「九

1800迄(2827件)

鬼隆国」が継ぐ(⇒天保14(1843)年6月9日、隠居)

1798年3月25日 04:00|バミューダ/イギリス| |||<就任>イギリス直轄植民地バミューダ総督「ジョージ・ヘックウイズ」大佐(〜18030324)

1798年3月26日-01:00|スイス/フランス| |||ジュネーブがフランスに併合される

1798年3月27日 00:00|ポルトガル| |||<死去>マテウス総督「Diogo Pereira Fojarz Coutinho Barreto de Sa e Resende」

1798年3月27日 00:00|ポルトガル| |||<就任>マテウス暫定総督「臨時政府:Antonio Correia Bettencourt Vasconcelos/Joaquim Jose de Moraes(〜1799)年/Luis Vicente do Carvalho Esmeraldo de Atougua e Camara(〜同年)/Jose Filipe Ferreira Cabral(1798年〜Moraesの代理)/Jose Maria Cardoso Soeiro(1799年〜)/Anastacio Henrique Pereira(1798年〜)/Luis Rodrigues de Vilares」(〜18001204)

1798年3月27日 05:00|ハイチ/フランス| |||<就任>フランスのサント・ミンゴ弁務官「ガブリエル・マリー・テオドール=ジョセフ・ヘドゥーグイル」(〜10.23)

1798年3月28日-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン王国国家主席補佐官代理Francisco Saavedra de Sangronis(〜17980906国家主席補佐官〜17990221)

1798年3月30日-09:00|日本|宮崎県日南市|寛政10年2月14日|<死去>日向飢肥藩51000石「伊東祐鐘」(27歳)⇒長男「伊東祐民」が継ぐ(⇒文化9(1812)年6月29日、21歳で死去)

1798年4月 05:00|ハイチ/イギリス| |||<就任>イギリスのセント・ドミンゴ軍事総督「トマス・メイトランド」(〜10.2)

1798年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「マリノ・ベグニ」 「アレサント・ロリギ」

1798年4月2日-01:00|オランダ| |||<就任>パナマ共和国行政長官「ステファヌ・ヤコブ・バン・ランゲン」(〜30日)

1798年4月4日-09:00|日本|大阪府大阪市|寛政10年2月19日|<死去>2代中山文七(44歳)歌舞伎役者

1798年4月7日 06:00|アメリカ| |||<発足>アメリカでミシシッピ準州、設置される

1798年4月8日 00:00|イギリス| |||<死去>6代ゲインズバラ伯「ヘンリー・ノエル」断絶

1798年4月9日-01:00|ドイツ| |||<死去>ホーエンツォレルン=ヘヒゲン侯「Josef Friedrich Wilhelm」

1798年4月9日-01:00|ドイツ| |||<就任>ホーエンツォレルン=ヘヒゲン侯国「Hermann」(〜18101102死去)

1798年4月12日-01:00|スイス/フランス| |||フランス、スイスにヘルグエティア共和国成立

1798年4月13日-01:00|イタリア| |||ブリュッセル将軍が、穏健派を追放し、ジャコバン派が政権を掌握

1798年4月18日-01:00|フランス| |||フランス、(9日〜)共和国6年の選挙/左派の「材=ジャコバン派」が勝利

1798年4月21日 00:00|イギリス/フランス| |||<フランス革命戦争>ラ・ロッシュ・セールの海戦>イギリス海軍戦列艦がフランス海軍に勝利

1798年4月21日-09:00|日本|東京都港区|寛政10年3月6日|<大相撲>寛政10年3月場所「江戸芝神明宮」(10日間)優勝:(西大関)雷電、8勝0敗1無勝負1休/20連勝

1798年4月22日-01:00|スイス/フランス| |||<就任>ヘルグエティア共和国理事会議長「ヨハン・ルーカス・ルグラン」Rep(〜5.31)

1798年4月29日-01:00|オーストリア| |||フランス・ヨーゼフ・ハイドン作曲のオトリオ「天地創造」が初演

1798年4月30日 06:00|アメリカ| |||アメリカで海軍省、設立される

1798年5月 05:00|ハイチ/イギリス| |||イギリス軍がサント・ミンゴから撤収

1798年5月1日-01:00|オランダ| |||<就任>パナマ共和国行政長官「バレント・ワイルドリック」(〜31日)

1798年5月1日-01:00|オランダ| |||パナマ共和国憲法が公布される

1798年5月1日 00:00|カナダ/オランダ| |||<死去>オランダ領ゴールド=コースト総裁「ゲラルド・ス・フェルトウス・ヴァン・ハーメル」

1798年5月6日-09:00|日本|鳥取県鳥取市|寛政10年3月21日|<鳥取寛政10年の大火「茶町火事」>夜九つ時過ぎ(午前0時過ぎごろ)、茶町の北屋次郎七宅から出火、火元の茶町は残らず焼けたが、同所の土手際にある高橋三郎兵衛宅と絹川弥一右衛門宅はかろうじて残った/しかし元魚町三丁目、本町四丁目の半分片側と同所土手際まで、豆腐町、鹿野町、下魚町及び同所土手際、下横町はすべて灰となった/また、鹿奴海道筋の河端四丁目片側と同所土手の方の家中(家臣)の屋敷、元魚町三丁目の土手の方の家中の屋敷は一部焼け残ることができた/昼八つ時(14時ごろ)庚申堂の隣家辺りで炎の勢いは止まり鎮火/武家屋敷、商家など凡そ1009軒が焼亡/町家の被災内訳は、自家所有の世帯146軒、管理を任せられ居住している世帯158軒、借屋かまど166軒、そのほか土蔵66か所、夜番所11か所、空き家109軒が焼失

1798年5月7日-09:00|日本|大阪府大阪市|寛政10年3月22日|<死去>二代目中村歌右衛門

1798年5月8日 00:00|カナダ/オランダ| |||<就任>オランダ領ゴールド=コースト総裁「コーネリアス・ルト・ウィッチ・バーテルス」(⇒18010812、総督〜18040428在任中死去)

1798年5月10日-09:00|日本|東京都|寛政10年3月25日|女芸者取締令が江戸で出される

1798年5月11日-01:00|フランス| |||<フロアール22日のクーデター>「総裁政府」(テルミール派)は、反対派(ジャコバン派・王党派)を抑えるため、「解散前の議会が選挙結果を審査する権利を持つ」として、当選者154人中、政府に反対する53県106人の選挙結果を無効とする法律を強行採決

1798年5月11日-09:00|日本|山形県米沢市|寛政10年3月26日|<死去>上杉重定(79歳)前出羽米沢藩主

1798年5月12日-01:00|ルクセンブルク/フランス| |||<就任>ルクセンブルク・コミッショナー「ジャック・ルイ・ファイリー」(〜12.24)

1798年5月16日-01:00|フランス| |||フランスで、フランス・ヌーシャトーに代ってジャン・トレヤールが総裁になる

1798年5月16日-09:00|日本| |||寛政10年4月|<刊行>国東治兵衛「紙漉重宝記」

1798年5月18日-05:30|インド/イギリス| |||<就任>イギリス領ベングール総督(イギリス東インド会社)「ウェルズリー男爵リチャード・コリー・ウェルズリー」(〜18050730)

1798年5月19日-01:00|フランス/エジプト| |||ナポレオン指揮するフランス軍がエジプト遠征に出発

1798年5月23日 00:00|アイルランド/イギリス| |||アイルランド反乱軍が蜂起/ダブリン南西にいるイギリス軍に対して行われた戦闘はダングラス将軍の守備隊の反撃で数百人の損害を出して撃退された

1798年5月25日 00:00|アイルランド/イギリス| |||バナルハーグ率いるアイルランド反乱軍がウェックスフォードの守備隊を破った

1800迄(2827件)

1798年5月30日 00:00|イギリス| |||<死去>7代ヨーク伯・第7代オーラー伯「エドマント・ホイル」
1798年5月30日 00:00|イギリス| |||<就任>8代ヨーク伯・第8代オーラー伯「エドマント・ホイル」(~18560229死去)
1798年5月31日 07:00|メキシコ/スペイン| |||<就任>ヌエバ・イスパニア副王「サンタフェ侯爵ミゲル・ホセ・デ・アザンザ・アレグリア」(~18000430)
1798年6月-01:00|アルジェリア/トルコ| |||<就任>アルジェのデイ「ムスタファ2世」(~18050701)
1798年6月1日-01:00|オランダ| |||<就任>バタヴィア共和国行政長官「ヨハン・ピーター・フォッカー」(~12日)
1798年6月1日-01:00|スイス/フランス| |||<就任>ヘルヴェティア共和国理事会議長「ウルス・ヴィクトル・オーバリン」Pat(1期目~7.1)
1798年6月5日 00:00|アイルランド/イギリス| |||アイルランド反乱軍が続いて進撃したニューロズでイギリス軍に敗北
1798年6月8日-01:00|セルビア/トルコ| |||<就任>オスマン帝国セルビア・ワリス「オスマン・パズヴァントグル・パシャ」(反乱中、セルビアの一部)
1798年6月11日-13:30|キリバス/アメリカ| |||アメリカ船ベッツィーのアメリカ人船長エドモント・ファンングによってファンング島が発見される
1798年6月11日 01:00|日本|岩手県一関市|寛政10年4月27日|<交替>陸奥一関藩3万石「田村村資」隠居⇒婿養子「田村宗顕」が継ぐ(⇒文政10(1827)年11月8日、死去)
1798年6月12日-01:00|オランダ| |||<就任>バタヴィア共和国仲介執行政府大統領「仲介者(暫定政権):ヤコブ・ス・スホールス/ヘリット・ヤン・パ・イマン/イサーク・ヤン・アレクサンダー・ゴーゲル/レイニエ・ウィレム・タマ/アブラハム・ジャック・ラ・ピエール」(~14日)
1798年6月12日-01:00|マルタ/フランス| |||<就任>フランス領マルタ最高司令官「ナポレオン・ボナパルト」(~18日)
1798年6月12日-01:00|マルタ/フランス| |||ナポレオン、エジプト遠征軍、マルタのヨハネ騎士団領を占領
1798年6月13日 06:00|アメリカ/イギリス| |||パルマ環礁はおそらくベッツィーに乗ったエドマント・ファンング大尉が発見
1798年6月14日-01:00|オランダ| |||<就任>バタヴィア共和国仲介執行政府大統領「ヤコブ・ス・スホールス」(1回目~20日)
1798年6月14日 00:00|イギリス| |||<死去>16代エール伯「ジョージ・ヘイ」
1798年6月14日 00:00|イギリス| |||<就任>17代エール伯「ウィリアム・ヘイ」(~18190126死去)
1798年6月14日-09:00|日本| ||寛政10年5月|伊勢崎藩年寄の関重嶺「伊勢崎風土記」を著す
1798年6月15日-09:00|日本| ||寛政10年5月2日|<死去>澄月(85歳)浄土宗の僧、歌人
1798年6月16日-09:00|日本| ||寛政10年5月3日|<死去>高桑蘭更(73歳)俳人
1798年6月18日-01:00|マルタ/フランス| |||<就任>フランス領マルタ最高司令官「Claude Henri Belgrand de Vaubois」(~18000908)
1798年6月18日 06:00|アメリカ| |||アメリカ議会が1798年帰化法制定、外国人の帰化が困難に
1798年6月19日-09:00|日本|鳥取県鳥取市|寛政10年5月6日|<死去>因幡鳥取藩32万石「池田治道」(31歳)⇒長男「池田斉邦」が継ぐ(⇒文化4(1807)年7月9日、死去)
1798年6月20日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド副卿「コンウォリス侯爵チャールズ・コンウォリス」(~18010525)
1798年6月21日-01:00|オランダ| |||<就任>バタヴィア共和国仲介執行政府大統領「ヘリット・ヤン・パ・イマン」(1回目~27日)
1798年6月21日 00:00|アイルランド/イギリス| |||イギリス軍指揮官レイクはにハーヴェイの再編したアイルランド反乱部隊を再度叩き、さらにペルファスト南方のパリセンチで5000人のプロテスト反乱軍に対しても勝利を収めた
1798年6月24日-02:00|ウクライナ/ロシア| |||<就任>キエフ軍総督兼キエフ、マロウシヤ行政区域民事主席管理者「Aleksandr Alekseyevich Bekleshov」(~1799年)
1798年6月24日-01:00|ポーランド| |||<死去>チェシ公「マリア・クリスティーナ」
1798年6月25日 06:00|アメリカ| |||アメリカ議会が外国人法を制定する/大統領が外国人の国外退去を命じる権限を有する
1798年6月28日-01:00|オランダ| |||<就任>バタヴィア共和国仲介執行政府大統領「イサーク・ヤン・アレクサンダー・ゴーゲル」(1回目~7.4)
1798年6月29日-05:30|インド| |||<就任>タンジュール国ラジャ「サホジ2世」(2回目~18320307没)
1798年7月 04:00|セントルシア/イギリス| |||<就任>イギリス領セントルシア副総督「ジョージ・フレボスト」(~1802年3月)
1798年7月2日-02:00|エジプト/フランス| |||<就任>フランス軍リエント司令官「ナポレオン・ボナパルト」(~17990802)
1798年7月2日-02:00|エジプト/フランス| |||アレクサンドリアをフランスが占領(~18010903)
1798年7月2日-01:00|スイス/フランス| |||<就任>ヘルヴェティア共和国理事会議長「ピエール・モリス・ゲレル」Rep(1期目~31日)
1798年7月4日-01:00|オランダ| |||<就任>バタヴィア共和国仲介執行政府大統領「レイニエ・ウィレム・タマ」(1回目~11日)
1798年7月4日 00:00|イギリス/インド| |||イギリス東インド会社がマラータ・ニザームと攻守同盟を締結
1798年7月6日 06:00|アメリカ| |||アメリカ議会が敵性外国人法制定
1798年7月7日-01:00|フランス/アメリカ| |||アメリカ議会、米仏同盟を破棄
1798年7月8日-09:00|日本| ||寛政10年5月25日|<死去>初代松貫四(不明)浄瑠璃作者
1798年7月8日-09:00|日本|石川県|寛政10年5月25日|加賀で地震多発/圧死者多数
1798年7月11日 06:00|アメリカ| |||アメリカ合衆国海兵隊、設立
1798年7月12日-01:00|オランダ| |||<就任>バタヴィア共和国仲介執行政府大統領「アブラハム・ジャック・ラ・ピエール」(1回目~18日)
1798年7月13日-02:00|エジプト/フランス| |||ムラット・ペイが1万人のマムルークを率いてエル＝ラマナ北のシュバ＝ヒットに現れたが、ボナパルトは撃退、さらに砲兵部隊はナイル川にいたエジプト艦隊を砲撃して打ち破った
1798年7月14日 06:00|アメリカ| |||アメリカで治安法が制定される/大統領と行政に対する新聞の批判が弾圧される/副大統領のジェファソンが反対
1798年7月14日-09:00|日本| ||寛政10年6月|<発刊>烏亭焉馬、小咄集「無事志有意」
1798年7月14日-09:00|日本| ||寛政10年6月|<発刊>志筑忠雄「暦象新書」(上篇)/ニュートンの門弟ジョン・ケイルの天文書の蘭訳本について記述

1800迄 (2827件)

1798年7月14日-09:00|日本|東京都千代田区|寛政10年6月|大阪下りの岡本万作が、神田豊島町薬店に常設の寄席をつくる

1798年7月16日 06:00|アメリカ| ||アメリカで公衆衛生局創設

1798年7月19日-01:00|オランダ| ||<就任>パタニア共和国仲介執行政府大統領「ヤコブ・ス・ス・ールズ」(2回目~25日)

1798年7月21日-02:00|エジプト/フランス/トルコ| ||フランス軍はカイロ近郊のナイル川河畔の村でエンバーバで、待ち構えていたエジプトのマムルーク軍を打ち破った/ヒラミットの戦い

1798年7月22日 06:00|アメリカ| ||<就役>アメリカ海軍ユナイテッド・ステーツ級フリゲイト「コンステーション」(2200t, Hartt's Shipyardで建造)

1798年7月25日-02:00|エジプト/フランス| ||カイロをフランスが占領(~18010618)

1798年7月26日-01:00|オランダ| ||<就任>パタニア共和国仲介執行政府大統領「ゲリット・ヤン・パ・イマン」(2回目~31日)

1798年7月26日-09:00|日本| ||寛政10年6月13日|本居宣長、「古事記」の注釈書「古事記伝」全44巻完成

1798年7月27日-01:00|スペイン| ||<就任>スペイン領メリウ総督「Fernando Moyano」(~1800年)

1798年8月1日-02:00|エジプト/フランス/イギリス| ||<ナイルの戦い(アブ・キール湾の戦い)>ネッソンのイギリス海軍がアレクサンドリアに碇泊中のフランス艦隊をほとんど全滅させる

1798年8月1日-01:00|オランダ| ||<就任>パタニア共和国仲介執行政府大統領「イザック・ヤン・アレクサンダー・コーゲル」(2回目~7日)

1798年8月1日-01:00|スイス/フランス| ||<就任>ヘルヴェティア共和国理事会議長「フレデリック・セザール・デ・ラハルブ」Pat(1期目~31日)

1798年8月3日 01:00|日本|栃木県宇都宮市|寛政10年6月21日|<交替>下野宇都宮藩77000石「戸田忠寛」隠居⇒長男「戸田忠翰」が継ぐ(⇒文化8(1811)年4月21日、隠居)

1798年8月5日-09:00|日本|神奈川県横浜市金沢区|寛政10年6月23日|<死去>武蔵六浦藩12000石「米倉昌賢」(40歳)⇒婿養子「米倉昌由」が継ぐ(⇒享和3(1803)年6月15日、隠居)

1798年8月8日-01:00|オランダ| ||<就任>パタニア共和国仲介執行政府大統領「レイニエ・ウィレム・タマ」(2回目~14日)

1798年8月12日-05:30|スリランカ| ||<死去>キャンディ王国国王・シンハラ国王「シリ・ラジヤティ・イラジヤシムハ」

1798年8月12日-05:30|スリランカ| ||<即位>キャンディ王国国王・シンハラ国王「シリ・ラジヤティ・イラジヤシムハ」(1回目~18030217)

1798年8月12日-09:00|日本|京都府京都市東山区|寛政10年7月1日|方広寺大仏殿に落雷、本堂や大仏等が焼失

1798年8月14日-01:00|オランダ| ||<就任>パタニア共和国仲介執行政府大統領「アブラム・ジャック・ラ・ビエル」(2回目~17日)

1798年8月14日-09:00|日本| ||寛政10年7月3日|<死去>初代四方龍文(67歳)鋳金家

1798年8月17日-01:00|オランダ| ||<就任>パタニア共和国行政長官「アルベルト・ウィレム・ホース」(1回目~9.16)

1798年8月17日-09:00|日本|山形県東根市|寛政10年7月6日|<移封>武蔵久喜藩11000石「米津通政」⇒出羽長瀬藩11000石(⇒翌年12月8日、隠居)

1798年8月19日-01:00|フランス/スイス| ||フランスとヘルヴェティア共和国の間に軍事同盟が締結される

1798年8月20日 03:00|ブラジル| ||ブラジル当局は、反乱の陰謀を企てたとして、光の騎士団弾圧を開始。軍の下士官、兵士のほか黒人奴隷も含め49名が逮捕され、4名がさらし首にされる

1798年8月20日-09:00|日本|広島県広島市|寛政10年7月9日|広島水主町出火、船頭水主屋敷216軒焼失

1798年8月22日-02:00|エジプト/フランス| ||ナポレオンがカイロ学士院を設立

1798年8月24日-01:00|モンテネグロ/オーストリア| ||ボカ・コルスカはオーストリアの一部

1798年8月27日 00:00|アイルランド/フランス/イギリス| ||フランスのアイルランド遠征軍はレイク率いるイギリス軍をキャッセルハーで撃破

1798年8月30日-02:00|トルコ| ||<就任>オスマン帝国大宰相「ケル・ムスファ・ジャウディン・パシャ」(1期目~18050424)

1798年8月31日 00:00|アイルランド/イギリス| ||<就任>アイルランド副卿(反乱)「ジョン・ムーア」(~9.8)

1798年8月31日 05:00|ハイチ/イギリス| ||イギリス軍、トゥサンとのあいだに秘密休戦協定を結ぶ。メイトランド軍は北部モレから撤退

1798年9月1日-05:30|インド/イギリス| ||ニザーム王国とイギリスとの間に軍事保護条約が結ばれた。王国に駐留するイギリス軍の大幅増員およびそれに支払う駐留費の負担増額、フランス人主体の精鋭部隊を解散し、すべてのフランス人将兵の解雇を約した⇒ニザーム王国はイギリスに従属する藩王国の立場に落とされた(ニザーム藩王国)

1798年9月1日-01:00|スイス/フランス| ||<就任>ヘルヴェティア共和国理事会議長「ピーター・オークス」Pat(1期目~30日)

1798年9月2日-01:00|マルタ/フランス| ||マルタのフランスへの反乱が始まる

1798年9月5日-01:00|フランス| ||フランスでジュールダン法が成立/国民皆兵制・20~25歳の男子が徴兵名簿に記載され、必要に応じて召集される

1798年9月6日-09:00|日本|広島県広島市|寛政10年7月26日|安芸郡仁保島大河浦出火、家数132軒(144竈)焼失

1798年9月8日 00:00|アイルランド/フランス/イギリス| ||フランスのアイルランド遠征軍はイギリス軍コンウォリスにシャン川のガック(バリナク)で包囲され降伏

1798年9月8日-09:00|日本|北海道|寛政10年7月28日|近藤重蔵が択捉島に「大日本恵登呂府」の標柱を立てる

1798年9月9日-01:00|フランス/トルコ| ||オスマン帝国が、エジプトを占領したフランスに対し宣戦布告

1798年9月10日 06:00|ベリズ/イギリス/スペイン| ||セント・ジョゼフ・キーに対するスペインの攻撃は撃退された

1798年9月10日-09:00|日本| ||寛政10年8月|本多利明が西洋との交易を説く「西域物語」を著す

1798年9月15日-01:00|イタリア/フランス| ||フランス軍がトリノ要塞を占領

1798年9月17日-01:00|オランダ| ||<就任>パタニア共和国行政長官「ヨハネス・ウィレム・ヴァン・ハッセルト」(1回目~10.16)

1798年9月19日-09:00|日本|大分県玖珠郡玖珠町|寛政10年8月10日|<死去>豊後森藩12500石「久留島通同」(40歳)⇒次男「久留島通嘉」が継ぐ(⇒弘化3年8月18日(18461008)、死去)

1798年9月22日-01:00|フランス| ||パリのシャン・ド・マルスで産業博覧会が開催される(会期30日)

1800迄 (2827件)

1798年9月30日 01:00|日本|長野県長野市|寛政10年8月21日|<交替>信濃松代藩13万2千石「真田幸弘」隠居⇒養子「真田幸幸」が継ぐ(⇒文政6(1823)年8月20日、隠居)

1798年10月-05:30|インド/アフガニスタン| |||ザマーン・シャーが北インドに侵入し、シク王国の成立を認める

1798年10月 05:00|ハイチ/フランス| |||<就任>フランスのサント・ミシゴ 弁務官「フィリップ・ローズ・ルム・ド・サンローラン」(2回目~1800年1月)

1798年10月1日-09:30|オーストラリア| |||リチャード・ジョンストンの教会焼失。囚人の放火が原因だといわれる

1798年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「マリノ・ジヤンギ」「ヴァンチェンツォ・ベルツァッピ」

1798年10月1日-01:00|スイス/フランス| |||<就任>ヘルヴェティア共和国理事会議長「フレデリック・セザール・デ・ラハルブ」Pat(2期目~11.21)

1798年10月2日 06:00|アメリカ| |||アメリカ合衆国、チェロキ族と条約締結

1798年10月2日-09:00|日本| ||寛政10年8月23日|鉢物(盆栽、花)、高価取引禁止

1798年10月7日-02:00|エジプト/フランス| |||ムラット=ベイの残存部隊とトセーがサディヤンで戦闘し、ムラット=ベイは再び敗北

1798年10月12日-05:30|スリランカ/イギリス| |||<就任>イギリス領セイロン初代総督「キルフォード 伯爵フレデリック・ジョージ・オーガスタス・ノース」(~18050719)

1798年10月12日 00:00|アイルランド/フランス/イギリス| |||アルデイ將軍率いる2回目のフランスのアイルランド遠征部隊はウォレン提督のイギリス艦隊の攻撃で旗艦を含めた多くの船が降伏

1798年10月16日 04:00|トリニダード・トバゴ/イギリス| |||<就任>トバゴ 総司令官、総督代行「ジョセフ・ロブリー」(2期目~18000128)

1798年10月17日-01:00|オランダ| |||<就任>バタヴィア共和国行政長官「ランソワ・エルミン」(1回目~11.16)

1798年10月21日-02:00|エジプト/フランス| |||カイロで暴動が起こってフランス兵300名が暴徒によって殺害され、エジプト人も2500人以上が殺された

1798年10月22日-01:00|オランダ| |||<就任>バタヴィア共和国国務長官「カレル・ジエラルド・ヤン・ハルトマン」(1回目~18010321)

1798年10月23日-02:00|ギリシャ/ロシア/トルコ| |||ロシアとオスマン帝国がザンテを占領

1798年10月25日-02:00|ギリシャ/ロシア/トルコ| |||ロシアとオスマン帝国がイサカを占領

1798年10月26日-01:00|アルバニア/トルコ| |||ブトリントをヤニャのアリ・パシャの下でオスマン帝国が占領(~1800年)

1798年10月27日 04:00|米領ガラパゴス諸島/デンマーク| |||<就任>セントクロア総督「Wilhelm Anton Lindemann」(2期目~18010331)

1798年10月27日-09:00|日本|大分県竹田市|寛政10年9月18日|<死去>豊後岡藩70440石「中川久持」(23歳)⇒11月29日、養子「中川久貴」が継ぐ(⇒文化12(1815)年6月1日、隠居)

1798年10月28日-01:00|マルタ/イギリス| |||<就任>イギリス領マルタ最高司令官「アレクサンダー・ジョン・ボール」(~17991210)

1798年10月28日-01:00|マルタ/イギリス/フランス| |||イギリスはゴゾを占領/フランスはゴゾの支配を失う

1798年11月-02:00|エジプト/フランス| |||エズをフランスが占領(~1800年9月)

1798年11月3日-02:00|エジプト/トルコ| |||<就任>オスマン帝国領エジプト総督「アブドラー・パシャ・アル=アスム」(~1799年)

1798年11月5日 03:00|仏領ギアナ/フランス| |||<就任>ギアナ知事「Etienne Laurent Pierre Burnel」特別代理人(~17991202)

1798年11月8日-12:00|ナウル/イギリス| |||イギリスの捕鯨船ハンター号の船長ジョン・ファーンがナウル島を発見

1798年11月9日-02:00|ラトヴィア/ロシア| |||<就任>ケールラント総督「トリーゼン將軍カール・ヴィルヘルム・ハインリッヒ・フォン・デア・オステン」(~18001020)

1798年11月9日-02:00|ギリシャ/ロシア/トルコ| |||ロシアとオスマン帝国がケファロニア島を占領

1798年11月9日-01:00|マルタ| |||<就任>フランス領マルタ政府行政長官「ピエール・Jean Louis Ovide Doublet」(17981111まで代理~18000908)

1798年11月17日-01:00|オランダ| |||<就任>バタヴィア共和国行政長官「アンソニー・フレデリック・ロバート・エバート・ファン・ハルズル」(1回目~12.16)

1798年11月20日-02:00|南アフリカ/イギリス| |||<就任>イギリス領ケープ植民地知事代行「フランシス・ダントス」(1回目~17991209)

1798年11月20日-01:00|フランス/アメリカ| |||リタエーション号事件、アメリカが事実上フランスと交戦状態へ

1798年11月22日-01:00|スイス/フランス| |||<就任>ヘルヴェティア共和国理事会議長「ウルス・グイクトル・オーバーリン」Pat(2期目~17990112)

1798年11月22日 04:00|グアドループ/フランス| |||<就任>グアドループ 特別事務局長代理人「Edme Etienne Borne-Desfourneaux」(~17991017)

1798年11月23日-01:00|セルビア/トルコ| |||<就任>オスマン帝国セルビア・ワリス「ハチ・ムスタファ・パシャ」(2度目~18011215)

1798年11月24日-01:00|マルタ| |||<就任>マルタ騎士団総長「パベル1世ペトロウ・イチ」ロシア皇帝パーヴェル1世(~18010324没)

1798年11月26日-02:00|リトアニア| |||<即位>リトアニア大公「ホリス・ペトロウ・イチ・ラッシー」(~17991026)

1798年11月27日-02:00|ギリシャ/ロシア/トルコ| |||ロシアとオスマン帝国がサンタ・マウラを占領

1798年11月28日-01:00|イタリア/フランス| |||ナポレオンの軍隊はローマを占領

1798年11月29日-01:00|イタリア/フランス| |||ナポリがフランスに宣戦布告

1798年12月1日-09:00|日本|東京都墨田区|寛政10年10月24日|<大相撲>寛政10年10月場所[江戸本所回向院](10日間)優勝:(西大関)雷電、9勝0敗1休/29連勝

1798年12月3日-09:00|日本|東京都千代田区|寛政10年10月26日|<解任>老中格「本多忠籌」

1798年12月4日-01:00|オーストリア/フランス/イタリア| |||オーストリアのマック將軍はローマ北方のウンブリアへ攻撃をしかけたが、チウター=カステラーナの戦いでマクドナルトのフランス軍に敗北

1800迄 (2827件)

1798年12月4日-01:00|フランス/イタリア| |||フランス、ナポリに宣戦布告
1798年12月6日-09:00|日本|東京都|寛政10年10月29日|江戸で流星が多く飛ぶ/夜半には空一面が雪の降るよう
に見えた
1798年12月7日-01:00|スイス| |||スイスの教育者ヘンリッヒ・ペテリウス孤児院開設
1798年12月7日-09:00|日本|東京都中央区|寛政10年11月1日|桐長桐へ暫く譲っていた市村座、再開、旧三座に復
す
1798年12月9日-01:00|イタリア/フランス| |||サルデーニャ王国カルロ・エマヌエーレ4世はトリノから追放されサルデーニャ島へ、ピエモンテ共和
国が発足
1798年12月14日-01:00|イタリア/フランス| |||戦闘の後、フランス軍はナポリに入城
1798年12月17日-01:00|オランダ| |||<就任>バタヴィア共和国行政長官「ジョアンネス・フランシスカス・ルト・ルファス・ファン・フーフ」(1回目~
17990116)
1798年12月21日-01:00|イタリア/フランス| |||フェルディナンド4世ナポリから追放、シチリアへ
1798年12月24日-01:00|ルクセンブルク/フランス| |||<就任>ルクセンブルク・コミッショナー「ジョン・バプティスト・バーナード・アルヌル」(~1799
年)
1798年12月24日 00:00|イギリス/フランス/イタリア/ロシア| |||イギリスとロシア、ナポリの第二次対仏大同盟結成
1799年-08:00|インドネシア/イギリス| |||<就任>ベンクーレン副総督(ベンガル総督に従属)「ジョン・Crisp」(3期目~同年)⇒代理
(ベンガル総督に従属)「Philip Braham」(~1800年)
1799年-08:00|インドネシア| |||<即位>バンテン王国スルタン「Sultan Abu al-Fath Muhammad Muhyiddin Zainussalihin」(
~1801年)
1799年-06:00|ブータン| |||<就任>ブータン摂政「ト・ウルク・ナムギャル」(~1803年)
1799年-05:45|ネーデル| |||<就任>ネーデル首相「ダモール・パンテ」(~1804年没)
1799年-05:30|インド| |||<就任>コラバ 国統治者(サルケル)「バブ・ラオ・アングリア」(~1813年没)
1799年-05:30|インド| |||<就任>スルグジャ国ラジャ「ハルバトラ・シン2世デオ」(1回目~1800年)
1799年-05:30|インド| |||<就任>ナルグント 国統治者(ラオ)「ウ・エンカタラオ」(2回目~1817年)
1799年-05:30|インド| |||<就任>ニルギリ国ラジャ「ラムチャンドラ・マルドラージ・ハリチャンドラ」(2回目~1801年)
1799年-05:30|インド/イギリス| |||カンヌール国アミンディエ 諸島が英領インドに併合
1799年-03:00|カンタ| |||<就任>ブナ統治者(オムカマ)「ムケイ」(~1805年頃)
1799年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>ダマスカス・ワリス(総督)「Abdallah Pasha al-Azm」(2期目~1803年)
1799年-02:00|コンゴ 民主共和国| |||<即位>カバレ王国ムミ・ナブ・シ・カバレ「ナブ・シ21世ブ・ホンケラ」(~1809年頃)
1799年-02:00|南アフリカ| |||南アフリカに生息したブルバックがこのころ絶滅
1799年-01:00|クロアチア/オーストリア| |||<就任>オーストリアのダルマチア総督(市民総督)「ジャン・バティスト・リッナ・リッター・フォン・ザ・レンバツハ
」(~1801年)
1799年-01:00|ニジェール| |||<就任>ダマガラム国統治者(サルキン・ダマガラム)「アマト・ウ・タン・タニム・ナ・チハンザ」(~1812年)
1799年-01:00|フランス| |||<就任>モンモランシー公「アンヌ3世シャルル」(~1846年)
1799年-01:00|ルクセンブルク/フランス| |||<就任>ルクセンブルク・コミッショナー「フランシス・ヒール・セバステイアン・デ・ラットル」(~1800年)
1799年-01:00|ベルギー| |||<即位>ベルク公ウイッテルスバッハ家(プ・ファルツ=ヒルケンフェルト=ビショウアイラー系)マクシミリアン・ヨーゼフ(~180
6年)
1799年-01:00|イタリア| |||<退位>ピオンビノ公「Antonio」フランス軍により
1799年 00:00|カリヤ諸島/スペイン| |||<死去>スペイン王国カリヤ諸島総司令官「Antonio Gutierrez de Otero y Santa
Ilana」
1799年 00:00|ギニアビサウ/ポルトガル| |||<就任>ビサウ司令官「ジョアン・ダ・ス・ネス・レオン」(~1800年)
1799年 00:00|セカル| |||<就任>ブントウ統治者(アルマミ)「アマ・イ・アイサー・タシ」(~18190108)
1799年 00:00|イギリス| |||ランフォードの発案でロンドン王立研究所が設立
1799年 04:00|アンティグア・バブーター| |||<就任>アンティグア大統領「ロバート・トンプソン」
1799年 05:00|タークス・カイコス諸島/イギリス/バハマ| |||タークス・カイコス諸島は、バハマ議会によってバハマの一部として英国に併
合
1799年 06:00|カタグ/イギリス| |||<就任>イギリス領両カタグ 総督「準男爵ロバート・ミルズ 卿」(~1805年)
1799年 06:00|エルサルバドル/スペイン| |||<就任>サンサルバドル管理者代行「ベルナルド・ホセ・アルセ」(~1800年)
1799年 06:00|アメリカ/スペイン| |||<就任>スペイン領ルイジアナ植民地総督「ニコラス・マリア・ウイダル」(~同年)⇒「セバステイアン・カルボ
・デ・ラ・フエルタ・イ・オファレル」(~1801年)
1799年1月-05:30|インド| |||<就任>インダール国統治者(スヘターール)「カンデ・ラオ1世・ルカル6世」(~1806年没)
1799年1月 04:00|刊/スペイン| |||<就任>刊総督・司令官代行「ホアキン・デ・ル・ピノ・サンチェス・デ・バラ・ロメロ・イ・ネグレテ」(~18010
406)
1799年1月1日-09:00|日本|山形県鶴岡市|寛政10年11月26日|<交替>出羽松山藩25000石「酒井忠崇」隠居⇒養子「
酒井忠禮」が継ぐ(⇒文政4(1821)年7月23日、43歳で死去)
1799年1月2日-01:00|フランス/シリア・アラブ| |||ナポレオン軍がシリアに侵入
1799年1月5日-01:00|フランス/イタリア| |||ナポリのガエタの要塞はフランス軍に降伏
1799年1月6日-09:00|日本| ||寛政10年12月|諸藩の米札濫発を禁止
1799年1月8日-05:30|インド| |||<就任>スーラト国支配者(ナワブ)「ミール・ナシル・ウッデーン・ムハンマド・カーン」(~18210923没)
1799年1月10日 04:30|ベネチア/スペイン| |||<就任>スペイン領ベネチア総督兼総司令官代理「Joaquin de Zubillaga」
(~4.6)
1799年1月13日-01:00|スイス/フランス| |||<就任>ヘルヴエティア共和国理事会議長「ピエール・モリス・グレイル」Rep(2期目~3.5)

1800迄 (2827件)

1799年1月13日-09:00|日本|大阪府大阪市|寛政10年12月8日|<就任>大坂城代「松平右京大夫輝和」(~寛政12. 9. 20)

1799年1月13日-09:00|日本|京都府京都市|寛政10年12月8日|<就任>京都所司代「牧野忠精」(⇒1801(享和1年7月1日))

1799年1月17日-01:00|オランダ| ||<就任>パタゴニア共和国行政長官「アルバート・ウィルム・ヘース」(2回目~2. 16)

1799年1月17日-09:00|日本|埼玉県深谷市|寛政10年12月12日|<死去>安部信允(71歳)前武蔵岡部藩主

1799年1月17日-09:00|日本|東京都|寛政10年12月12日|<死去>朱楽菅江(59歳)戯作者、狂歌師

1799年1月23日-01:00|イタリア/フランス| ||フランス軍がナポリに侵入し、ジャン・バプティスタ・ブナパールの共和国の建国を宣言

1799年1月30日 06:00|アメリカ| ||アメリカ議会、個人の恣意的な外交活動を禁止するローガン法可決

1799年1月31日 00:00|イギリス| ||<死去>5代リズ公「フランス・ゴドルフィン・オズボーン」

1799年1月31日 00:00|イギリス| ||<就任>6代リズ公「ジョージ・ウィリアム・フレデリック・オズボーン」5代公の長男(~18380710死去)

1799年2月1日-08:00|インドネシア/イギリス| ||<就任>アンボン島イギリス居住者代表「ロバート・Townsend Farquhar」(~18020116)

1799年2月2日-02:00|エジプト/フランス| ||アスワンをフランスが占領(~5. 26)

1799年2月3日-05:30|インドネシア/イギリス| ||イギリス東インド会社がマイソール王国のティプーに宣戦布告

1799年2月5日-09:00|日本| ||寛政11年|<刊行>勘定奉行中川忠英「清俗紀聞」

1799年2月5日-09:00|日本| ||寛政11年|<刊行>本居宣長「源氏物語玉の小櫛」(寛政8年完成)

1799年2月5日-09:00|日本| ||寛政11年|村上島之丞「蝦夷島奇観」成る

1799年2月5日-09:00|日本| ||寛政11年|藤田幽谷「勸農或問」を著す

1799年2月5日-09:00|日本|福島県白河市|寛政11年|陸奥白河藩、白河と須賀川に庶民教育機関「敷教舎」を設置

1799年2月5日-07:00|ベトナム| ||大越・景盛7年|<死去>パント・ラング王「Po Ladhunpaghuh」

1799年2月5日-07:00|ベトナム| ||大越・景盛7年|<即位>パント・ラング王「Po Saong Nyung Geng」(~1822年死去ベトナムに統合される)

1799年2月5日-09:00|日本| ||寛政11年1月|<刊行>立川談洲樓焉馬(国政・春好・春英・俵屋宗理の挿画)「今日歌白猿一首」

1799年2月5日-09:00|日本| ||寛政11年1月|<出版>歌麿・豊国・国政「俳優楽室通」

1799年2月5日-09:00|日本| ||寛政11年1月|<出版>蒔田月翁の遺作「山海名産図会」(諸国産物を集大成)

1799年2月5日-09:00|日本| ||寛政11年1月|<出版>北斎「江戸勝景東遊」

1799年2月7日-08:00|中国| ||清・嘉慶4年1月3日|清の太上皇帝、乾隆帝死去/88歳(誕生:1711)嘉慶帝が親政を開始する

1799年2月9日 06:00|アメリカ/フランス| ||米艦コンステレーション号、仏艦ランスルヴァント号を捕獲

1799年2月10日 05:00|エクアドル/スペイン| ||<就任>スペイン領北総督・総司令官・大審問院長「カロンテ男爵フランシスコ・リス・ヘクター・デ・カロンテ・レ・デ・ノヴァエス」(~18070306没)

1799年2月12日 00:00|イギリス| ||<死去>4代カーバー伯「ジョージ・オーガスタス・クレイヴ・アーリング」=カーバー

1799年2月12日 00:00|イギリス| ||<就任>5代カーバー伯「ヒーター・レオポルト・ルイ・フランシス・ナッソー=クレイヴ・アーリング」(~18370721死去)

1799年2月16日-01:00|ドイツ| ||<死去>ユーリヒ=クレフェ=ベルク連合公・プファルツ=ノイブルク公「カール・フィリップ・テオドル」兼バイエルン選帝侯「カール2世テオドル」

1799年2月16日-01:00|ドイツ/オーストリア| ||<即位>プファルツ=ノイブルク公「マクシミリアン・ヨーゼフ」(~1808年)兼ベルク公「マクシミリアン・ヨーゼフ」(~18060315)兼バイエルン選帝侯「マクシミリアン4世ヨーゼフ」(⇒18060101バイエルン国王マクシミリアン1世~18251013)

1799年2月17日-01:00|オランダ| ||<就任>パタゴニア共和国行政長官「ヨハネス・ウィレム・ヴァンハッセルト」(2回目~3. 16)

1799年2月18日-02:00|ルーマニア| ||<死去>ワラキア総督・領主「コンスタンティン・ハンゲリ」

1799年2月19日-02:00|シリア・アラブ/フランス| ||ボナパルトはシリア国境の町エル・アリシュを占領

1799年2月20日-01:00|フランス| ||<死去>フランスの物理学者で測定学者ジャン・シャルル・ボルト/65歳(誕生17330504)/メートル法制定に尽力した

1799年2月20日-09:00|日本|北海道|寛政11年1月16日|江戸幕府、対露緊張切迫に伴い、松前藩には対応能力が無いと判断、東蝦夷地を直轄地とし、津軽・南部両藩に蝦夷地の警備を指示(第一次幕僚期・22年間)

1799年2月21日-01:00|スペイン| ||<就任>スペイン王国国家主席補佐官代理「Mariano Luis de Urquijo y Muga」(~17991213)

1799年2月24日-02:00|イスラエル/フランス| ||ナポリの下でフランスがガザを占領(~6月1日)

1799年2月28日-02:00|イスラエル/フランス| ||ナポリの下でフランスがラムラを占領

1799年3月2日-01:00|ドイツ/フランス| ||ベルナドットはマンハイムを降伏させた

1799年3月3日-02:00|ギリシャ/フランス| ||コルフ島のフランス統治終焉

1799年3月3日-09:00|日本|東京都千代田区|寛政11年1月27日|<死去>一橋徳川家10万石「徳川治済」⇒六男「徳川斉敦」が継ぐ(⇒文化13(1816)年9月4日、死去)

1799年3月4日 00:00|イギリス| ||<死去>エセックス伯「ウィリアム・アン・カール」

1799年3月4日 00:00|イギリス| ||<就任>エセックス伯「ジョージ・カール=コングスビー」(~18390423死去)

1799年3月6日-01:00|スイス/フランス| ||<就任>ヘルヴェティア共和国理事会議長「デビッド・ルートヴィヒ・ベイ」Rep(~4. 26)

1799年3月6日-01:00|リベントシュタイン/フランス| ||リベントシュタインをフランスが占領(~17990325)

1799年3月7日-02:00|イスラエル/フランス| ||ナポリの下でフランスがパレスチナ沿岸を占領(~1799年5月)/ヤッファを占領

1799年3月7日-02:00|シリア・アラブ/フランス/パレスチナ| ||フランス軍はヤッファを落とした

1800迄 (2827件)

1799年3月8日-05:45|ネーデル| |||<譲位>ネーデル国王「ラ・パ・ハ・ド・ウール・シャー」
1799年3月9日-02:00|ルーマニア| |||<就任>モルダヴィア総督「コンスタンティン・アレクサンドル・イブ・シラント」(~18010704)
1799年3月12日-01:00|フランス/オーストリア| |||フランスがオーストリアに再び宣戦布告し、第2次対仏大同盟戦争が始まる
1799年3月14日-05:30|スリランカ/イギリス| |||<就任>イギリス領セイロン総督北方代行「ジョサイアス・シャンパニユ」(~7.22)
1799年3月14日-02:00|ルーマニア| |||<就任>ワキア総督・領主「アレクサンドル・コンスタンティン・モルジ」(2回目~1801年10月)
1799年3月14日 03:00|アルゼンチン/ボリビア/パラグアイ/ウルグアイ/スペイン| |||<就任>リオ・デ・ラ・プラタ総督「アビレス侯爵ガブリエル・デ・アビレス・イ・デル・フィロ」(~18010520)
1799年3月15日-02:00|イスラエル/フランス| |||ナポレオンの下でフランスがカクンを占領
1799年3月17日-02:00|イスラエル/フランス| |||ナポレオンの下でフランスがハイファを占領
1799年3月17日-01:00|オランダ| |||<就任>バタヴィア共和国行政長官「フランソワ・エルメリン」(2回目~4.16)
1799年3月19日-02:00|シリア・アラブ/フランス| |||ナポレオン軍が、アッコンの攻囲を開始
1799年3月20日-09:00|日本| ||寛政11年2月15日|<死去>10代市村羽左衛門(52歳)歌舞伎役者
1799年3月23日-05:45|ネーデル| |||<即位>ネーデル国王「ギルバン・ユッタ・ビークラム・シャー・デーウ・ア」(~18161120没)、摂政「マハラ・ニ・ラジ・ラジエシュワリ・デ・ヴィ」(1回目~1800年4月)
1799年3月25日-01:00|オーストリア/フランス| |||オーストリアのカル大公軍が、ストックハでフランスのゾルタン軍を破る
1799年3月27日-01:00|イタリア/フランス| |||<追放>トスカナ公「フェルディナンド3世」、ウィーンへ
1799年3月27日-09:00|日本|福井県敦賀市|寛政11年2月22日|<死去>酒井忠言(44歳)前越前敦賀藩主
1799年3月29日 00:00|イギリス| |||<死去>初代ルーカン伯「チャールズ・ベンガム」
1799年3月29日 00:00|イギリス| |||<就任>2代ルーカン伯「リチャード・ベンガム」(~18390630死去)
1799年3月29日 06:00|アメリカ| |||ニューヨーク州が漸進的奴隷解放法を可決
1799年3月31日-02:00|イスラエル/フランス| |||ナポレオンの下でフランスがザレを占領
1799年3月31日-01:00|マルタ/イギリス| |||請願によりマルタ主権が英国に移管
1799年4月 00:00|シエラレオネ/イギリス| |||<就任>イギリス領フリータウン植民地総督代行「ジョン・クレイ」(1回目~5月)
1799年4月 04:00|フォークランド/イギリス| |||<就任>フォークランド諸島司令官・総督「Luis de Medina y Torres」(2期目~18000315)
1799年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「フランチェスコ・ジヤンニニ」「ピエトロ・ゾーリ」
1799年4月2日-09:00|日本|東京都墨田区|寛政11年2月28日|<大相撲>寛政11年2月場所[江戸本所回向院](7日間、悪天候のため)優勝:(西大関)雷電, 6勝0敗1休/35連勝
1799年4月5日-09:00|日本|香川県高松市|寛政11年3月|高松藩、城内西ノ丸に学問所を建て、岡井赤城を総裁とする
1799年4月5日-09:00|日本|京都府京都市|寛政11年3月|<死去>初代清水六兵衛(62歳)陶工
1799年4月6日 04:30|ベネチア/スペイン| |||<就任>スペイン領ベネチア総督兼総司令官「Manuel de Guevara y Vasconcelos」(~18071009死去)
1799年4月7日-05:30|インド| |||シー教軍事組織(カル)がホルを占領
1799年4月12日-09:00|日本|静岡県伊豆市|寛政11年3月8日|伊豆実成寺焼失
1799年4月14日-01:00|ボスニア・ヘルツェゴビナ/トルコ| |||<就任>ボスニア総督「ハドチ・オスマン・パシャ」(~22日)
1799年4月14日-09:00|日本|福井県勝山市|寛政11年3月10日|<死去>越前勝山藩22000石「小笠原長教」(40歳)⇒長男「小笠原長貴」が継ぐ(⇒天保11(1840)年3月8日、死去)
1799年4月16日-02:00|シリア・アラブ/フランス/トルコ| |||ナポレオン山の戦い/ボナパルトの攻撃によってオスマン=トルコ軍は大敗
1799年4月17日-01:00|オランダ| |||<就任>バタヴィア共和国行政長官「アンソニー・フレデリック・ロバート・エバート・ファン・ハルツル」(2回目~5.16)
1799年4月17日 00:00|イギリス| |||<死去>2代キングストン伯「ロバート・キング」
1799年4月17日 00:00|イギリス| |||<就任>3代キングストン伯「ジョージ・キング」先代の息子(~18391018死去)
1799年4月17日-04:00|ロシア| |||ロシア暦11月6日|<就任>全ロシア首相「グイクトル・パヴロヴィッチ・コチュベイ伯爵」(~10.6)
1799年4月18日-01:00|フランス| |||フランスで共和暦第7年の選挙が行われる/「選挙」で約50名の「材・ジャコバン派」が当選し、政府に批判的な「穏健派」と提携し、議会内で多数派を形成
1799年4月21日-13:00|トンガ| |||<死去>トンガ主長(トゥイ・カノク・オル)「タライ・トゥホウ(フィナウ・トゥクアホ)」
1799年4月21日-13:00|トンガ| |||<即位>トンガ主長(トゥイ・カノク・オル)「マムロリア」(~22日)
1799年4月22日-13:00|トンガ| |||<即位>トンガ主長(トゥイ・カノク・オル)「トゥホウ・マロヒ」(~1812年死去)(1800~1805フィジーへ亡命)
1799年4月22日-01:00|ボスニア・ヘルツェゴビナ/トルコ| |||<就任>ボスニア総督「ヴァンリ・メフメド・パシャ」(1回目~8.3)
1799年4月22日 00:00|イギリス| |||<死去>3代セックス伯「ヘンリー・イェルヴァートン」
1799年4月23日 00:00|イギリス| |||<就任>初代セント・ストラサン公・初代ダブリン伯「エドワード・オーガスタ王子」(~18200123死去)
1799年4月23日 00:00|イギリス| |||<就任>カンバーランド=ウェイクフィールド公「アーネスト・オーガスタ」(~18511118死去)
1799年4月27日-01:00|スイス/フランス| |||<就任>ヘルヴェティア共和国理事会議長「ピーター・オークス」Pat(2期目~6.23)
1799年4月27日-01:00|イタリア/オーストリア| |||オーストリア軍、ミラノに入城
1799年4月27日 04:00|セントビンセント/イギリス| |||<就任>イギリス領セントビンセント総督代行「トリュエリー・オットリー」(1回目~18020611)
1799年5月 00:00|シエラレオネ/イギリス| |||<就任>イギリス領フリータウン植民地総督「トマス・ランドラム」(1回目~1800年)
1799年5月 05:00|ハイチ| |||南部のCorail村で政府に対するムートの反乱が勃発、ナイフ戦争が始まる
1799年5月2日-09:00|日本| ||寛政11年3月28日|<死去>岸紹易(71歳)茶人

1800迄(2827件)

1799年5月3日-03:00|イェメン/エジプト| |||<就任>エジプト領紅海行政長官「ジョン・Murray」(~1800.3) (ペリム島⇒17990901, アデン)

1799年5月3日-03:00|イェメン/イギリス| |||イギリス人がペリム島占領(~9.1)

1799年5月4日-05:30|インド| |||<死去>フター・ダート 国統治者(パトシャ)「ティプー・スルタン」戦死(誕生1750年)

1799年5月4日-05:30|インド/イギリス| |||イギリスによってセイロン・パタムは落ち、マイソールはイギリスの東インド会社とハイデラバードによって分割された

1799年5月6日-02:00|ギリシャ| |||<就任>イオニア諸島元老院議長「アンゲロス・オリオス」(~18000402)

1799年5月10日-13:00|トンガ| |||<死去>トンガ 主長(トゥイ・ハイ・ハタカラウア)「ムリキハメア」

1799年5月12日-09:00|日本| ||寛政11年4月8日|<死去>2代常磐津文字太夫(69歳) 浄瑠璃太夫

1799年5月12日-09:00|日本|東京都江東区|寛政11年4月8日|江戸深川三十三間堂通矢「五十間堂百射」で、源田恒五郎(12歳)が81本(総矢数100中)を記録

1799年5月13日 05:00|キューバ/スペイン| |||<就任>スペイン植民地キューバ 総督・総司令官「ソメル侯爵サバトール・デ・ムロ・イ・サラザール」(~18120414)

1799年5月14日 00:00|カリヤ諸島/スペイン| |||<就任>スペイン王国カリヤ諸島総司令官「Jose de Perlasca」(~1803年)

1799年5月17日-02:00|シリア・アラブ/フランス/パレスチナ| |||アッカでジャッザールがフランス軍を撃退、サレオンがエジプトへ退却

1799年5月17日-01:00|オランダ| |||<就任>パタニア共和国行政長官「ジョアンネス・フランシカス・ルドルファス・ファン・フーフ」(2回目~6.16)

1799年5月17日-09:00|日本| ||寛政11年4月13日|<死去>桑山玉洲(54歳) 画家、美術評論家

1799年5月18日-01:00|フランス| |||<死去>フランスの劇作家ホーメルシェ(1732-、67歳)「セリアの理髪師」「フィガロの結婚」

1799年5月18日-01:00|フランス| |||フランス、シェイエスが総裁に選ばれる

1799年5月18日 04:00|トミニカ国/イギリス| |||<就任>イギリス領トミニカ総督代行「ジョン・マトソン」(2回目~18000623)

1799年5月20日-03:00|エチオピア| |||<即位>エチオピア帝国(後期ソモン朝) 皇帝「ソモン3世テクレ・ヘイマノット」(2回目~7.25)

1799年5月21日-01:00|クロアチア| |||<即位>ホルツァ大公「マティア・ミアノヴィッチ」(~18011201)

1799年5月22日 05:00|ハイチ/イギリス/アメリカ| |||トウサン、米国・英国との間に三国条約調印

1799年5月24日-01:00|イタリア/オーストリア/フランス| |||連合軍はミラ要塞、フェララ、ラヴェンナ、リミニの守備隊を降伏させた

1799年5月27日-01:00|スイス/オーストリア/ロシア| |||オーストリア=ロシアがスイス侵攻(~12月)

1799年5月27日-09:00|日本| ||寛政11年4月23日|<死去>紀上太郎(53歳) 浄瑠璃作者、狂歌師

1799年5月30日-01:00|フランス| |||劇団「コメディ・フランセーズ」が、「パレ・ロワイヤル」の一角(1区「リシュリュー館」、2番地)に入居し本拠地とする

1799年5月30日 00:00|イギリス| |||ガウスが代数学の基本定理を証明

1799年6月2日-05:00|モルデューグ| |||<即位>モルデューグ・スルタン「ムイン・アッディン1世ムハムマド」(~18350122没)

1799年6月4日-09:00|日本| ||寛政11年5月|<出版>西村中和・佐久間草偃・奥文鳴等「都林泉名勝図会」

1799年6月9日-09:00|日本| ||寛政11年5月6日|<死去>夏見族之助(不明) 剣術家/無停滞心(無滞体心) 流の開祖

1799年6月10日-09:00|日本|東京都千代田区|寛政11年5月7日|<死去>清水徳川家10万石「徳川敦之助」(4歳) 一時断絶

1799年6月12日-01:00|イタリア/フランス| |||マクドナルド軍はモテナを落とした

1799年6月12日 00:00|イギリス| |||<死去>5代プリマス伯「アサー・ヒックマン・ウィンザー」

1799年6月12日 00:00|イギリス| |||<就任>6代プリマス伯「アサー・アチャー・ウィンザー」(~18330720死去)

1799年6月13日 05:00|ハイチ/イギリス| |||トウサン、英国とのあいだに友好条約調印。これには武器供与の秘密協定も含まれる

1799年6月13日-09:00|日本|兵庫県小野市|寛政11年5月10日|<死去>一柳末栄(75歳) 前播磨小野藩主

1799年6月14日 00:00|イギリス| |||<死去>4代セカーク伯「ダニエル・ダグラス」

1799年6月14日 00:00|イギリス| |||<就任>5代セカーク伯「トマス・ダグラス」先代の息子(~18200404死去)

1799年6月15日-01:00|イタリア/フランス/イギリス| |||イギリス軍とナポリ軍がナポリを奪回

1799年6月16日 05:00|ハイチ| |||リゴ、プティ・ゴウベを攻撃。白人プランターを虐殺

1799年6月16日-09:00|日本|東京都|寛政11年5月13日|<死去>6代市川團十郎。風邪をこじらせて(22歳) 歌舞伎役者

1799年6月17日-01:00|オランダ| |||<就任>パタニア共和国行政長官「アルバート・ウィルム・ヘース」(3回目~7.16)

1799年6月18日-01:00|フランス| |||ブレアル30日のクーターが起る/議会在バリス、シェス以外の3総裁を交替させる

1799年6月19日-01:00|イタリア/フランス| |||ルッポ枢機卿がフランス軍を叩きブルボン家を復興しナポリ共和国は終了

1799年6月22日-01:00|オーストリア/イギリス| |||オーストリアとイギリスが同盟調印

1799年6月22日 00:00|世界/フランス| |||「メートル法」を正式に採用/メートル原器の制定/子午線の長さの4,000万分の1を1メートル、真空中での一定量の蒸留水0°の重さを1グラムとする

1799年6月23日-09:00|日本|大阪府大阪市|寛政11年5月20日|<死去>天文学の麻田剛立(66)

1799年6月24日-01:00|スイス/フランス| |||<就任>ヘルヴェティア共和国理事会議長「フレデリック・セザール・デ・ラハルブ」Pat(3期目~9.4)

1799年6月25日-01:00|イタリア/フランス| |||ナポリ共和国滅亡/ナポリ王フェルディナンド4世復位

1799年6月25日-09:00|日本|群馬県甘楽郡甘楽町|寛政11年5月22日|<死去>上野小幡藩2万石「松平忠福」(58歳)⇒7月16日、嫡孫「松平忠恵」が継ぐ(⇒安政3(1856)年6月27日、隠居)

1799年6月26日-01:00|イタリア/ロシア| |||ロシア軍トリノを占領

1799年6月28日-01:00|フランス| |||フランスで強制公債割当法が成立/富裕な者は強制公債の買取りが義務となる

1799年6月29日 07:00|日本|石川県|寛政11年5月26日|<寛政11年加賀地震>申刻(16時)過ぎ、加賀国北部一帯にマ

マグニチュード6.0以上の地震、金沢城下の野田山、卯辰山を中心に近郊に被害が起きた/被害は金沢城下で多く、家屋の倒潰26軒、同損潰4169軒、土蔵全潰3棟、同損潰989棟、城の石垣のはらみ22か所、同崩壊6か所/能美、石川、河北郡では、家屋の倒潰964軒、同損潰1003軒、土蔵倒潰1棟、同損潰7棟、21人死亡/河北潟と日本海に挟まれた宮坂で家屋11軒のうち9軒が倒潰、同潟南西端の粟崎で家屋の全潰3軒、土蔵半潰16棟、犀川河口の港、宮腰で家屋全潰28軒、同半潰61軒、損潰(大損)325軒など/合計して家屋倒潰(含む全潰)1030軒、同損潰(含半潰)5558軒、土蔵倒潰4棟、同損潰(含む半潰)1012棟、21人死亡

1799年6月30日-05:30|インド| |||<即位>マイソール国マハラジャ「ムマデ・クリシュナラジャ3世・ウーデ・イヤル」(~18680327没)、摂政「マハラニ・ラクシュミ・アンマン・デ・ヴァ・イ・アヴァル」(~1810年2月没)、摂政「デワン・クリシュナチャリヤ・ブナヤ」(~18111223)

1799年7月1日-01:00|イタリア/オーストリア/フランス| |||連合軍によりアレクサンドリアは陥落/フランス軍は2700人が捕虜、連合軍の損害は400人だった

1799年7月2日-01:00|スイス/オーストリア/フランス| |||フランス軍右翼のルートに対しオーストリア軍イェラチチの部隊がウイティコンを攻撃し奪取

1799年7月5日-01:00|フランス| |||フランスで、閉鎖されていたジャコバン・クラブが再建される

1799年7月5日 00:00|シエラレオネ/イギリス| |||<改称>イギリス領フリータウン⇒シエラレオネ

1799年7月8日-05:30|インド/イギリス| |||マイソール王国(オデヤ朝)クリシュナラジャ3世とイギリスとの間に軍事保護条約が締結され、マイソール王国は藩王国となった(マイソール藩王国)

1799年7月10日-09:00|日本| ||寛政11年6月8日<死去>長沢芦雪(46歳)絵師

1799年7月11日-01:00|フランス/イタリア/イギリス| |||イギリス軍とナポリ軍がセント=エルモ要塞を落とした

1799年7月11日 06:00|アメリカ/ドイツ| |||アメリカがプロセンと友好条約締結

1799年7月12日-01:00|フランス| |||フランスで人質法が可決される/犯罪者の家族の連帯責任を問うというもの

1799年7月12日 00:00|イギリス| |||イギリスで、労働者の団結やストを禁止する団結禁止法が成立

1799年7月15日-02:00|エジプト/フランス/トルコ| |||トルコ軍がアブキール半島に上陸しその要塞を占領

1799年7月15日-02:00|エジプト/フランス| |||ナイル下流の町ロゼッタで、古代エジプト文字を解読するのに重要な手掛かりとなる石碑が発見される(ロゼッタストーンの発見)

1799年7月17日-01:00|オランダ| |||<就任>バタヴィア共和国行政長官「アウグスティン・ゲルハルト・ベジエ」(1回目~8.16)

1799年7月19日 00:00|イギリス| |||<死去>ドーセット公「ジョージ・フレデリック・サックヴィル」

1799年7月19日 00:00|イギリス| |||<就任>ドーセット公「ジョージ・ジョージ・フレデリック・サックヴィル」(~18150214死去)

1799年7月25日-03:00|エチオピア| |||<即位>エチオピア帝国(後期ソモン朝)皇帝「デメトリウス・アルケダウォス」(1回目~18000324)

1799年7月25日-02:00|エジプト/フランス/トルコ| |||ナポレオンの軍が、アブキールを占領していたオスマン帝国軍を破る

1799年7月27日-01:00|イタリア/オーストリア/フランス| |||マントヴァのフランス軍守備隊降伏/フランス軍の損害は3100人で、連合軍は2100人だった

1799年7月28日-01:00|イタリア/フランス/イギリス| |||イギリス軍とナポリ軍がカプアを落とした

1799年7月28日-01:00|イタリア| |||イタリア、カプリノで地震(M5.8)死者104人

1799年8月-02:00|エジプト/トルコ| |||<就任>オスマン帝国領エジプト総督「ナス・ハッシャ・アル=アスマム」(~18010810)

1799年8月1日-02:00|エジプト/フランス| |||ロゼッタストーン発見ナポレオンのエジプト遠征に参加した士官がナイル川河口のロゼッタで石碑を発見→ヒエログリフ解読の手がかりに

1799年8月1日-01:00|イタリア/フランス/イギリス| |||イギリス軍とナポリ軍がガエタを落とした

1799年8月1日-01:00|フランス| |||フランス、出版の自由制限を解除

1799年8月2日-02:00|エジプト/フランス| |||<就任>フランス軍リエント司令官「ジャン=バティスト・クレベール」(~18000614)

1799年8月2日 00:00|イギリス| |||<死去>8代ハミルトン公・5代グラントン公「ダグラス・ハミルトン」

1799年8月2日 00:00|イギリス| |||<就任>9代ハミルトン公・6代グラントン公「アーチボルド・ハミルトン」先代の叔父(~18190216死去)

1799年8月3日-01:00|ボスニア=ヘルツェゴビナ/トルコ| |||<就任>ボスニア総督「ジネリ・ハジ・ハサン・ハッシャ」(~9.15)

1799年8月4日 00:00|サントメ=プリンシペ/ポルトガル| |||<就任>サントメ=プリンシペ総督「Joao Baptista e Silva de Lagos」(~18021004)

1799年8月5日 00:00|イギリス| |||<死去>初代ハウ伯「リチャード・ハウ」廃絶

1799年8月7日 00:00|イギリス| |||<死去>3代ストラフォード伯「フレデリック・トマス・ウェントワース」

1799年8月8日-09:00|日本| ||寛政11年7月8日<死去>2代常磐津文字太夫(69歳)浄瑠璃太夫

1799年8月12日-09:00|日本|大阪府大阪市|寛政11年7月12日<初演>人形浄瑠璃「絵本太功記」[原・岡田玉山]大坂若太夫芝居

1799年8月12日-09:00|日本|福井県勝山市|寛政11年7月12日|勝山城下で火事、町家281軒・寺11など焼失

1799年8月13日-01:00|フランス| |||警察庁官フーシェが、ジャコバン・クラブを閉鎖

1799年8月14日-01:00|スイス/オーストリア/フランス| |||シュヴァイツでフランス軍がオーストリア軍を攻撃して勝利

1799年8月16日-01:00|スイス/オーストリア/フランス| |||フランス軍はサンゴツタル峠の奪回に成功

1799年8月17日-01:00|オランダ| |||<就任>バタヴィア共和国行政長官「フランソワ・エルメリン」(3回目~9.16)

1799年8月19日-09:00|日本|北海道|寛政11年7月19日|幕府の委託により高田屋嘉兵衛が択捉島~国後島の航路を確立

1799年8月20日 03:00|スリナム/イギリス| |||イギリスがスリナムを占領(~18021204)

1799年8月20日-09:00|日本| ||寛政11年7月20日|幕府が、唐銅の仏像・鐘・灯籠などを製造して勧進することを禁止し、千社参りと称して参詣先に千社札を張りつけることを規制

1799年8月21日-09:00|日本|愛媛県大洲市|寛政11年7月21日|大洲城下大火、類焼781軒

1799年8月22日-02:00|エジプト/フランス| |||ナポレオン、エジプトを放棄して脱出

1800迄 (2827件)

1799年8月27日-08:00|中国| ||清・嘉慶4年7月27日|中国・雲南省、石屏地震M7.0、死者2251
1799年8月28日-01:00|オランダ/フランス/イギリス| ||イギリスのムーア將軍はヘルデルを占領
1799年8月28日 05:00|タークス・カイコス諸島/イギリス| ||<就任>タークス・カイコス諸島代理人「Alexander Murray」(2期目~1801
1231)
1799年8月29日-01:00|バチカン| ||<死去>第250代ローマ教皇「ピウス6世」81歳(誕生17171227)
1799年8月29日-09:00|日本|滋賀県彦根市|寛政11年7月29日|彦根藩、文武学校稽古館を設立
1799年8月31日-09:00|日本|茨城県土浦市|寛政11年8月|土浦藩、文武学校郁文館を設立
1799年9月-04:00|ロシア| ||ロシアが露米会社を設立
1799年9月-01:00|イタリア| ||ヴァルタが電池を発明、銅と亜鉛の円盤の間に湿布をはさみ多層化
1799年9月 04:00|アルバ/イギリス| ||<就任>アルバ島司令官「Edward Hamilton」イギリス司令官(~10月)
1799年9月5日-01:00|スイス/フランス| ||<就任>ヘルヴェティア共和国理事会議長「フランツ・ヒェール・ザグアリー」Rep(~11.17)
1799年9月7日-05:30|インド/イギリス| ||<就任>イギリス軍コアラ守備隊司令官「ウィリアム・クラーク卿」(1回目~1802年11月)
1799年9月8日-09:00|日本|岡山県岡山市|寛政11年8月9日|<交替>備中足守藩25000石「木下利彪」隠居⇒長男「木
下利徹」が継ぐ(⇒文化2(1805)年9月5日、隠居)
1799年9月9日-01:00|マルタ/イギリス| ||イギリス軍がマルタへの侵攻を開始
1799年9月11日-01:00|イタリア/オーストリア/フランス| ||フランス軍守備隊1200人が守るトルナは落ちた
1799年9月11日-09:00|日本| ||寛政11年8月12日|<死去>坂倉茂樹(37歳)国学者、歌人
1799年9月11日-09:00|日本|北海道|寛政11年8月12日|<領土召し上げ>蝦夷松前藩1万石「松前章広」幕府が残りの
蝦夷地も上知(⇒文化4(1807)年3月12日、陸奥国梁川藩9000石(実高18000石余)に移封)
1799年9月13日-08:00|インドネシア/オランダ| ||<就任>モルッカ諸島オランダ総督「Willem Jacob Cranssen」(~1803年)
1799年9月13日-09:00|日本| ||寛政11年8月14日|<死去>9代大橋宗桂(56歳)将棋棋士/八世名人
1799年9月15日-01:00|ボスニア・ヘルツェゴビナ/トルコ| ||<就任>ボスニア総督「ヴァンリ・メフメド・パシャ」(2回目~18010409)
1799年9月17日-01:00|オランダ| ||<就任>パタゴニア共和国行政長官「アンソニー・フレデリック・ロバート・エバート・ファン・ハールボル」(3
回目~10.16)
1799年9月18日-01:00|ドイツ/オーストリア/フランス| ||ミュラーはカル大公率いるオーストリア軍の攻撃を受け降伏/マンハイムの戦い
1799年9月19日-01:00|オランダ/フランス/イギリス/ロシア| ||フランス軍が、ベルリン・オブ・ソムでイギリス・ロシア連合軍を破る
1799年9月20日-09:00|日本|広島県広島市|寛政11年8月21日|<交替>安芸広島藩42万6500石「浅野重晟」隠居⇒次
男「浅野齊賢」が継ぐ(⇒文政13年11月21日(18310104)死去)
1799年9月24日-01:00|スイス/フランス/ロシア| ||ロシア軍はサンゴツタルト峠を奪った
1799年9月26日 00:00|イギリス| ||<死去>4代アビンドン伯「ウィリアム・パーティ」
1799年9月26日 00:00|イギリス| ||<就任>5代アビンドン伯「モンティュー・パーティ」(~18541016死去)
1799年9月28日-09:00|日本|奈良県桜井市|寛政11年8月29日|<死去>織田輔宜(68歳)前大和芝村藩主
1799年9月30日-01:00|スイス/フランス/ロシア| ||(25日~)フランス軍はロシア軍を攻撃し、チューリヒも奪回
1799年9月30日-01:00|イタリア/フランス| ||ローマはナポレオンにより再占領されローマ共和国崩壊
1799年10月1日-01:00|サマリヤ| ||<就任>サマリヤ共和国執政「ハミッド・ボネリ」/「リビオ・カザーリ」
1799年10月4日 04:00|ドミニカ共和国/フランス| ||<就任>フランス領サント・ミンゴ弁務官「アントワヌ・シャンラッテ」(~1801年)
1799年10月4日-09:00|日本|滋賀県甲賀市|寛政11年9月6日|<交替>近江水口藩25000石「加藤明陳」隠居⇒長男「加
藤明允」が継ぐ(⇒文化12(1815)年8月6日、死去)
1799年10月6日-04:00|ロシア| ||ロシア暦11月6日|<就任>全ロシア首相「ニキータ・ペトロヴィッチ・パニン伯爵」(~18010304)
1799年10月10日-09:00|日本| ||寛政11年9月12日|<死去>2代山下金作(67歳)歌舞伎役者
1799年10月16日-09:00|日本|福井県福井市|寛政11年9月18日|<交替>越前福井藩30万石「松平重富」隠居⇒長男「
松平治好」が継ぐ(⇒文化15(1818)年5月、2万石加増され32万石)
1799年10月17日-01:00|オランダ| ||<就任>パタゴニア共和国行政長官「ジョアンネス・フランシカス・ルドルフ・ファン・フーフ」(3回目~
11.16)
1799年10月17日 04:00|グアドループ/フランス| ||<就任>グアドループ特別事務局長暫定代理人「Marie Auguste Paris」
(~12.11)
1799年10月18日-01:00|オランダ/フランス/イギリス/ロシア| ||アルマルで、イギリス・ロシア連合軍がフランスと協定を結んでオランダか
ら撤退
1799年10月19日 04:00|サン・マルタン/フランス| ||<就任>フランス領サン・マルタン司令官「Pierre Louis d'Arnauld」(~18000315)
1799年10月20日-05:30|インド/イギリス| ||タンジール国は、首都要塞を除いて完全に英領インドによって(マダガスカルの一部
として)管理される
1799年10月22日-04:00|ロシア| ||ロシア暦10月11日|ロシア皇帝パヴール1世(45)がオーストリアから軍隊を戻して対仏大同盟
から脱退
1799年10月28日 00:00|イギリス| ||<死去>8代ケリー伯「チャールズ・アースキン」
1799年10月28日 00:00|イギリス| ||<就任>9代ケリー伯「トマス・アースキン」(~18280206死去)
1799年10月29日-09:00|日本| ||寛政11年10月|<出版>北尾政美「人物略画式」
1799年10月30日 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| ||<死去>アゾレス諸島総司令官「Jose d'Ave Maria Leite da Costa
e Silva」
1799年10月30日 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| ||<就任>アゾレス諸島総司令官「Lourenco Jose Boaventura de Alm
ada」(~18041017)
1799年11月4日-09:00|日本| ||寛政11年10月7日|<死去>陸奥湯長谷藩1万5000石「内藤政ゆき」/養子の政環が継
ぐ(~天保7年08月23日隠居)

1800迄 (2827件)

1799年11月4日-09:00|日本|福島県いわき市|寛政11年10月7日|<死去>陸奥湯長谷藩15000石「内藤政偏」(27歳)⇒養子「内藤政環」が継ぐ(⇒文政7(1824)年8月23日、隠居)

1799年11月9日-01:00|フランス| ||<ブリュメール18日のクーデター>ナポレオン・ボナパルト、総裁のエマニュエル・ジョセフ・シェイエスと組み「ジャコバン派の陰謀」を阻止するという口実で「両院」をパリ西郊外のサン＝クルに移し、それを軍が包囲/不安定な「総裁政府」を倒し政権を掌握し、軍事独裁を始める

1799年11月12日-11:30|ノーフォーク島/オーストラリア| ||<就任>ノーフォーク島副知事代理「Thomas Rowley」(~18000726)

1799年11月13日-02:00|リトアニア| ||<即位>リトアニア大公代行「イワン・ペトロヴィッチ・ゴロリツヒ・メンシヨイ」(~17991219)

1799年11月13日-01:00|オランダ/オーストラリア| ||オーストラリア軍が、アソナを占領

1799年11月17日-01:00|オランダ| ||<就任>バタヴィア共和国行政長官「アルバート・ウィルム・ヘース」(4回目~12.16)

1799年11月18日-01:00|スイス/フランス| ||<就任>ヘルヴェティア共和国理事会議長「オットー・ルドルフ・ド・ルター」Rep(~18000107)

1799年11月20日-09:00|日本|福島県いわき市|寛政11年10月23日|<交替>陸奥泉藩2万石「本多忠壽」隠居⇒長男「本多忠誠」が継ぐ(⇒文化12(1815)年7月5日、隠居)

1799年11月25日-01:00|フランス| ||フランスで、ヴァンデの反乱者と政府の間で停戦協定が結ばれる

1799年11月26日-09:00|韓国/朝鮮| ||<就任>朝鮮国領議政「李秉模」(~18000823)

1799年11月27日-09:00|日本|東京都墨田区|寛政11年11月1日|<大相撲>寛政11年11月場所[江戸本所回向院](10日間)優勝:(西大関)雷電、9勝0敗1休/44連勝

1799年12月 06:00|アメリカ| ||<就役>アメリカ海軍コンステレーション級フリゲイト「コングレス」(1268t, Jas. Hackettで建造⇒1834年ゴスポート造船所にて解体)

1799年12月2日 00:00|イギリス| ||<就任>ウェルズリー侯「リチャード・ウェルズリー」2代モントソン伯(~18420926死去ウェルズリー侯爵位廃絶)

1799年12月6日-09:00|日本|福井県|寛政11年11月10日|南条郡今庄で火事、町家102軒・在家130軒など焼失

1799年12月10日-02:00|南アフリカ/イギリス| ||<就任>イギリス領ケープ植民地知事「ジョージ・ヨンゾ」卿(~18010420)

1799年12月10日-01:00|マルタ/イギリス| ||<就任>イギリス領マルタ最高司令官「トマス・ゲラム」(~18000717)

1799年12月11日 04:00|グアドループ/フランス| ||<就任>グアドループ特別事務局長代理人「Nicolas Georges Jeannet-Oudin + Rene Gaston Baco de la Chapelle(~18001230死去) + Etienne Maynaud Bizefranc(~18000228) + Maurice Henry Bresseau(18000302~)」(~18010529)

1799年12月13日-05:00|ウズベキスタン/トルクメニスタン/タジキスタン| ||<死去>フハラ・アミール国マンガト朝アミール(マスム)「シャールムラト」

1799年12月13日-05:00|ウズベキスタン/トルクメニスタン/タジキスタン| ||<即位>フハラ・アミール国マンガト朝アミール「サイード・ハイダル・トウラ」シャールムラトの子(~1826.10死去)

1799年12月13日-01:00|スペイン| ||<就任>スペイン王国国家主席補佐官「Pedro Cevallos Guerra」(1期目~18080303)

1799年12月13日 03:00|仏領ギニア/フランス| ||<就任>ギニア知事「Etienne Franconie」(~18000108)

1799年12月13日-09:00|日本| ||寛政11年11月17日|<死去>福原五岳(70歳)画家

1799年12月14日 06:00|アメリカ| ||<死去>ワシントン/67歳(誕生:17320222)アメリカ初代大統領

1799年12月17日-01:00|オランダ| ||<就任>バタヴィア共和国行政長官「アウグスティン・ゲルハルト・ベジエ」(2回目~18000116)

1799年12月19日-02:00|リトアニア| ||<即位>リトアニア大公「ミハイル・イリオノヴィッチ・ゴレニシュチュエフ・クトゥゾフ」(1回目~18010711)

1799年12月25日-01:00|フランス| ||フランスで、共和暦第8年の憲法が発効

1799年12月26日-01:00|フランス| ||フランス統領政府成立/「参議院(保守的元老院)」が創設される/「リュクサンブール宮殿」(6区)が「元老院議事堂」として使用され始める

1799年12月26日-09:00|日本| ||寛政11年12月|<出版>北斎・秀成等「こずゑのゆき」

1799年12月31日-01:00|オランダ| ||オランダ東インド会社が解散

1799年12月31日 00:00|ガーナ/デンマーク| ||<就任>デンマーク領ゴールドコースト総督代行「ヨハン・デ・ビッット・アンホルム」(~18021203)

1800年-12:00|ウオリス・フツナ| ||<即位>トウア(アロ)ラロワ王朝

1800年-12:00|ニュージニアランド| |||このころニュージニアランドのモアが絶滅

1800年-09:30|オーストラリア/イギリス| |||カリティエ号に乗った英国人ナッシュ大尉によってカリティエ島が発見された

1800年-08:00|マレーシア| ||<就任>スガイ・ウジヨン統治者(ウンダン・ルアク・スガイ・ウジヨン)「ダトク・パヒ」(~1824年頃)

1800年-08:00|インドネシア/東ティモール/ポルトガル| ||<就任>ティモール知事「セルセ・ホアキン・デ・ソウザ」(~1804年)

1800年-08:00|インドネシア/イギリス| ||<就任>ベンクーレン副総督(ベンガル総督に從属)「ウォルター・エwer」(~1805年)

1800年-08:00|マレーシア| ||<即位>クランタン・ラジャ「スルタン・ムハンマド1世・イブニ・アル=マフム・ロン・ユヌス」(~18350126没)

1800年-08:00|インドネシア| ||<即位>パマカサン君主「Aria Cakraadiningrat2世 R. Alsana」(~1804年)

1800年-05:30|インド| ||<就任>ゴンドアル国統治者(タル・サーヒブ)「デヴァジ・サラムジ」(~1812年没)

1800年-05:30|インド| ||<就任>シハ国ラジャ「ゴビンド・シン」(1回目~1803年)

1800年-05:30|インド| ||<就任>ジャスワン国ラジャ「ウメット・シン」(~1815年)

1800年-05:30|インド| ||<就任>スルグジャ国ラジャ「ラル・シン・ラム・シン・デオ」(~1813年)

1800年-05:30|インド| ||<就任>タンタ国統治者(マハラ)「ジャガ・ツィムジ-アハ・イムジ-」(~1823年没)

1800年-05:30|インド| ||<就任>バジ統治者(ラ)「ルト・ラハル」建国(1回目~1803年)

1800年-05:30|インド| ||<就任>パソダ国支配者(ナワブ)「アサド・アリ・カーン」(1回目~1817年)

1800年-05:30|インド| ||<就任>ラトム国ラジャ「ハルハット・シン」(~1824年没)

1800年-05:30|インド| ||<就任>ラムドゥルグ国統治者(ラ)「ナヤンラオ1世ラムラオ・アッパ・サハブ・ハ-ハ」(~1827年没)、摂政「ハプ・ラオ・ラテ」(~1810年)

1800年-05:30|インド| |||<設立>スルガナ国

1800迄 (2827件)

1800年-05:30|インド| |||<設立>マハダール国
 1800年-05:30|インド| |||アリ国首都はアリ・ラジフルに移転
 1800年-05:30|インド/イギリス| |||クルヌル国はイギリス保護領
 1800年-05:30|インド/イギリス| |||ハンガハッル国ハイデラバードをイギリスに割譲
 1800年-05:00|パキスタン| |||<死去>バルティスタン国王「アリ・シル・カーン2世」
 1800年-05:00|パキスタン| |||<就任>ギルギット国統治者「ヤシンのスライマン・シャー」(1回目~1802年)
 1800年-05:00|パキスタン| |||<就任>タワル統治者(ミール)「ハイハット・カーン」(~1803年没)
 1800年-05:00|パキスタン| |||<即位>バルティスタン国王「アーメド・シャー」(~1841年没)
 1800年-04:30|アフガニスタン| |||<就任>シバルガン汗国ハキム「アリー・シュ・カーン」(~1820年)
 1800年-04:30|アフガニスタン| |||クルムはコンドゥズ 宗主権下(~1841年)
 1800年-03:00|イェメン| |||<即位>下ヤファ・サルタン「Ali 1世 ibn Ghalib al-Afifi」(~1841年)
 1800年-03:00|イェメン| |||<即位>上ヤファ・サルタン「Qahtan ibn `Umar ibn Salih Al Harhara」(~1810年)
 1800年-03:00|イェメン| |||<即位>カスィーリー国サルタン「Muhsin ibn Ahmad al-Kathir」(~1830年)
 1800年-03:00|スーダン| |||<即位>タリ国王(ウースター)「アブ・ハクル・ワラト・イスマーイル」(~1820年)
 1800年-03:00|ジブチ| |||<即位>タジュラ・スルタン国スルタン「マント・イトゥ・ヒン・ハマト」(~1820年)
 1800年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>アレクソ・ワリス(総督)「Azmozade Nasuh Pasha」(~同年)
 1800年-02:00|ウクライナ/ロシア| |||<就任>カメネツィ・ポドルスキ軍総督兼ポドリャ、ウァルイーニ、(1801年まで)シンスク行政区域民事
 主席管理者「Andrey Grigoryevich Rozenberg」(~1803年)
 1800年-02:00|ウクライナ/ロシア| |||<就任>キエフ軍総督兼キエフ、マロウシヤ(1801年まで)、(1801-1808)シンスク行政区域民事主席
 管理者「Andrey Semyonovich Fensh」(~1803年)
 1800年-02:00|モザンビーク| |||<就任>サンクル首長「ムティル・ムハンマド」(~1804年)
 1800年-01:00|モザンビーク| |||<就任>エルキール要塞マイール(市長)「エドヴァン・フランソワ・ペラント」(~1802年)
 1800年-01:00|ベナン| |||<就任>ジュグのゲルマンシュ国統治者「ハンバ・ニョラ2世」(~1815年没)
 1800年-01:00|ベナン| |||<就任>フィッタのマニ国統治者「アヤバ・アバオケ」
 1800年-01:00|チュニジア| |||<就任>サイン朝大法官「シェ・イ・ユスフ・サヒブ・アル・タビ」(~18150123)
 1800年-01:00|ベナン| |||<設立>イシャのヨルバ 国
 1800年-01:00|ベナン| |||ダッサのヨルバ 王国をダホメが征服
 1800年 00:00|トーゴ| |||<就任>アグバナンキン摂政「トツウ・アグボニン」(~1820年)
 1800年 00:00|シエラレオネ/イギリス| |||<就任>イギリス領シエラ・レオネ植民地総督代行「ジョン・グレイ」(2回目~1801年1月)
 1800年 00:00|シエラレオネ| |||<就任>ウォンカフォン統治者「ダラ・モドゥ」(~1841年没)
 1800年 00:00|トーゴ| |||<就任>カプ 統治者(オホドテ)「ウカパン・ナハッシ」(~1830年頃)
 1800年 00:00|トーゴ| |||<就任>テグベ 統治者「エグ」
 1800年 00:00|モリタニア| |||<就任>トラルザ 連邦エミール「ウル・ウルト・ムフタル」(~1829年没)
 1800年 00:00|トーゴ| |||<就任>ハサル統治者(オロ)「オホドテ・オッサール」(?)⇒「オホドテ・モガール」(?)⇒「ベメ」(~1856年)
 1800年 00:00|モリタニア| |||<就任>ブラカ連合エミール「シェ・イ・アリ・ウルト・ムフタル」(~1818年1月没)
 1800年 00:00|イギリス| |||このころヤングが光の干渉現象を発見
 1800年 00:00|イギリス/オーストリア| |||この年、オーストリアが英東インド会社と第2回友好条約
 1800年 00:00|イギリス| |||ウィリアム・ハーシェルが赤外線を発見
 1800年 00:00|セネガル/イギリス| |||ゴレ島をイギリスが占領(~18040118)
 1800年 04:00|バルバドス/イギリス| |||<就任>イギリス領バルバドス総督代理「William Bishop」(2期目~1801年)
 1800年 04:00|サン・バルテルミー/スウェーデン| |||<就任>スウェーデン領セント・バーツロミュー島知事「Hans Henrik Anckerheim」(~1812年)
 1800年 06:00|エルサルバドル/スペイン| |||<就任>サンサルバドル管理者代行「ルイス・マルティネス・ナバレ」(~1801年)
 1800年 06:00|アメリカ/スペイン| |||<就任>スペイン領テキサス植民地総督「ファン・ハウティスタ・エルグサバル」(~1805年死去)
 1800年 10:00|ポリアニア| |||タマア3世は、ライアア7のいくつかの地区を統合し、唯一の支配者になる
 1800年1月2日-09:00|日本|山形県東根市|寛政11年12月8日|<交替>出羽長瀬藩11000石「米津通政」隠居⇒長男「米津政認」が継ぐ(⇒嘉永6(1853)年11月25日、死去)
 1800年1月4日 04:00|米領ヴァージン諸島/デンマーク| |||<就任>セント・トマス島・セントジョン島総督「Casimir Wilhelm von Scholten」(1期目~18010328)
 1800年1月6日 00:00|イギリス| |||<死去>初代リス・バーン伯「ウィルモット・グアーン」
 1800年1月6日 00:00|イギリス| |||<就任>2代リス・バーン伯「ウィルモット・グアーン」(~18200506死去)
 1800年1月7日-01:00|スイス/フランス| |||<就任>ヘルヴェティア共和国執行委員会「ヨハン・ルドルフ・トルダール」Rep「フランツ・ヒェール・サグアリ」Rep(~11日)
 1800年1月8日 03:00|仏領ギアナ/フランス| |||<就任>ギアナ知事「Jean-Baptiste Victor Hugues」(~18090114)
 1800年1月10日-01:00|チュニジア/アメリカ| |||議会、1797年に交渉が行われていたサイン朝との条約を承認
 1800年1月12日-01:00|スイス/フランス| |||<就任>ヘルヴェティア共和国執行委員会議長「ヨハン・ルドルフ・トルダール」Uni(~5.27)
 1800年1月14日-09:00|日本|愛知県名古屋市中区|寛政11年12月20日|<死去>尾張藩61万9500石「徳川宗睦」(67歳)⇒翌年1月27日、養子「徳川齊朝」が継ぐ(⇒文政10(1827)年8月15日、隠居)
 1800年1月16日-09:00|日本|福井県小浜市|寛政11年12月22日|小浜西津の漁師町から出火、104軒焼失
 1800年1月17日-01:00|オランダ| |||<就任>バタヴィア共和国行政長官「フランソワ・エルメリン」(4回目~2.16)
 1800年1月17日-01:00|フランス| |||フランス西部のヴァンデ地方(ペイ・ド・ラ・ワール地域圏)の反乱が終わる
 1800年1月21日-01:00|フランス/トルコ| |||フランスとオスマン帝国がエル・アリシュの和約を結ぶ/フランス軍がこれにより撤退

1800迄 (2827件)

1800年1月25日-09:00|日本| ||寛政12年1月|<出版>歌川豊国, 狂歌書「若紫」「戯子名所図会」
1800年1月25日-09:00|日本| ||寛政12年1月|<出版>十偏舎一九「夷曲東日記」
1800年1月25日-09:00|日本| ||寛政12年1月|<出版>蹄斎北馬「狂歌花鳥集」
1800年1月25日-09:00|日本| ||寛政12年1月|<出版>北斎「東都勝景一覧」
1800年1月25日-09:00|日本| ||寛政12年1月|<出版>北尾政美「山水略画式」「絵本太平記」
1800年1月25日-09:00|日本|東京都|寛政12年1月|出初め式の、町火消しの芸、禁止
1800年1月28日 04:00|トリニダード・トバゴ/イギリス| ||<就任>トバゴ 総司令官、総督「リチャード・マスター」(~10. 26)
1800年2月 04:00|バルバドス/イギリス| ||<死去>イギリス領バルバドス元帥兼総督「ジョージ・Poyntz Ricketts」
1800年2月 04:00|バルバドス/イギリス| ||<就任>イギリス領バルバドス元帥兼総督代理「ウィリアム・Bishop」(2期目~18010326)
1800年2月1日-01:00|フランス| ||フランスで共和暦8年の憲法が人民の信任投票で承認される
1800年2月1日 06:00|アメリカ/フランス| ||米艦コンステレーション号、仏艦ラ・ヴァンジャンス号を破る
1800年2月5日 00:00|アイルランド| ||アイルランドのダブリン議会が、ウェストミンスター議会との合同を可決する。ただし、アイルランド議員は貴族院28名、下院100名と限定される
1800年2月7日-01:00|フランス| ||フランス地方行政を担当するため、「第一統領」が任命し、強力な権限を持つ「県知事」を設置
1800年2月9日-09:00|日本|秋田県|寛政12年1月16日|<死去>佐竹義躬(52歳)画家、俳人、久保田藩士
1800年2月13日-01:00|フランス| ||ナポレオン・ボナパルト、財政の整理・統一のため、民間銀行として「フランス銀行」(1区)創設
1800年2月14日-01:00|フランス| ||フランス、ブルジョア王党派ふくろう党の指導者ジョルジュ・カドゥタール(29)が降伏
1800年2月17日-01:00|オランダ| ||<就任>バタヴィア共和国行政長官「スタバーテン卿アンソニー・フレデリック・ロベルト・エバート・ファン・ハーホル」(4回目~3. 16)
1800年2月17日-01:00|フランス| ||フランス統領政府が、地方行政に関する法律を成立させる/これ以後、中央集権が強化される
1800年2月19日-01:00|フランス| ||ナポレオン1世が自ら第1執政に就任。事実上のフランスの独裁者となる
1800年2月24日-08:00|中国| ||清・嘉慶5年2月|白蓮教軍が馬蹄岡の戦いで清軍を敗る
1800年3月-01:00|フランス| ||ナポレオン・ボナパルト、「警視總監」を任命し、その統率下に「パリ警視庁」(4区「汙島」)創設
1800年3月7日-09:00|日本|群馬県高崎市|寛政12年2月13日|<交替>上野吉井藩1万石「松平信成」隠居⇒養子「松平信充」が継ぐ(⇒享和3(1803)年2月9日、死去)
1800年3月8日-01:00|オランダ/フランス| ||ケメルはバタヴィア共和国(後のオランダ王国)に編入
1800年3月8日-01:00|フランス| ||フランス「兵役免除税」が設けられる
1800年3月8日-01:00|オランダ/フランス| ||メーゲンをフランスがバタヴィア共和国(後のオランダ王国)に売却
1800年3月11日 05:00|ハイチ| ||ハイチ、ジャクメル陥落
1800年3月14日-01:00|バチカン| ||<就任>第251代ローマ教皇「ピウス7世」(~18230820死去)
1800年3月15日-01:00|バチカン| ||<就任>バチカン枢機卿・國務長官「エルコレ・コンサルヴィ」(1回目~18060617)
1800年3月15日 04:00|フォークランド/スペイン| ||<就任>スペイン領フォークランド 諸島司令官・総督「Francisco Xavier de Viana y Alzaibar」(2期目~18010331)
1800年3月15日 04:00|サン・マルタン/フランス| ||<就任>フランス領サン・マルタン司令官「Pierre Charles Dormoy」(2期目~1801年)
1800年3月17日-01:00|オランダ| ||<就任>バタヴィア共和国行政長官「シヨアンネス・フランスカス・ルドルフ・アス・ユニ・ファン・フーフ」(4回目~4. 16)
1800年3月17日-09:00|日本|長野県松本市|寛政12年2月23日|<交替>信濃松本藩6万石「松平光行」隠居⇒義弟「松平光年」が継ぐ(⇒天保8(1837)年2月4日、死去)
1800年3月17日 11:00|日本|東京都台東区|寛政12年2月23日|亥半刻、田圃龍泉寺町より出火、吉原京町に飛び、廓中焼亡
1800年3月18日-01:00|フランス| ||フランス統領政府が、司法制度を再編する法令を制定/任命された裁判官は終身身分保障を受けることになる
1800年3月20日-01:00|イタリア| ||ボルカが前年に電流発生装置(1次電池)を発明したことを公表
1800年3月24日-03:00|エチオピア| ||<復位>エチオピア帝国(後期ソモン朝) 皇帝「ギヨルギス1世」(5度目~1800. 6)
1800年3月28日 04:00|米領グアージン諸島/イギリス| ||<就任>セント・マス島・セントジョン島総督「John Clayton Cowell」(~18020219)
1800年3月28日 04:00|米領グアージン諸島/イギリス| ||セント・マス島とセントジョン島をイギリスが占領(~18020219)
1800年3月31日 04:00|米領グアージン諸島/イギリス| ||<就任>セントクロア総督「John Clayton Cowell」(~1802. 2)
1800年3月31日 04:00|米領グアージン諸島/イギリス| ||セントクロアをイギリスが占領(~18020216)
1800年4月-05:45|ネパール| ||<就任>ネパール摂政「マハニ・スハナ・プラバ・デーヴィ」(~1803年2月)
1800年4月1日-01:00|サンマリノ| ||<就任>サンマリノ共和国執政「フランチェスコ・ファエターニ」「マッテオ・マルテッリ」
1800年4月2日-02:00|ギリシャ/ロシア/トルコ| ||<設立>セプチンシュール州、正式には七島合衆共和国(1803年からはセプチンシュール共和国、ロシアとオスマン帝国の共同保護領)
1800年4月2日-02:00|ギリシャ/ロシア/トルコ| ||プロトリント、パルガ、プレヴェザ、ヴォニツァがロシアからオスマン帝国に割譲される
1800年4月2日-01:00|イタリア| ||<即位>トレント司教公「Emmanuel Maria Graf von Thun und Hohenstein」(~18021106)
1800年4月2日-01:00|アルバニア/トルコ/ロシア| ||プロトリントがロシアからオスマン帝国に割譲され、自治権を持つ

1800迄 (2827件)

1800年4月2日-01:00|ドイツ| || |ルトヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン(29)の《交響曲第1番ハ長調Op. 21》《ピアノ協奏曲第1番ハ長調Op. 15》初演

1800年4月4日 06:00|アメリカ| || |アメリカ連邦破産法制定

1800年4月5日 06:00|アメリカ| || |<就役>アメリカ海軍フリゲイト「ファイア・ルフィア」(1240t, Humphreys, Hutton, & Delavueで建造)

1800年4月17日-01:00|オランダ| || |<就任>パタヤ共和国行政長官「アルバート・ウィルヘルム」(5回目~18000516)

1800年4月21日-09:00|日本| || |寛政12年3月29日|<死去>4代岩井半四郎(54歳)歌舞伎役者

1800年4月21日-09:00|日本| |東京都|寛政12年3月29日|<死去>四代岩井半四郎(56)

1800年4月22日 00:00|イギリス| || |<死去>ウィンチェスター侯「ジョージ・ホーレット」

1800年4月22日 00:00|イギリス| || |<就任>ウィンチェスター侯「チャールズ・インゴールズビー・ホーレット」(~18431129死去)

1800年4月22日-09:00|日本| |東京都文京区|寛政12年3月30日|<改築>昌平坂学問所

1800年4月24日 06:00|アメリカ| || |アメリカ連邦議会図書館設立

1800年4月28日-01:00|ドイツ/フランス| || |ジャン・モロー将軍のフランス軍がバリエルを占領

1800年4月30日 07:00|メキシコ/スペイン| || |<就任>ヌエバ・イスパニヤ副王「フェリックス・ベレンゲル・デ・マルティ」(~18030104)

1800年5月 00:00|イギリス| || |カーライとニコルソンがヴォルタ電池の追試中に水の電気分解に成功

1800年5月 04:00|アルバ/イギリス| || |<就任>アルバ島司令官「Henry Anderson」イギリス司令官

1800年5月 06:00|アメリカ| || |<就役>アメリカ海軍フリゲイト「チェサピーク」(1244t, コスポート造船所で建造⇒1813年, イギリスに拿捕されハリファクスにて修理、後にイギリス海軍にて就役⇒18190918, 売却)

1800年5月1日-09:00|日本| |京都府福知山市|寛政12年4月9日|<交替>丹波福知山藩32000石「朽木昌綱」隠居⇒養子「朽木倫綱」が継ぐ(⇒享和2(1802)年12月20日、死去)

1800年5月3日-01:00|オーストリア/フランス| || |シュトゥクアッハでルクル率いるフランス軍とヴォーデモンのオーストリア軍が衝突しフランス軍が勝った

1800年5月7日 06:00|アメリカ| || |アメリカ、インディアナ準州設置

1800年5月8日-01:00|フランス/イタリア| || |ナポレオンが第2回イタリア遠征を開始

1800年5月10日 06:00|アメリカ| || |アメリカ, 1800年公有地法制定

1800年5月11日-09:00|日本| |群馬県高崎市|寛政12年4月19日|<死去>松平信成(34歳)前上野吉井藩主

1800年5月12日-01:00|チコ/オーストリア/イタリア| || |<就任>オーストリアとサルデーニャのチコ司令官「騎士フルキエリ(サルデーニャの司令官)+フンガー(オーストリア弁務官)」(~31日)

1800年5月12日-01:00|チコ/オーストリア/イタリア| || |チコをオーストリア・サルデーニャが占領(~31日)

1800年5月13日-09:00|日本| |東京都台東区|寛政12年4月21日|<大相撲>寛政12年4月場所[江戸浅草八幡宮](5日間)優勝:(西関脇)花頂山(柏戸), 3勝0敗1無勝負1休

1800年5月14日-05:30|イギリス| || |スウェーデン統治者は統治権をイギリスに明け渡し、国家はイギリスによって(ボンアイの一部として)管理される

1800年5月17日-01:00|オランダ| || |<就任>パタヤ共和国行政長官「アウグスティン・ゲルハルト・ベジエ」(3回目~6. 16)

1800年5月17日 11:00|イギリス| || |午前6時ごろ, イギリス海軍戦列艦「クイーン・シャーロット」で火災. 艦は午前11時に爆発し死者673名

1800年5月28日-01:00|スイス/フランス| || |<就任>ヘルヴェティア共和国執行委員会議長「カール・アルブレヒト・フリツィンク」Fed(~6. 25)

1800年5月31日-09:00|日本| |茨城県結城市|寛政12年閏4月9日|<交替>下総結城藩18000石「水野勝剛」隠居⇒長男「水野勝愛」が継ぐ(⇒天保6(1835)年5月21日、隠居)

1800年6月-03:00|エチオピア| || |<復位>エチオピア帝国(後期ソモ朝)皇帝「テモロス・アルケウオス」(2度目~1801. 6)

1800年6月 00:00|ギニアビサウ/ポルトガル| || |<就任>ビサウ司令官「ホセ・カザンス・ペレイラ・デ・スザ・ビント」(~1802年)

1800年6月2日-01:00|イタリア/フランス| || |ナポレオン、ミラノに入城

1800年6月4日-01:00|イタリア/オーストリア| || |ジェノヴァ、オーストリア軍に占領される

1800年6月5日-01:00|イタリア/フランス| || |サルディニア共和国再建

1800年6月10日-09:00|日本| |北海道|寛政12年閏4月19日|伊能忠敬, 蝦夷地測量を許されて江戸出発(~9月18日帰帆)

1800年6月14日-02:00|エジプト/フランス| || |<就任>フランス軍リエント司令官「ジャック・フランソワ・ヌー」(~18010831)

1800年6月14日-01:00|イタリア/オーストリア/フランス| || |<マレンゴの戦い>イタリア北部のマレンゴで, ナポレオン・ボナパルト率いるフランス軍がオーストリア軍に勝利

1800年6月15日-01:00|イタリア/オーストリア/フランス| || |ナポレオンがアレクサンドリアでオーストリア軍のマスと休戦協定を結ぶ/ナポレオン軍はシナイ川以西のイタリアを獲得

1800年6月15日 06:00|アメリカ| || |アメリカ合衆国、ワシントンに首都移転

1800年6月17日-01:00|オランダ| || |<就任>パタヤ共和国行政長官「フランソワ・エルメリン」(5回目~7. 16)

1800年6月23日 04:00|ドミニカ国/イギリス| || |<就任>イギリス領ドミニカ総督「アントニー・ジェームズ・コラン・ジョンストン」(2回目~1802年)

1800年6月26日-01:00|スイス/フランス| || |<就任>ヘルヴェティア共和国執行委員会議長「フランソワ・ピエール・サヴァリ」Uni(~7. 23)

1800年6月28日-01:00|ドイツ| || |<死去>ロイス＝グライツ侯「ハインリヒ11世」

1800年6月28日-01:00|ドイツ| || |<就任>ロイス＝グライツ侯「ハインリヒ13世」(~18170129死去)

1800年7月 06:00|アメリカ| || |<就役>アメリカ海軍エリット・ステーツ級フリゲイト「フレズデント」(2200t, Wm. Doughty & Christman Berghで建造)

1800年7月2日 00:00|イギリス| || |<死去>8代ハース公(ジャコバイト)「ジェームズ・ドラモンド」

1800年7月2日 00:00|イギリス| || |<就任>9代ハース公(ジャコバイト)・4代メルフォート公(ジャコバイト)「ジェームズ・リス・ドラモンド」

1800迄 (2827件)

先代の二従兄弟 (~1800. 9死去)

1800年7月3日-09:00|日本|千葉県成田市|寛政12年5月13日|<死去>井上正森(91歳)前下総高岡藩主
1800年7月7日-08:00|マレーシア/イギリス| |||本土のウェズリー(セラムペライ)がケダにより英国に割譲される
1800年7月11日-09:00|日本| ||寛政12年5月21日|<死去>石野広通(83歳)佐渡奉行・普請奉行、歌人
1800年7月14日 00:00|イギリス| |||<死去>デヴィー伯・デズモンド伯「バシル・フィールド・イング」
1800年7月14日 00:00|イギリス| |||<就任>デヴィー伯・デズモンド伯「ウィリアム・バシル・パーシー・フィールド・イング」(~18650625死去)
1800年7月17日-01:00|マルタ/イギリス| |||<就任>イギリス領マルタ最高司令官「ヘンリー・Pigot」(~9. 8)
1800年7月17日-01:00|オランダ| |||<就任>パタゴニア共和国行政長官「スタバ・デン卿アンソニー・フレデリック・ロベルト・エバート・ファン・ハルブルト」(5回目~18000816)
1800年7月24日-01:00|スイス/フランス| |||<就任>ヘルヴェティア共和国執行委員会議長「ヨハン・(ハンス)・コンラート・フィンスラー」Uni(~8. 8)
1800年7月26日-11:30|ノーフォーク島/オーストラリア| |||<就任>ノーフォーク島副知事「Joseph Foveaux」(~18040909)
1800年7月28日-04:00|モリシャス/フランス/レユニオン/セイシェル| |||<就任>マスカリン諸島総督「フランソワ・ルイ・マガロン・デ・ラ・モリエール」(~18030925)
1800年8月 06:00|ベリズ/イギリス| |||<就任>ベリズ 居留地管理者(ジャマイカの知事に従属)「リチャード・ハセット」(~1802年10月)
1800年8月1日 05:00|ハイチ| |||トゥサン、サント・マンク 全土に支配権を確立/ムラト軍は1万5千の死者を出し壊滅
1800年8月9日-01:00|スイス/フランス| |||<就任>ヘルヴェティア共和国執行評議会議長「カール・アルブレヒト・フリッシュ」Uni(1期目~9. 30)
1800年8月10日-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン領メリウ総督「Ramon Conti」(~1814年)
1800年8月15日-09:00|日本|長野県小諸市|寛政12年6月25日|<死去>信濃小諸藩15000石「牧野康儔」(28歳)⇒長男「牧野康長」が継ぐ(⇒文政2(1819)年4月21日、隠居)
1800年8月17日-01:00|オランダ| |||<就任>パタゴニア共和国行政長官「ヤン・ヘンドリック・ヴァン・スウィンテン」(1回目~9. 16)
1800年8月18日-09:00|韓国/朝鮮| |||<就任>朝鮮国摂政「キム・チョンソ」女王(~18040212)
1800年8月18日-09:00|韓国/朝鮮| ||朝鮮・嘉慶5年6月29日|<死去>李氏朝鮮国王「正祖」
1800年8月18日-09:00|韓国/朝鮮| ||朝鮮・嘉慶5年6月29日|<即位>李氏朝鮮国王「純祖」(~18341213死去)
1800年8月19日-09:00|日本|愛知県名古屋市中区|寛政12年7月|<出版>名古屋の月光亭歌政「願廼糸」
1800年8月19日-09:00|日本|大阪府大阪市|寛政12年7月|<出版>大阪の流光斎如圭「役者百人一衆化粧鏡」
1800年8月22日-09:00|日本|茨城県下妻市|寛政12年7月4日|<死去>井上正広(29歳)常陸下妻藩主⇒弟の正建が継いだ
1800年8月23日-09:00|韓国/朝鮮| |||<就任>朝鮮国領議政「沈煥之」(~18021113)
1800年8月30日 06:00|アメリカ| |||アメリカで奴隷がブリエル・フロサの反乱失敗
1800年8月31日-09:00|日本|静岡県藤枝市|寛政12年7月13日|<交替>駿河田中藩4万石「本多正温」隠居⇒長男「本多正意」が継ぐ(⇒文政12(1829)年5月27日、死去)
1800年9月 00:00|イギリス| |||<死去>9代ハース公(ジャコバイト)・4代メルフォート公(ジャコバイト)「ジェームス・ルイス・トラumont」
1800年9月 00:00|イギリス| |||<就任>10代ハース公(ジャコバイト)・5代メルフォート公(ジャコバイト)「チャールズ・エドワード・トラumont」
先代の弟(~1840年死去)
1800年9月 04:00|アルバ/イギリス| |||<就任>アルバ 島司令官「Frederick Watkins」イギリス司令官(~同年)
1800年9月1日-05:30|インド| |||<就任>パオ国支配者(サワ)「ナセル・アト・タウ」(~18150511没)
1800年9月7日 04:00|ボリビア| |||チュキカ(旧ラフ)で独立をめざす蜂起。マスティの軍人ペドロ・ロドリゴ・マリヨらがケータを起こし、政治委員会を結成、独立宣言を発する/マリヨは処刑される
1800年9月7日-09:00|日本|静岡県静岡市清水区|寛政12年7月20日|<交替>駿河小島藩1万石「松平信義」隠居⇒長男「松平信圭」が継ぐ(⇒文化12(1815)年10月6日、隠居)
1800年9月8日-01:00|ドイツ| |||<死去>ザクセン＝コーブルク＝ザールフェルト公「エルスト・フリードリヒ」
1800年9月8日-01:00|マルタ/イギリス| |||<就任>イギリス領マルタ総督「アレクサンダー・ジョン・Ball」(~18010220)
1800年9月8日-01:00|ドイツ| |||<即位>ザクセン＝コーブルク＝ザールフェルト公「フランツ・フリードリヒ・アントン」エルスト・フリードリヒの息子(~18061209死去)
1800年9月8日-01:00|マルタ/イギリス/フランス| |||イギリス軍にパレタのフランスが降伏
1800年9月13日 04:00|キューバ/イギリス| |||キューバをイギリスが占領(~18030113)
1800年9月16日-09:00|日本|大分県杵築市|寛政12年7月29日|<死去>松平親貞(50歳)前豊後杵築藩主
1800年9月17日-01:00|オランダ| |||<就任>パタゴニア共和国行政長官「アルバート・ウィレム・ハス」(6回目~18001016)
1800年9月19日-05:30|インド| |||<就任>パロタ 国統治者(セ・カス・ケル)「アランド・ラウ・ゲークワール」(~18191002没)、摂政「ファテ・シン2世ラウ・ゲークワール」(~18180623没)
1800年9月24日-09:00|日本| ||寛政12年8月7日|<死去>2代十寸見蘭洲(83歳)浄瑠璃太夫
1800年9月28日-09:30|オーストラリア/イギリス| |||<就任>ニューサウスウェールズ 植民地総督「フィリップ・キング」(~18060812)
1800年9月30日-01:00|フランス/アメリカ| |||パリでモルトフォンテーヌ条約が結ばれ、カリブ海でのアメリカとフランスの間の戦闘が停止される
1800年10月 06:00|ニカラガア| |||<死去>モスキート王「ジョージ2世アウグストゥス」
1800年10月 06:00|ニカラガア| |||<就任>モスキート摂政王「ステイブン」(1回目~18151114)
1800年10月 06:00|アメリカ| |||<就役>アメリカ海軍フリゲイト「ニュー・ヨーク」(1130t, Peck & Carpenterで建造)
1800年10月1日-09:30|オーストラリア| |||キング、蒸留酒の輸入を禁止し、無許可の酒の販売を規制

1800迄 (2827件)

1800年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ジュゼッペ・メルクリ」「ピエール・ヴァンセンツォ・ジヤンニニ」
1800年10月1日-01:00|スイス/フランス| |||<就任>ヘルヴェティア共和国執行評議会議長「ヨハン・ルートヴィッヒ・フーダー」U-F (1期目~10.31)
1800年10月1日-01:00|フランス/スペイン/アメリカ| |||ナポレオンとスペイン国王の秘密協定で、アメリカのルイジアナ地方がスペインからフランスに譲渡される
1800年10月5日-01:00|オーストリア| |||<就任>オーストリア首相「コロド・伯爵フランツ・デ・パウ・カール」(~18051130)
1800年10月5日-01:00|フランス| |||フランスの作曲家オットー・バックス死去「ホマン物語」
1800年10月5日-09:00|日本|京都府宮津市|寛政12年8月18日|<死去>松平資承(52歳)前丹後宮津藩主
1800年10月12日-05:30|インド/イギリス| |||ニザーム王国はイギリス軍への駐留費免除を引き替えに、1792年及び1799年にマイソール戦争で獲得したカダパ、カルヌル、ベッターリー、アナンタプルといった割譲地をイギリスに再割譲させられた
1800年10月13日-09:00|日本|岡山県浅口市|寛政12年8月26日|<交替>岡山新田藩25000石「池田政直」隠居⇒長男「池田政養」が継ぐ(⇒文政2(1819)年7月3日、48歳で死去)
1800年10月16日 04:00|フエルトリコ| |||サンファン市の市立図書館が開始される
1800年10月17日-01:00|オランダ| |||<就任>パタゴニア共和国行政長官「アウグスティン・ゲルハルト・ベジエ」(4回目~11.16)
1800年10月18日-09:00|日本|愛媛県大洲市|寛政12年9月2日|大洲藩、文武学校明倫堂を再建
1800年10月20日-02:00|ラトヴィア/ロシア| |||ロシア暦11月6日|<就任>ケールント総督「ニコライ・イワノヴィッチ・アルセニエフ」(~18081118)
1800年10月23日 04:00|キューサ/イギリス| |||<就任>キューサ指導者「Lord Hugh Seymour」イギリス軍司令官(~12.7)
1800年10月26日 04:00|トリニダード・トバゴ/イギリス| |||<就任>トバゴ総司令官、総督代行「ジョセフ・ロブリー」(3期目~18021002)
1800年10月26日-09:00|日本|大分県臼杵市|寛政12年9月10日|<交替>豊後臼杵藩5万石「稲葉弘通」隠居⇒次男「稲葉雍通」が継ぐ(⇒文政3(1820)年5月6日、隠居)
1800年10月26日-09:00|日本|京都府京都市伏見区|寛政12年9月10日|<死去>伊藤若冲(85歳)絵師
1800年10月26日-09:00|日本|広島県広島市|寛政12年9月10日|<死去>広島新田藩3万石「浅野長員」隠居⇒養子「浅野長容」が継ぐ(⇒文政7(1824)年1月6日、55歳で死去)
1800年10月27日-04:00|ロシア| |||ロシア暦11月6日|<建国>カムイク・ハン国短期間復元(~18031108)
1800年10月27日-04:00|ロシア| |||ロシア暦11月6日|<就任>カムイク・ハン国摂政「チュチェイ・トゥンクトフ」(~18030605没)
1800年10月28日-09:00|日本| |||寛政12年9月12日|<死去>初代湖出市十郎(不明)長唄唄方
1800年11月-09:30|オーストラリア| |||ワルシャワ学問の友協会が設立
1800年11月1日-01:00|スイス/フランス| |||<就任>ヘルヴェティア共和国執行評議会議長「カール・フリードリヒ・ツィンマー」Uni (1期目~30日)
1800年11月2日-09:00|日本|福島県福島市|寛政12年9月16日|<死去>陸奥下村藩1万石「田沼意亭」(21歳)⇒弟「田沼意信」が継ぐ(⇒享和3(1803)年9月12日、死去)
1800年11月5日-09:00|日本|群馬県高崎市|寛政12年9月20日|<死去>上野高崎藩82000石「松平輝和」(51歳)⇒11月12日、弟「松平輝延」が継ぐ(⇒文政8(1825)年2月17日、死去)
1800年11月16日-09:00|日本| |||寛政12年10月|<刊行>志筑忠雄「曆象新書」(中篇)/ニュートンの門弟ジョン・ケイルの天文書の蘭訳本について記述
1800年11月16日-09:00|日本|大阪府大阪市|寛政12年10月1日|<就任>大坂城代「青山下野守忠裕」(~享和2.10.19)
1800年11月17日-01:00|オランダ| |||<就任>パタゴニア共和国行政長官「フランソワ・エルミン」(6回目~12.16)
1800年11月17日 06:00|アメリカ| |||アメリカが首都をワシントンとする
1800年11月19日-09:30|オーストラリア| |||ニューサウスウェールズ、最初の銅貨の流通。銅貨の流出を防ぐため、額面の2倍の価値で流通させる
1800年11月19日 00:00|チャンネル諸島/イギリス| |||<死去>イギリス王領ガーンジー島管理人「William Le Marchant」
1800年11月19日 00:00|チャンネル諸島/イギリス| |||<就任>イギリス王領ガーンジー島管理人「Robert Porret Le Marchant」(~1810年)
1800年12月1日-01:00|スイス/フランス| |||<就任>ヘルヴェティア共和国執行評議会議長「ヨハン・ヤコブ・シュミット」Uni (1期目~31日)
1800年12月3日-01:00|オーストリア/フランス/ドイツ| |||モロー将軍のフランス軍がホーエンリンデンの戦いでオーストリア軍を破る
1800年12月4日 00:00|ポルトガル| |||<就任>マティラ総督「Jose Manuel da Camara」(~18031207)
1800年12月7日 04:00|キューサ/イギリス| |||<就任>キューサ指導者「Walter Tremenheere」イギリス軍司令官(~18011009)
1800年12月10日-09:00|日本|東京都|寛政12年10月25日|<死去>画家、佐久間東仙
1800年12月10日-09:00|日本|東京都台東区|寛政12年10月25日|<大相撲>寛政12年10月場所[江戸浅草八幡宮](10日間)優勝:(西関脇)千田川、6勝0敗1無勝負3休/初日に雷電の連勝止まる
1800年12月15日-09:00|日本|大阪府大阪市|寛政12年11月|<初演>歌舞伎「絵本太功記」大坂角の芝居
1800年12月16日-01:00|デンマーク/ドイツ/スウェーデン/ロシア| |||ロシア、スウェーデン、デンマークの武装中立同盟成立
1800年12月17日-01:00|オランダ| |||<就任>パタゴニア共和国行政長官「スタバーデン卿アンソニー・フレデリック・ロベルト・エバート・ファン・ハーホルテ」(6回目~18010116)
1800年12月22日-09:00|日本| |||寛政12年11月8日|幕府が南鐐二朱銀の再鑄造
1800年12月25日 08:00|ヒトケアン諸島/イギリス| |||<死去>イギリス領ヒトケアン諸島指導者「Edward Young」
1800年12月25日 08:00|ヒトケアン諸島/イギリス| |||<就任>イギリス領ヒトケアン諸島指導者「John Adams (アレクサンダー・Smith)」(~18290305死去)
1800年12月27日 00:00|イギリス| |||<就任>初代カトガン伯「チャールズ・スローン・カトガン」(~18070403死去)
1800年12月29日 00:00|イギリス| |||<就任>初代ソンド侯「マロー・オブ・ライエン」5代インチキン伯(~18080210死去)
1800年12月29日 00:00|イギリス| |||<就任>初代マムズベリー伯「ジェームズ・ハリス」(~18201121死去)

1800迄 (2827件)

1800年12月29日 06:00|アメリカ| |||<死去>アメリカの発明家グッド・イヤ-/温度で硬くなったりベトついたりするゴムの欠点を「加硫法」の発見で解決した

1800年12月31日 00:00|イギリス| |||<就任>初代ドナウモア伯「リチャード・ヒーリー=ハッチソン」(~18250822死去)